

「食肉に関する意識調査」 報告書

平成 30 年度

公益財団法人 日本食肉消費総合センター

食肉に関する意識調査

目次

1. 調査の目的と分析の基本方針	1
1.1 調査の目的.....	2
1.2 分析の基本方針	2
1.3 調査対象期間	2
1.4 調査手法	2
1.5 調査手順	2
1.6 対象者条件.....	2
1.7 集計対象	3
1.8 回答者属性.....	3
1.9 過年度の調査対象と継続設問	5
2. 考察	8
2.1 国産牛肉の強みに関する考察	8
1)牛肉購入意向者 (Q10) のセグメンテーション	9
2)セグメント別 (Q10) の国産和牛/和牛以外の国産牛肉の強み分析 (Q12-1、Q11)	15
3)国産和牛肉/和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q14)	23
2.2 「和牛」と「WAGYU」の違いに関する考察	27
1)「WAGYU」のコトバの認知度 (Q42) の地域・年代別分析	28
2)「和牛」と比較して「WAGYU」に対するイメージ (Q43) の地域・年代別分析	29
3)「WAGYU」の喫食地域 (Q45) の地域・年代別分析	31
4)「WAGYU」の定義の認知度 (Q46) の地域・年代別分析	32
5)「WAGYU」の購入意向 (Q47) と価格許容度 (Q48) の地域・年代別分析	33
2.3 食肉の第三者認証の認知度に関する考察	38
1)「JGAP家畜・畜産物」の認証と「東京オリンピック・パラリンピック」の 畜産食材の調達基準の認知度 (Q40) の地域・年代別分析	39
2)「JGAP 認証農場の畜産物使用マーク」製品の購入意向 (Q41) の地域・年代別分析	41
2.4 ジビエの認知度に関する考察	43
1)「ジビエ」のコトバの認知度 (Q49) と定義の認知度 (Q50) の地域・年代別分析	45
2)「ジビエ」の喫食頻度 (Q51) の地域・年代別分析	47
3)「ジビエ」の喫食機会 (Q52) の地域・年代別分析	48
4)「シカ肉」「イノシシ肉」に対するイメージ (Q53) の地域・年代別分析	51
5)「ジビエ」についての知っている事柄と魅力に感じる事柄 (Q54) の地域・年代別分析	59
6)「ジビエ」のマークの認知度 (Q55) の地域・年代別分析	63
7)「ジビエ」のマーク製品の購入意向 (Q56) と価格許容度 (Q57) の地域・年代別分析	65

2.5 福島県産牛肉の購入意向に関する考察	68
1)福島県産牛肉の購入意向 (Q16) の時系列分析	69
2)福島県産牛肉の購入意向 (Q16) で「購入したくない」「わからない」と回答した対象者の 購入阻害要因分析	70
3)福島県産牛肉の購入意向 (Q16) で「購入したくない」と回答した対象者の分析	71
4)福島県産食肉の放射能汚染への不安 (Q31) と 放射性物質に関する知識 (Q29・Q30) に関する分析	74
5)福島県産食肉の放射能汚染への不安 (Q31) と 放射能汚染への不安解消に必要な事柄 (Q32) に関する分析	78
6)福島県産牛肉の購入意向 (Q16) による 受容者・拒否者・保留者のセグメント特徴分析 (決定木)	79
3. 食肉の購買実態に関する調査	81
1)食肉の種類別機会別の喫食頻度 (Q4)	81
2)食肉に対する種類別イメージ (Q5)	86
3)食肉の種類別購入頻度 (Q6)	91
4)食肉の種類別の主な購入先 (Q7)	93
5)食肉購入時に重視する点 (Q8)	98
6)普段店頭に並んでいる「牛肉」の原産地 (Q19)	103
7)直近1年以内に購入したことがある原産地 (Q20)	104
8)昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化 (Q9)	105
9)各種牛肉の購入意向 (Q10)	108
10)各種牛肉のイメージ (Q11)	109
11)各種牛肉を家庭内で食べる場面 (Q12-1)	114
12)各種牛肉を家庭内で食べる料理 (Q12-2)	117
13)各種牛肉の情報を得るために用いている情報源 (Q13)	120
14)国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q14)	125
15)和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q15)	126
16)産地別牛肉の購入意向 (Q16)	127
17)産地別豚肉の購入意向 (Q17)	131
16)産地別鶏肉の購入意向 (Q18)	135
4. 食肉の安全性に関する意識調査	139
(1)食品の安全性に関する意識	139
1)食品の安全性の不安感 (Q22)	139
2)牛肉の安全性について感じている不安 (Q23)	143
3)豚肉の安全性について感じている不安 (Q24)	144
4)鶏肉の安全性について感じている不安 (Q25)	145
5)食肉の安全性に関する項目別関心度 (Q26)	146
(2)鳥インフルエンザ・豚コレラに関する知識	150
1)鳥インフルエンザについて知っている知識 (Q27)	150
2)豚コレラについて知っている知識 (Q28)	152

(3)食肉の放射能汚染についての知識	153
1)放射性物質とその影響等についての一般的な知識 (Q29)	153
2)食品中の放射性物質対策や畜産現場での安全確保の取り組みについての知識 (Q30)	155
3)産地別の食肉の放射能汚染への不安 (Q31)	157
4)放射能汚染への不安解消に必要な事柄 (Q32)	159
(4)食肉の安全性に対する社会的な意識.....	160
1)社会全体における食肉の安全性の認識 (Q33)	160
2)食品の安全性に係る問題発生時に食肉の情報を得るために用いる情報源と普段用いる情報源、信頼 できる情報源 (Q34・Q35・Q36)	161
3)各機関の取り組みに対する信頼性 (Q37)	166
4)食肉の安全性の情報提供に対する行政への期待 (Q38)	169
5. 集計表.....	171

調査の目的と分析の基本方針

調査の目的と分析の基本方針

1.1 調査の目的

消費者の食肉（牛肉、豚肉、鶏肉）の「購買状況、食肉に対する意識等」を調べ、国産食肉の安全・安心につながる要因を明らかにし、食肉に対する正しい理解・風評被害の防止等に資することを目的とする。

1.2 分析の基本方針

分析を行う上では、過年度調査との比較を試みることによって示唆を得るよう心掛けた。

1.3 調査対象期間

平成 30 年 10 月下旬に実施

1.4 調査手法

インターネット調査を実施した。対象者はモニター群から抽出した。

1.5 調査手順

調査の参加意向者募集
実調査の実施

1.6 対象者条件

アンケートの対象者は「20 歳以上、かつ本調査時点までの間に食肉(牛肉/豚肉/鶏肉)を自身で購入し食した方」とした。また、「1.2 分析の基本方針」でも示した通り、過年度調査との比較を分析の基本方針としていることに鑑み、地域・世代・性別の分布については昨年度調査の構成比と近づけるよう調整を行った。

1.7 集計対象

1,800人からアンケートの回答を得た。そのうち、以下の2地域、6世代を掛け合わせた12セルについて1セル150人、計1,800人を抽出し、集計対象とした。

1.7.1 地域・世代分布

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
首都圏	150	150	150	150	150	150	900
京阪神圏	150	150	150	150	150	150	900
合計	300	300	300	300	300	300	1,800

図表 1 集計対象の地域・世代分布

1.7.2 地域区分

地域名	都道府県名
首都圏	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
京阪神圏	大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県

図表 2 地域区分（回答者所在都道府県）

1.8 回答者属性

1.8.1 性別

合計	男性	女性
1,800	900	900

図表 3 回答者属性（性別）

1.8.2 世帯年収構成

合計	300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500万円以上	答えたくない/わからない
1,800	285	441	308	275	130	48	313

図表 4 回答者属性（世帯年収構成）

1.8.3 世帯構成人数

合計	単身	2人	3人	4人	5人	6人以上
1,800	279	583	471	325	109	33

図表 5 回答者属性（世帯構成人数）

1.8.4 回答者の学歴

合計	中学	高校	専門学校	短大・高専	大学	大学院
1,800	33	496	175	188	838	70

図表 6 回答者属性（学歴）

1.8.5 回答者の所在都府県

合計	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
1,800	166	134	369	231	36	114	410	249	63	28

図表 7 回答者属性（所在都府県）

1.8.6 家族構成員の状況

合計	妊娠されている方	小学校入学前の子ども(乳児・幼児を含む)	小学生の子ども	中高生の子ども	お年寄り(65歳以上、ご自身を含める)
1,800	44	193	135	171	685

図表 8 回答者属性（家族構成員）

1.8.7 世帯内に食物アレルギー保有者、食中毒経験者のいる回答者

合計	食物アレルギー保有者	食中毒経験者
1,800	187	170

図表 9 回答者属性（食物アレルギー保有者、食中毒経験者）

1.8.8 食肉の喫食によるカロリーに対する意識

合計	食肉の喫食によりカロリー過剰にならないよう気をつけている	食肉を喫食する際にカロリーを意識していない	食肉を喫食してカロリー不足にならないよう気を付けている
1,800	606	896	298

図表 10 回答者属性（食肉の喫食によるカロリーに対する意識）

1.9 過年度の調査対象と継続設問

1.9.1 調査対象

平成 24 年～平成 29 年度調査の調査対象は以下のとおりである。今年度調査では、平成 26 年度・平成 27 年度・平成 28 年度・平成 29 年度と同様、年代を 20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、70 代以上の 6 区分とし、首都圏、京阪神圏と合わせて、12 セルで 1 セル 150 名とし、1,800 名を調査対象とした。

年度	対象者数	地域・世代分布
平成 24 年度	1,238 名	20 代、30 代、40 代、50 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 8 セルで 1 セル 155 名前後
平成 25 年度	1,240 名	20 代、30 代、40 代、50 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 8 セルで 1 セル 155 名
平成 26 年度	1,800 名	20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、 70 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 12 セルで 1 セル 150 名
平成 27 年度	1,800 名	20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、 70 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 12 セルで 1 セル 150 名
平成 28 年度	1,800 名	20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、 70 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 12 セルで 1 セル 150 名
平成 29 年度	1,800 名	20 代、30 代、40 代、50 代、60 代、 70 代以上 首都圏、京阪神圏 上記 12 セルで 1 セル 150 名

図表 11 過年度調査の対象

※平成 26 年度より年代については 60 代、70 代の区分を設けているため、年代の構成比が異なる。経年比較での調査結果を閲覧する際はこの点に留意する必要がある。

1.9.2 過年度からの継続設問

平成24年～平成29年度調査からの継続設問は以下に示すとおりである。

平成30年度設問	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
Q4：食肉の種類別機会別の喫食頻度	Q1	Q1	Q1	Q3	Q4	Q4
Q5：食肉に対する種類別イメージ	Q2	Q2	Q2	Q4	Q5	Q5
Q6：食肉の種類別購入頻度	Q3	Q3	Q3	Q5	Q6	Q6
Q7：食肉の種類別の主な購入先	Q4	Q4	Q4	Q6	Q7	Q7
Q8：食肉購入時に重視する項目	Q5	Q5	Q5	Q7	Q8	Q8
Q9：昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化	Q6	Q6	Q6	Q8	Q9	Q9
Q10：各種牛肉の購入意向	—	—	—	Q10	Q10	Q10
Q11：各種牛肉のイメージ	—	—	—	Q11	Q11	Q11
Q12-1：各種牛肉の家庭内で食べる場面	—	—	—	—	Q12-1	Q12-1
Q12-2：各種牛肉の家庭内で食べる料理	—	—	—	—	Q12-2	Q12-2
Q13：各種牛肉の情報を得るために用いている情報源	—	—	—	—	Q13	Q13
Q14：国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度	—	—	—	Q16	Q14	Q14
Q15：和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度	—	—	—	Q17	Q15	Q15
Q16：産地別牛肉の購入意向	Q7	Q7	Q7	Q18	Q16	Q16
Q17：産地別豚肉の購入意向	Q8	Q8	Q8	Q19	Q17	Q17
Q18：産地別鶏肉の購入意向	Q9	Q9	Q9	Q20	Q18	Q18
Q22：食品の安全性の不安感	Q10	Q10	Q10	Q21	Q19	Q19
Q23：牛肉の安全性について感じている不安	—	—	—	—	Q20	Q20
Q24：豚肉の安全性について感じている不安	—	—	—	—	Q21	Q21
Q25：鶏肉の安全性について感じている不安	—	—	—	—	Q22	Q22
Q26：食肉の安全性に関する項目別関心度	Q14	Q14	Q14	Q25	Q23	Q23
Q27：鳥インフルエンザについて知っている知識	—	Q15	Q15	Q26	Q24	Q24
Q29：放射性物質とその影響等についての一般的な知識	Q20	Q20	Q25	Q29	Q28	Q26

平成 30 年度設問	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
Q30：食品中の放射性物質対策や畜産現場での安全確保の取り組みについての知識	—	Q21	Q26	Q30	Q29	Q27
Q31：産地別の食肉の放射能汚染への不安	—	Q24	Q28	Q31	Q30	Q28
Q32：福島県産食肉の放射能汚染への不安解消に必要な事柄	—	Q25	Q29	Q32	Q31	Q29
Q33：社会全体における食肉の安全性の認識	Q21	Q22	Q40	Q42	Q43	Q34
Q34：食品の安全性に係わる問題発生時に用いる情報源	—	—	Q41	Q43	Q44	Q35
Q35：食品の安全性に関して普段用いる情報源	—	—	Q42	Q44	Q45	Q36
Q36：食品の安全性に関して信頼できる情報源	Q22	Q23	Q43	Q45	Q46	Q37
Q37：各機関の取り組みに対する信頼性	Q23	Q27	Q44	Q46	Q47	Q38
Q38：食肉の安全性の情報提供に対する行政への期待	Q24	Q28	Q45	Q47	Q48	Q39
Q39：食肉の安全性を高めるために必要な取組	—	—	—	—	Q49	Q40
Q40：JGAP 認証がオリパラ義務付けされていることの認知	—	—	—	—	—	Q42
Q41：JGAP 認証の商品の購入意向	—	—	—	—	—	Q43
Q49：「ジビエ」のコトバの認知	—	—	—	—	—	Q44
Q50：「ジビエ」の定義の認知	—	—	—	—	—	Q45
Q51：「ジビエ」の喫食頻度	—	—	—	—	—	Q46
Q52：「ジビエ」の喫食機会	—	—	—	—	—	Q47
Q53：「シカ肉」「イノシシ肉」に対するイメージ	—	—	—	—	—	Q48
Q54：「ジビエ」について知っている事柄と魅力に感じる事柄	—	—	—	—	—	Q49
Q55：「ジビエ」のマークの認知	—	—	—	—	—	Q50
Q56：「ジビエ」の購入意向	—	—	—	—	—	Q51
Q57：「ジビエ」の価格許容度	—	—	—	—	—	Q52

図表 12 過年度からの継続設問

2. 考察

2.1 国産牛肉の強みに関する考察

- 牛肉の購入意向がある対象者は国産牛肉のみ購入意向がある対象者と国産牛肉と外国産牛肉のどちらも購入意向がある対象者の2つに大別される。
- 国産和牛は、昨年度と同様、日常の食材としても特別な日の食材としても食べられており、高級感、信頼感、贅沢な旨味、おいしいといったイメージが強みとして捉えられている。
- アメリカ産／オーストラリア産牛肉は、昨年度と同様、日常の食材としてよく食べられており、安価で手に入りやすいといったイメージが強みとして捉えられている。
- 和牛以外の国産牛肉は、昨年度と同様、日常の食材としてよく食べられている。国産和牛に比べると価格が手頃で入手しやすいといったイメージが高く、外国産牛肉と比べると信頼感やおいしいといったイメージが高い。和牛以外の国産牛肉は、国産牛肉、外国産牛肉のそれぞれに対して相対的な強みを持っており、中間に位置していることは変わらない。
- 国産牛肉のみ購入意向がある対象者は、国産牛肉と外国産牛肉のどちらも購入意向がある対象者に比べて、国産和牛に信頼感や味に対する良いイメージをより強く持っている。また、和牛以外の国産牛肉に対しては「価格が手頃」というイメージをより強く持っている。
- 国産和牛肉では、「霜降り」「入手しやすい」「赤身が美味しい」といったイメージを持っていると価格許容度は高くなる。
- 和牛以外の国産牛肉では、「入手しやすい」「霜降り」「中華に合う」「赤身が美味しい」といったイメージを持っていると、価格許容度は高くなる。

ここでいう国産牛肉とは「国産和牛」、及び「和牛以外の国産牛肉」のことである。この2.1では牛肉の購入意向者にとって、国産牛肉のイメージがアメリカ産牛肉やオーストラリア産牛肉といった外国産牛肉のイメージと比べるとどのように差別化されており、どのような点が強みとして評価されているかを把握することを目的とした。

各牛肉のイメージは絶対評価として定まる部分もあるが、それぞれの牛肉のポジショニングから相対的に決まる部分もあると考えられる。例えば、国産和牛のみを比較対象とした時の和牛以外の国産牛肉のイメージと外国産牛肉を比較対象としたときの和牛以外の国産牛肉のイメージはそれぞれ少し異なると考えられる。そこで、ここでは以下の3つの分析を行った。

1)牛肉購入意向者 (Q10) のセグメンテーション

2)セグメント別 (Q10) の国産和牛／和牛以外の国産牛肉の強み分析

3)国産和牛肉／和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q14)

1) 牛肉購入意向者（Q10）のセグメンテーション

先述の通り、各牛肉のイメージは相対的に決まる部分もあると考えられ、牛肉の購入意向者の中でも「どの牛肉を購入対象として比較しているか」によって、イメージは少し異なると考えられる。今回の牛肉の購入意向者の中にも「国産牛肉のみ購入意向あり」「外国産牛肉のみ購入意向あり」「国産牛肉・外国産牛肉のどちらも購入意向あり」の3セグメントが想定される。ここでは、この3セグメントが成立しうるかを検討する。

具体的には国産和牛／和牛以外の国産牛肉／アメリカ産牛肉／オーストラリア産牛肉の購入意向（Q10）について、「非常に購入したい」＋「購入したい」と回答した対象者を「積極購入意向者」と定義した上でクロス集計を行い、各牛肉の積極購入意向者の重複度を見た。

国産和牛の積極購入意向者のうち、今年度・昨年度・一昨年度ともに、和牛以外の国産牛肉の積極購入意向者は約6割、アメリカ産／オーストラリア産牛肉の積極購入意向者は約2割である。

また、和牛以外の国産牛肉の積極購入者のうち、今年度・昨年度・一昨年度ともに、国産和牛の積極購入意向者は9割を超えるのに対して、アメリカ産／オーストラリア産牛肉の積極購入意向者は約3割である。

一方、今年度・昨年度・一昨年度ともに、アメリカ産／オーストラリア産牛肉の積極購入意向者のうち、約8割が国産和牛の積極購入意向者である。

		国産和牛 積極購入意向者	和牛以外の 国産牛肉 積極購入意向者	アメリカ産牛肉 積極購入意向者	オーストラリア 産牛肉 積極購入意向者 (%)
国産和牛 積極購入意向者	H30 (n=1003)	100.0	60.7	21.6	24.5
	H29 (n=940)	100.0	61.1	21.8	25.6
	H28 (n=878)	100.0	58.7	18.7	23.6
和牛以外の国産牛肉 積極購入意向者	H30 (n=670)	90.9	100.0	32.4	35.8
	H29 (n=633)	90.7	100.0	33.0	36.8
	H28 (n=544)	94.7	100.0	29.0	34.7
アメリカ産牛肉 積極購入意向者	H30 (n=260)	83.5	83.5	100.0	88.1
	H29 (n=248)	82.7	84.3	100.0	89.1
	H28 (n=202)	81.2	78.2	100.0	92.6
オーストラリア産牛肉 積極購入意向者	H30 (n=308)	79.9	77.9	74.4	100.0
	H29 (n=300)	80.3	77.7	73.7	100.0
	H28 (n=274)	75.5	69.0	68.2	100.0

図表 13 各牛肉の積極購入意向者の重複度

ここから、今年度も、牛肉購入意向者のうち「外国産牛肉のみ購入意向あり」のセグメントはあまりおらず、「国産牛肉のみ購入意向あり」と「国産・外国産共に購入意向あり」の2つのセグメントがあると考えられる。

そこで、国産和牛と和牛以外の国産牛肉のいずれかで「積極意向者」かつ、アメリカ産牛肉とオーストラリア産牛肉のいずれでも「積極意向者」ではない対象者を「国産牛肉のみ購入意向あり」、国産和牛と和牛以外の国産牛肉のいずれかで「積極意向者」かつ、アメリカ産牛肉とオーストラリア産牛肉のいずれ

れかで「積極意向者」の対象者を「国産・外国産共に購入意向あり」と定義し、この2つのセグメントについて、特徴を抽出すべく各設問とのクロス集計を行ったところ、次のような特徴が見られた。

性別（Q2）は、昨年度同様、国産牛肉のみ購入意向ありは全体に比べて「女性」が多く、国産・外国産共に購入意向ありは全体に比べて「男性」が多い。

年代（Q3）は、昨年度同様、国産牛肉のみ購入意向ありは「平均年齢」が51.0歳だが、国産・外国産共に購入意向ありは「平均年齢」が45.9歳と低い。

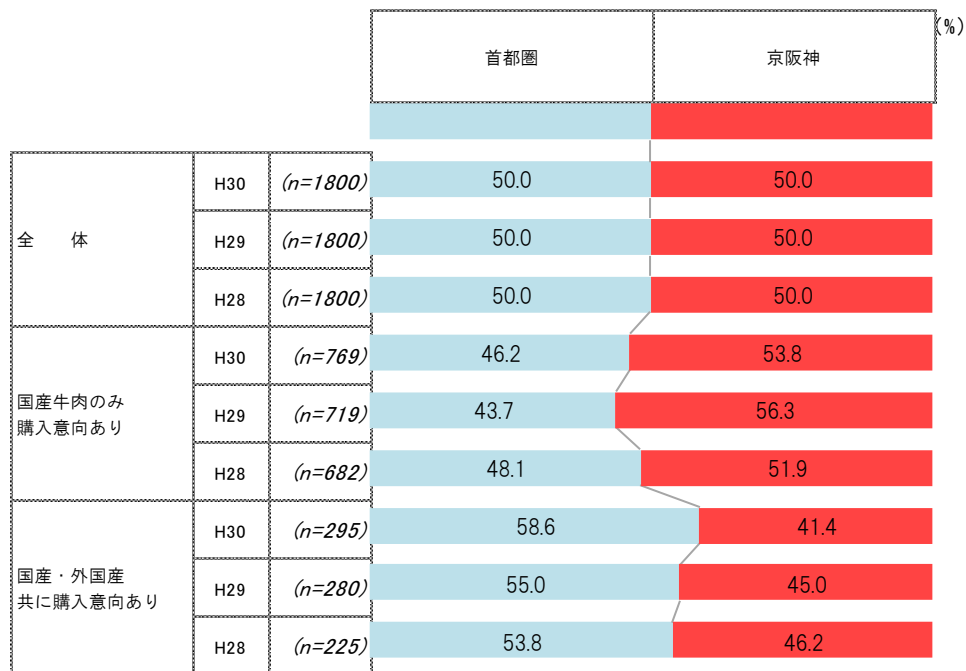
			男性	女性	(%)
全 体	H30	(n=1800)	50.0	50.0	
	H29	(n=1800)	50.0	50.0	
	H28	(n=1800)	50.0	50.0	
国産牛肉のみ 購入意向あり	H30	(n=769)	46.3	53.7	
	H29	(n=719)	48.4	51.6	
	H28	(n=682)	45.7	54.3	
国産・外国産 共に購入意向あり	H30	(n=295)	53.9	46.1	
	H29	(n=280)	53.9	46.1	
	H28	(n=225)	56.4	43.6	

図表 14 性別

			20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	(%)
全 体	H30	(n=1800)	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	49.2
	H29	(n=1800)	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	49.5
	H28	(n=1800)	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	49.6
国産牛肉のみ 購入意向あり	H30	(n=769)	14.7	16.3	13.8	17.7	16.9	20.7	51.0
	H29	(n=719)	14.7	14.0	13.5	17.4	17.4	22.9	52.2
	H28	(n=682)	13.8	15.0	14.7	17.6	16.3	22.7	52.1
国産・外国産 共に購入意向あり	H30	(n=295)	19.0	21.4	17.6	20.0	13.6	8.5	45.9
	H29	(n=280)	21.4	20.4	18.2	16.1	12.9	11.1	45.5
	H28	(n=225)	21.3	16.0	23.6	17.3	12.9	8.9	46.0

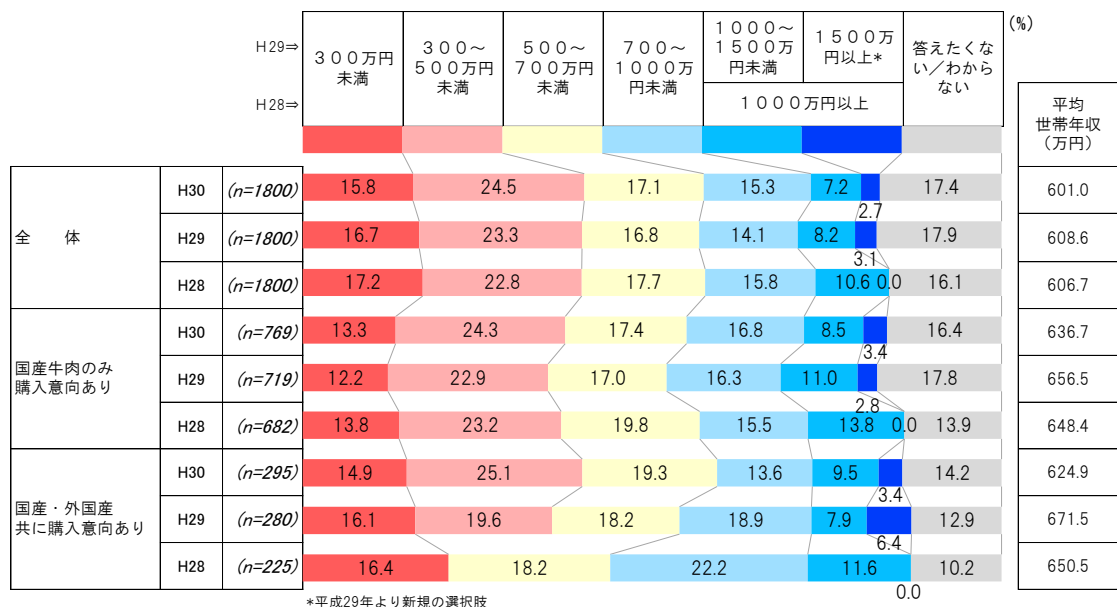
図表 15 年代

居住エリアは、昨年度同様、国産牛肉のみ購入意向ありは国産・外国産共に購入意向ありと比べて「京阪神」が多く、国産・外国産共に購入意向ありは「首都圏」が多い。



図表 16 居住エリア

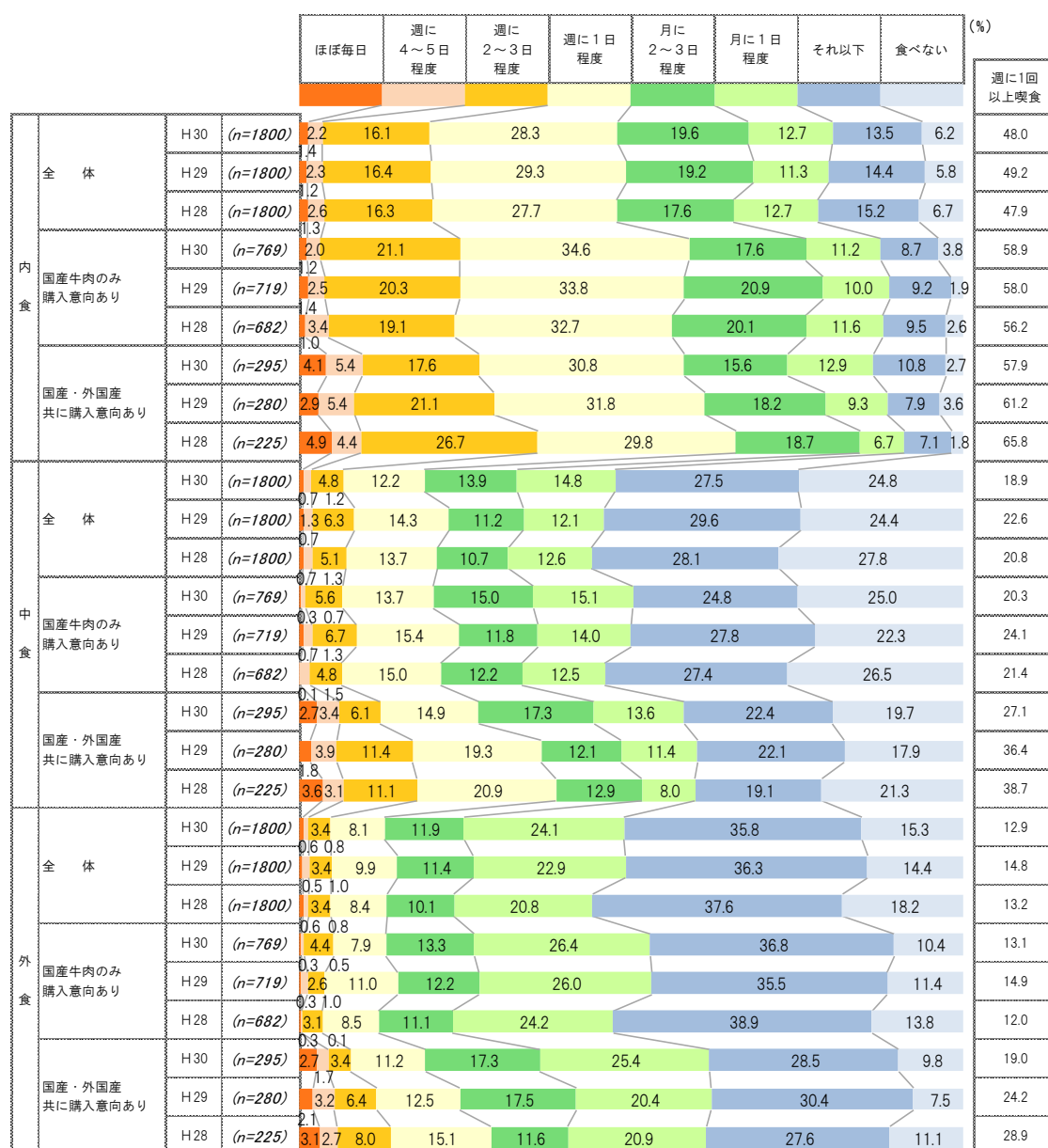
世帯年収 (Q63) は、昨年度同様、国産牛肉のみ購入意向あり、国産・外国産共に購入意向ありのいずれについても、世帯年収カテゴリー別相対頻度に大きな違いはみられない。



図表 17 世帯年収

牛肉喫食頻度（Q4）の内食は、昨年度同様、国産牛肉のみ購入意向あり、国産・外国産共に購入意向あり共に全体よりも「週に1回以上喫食」の割合は高い。これはどちらのセグメントも牛肉の購入意向がある対象者なのに対して、全体には牛肉を喫食しない対象者も含むためである。

セグメント間で「週に1回以上喫食」の割合を比較をすると、今年度は、内食では国産牛肉のみ購入意向ありと国産・外国産共に購入意向ありで違いはみられないが、中食・外食では、国産牛肉のみ購入意向ありより、国産・外国産共に購入意向ありの方が高い。

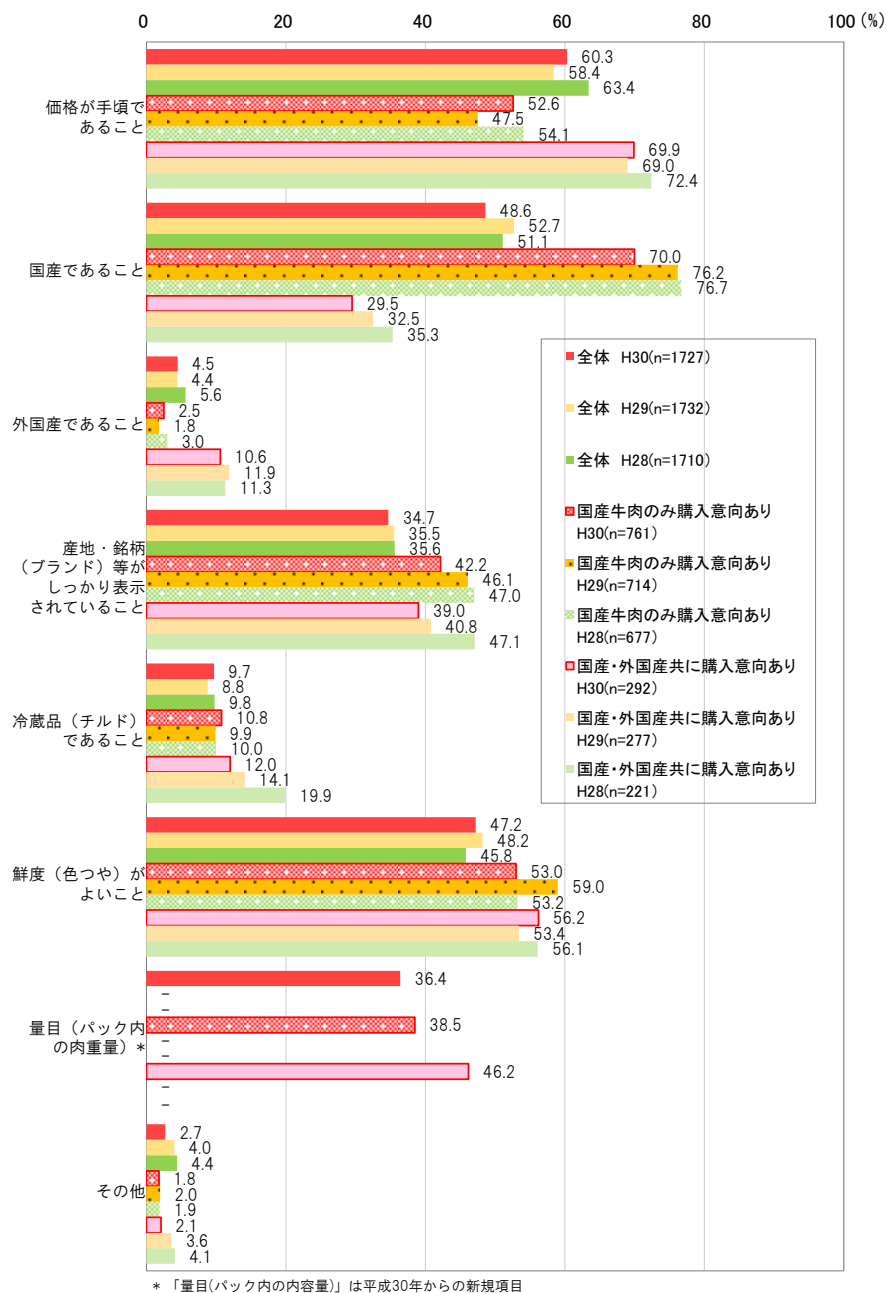


図表 18 牛肉喫食頻度

牛肉購入重視点（Q8）では、昨年度同様、国産牛肉のみ購入意向ありは全体に比べて、「国産であること」「産地・銘柄（ブランド）等がしっかり表示されていること」「鮮度（色つや）がよいこと」が高い。

国産・外国産共に購入意向ありは全体に比べて、昨年度同様、「価格が手頃であること」「産地・銘柄（ブランド）等がしっかり表示されていること」「鮮度（色つや）がよいこと」が高い。

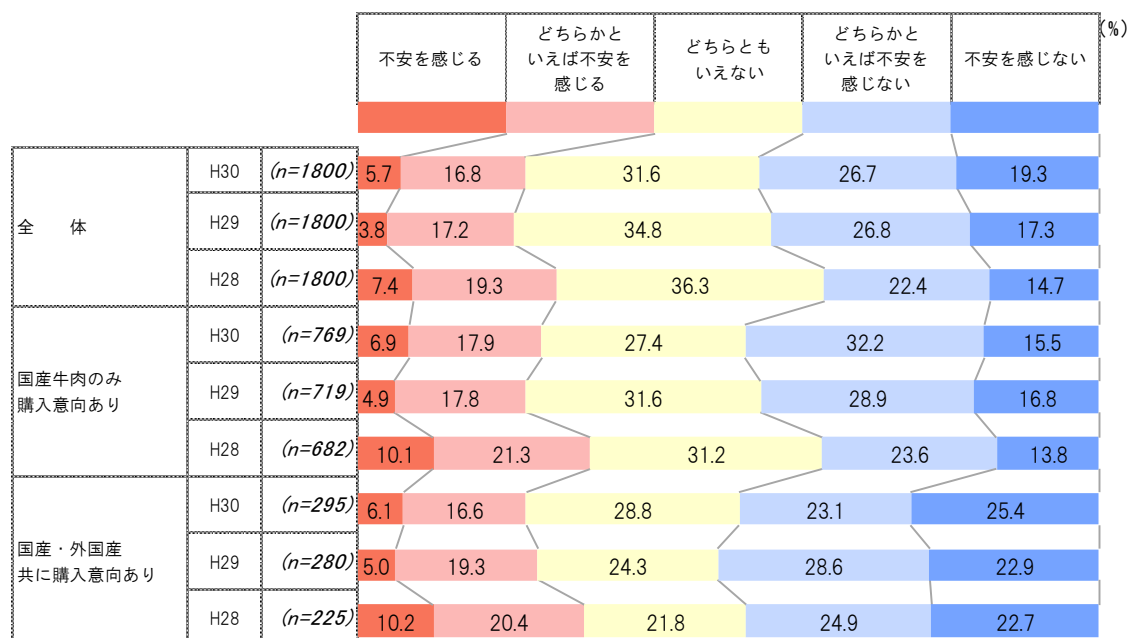
今年度追加した「量目（パック内の肉重量）」は、国産牛肉のみ購入意向ありよりも、国産・外国産共に購入意向ありの方が高い。



図表 19 牛肉購入重視点

牛肉の安全性に対する不安感（Q22）では、国産牛肉のみ購入意向ありは全体に比べて、「どちらかといえば不安を感じない」が多い。

国産・外国産共に購入意向ありは、全体に比べて、「不安を感じない」が多い。



図表 20 牛肉の安全性に対する不安感

上記に挙げたセグメントの特徴を図表 21 にまとめた。

	国産牛肉のみ購入意向あり	国産・外国産共に購入意向あり
性別	女性が多い	男性が多い
年齢	高い	低い
地域	京阪神が多い	首都圏が多い
世帯年収	違いなし	違いなし
牛肉喫食頻度	少ない	多い
購入重視点	国産である 産地・銘柄（ブランド）等が表示されている 鮮度（色つや）がよい	価格が手頃 産地・銘柄（ブランド）等が表示されている 鮮度（色つや）がよい 量目（パック内の肉重量）
牛肉安全性不安	「どちらかといえば不安を感じない」が多い	「不安を感じない」が多い

図表 21 セグメントの特徴

2) セグメント別 (Q10) の国産和牛／和牛以外の国産牛肉の強み分析

続いて、国産牛肉の強みについてセグメント別に分析を行った。

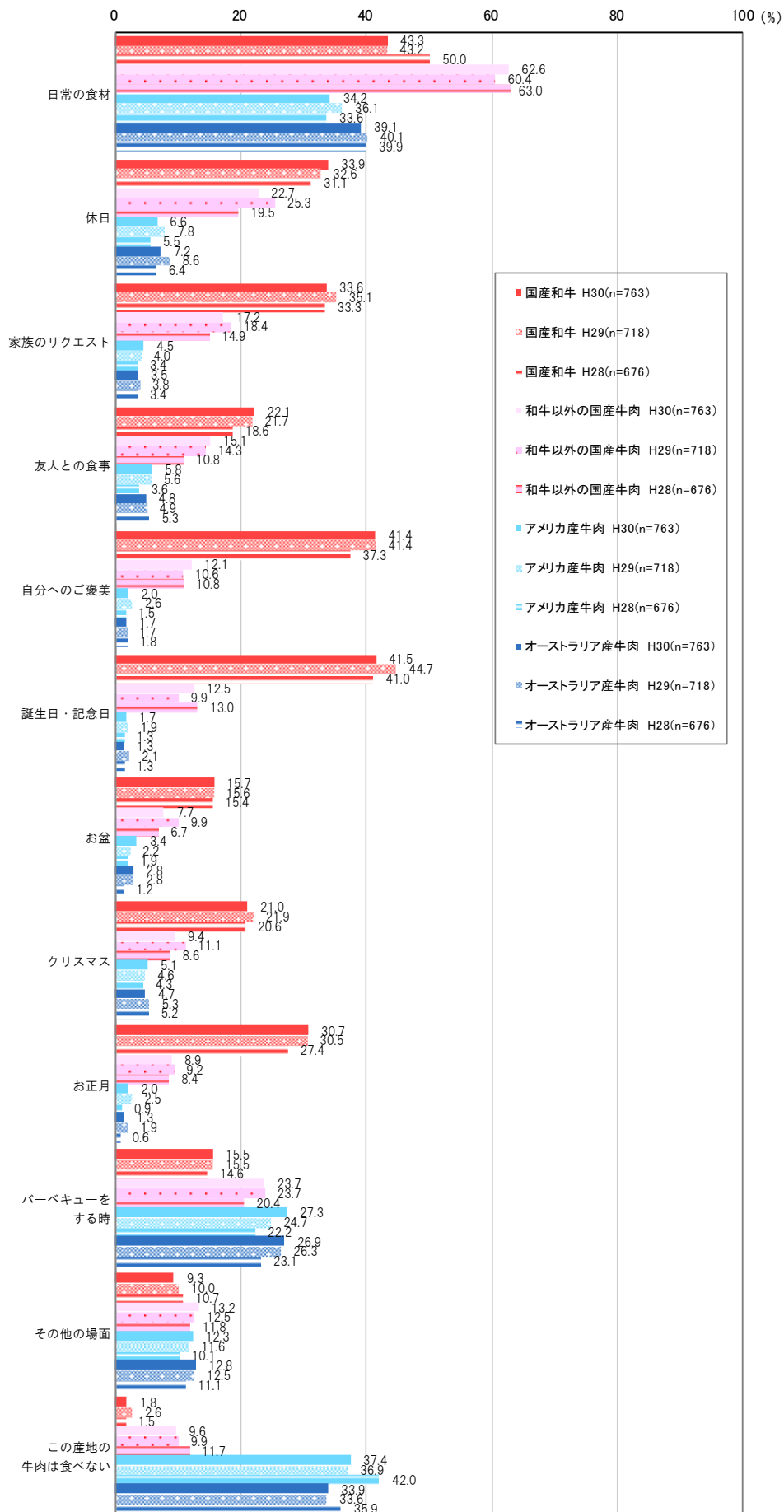
【国産のみ購入意向あり】

国産のみ購入意向ありの対象者の各牛肉の喫食場面 (Q12-1) を見た。

国産和牛は、「日常の食材」「誕生日・記念日」「自分へのご褒美」が4割以上と多く、次いで「休日」「家族のリクエスト」「お正月」が3割以上と多い。日常と特別な日の両方でよく食べられていることが分かる。

和牛以外の国産牛肉も、昨年度同様、「日常の食材」が最も多く、国産和牛よりもその比率は高く6割を超えている。また、和牛以外の国産牛肉は「誕生日・記念日」「自分へのご褒美」「お正月」などの特別な日は1割前後と国産和牛よりも低いことから、和牛以外の国産牛肉の方がより日常的な食材として食べられている。

また、アメリカ産／オーストラリア産牛肉は「食べない」の割合が、昨年同様、3割以上と最も高い。



図表 22 国産のみ購入意向ありの各牛肉の喫食場面

また、国産のみ購入意向ありの対象者の各牛肉のイメージ（Q11）を見たところ、イメージのTOP10は図表23のようになった。

国産和牛は、昨年度同様、「高級品」「おいしい」「安全」「安心」「柔らかい」がTOP5にきており、次いで「霜降り」「高品質」「贅沢感がある」「旨味がある」「信頼がおける」が上位にきており、高級感、信頼感、贅沢な旨味・おいしさが強みと言える。

一方、アメリカ産/オーストラリア産牛肉は、昨年度同様、「価格が手頃」がTOP1で50%以上と高いイメージで、次いで「特売」「入手しやすい」が高く、安価で手に入りやすいという点が強みと言える。

和牛以外の国産牛肉は、昨年度同様、「安心」「安全」「おいしい」がTOP3で、次いで「スタミナ源」「筋肉や骨をつくる」といった健康機能イメージや、「信頼がおける」や、「価格が手頃」「入手しやすい」といった価格イメージが上位に来ている。「おいしい」「安心」「安全」はTOP3のイメージではあるが、国産和牛と比べるとその割合は低く、アメリカ産/オーストラリア産牛肉と比べると「価格が手頃」「入手しやすい」の割合は低い。

ここから、和牛以外の国産牛肉の強みは、国産和牛に比べると「価格」が手頃で「入手しやすく」、外国産牛肉と比べると「安心」「安全」で「信頼」がおけ、「おいしい」という相対的な強みであり、両者の中間に位置していることは変わらない。

	国産和牛			和牛以外の国産牛肉		
	(H30)	(H29)	(H28)	(H30)	(H29)	(H28)
1位	価格/高級品(61.0%)	価格/高級品(64.0%)	品質/安心(65.7%)	品質/安心(34.5%)	味・風味/おいしい(34.1%)	品質/安心(34.2%)
2位	味・風味/おいしい(58.4%)	品質/安心(59.9%)	価格/高級品(65.5%)	品質/安全(32.6%)	品質/安心(33.5%)	品質/安全(32.8%)
3位	品質/安全(57.6%)	味・風味/おいしい(59.5%)	情緒/信頼がおける(61.4%)	味・風味/おいしい(30.4%)	品質/安全(32.8%)	味・風味/おいしい(29.6%)
4位	品質/安心(57.5%)	品質/安全(58.7%)	味・風味/おいしい(60.1%)	健康/美容/スタミナ源(26.8%)	健康/美容/スタミナ源(28.2%)	情緒/信頼がおける(28.4%)
5位	食感/柔らかい(54.1%)	食感/柔らかい(58.0%)	品質/安全(60.0%)	健康/美容/筋肉や骨作る(23.0%)	価格/価格が手頃(24.5%)	価格/価格が手頃(28.3%)
6位	部位/栄養素/霜降り(52.5%)	部位/栄養素/霜降り(54.0%)	食感/柔らかい(56.6%)	情緒/信頼がおける(23.0%)	利便性/入手しやすい(24.5%)	健康/美容/スタミナ源(27.4%)
7位	品質/高品質(51.9%)	品質/高品質(53.4%)	情緒/贅沢感がある(55.3%)	価格/価格が手頃(22.4%)	健康/美容/筋肉や骨をつくる(24.1%)	利便性/入手しやすい(26%)
8位	情緒/贅沢感がある(49.0%)	情緒/贅沢感がある(50.6%)	部位/栄養素/霜降り(54.1%)	利便性/入手しやすい(21.8%)	味・風味/旨味がある(21.8%)	健康/美容/筋肉や骨をつくる(22.4%)
9位	味・風味/旨味がある(45.1%)	味・風味/旨味がある(49.0%)	品質/高品質(50.0%)	食感/柔らかい(20.4%)	品質/新鮮(21.4%)	品質/新鮮(18.9%)
10位	情緒/信頼がおける(43.2%)	品質/産地や生産者がわかる(48.0%)	品質/産地や生産者がわかる(45.7%)	利便性/和食に合う(20.4%)	情緒/信頼がおける(21.0%)	食感/柔らかい(18.8%)
	アメリカ産牛肉			オーストラリア産牛肉		
	(H30)	(H29)	(H28)	(H30)	(H29)	(H28)
1位	価格/価格が手頃(51.2%)	価格/価格が手頃(51.6%)	価格/価格が手頃(53.4%)	価格/価格が手頃(53.4%)	価格/価格が手頃(54.1%)	価格/価格が手頃(55.4%)
2位	価格/特売(32.4%)	利便性/入手しやすい(33.7%)	価格/特売(33.7%)	利便性/入手しやすい(29.4%)	利便性/入手しやすい(33.1%)	利便性/入手しやすい(35.2%)
3位	利便性/入手しやすい(28.6%)	価格/特売(31.3%)	利便性/入手しやすい(32.8%)	価格/特売(28.1%)	価格/特売(30.3%)	価格/特売(32.7%)
4位	健康/美容/スタミナ源(23.8%)	部位/栄養素/赤身が多い(25.3%)	健康/美容/スタミナ源(23.2%)	部位/栄養素/赤身が多い(23.7%)	部位/栄養素/赤身が多い(26.1%)	部位/栄養素/赤身が多い(22.9%)
5位	味・風味/肉々しい(23.3%)	健康/美容/スタミナ源(25.0%)	部位/栄養素/赤身が多い(21.8%)	健康/美容/スタミナ源(21.5%)	健康/美容/スタミナ源(22.9%)	健康/美容/スタミナ源(21.6%)
6位	部位/栄養素/赤身が多い(22.2%)	味・風味/肉々しい(23.4%)	情緒/若者向き(18.5%)	利便性/洋食に合う(20.3%)	利便性/洋食に合う(20.9%)	情緒/若者向き(18%)
7位	情緒/若者向き(21.3%)	利便性/洋食に合う(21.8%)	健康/美容/筋肉や骨をつくる(18.2%)	情緒/若者向き(20.0%)	情緒/若者向き(20.0%)	健康/美容/筋肉や骨をつくる(17.3%)
8位	利便性/洋食に合う(19.6%)	情緒/若者向き(20.7%)	味・風味/肉々しい(17.9%)	味・風味/肉々しい(19.9%)	健康/美容/筋肉や骨をつくる(19.3%)	利便性/洋食に合う(16.9%)
9位	健康/美容/筋肉や骨作る(18.2%)	健康/美容/筋肉や骨をつくる(19.6%)	利便性/洋食に合う(17.2%)	健康/美容/筋肉や骨作る(18.2%)	味・風味/肉々しい(18.4%)	味・風味/肉々しい(13.9%)
10位	情緒/男性向き(16.8%)	情緒/男性向き(16.3%)	情緒/男性向き(15.4%)	情緒/男性向き(14.4%)	情緒/男性向き(13.8%)	情緒/男性向き(12.6%)

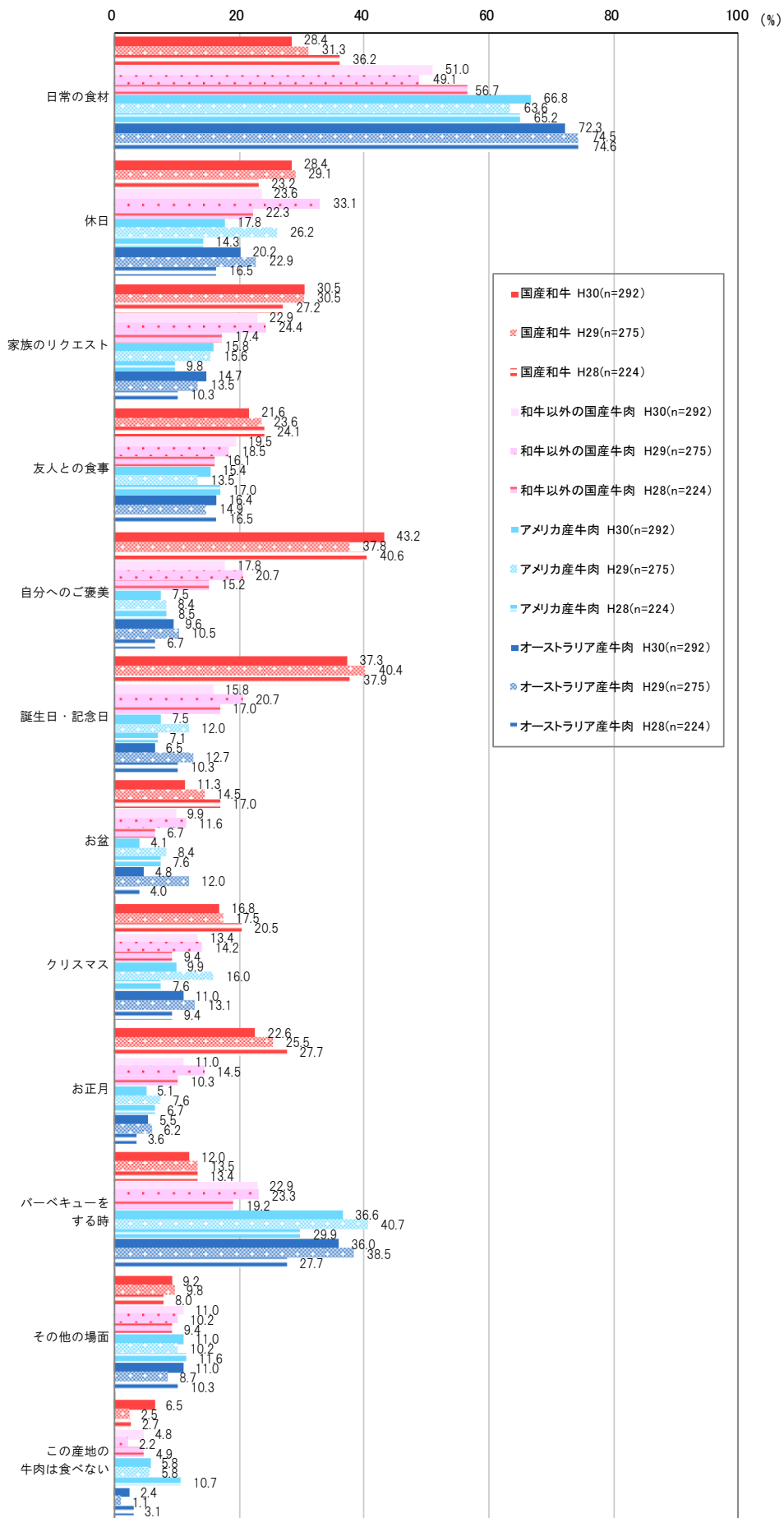
図表 23 「国産のみ購入意向あり」セグメントの各牛肉のイメージ TOP10

【国産・外国産共に購入意向あり】

国産・外国産共に購入意向ありの対象者の各牛肉の喫食場面（Q12-1）を見たところ、昨年度同様、国産和牛は「自分へのご褒美」「誕生日・記念日」「家族のリクエスト」が多く、次いで「日常の食材」と続いており、特別な日／日常の両方で食べられているが、特別な日の方がより多く食べられている。

一方、昨年度同様、和牛以外の国産牛肉、アメリカ産／オーストラリア産牛肉は、いずれも「日常の食材」が最も多い。

また、和牛以外の国産牛肉は、アメリカ産／オーストラリア産牛肉と比べると「自分へのご褒美」「誕生日・記念日」「お正月」「家族のリクエスト」などの利用が高く、やや特別な日に食べる肉として捉えられている。



図表 24 国産・外国産共に購入意向ありの各牛肉の喫食場面

また、国産・外国産共に購入意向ありの対象者の各牛肉のイメージ（Q11）を見たところ、イメージのTOP10は図表25のようになった。

ここから考えられる各牛肉の強みは、昨年度と同様、国産のみ購入意向ありの場合と大きく変わらず、国産和牛は、高級感、信頼感、贅沢な旨味・おいしさ、アメリカ産/オーストラリア産牛肉は安価で手に入りやすい、和牛以外の国産牛肉は、国産和牛と外国産牛肉の両者の中間に位置していることは変わらない。

	国産和牛			和牛以外の国産牛肉		
	(H30)	(H29)	(H28)	(H30)	(H29)	(H28)
1位	価格/高級品(58.3%)	価格/高級品(57.9%)	価格/高級品(60.4%)	味・風味/おいしい(37.3%)	味・風味/おいしい(39.3%)	味・風味/おいしい(36.9%)
2位	味・風味/おいしい(52.9%)	味・風味/おいしい(51.4%)	味・風味/おいしい(51.1%)	品質/安全(32.2%)	品質/安全(33.6%)	品質/安心(32.0%)
3位	品質/高品質(49.5%)	食感/柔らかい(50.4%)	品質/安心(50.2%)	品質/安心(29.5%)	品質/安心(32.5%)	利便性/入手しやすい(29.3%)
4位	食感/柔らかい(48.5%)	部位・栄養素/霜降り(50.4%)	情緒/贅沢感がある(49.3%)	健康・美容/スタミナ源(28.5%)	健康・美容/スタミナ源(28.9%)	品質/安全(28.9%)
5位	部位・栄養素/霜降り(46.4%)	品質/高品質(46.4%)	情緒/信頼がおける(48.4%)	健康・美容/筋肉や骨作る(26.1%)	健康・美容/筋肉や骨をつくる(28.2%)	健康・美容/スタミナ源(28.4%)
6位	品質/安心(46.1%)	品質/安全(45.7%)	部位・栄養素/霜降り(47.1%)	食感/柔らかい(24.1%)	品質/高品質(24.3%)	情緒/信頼がおける(28.0%)
7位	品質/安全(45.4%)	情緒/贅沢感がある(45.7%)	食感/柔らかい(46.7%)	品質/新鮮(23.7%)	利便性/和食に合う(23.6%)	品質/新鮮(24.0%)
8位	情緒/贅沢感がある(41.4%)	品質/安心(45.0%)	品質/安全(44.0%)	品質/高品質(23.4%)	情緒/信頼がおける(23.6%)	味・風味/旨味がある(21.8%)
9位	味・風味/旨味がある(38.6%)	味・風味/旨味がある(39.6%)	品質/高品質(42.7%)	利便性/洋食に合う(22.7%)	食感/柔らかい(22.9%)	価格/価格が手頃(20.9%)
10位	品質/産地生産者がわかる(38.3%)	情緒/信頼がおける(38.2%)	味・風味/あぶらが美味しい(40.0%)	味・風味/旨味がある(22.4%)	品質/産地や生産者がわかる(22.1%)	品質/衛生的(20.0%)

	アメリカ産牛肉			オーストラリア産牛肉		
	(H29)	(H28)	(H30)	(H29)	(H28)	
1位	価格/価格が手頃(51.5%)	価格/価格が手頃(56.0%)	価格/価格が手頃(57.6%)	価格/価格が手頃(57.1%)	価格/価格が手頃(56.9%)	
2位	味・風味/肉々しい(34.9%)	利便性/入手しやすい(39.3%)	利便性/入手しやすい(42.7%)	利便性/入手しやすい(34.9%)	利便性/入手しやすい(44.4%)	
3位	価格/特売(32.2%)	価格/特売(38.2%)	価格/特売(34.2%)	部位・栄養素/赤身が多い(30.8%)	価格/特売(34.2%)	
4位	利便性/入手しやすい(31.9%)	健康・美容/スタミナ源(32.1%)	健康・美容/スタミナ源(28.4%)	健康・美容/スタミナ源(30.8%)	利便性/洋食に合う(32.5%)	
5位	健康・美容/スタミナ源(30.5%)	利便性/洋食に合う(31.1%)	部位・栄養素/赤身が多い(25.8%)	味・風味/おいしい(30.2%)	部位・栄養素/赤身が多い(30.4%)	
6位	利便性/洋食に合う(30.5%)	味・風味/肉々しい(30.4%)	味・風味/肉々しい(25.8%)	価格/特売(29.2%)	健康・美容/スタミナ源(30.0%)	
7位	部位・栄養素/赤身が多い(29.8%)	部位・栄養素/赤身が多い(30.0%)	利便性/洋食に合う(24.9%)	利便性/洋食に合う(27.8%)	味・風味/おいしい(28.9%)	
8位	味・風味/おいしい(29.8%)	味・風味/おいしい(28.2%)	味・風味/おいしい(21.8%)	味・風味/肉々しい(26.4%)	健康・美容/筋肉や骨をつくる(26.4%)	
9位	健康・美容/筋肉や骨作る(27.5%)	健康・美容/筋肉や骨をつくる(28.2%)	味・風味/赤身が美味しい(21.3%)	健康・美容/筋肉や骨作る(24.7%)	味・風味/赤身が美味しい(26.1%)	
10位	情緒/若者向き(22.7%)	情緒/若者向き(26.8%)	情緒/若者向き(20.9%)	味・風味/赤身が美味しい(18.6%)	味・風味/肉々しい(25.4%)	
			情緒/若者向き(18.6%)			

図表 25 国産・外国産共に購入意向ありの各牛肉のイメージ

【セグメント間の比較】

国産和牛のイメージについて、国産のみ購入意向ありの対象者のスコアと国産・外国産共に購入意向ありの対象者のスコアで差分を取った時に、差分の大きい項目を図表 26 に示した。昨年度同様、国産のみ購入意向ありの対象者は、国産和牛に対して「安全」「安心」「信頼がおける」といった信頼感に関するイメージをより強く持っていると考えられる。また、「贅沢感」「旨味」「霜降り」「赤身が美味しい」「柔らかい」「おいしい」という味に関するイメージもより強く持っていると考えられる。

一方、国産・外国産共に購入意向ありの対象者は、国産和牛に対して「あぶら身が多い」というイメージをより強く持っていると考えられる。

(H30)				(H29)			
項目：国産和牛	A.国産のみ 購入意向あり	B.国産・外国産 共に購入意向 あり	差分(B-A)	項目：国産和牛	A.国産のみ 購入意向あり	B.国産・外国産 共に購入意向 あり	差分(B-A)
品質／安全	57.6	45.4	-12.2	品質／安心	59.9	45.0	-14.9
品質／安心	57.5	46.1	-11.4	品質／安全	58.7	45.7	-13.0
情緒／信頼がおける	43.2	33.9	-9.3	品質／産地や生産者がわかる	48.0	36.8	-11.2
情緒／贅沢感がある	49.0	41.4	-7.6	品質／新鮮	39.6	30.0	-9.6
味・風味／旨味がある	45.1	38.6	-6.5	味・風味／旨味がある	49.0	39.6	-9.4
部位・栄養素／霜降り	52.5	46.4	-6.1	味・風味／おいしい	59.5	51.4	-8.1
味・風味／赤身が美味しい	26.8	20.7	-6.1	情緒／信頼がおける	46.0	38.2	-7.8
食感／柔らかい	54.1	48.5	-5.6	情緒／少量で満足	32.8	25.0	-7.8
味・風味／おいしい	58.4	52.9	-5.5	食感／柔らかい	58.0	50.4	-7.6
品質／衛生的	37.5	32.2	-5.3	品質／高品質	53.4	46.4	-7.0
情緒／少量で満足	30.4	25.1	-5.3	品質／衛生的	34.9	28.6	-6.3
部位・栄養素／あぶら身が多い	14.8	22.4	7.6	価格／高級品	64.0	57.9	-6.1
				利便性／洋食に合う	23.1	17.1	-6.0
				品質／飼育環境がよい	37.0	31.1	-5.9
				部位・栄養素／栄養価が高い	26.3	20.7	-5.6
				味・風味／赤身が美味しい	26.0	20.7	-5.3
				情緒／食べやすい・食べ疲れしない	28.7	23.6	-5.1
				部位・栄養素／あぶら身が多い	15.2	20.7	5.5

(H28)			
項目：国産和牛	A.国産のみ 購入意向あり	B.国産・外国産 共に購入意向 あり	差分(B-A)
品質／安全	60.0	44.0	-16.0
品質／安心	65.7	50.2	-15.5
情緒／信頼がおける	61.4	48.4	-13.0
品質／産地や生産者がわかる	45.7	35.1	-10.6
食感／柔らかい	56.6	46.7	-9.9
味・風味／おいしい	60.1	51.1	-9.0
品質／高品質	50.0	42.7	-7.3
部位・栄養素／霜降り	54.1	47.1	-7.0
情緒／食べやすい・食べ疲れしない	31.1	24.9	-6.2
情緒／贅沢感がある	55.3	49.3	-6.0
品質／新鮮	42.2	36.4	-5.8
価格／高級品	65.5	60.4	-5.1
部位・栄養素／栄養価が高い	24.6	19.6	-5.0
部位・栄養素／あぶら身が多い	15.5	20.9	5.4

図表 26 国産和牛のイメージでセグメント間の差分が大きかった項目

同じく和牛以外の国産牛肉についてもスコアの差分を取ったところ、差分の大きかった項目は以下の項目だった。今年度は、国産のみ購入意向ありの対象者は、和牛以外の国産牛肉に対して「安心」というイメージをより強く持っていると言える。

一方、国産・外国産共に購入意向ありの対象者は、昨年度同様、「おいしい」「高品質」というイメージをより強く持っており、「栄養価が高い」「高級品」というイメージも強く、「外国産牛肉」と比較しての相対評価であると考えられる。

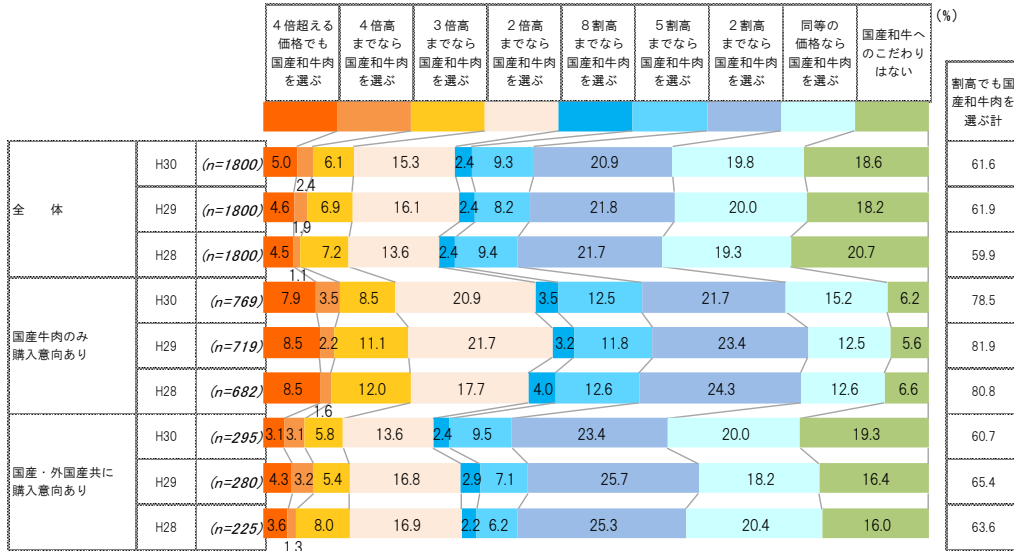
(H30) (%)				(H29) (%)			
項目：和牛以外の国産和牛	A.国産のみ 購入意向あり	B.国産・外国産共 に購入意向あり	差分(B-A)	項目：和牛以外の国産和牛	A.国産のみ 購入意向あり	B.国産・外国産共 に購入意向あり	差分(B-A)
品質／安心	34.5	29.5	-5.0	価格／価格が手頃	24.5	14.6	-9.9
価格／高級品	11.2	16.6	5.4	味・風味／おいしい	34.1	39.3	5.2
部位・栄養素／栄養価が高い	12.4	18.6	6.2	利便性／和食に合う	17.1	23.6	6.5
品質／高品質	16.9	23.4	6.5	情緒／贅沢感がある	7.8	14.3	6.5
味・風味／おいしい	30.4	37.3	6.9	価格／高級品	9.9	17.1	7.2
				品質／高品質	12.9	24.3	11.4

(H28) (%)			
項目：和牛以外の国産和牛	A.国産のみ 購入意向あり	B.国産・外国産共 に購入意向あり	差分(B-A)
価格／価格が手頃	28.3	20.9	-7.4
品質／新鮮	18.9	24.0	5.1
健康・美容／美容によい	5.3	10.7	5.4
味・風味／おいしい	29.6	36.9	7.3
味・風味／旨味がある	14.1	21.8	7.7

図表 27 和牛以外の国産牛肉のイメージでセグメント間の差分が大きかった項目

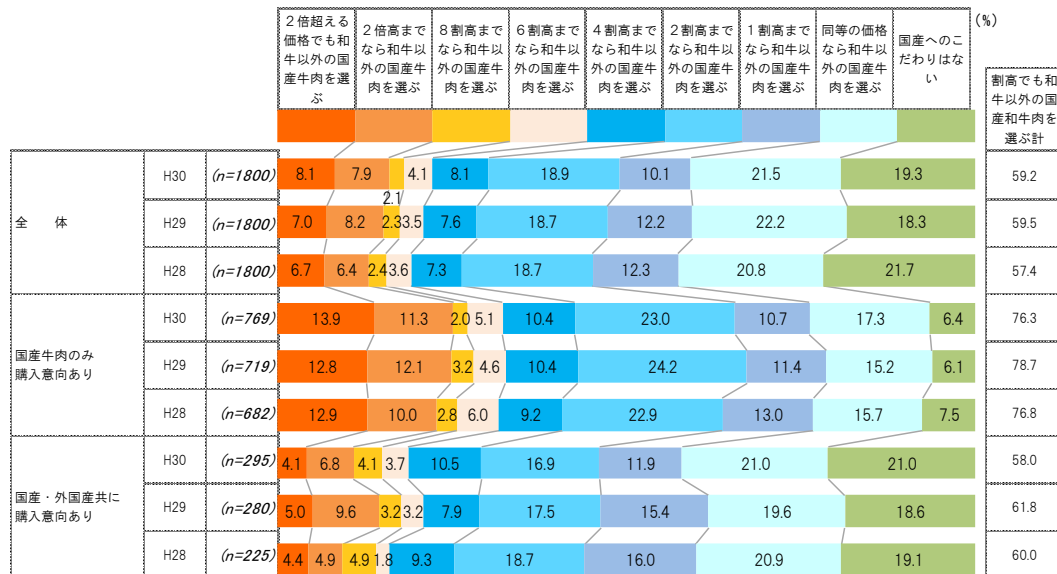
3) 国産和牛肉／和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（Q14）

国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（Q14）とセグメントのクロス集計を行った。その結果、今年度・昨年度・一昨年度ともに、全体の約6割が「割高でも国産和牛肉を選ぶ」と回答した。また、セグメント別では「国産のみ購入意向あり」セグメントの約8割が「割高でも国産和牛肉を選ぶ」と回答した。



図表 28 セグメント別国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度

また、和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（Q15）とセグメントについてもクロス集計を行った。その結果、今年度・昨年度・一昨年度ともに、全体の約6割が「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」と回答した。また、セグメント別では「国産のみ購入意向あり」セグメントの8割弱が「割高でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」と回答した。



図表 29 セグメント別和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度

さらに、国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（Q14）ならびに和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（Q15）を目的変数とし、国産牛肉に対するイメージ（Q11）と、回答者属性（性別（Q2）・年齢（Q3）・居住地域（Q1）・世帯年収（Q63））を説明変数として順序プロビット回帰分析を行った。ただし、同分析で計測された回帰係数はそのままでは解釈できないため、各説明変数の限界効果を計算し、目的変数に及ぼす効果の大きさを定量的に確認した。

<順序プロビット回帰分析に用いた目的変数・説明変数>

国産牛肉に対する価格許容度に関する質問回答（Q14,Q15）を順序カテゴリカルな目的変数とした。

説明変数のうち、回答者の性別（男性:0、女性:1）と居住エリア（京浜圏:0、京阪神:1）、国産牛肉に対する各イメージ項目（当該イメージなし:0、当該イメージあり:1）（Q11(1),(2)）は、二値の変数としている。これらの説明変数の限界効果は、当該変数値が0から1に変化した場合に回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率がどれだけ変化するかを示す。回答者の年齢に関しては1歳刻みの連続変数として説明変数に加えており、その限界効果は、年齢が1歳増加した場合に回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率の変化分である。

また、世帯年収について「7 分からない、答えたくない」と回答しているサンプルは分析から除外し、残りの6つの世帯年収カテゴリーを二値変数化（当該カテゴリーを非選択:0、当該カテゴリーを選択:1）して分析に用いる。ただし、世帯年収カテゴリー1～6をすべて投入すると識別性の問題によりモデルが推定できなくなるため、世帯年収カテゴリー「2 世帯年収 300 万円以上 500 万円未満」変数を除外した上で分析を行った。したがって、各世帯年収カテゴリーの限界効果は「世帯年収 300 万円以上 500 万円未満」と比較して、当該世帯年収カテゴリーの回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率がどれだけ増減するかを示す。

なお、各説明変数の限界効果の計算の際には、該当する説明変数以外の説明変数にはサンプル平均値を投入している。サンプルサイズは1,487である。

■国産和牛における最大の強みと価格許容度の順序プロビット回帰分析

少なくとも 10%水準で 0 と有意差のあった「国産和牛に対するイメージ」項目と、回答者属性に関する限界効果を図表 30 に示す。

「霜降り」「入手しやすい」「赤身が美味しい」というイメージを持っていると、当該イメージを持っていない場合に比べて、価格許容度が高くなることが確認できた。一方、「栄養価が高い」というイメージは、価格許容度に対してマイナスに働くことが確認できた。

回答者属性に着目すると、首都圏居住者に比べて京阪神圏居住者が、年齢が高い方が、世帯年収が高所得層ほど、価格許容度が高くなる傾向があることが確認できた。

説明変数	Q14 国産和牛肉の価格許容度								
	1 国産和牛肉へのこだわりはない	2 同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ	3 2割高までなら国産和牛肉を選ぶ	4 5割高までなら国産和牛肉を選ぶ	5 8割高までなら国産和牛肉を選ぶ	6 2倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	7 3倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	8 4倍高までなら国産和牛肉を選ぶ	9 4倍を超える価格でも国産和牛肉を選ぶ
霜降り	-0.045	-0.034	-0.011	0.006	0.003	0.030	0.019	0.009	0.023
栄養価が高い	0.040	0.024	0.002	-0.007	-0.003	-0.024	-0.013	-0.006	-0.013
赤身が美味しい	-0.035	-0.025	-0.007	0.005	0.002	0.023	0.014	0.006	0.016
入手しやすい	-0.043	-0.032	-0.009	0.006	0.003	0.029	0.018	0.008	0.021
京阪神	-0.024	-0.016	-0.003	0.004	0.002	0.015	0.009	0.004	0.009
女性	-0.014	-0.009	-0.002	0.002	0.001	0.009	0.005	0.002	0.005
年齢	-0.003	-0.002	0.000	0.000	0.000	0.002	0.001	0.000	0.001
世帯年収300万円未満	0.056	0.032	0.003	-0.010	-0.004	-0.033	-0.018	-0.008	-0.018
世帯年収500～700万円未満	-0.048	-0.035	-0.010	0.007	0.003	0.032	0.020	0.009	0.023
世帯年収700～1000万円未満	-0.056	-0.042	-0.014	0.008	0.004	0.038	0.024	0.011	0.029
世帯年収1000～1500万円未満	-0.086	-0.075	-0.035	0.007	0.005	0.059	0.043	0.021	0.061
世帯年収1500万円以上	-0.128	-0.146	-0.114	-0.017	0.001	0.074	0.084	0.049	0.197

* 10%水準で有意となったセルを着色、5%水準で有意となったセルを太字にしている

図表 30 国産和牛肉の価格許容度に関する順序プロビット回帰分析の限界効果

■和牛以外の国産牛肉における最大の強みと価格許容度の順序プロビット分析

少なくとも 10%水準で 0 と有意差のあった「和牛以外の国産牛肉に対するイメージ」項目と、回答者属性に関する限界効果を図表 31 に示す。

「入手しやすい」「霜降り」「中華に合う」「赤身が美味しい」というイメージを持っていると、当該イメージを持っていない場合に比べて、価格許容度が高くなることが確認できた。

一方、「高級品」というイメージは、価格許容度に対してマイナスに働くことが確認できた。

回答者属性に着目すると、年齢が高い方が、世帯年収が高所得層ほど、価格許容度が高くなる傾向があることが確認できた。

説明変数	Q15 和牛以外の国産牛肉の価格許容度								
	1 国産へのこだわりはない	2 同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	3 1割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	4 2割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	5 4割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	6 6割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	7 8割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	8 2倍高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ	9 2倍を超える価格でも国産牛肉を選ぶ
霜降り	-0.038	-0.027	-0.005	0.006	0.010	0.006	0.004	0.018	0.027
高級品	0.046	0.025	0.003	-0.011	-0.012	-0.007	-0.004	-0.017	-0.023
赤身が美味しい	-0.034	-0.024	-0.004	0.006	0.009	0.006	0.004	0.016	0.023
入手しやすい	-0.050	-0.035	-0.007	0.008	0.013	0.008	0.005	0.023	0.035
中華に合う	-0.038	-0.027	-0.005	0.006	0.010	0.006	0.004	0.018	0.027
京阪神	-0.020	-0.013	-0.002	0.004	0.005	0.003	0.002	0.009	0.012
女性	-0.025	-0.016	-0.002	0.005	0.007	0.004	0.002	0.011	0.015
年齢	-0.003	-0.002	0.000	0.001	0.001	0.000	0.000	0.001	0.002
世帯年収300万円未満	0.048	0.027	0.003	-0.012	-0.012	-0.007	-0.004	-0.019	-0.024
世帯年収500～700万円未満	-0.032	-0.022	-0.004	0.006	0.008	0.005	0.003	0.014	0.021
世帯年収700～1000万円未満	-0.053	-0.039	-0.007	0.008	0.014	0.009	0.006	0.025	0.038
世帯年収1000～1500万円未満	-0.086	-0.073	-0.018	0.003	0.021	0.015	0.010	0.046	0.081
世帯年収1500万円以上	-0.128	-0.140	-0.047	-0.037	0.021	0.020	0.015	0.084	0.212

* 10%水準で有意となったセルを着色、5%水準で有意となったセルを太字にしている

図表 31 和牛以外の国産牛肉の価格許容度に関する順序プロビット回帰分析の限界効果

2.2 「和牛」と「WAGYU」の違いに関する考察

【「WAGYU」の定義の説明文を提示前】

- ・ 「WAGYU」というコトバの認知度は、全体の 25.9%（「詳しく知っている」 1.4%+「ある程度知っている」 9.6%+「何となく知っている」 15.0%）。
- ・ 「WAGYU」に対するイメージは、「よくわからない」が全体の 42.2%を占めたが、「「和牛」を海外で生産したものである」が 17.2%、「「和牛」を海外向けに表示したものである」が 16.1%が多い。
- ・ 「WAGYU」の喫食経験は、「食べたことがない」が 77.3%。「オーストラリア」が 3.4%、「アメリカ」が 2.9%。

【「WAGYU」の定義の説明文を提示後】

- ・ 「WAGYU」の定義の説明文を提示した後で聞いた定義の認知度は、全体の 15.8%（「詳しく知っている」 1.3%+「ある程度知っている」 5.4%+「何となく知っている」 9.0%）
- ・ 「WAGYU」が日本国内で購入・食べられるようになったとしたらと仮定しての「WAGYU」の購入意向は、同程度以上の価格（割高+同程度）の購入意向計が 16.1%、「安ければ購入したい・食べたい」も含めた購入意向計は全体の 58.5%。
- ・ 「WAGYU」に対して、「「和牛」と同等の品質の牛肉である」、「「和牛もどき」で全く別種の牛肉である」「「和牛」とは異なる品質の牛肉である」、というイメージを持っていると、価格許容度が高くなる。

2.2 では、「WAGYU」の認知を把握すること、及び「和牛」と「WAGYU」に対して消費者が持つイメージの違いを探ることを目的とし、そのために以下の 5 つの分析を行った。

- 1) 「WAGYU」のコトバの認知度（Q42）の地域・年代別分析
- 2) 「和牛」と比較して「WAGYU」に対するイメージ（Q43）の地域・年代別分析
- 3) 「WAGYU」の喫食地域（Q45）の地域・年代別分析
- 4) 「WAGYU」の定義の認知度（Q46）の地域・年代別分析
- 5) 「WAGYU」の購入意向（Q47）と価格許容度（Q48）の地域・年代別分析

1) 「WAGYU」のコトバの認知度（Q42）の地域・年代別分析

アルファベット表記の「WAGYU」というコトバの認知度（Q42）は、「詳しく知っている」が1.4%、「ある程度知っている」が9.6%、「何となく知っている」が15.0%で、認知度計は全体の26.0%となっている。

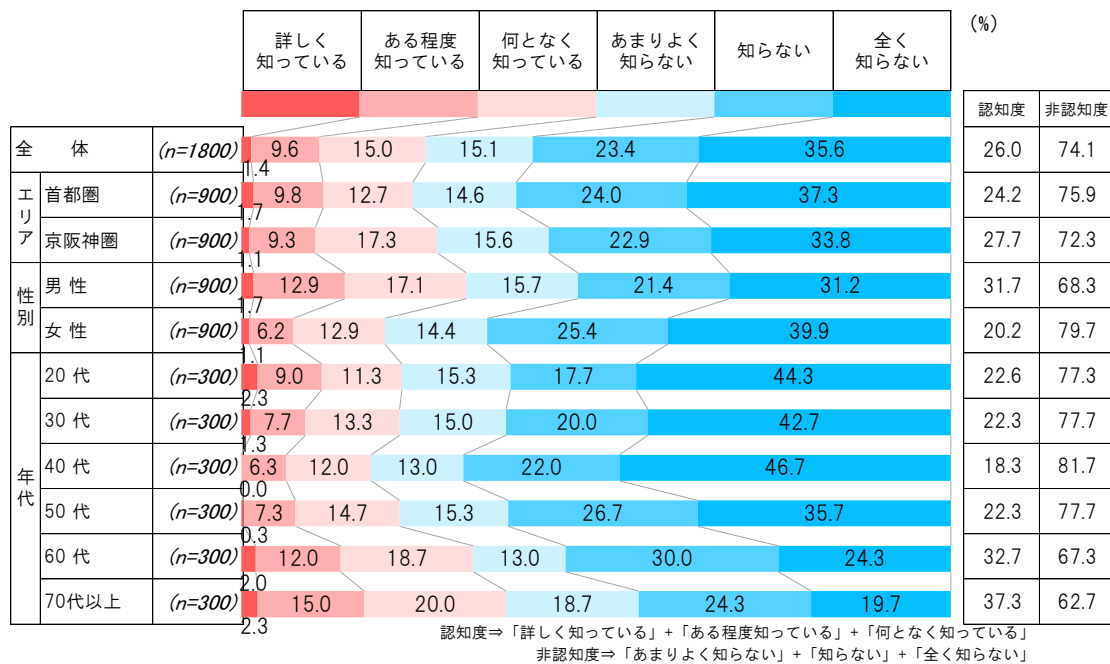
一方、非認知は、「あまりよく知らない」が15.1%、「知らない」が23.4%、「全く知らない」が最も多く35.6%で、非認知計は全体の74.1%である。

エリア別に見ると、首都圏が認知度計24.2%、京阪神圏が認知度計27.7%と京阪神圏の方がやや高い。

男女別に見ると、男性が認知度計31.7%、女性が認知度計20.2%と男性の方がやや高い。

年代別に見ると、60代が認知度計32.7%、70代以上が37.3%と高くなっている。

※「日本国内は、厳格な「和牛」表示ルールがあるため、日本国内で「WAGYU」が「和牛」と表示の上、販売されている事例は現在ではほとんど確認できていない」が、この設問は、「WAGYU」の定義を説明せずに問うことにより、一般消費者における「和牛」と「WAGYU」の混同状況を確認することを意図した設問である。



図表 32 「WAGYU」というコトバの認知度

2) 「和牛」と比較して「WAGYU」に対するイメージ (Q43) の地域・年代別分析

「和牛」と比較して、アルファベット表記の「WAGYU」はどのような肉だと思ふかというイメージ (Q43) を聞いたところ、「よくわからない」が全体の42.2%を占めたが、「「和牛」を海外で生産したものである」が17.2%、「「和牛」を海外向けに表示したものである」が16.1%が多い。

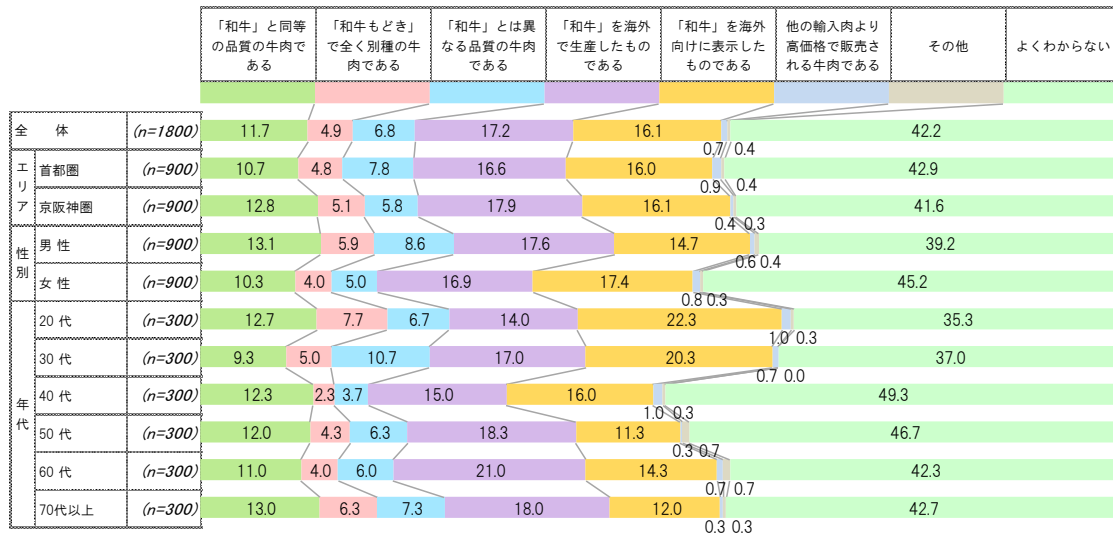
品質のイメージとしては、「「和牛」と同等の品質の牛肉である」が11.7%、「「和牛」とは異なる品質の牛肉である」が6.8%、「「和牛もどき」で全く別種の牛肉である」が4.9%となり、「「和牛」とは異なる品質・全く別種」をあわせると11.7%となり意見が二分された。

エリア別に見ると、首都圏より京阪神圏の方が、「「和牛」と同等の品質の牛肉である」がやや多い。

男女別に見ると、女性より男性の方が、「「和牛」と同等の品質の牛肉である」がやや多い。男性より女性の方が「よくわからない」が6.0ポイント多い。

年代別に見ると、20代、30代では、「「和牛」を海外向けに表示したものである」が2割以上と多くなっている。

※「日本国内は、厳格な「和牛」表示ルールがあるため、日本国内で「WAGYU」が「和牛」と表示の上、販売されている事例は現在ではほとんど確認できていない」が、この設問は、「WAGYU」の定義を説明せずに関することにより、一般消費者における「和牛」と「WAGYU」の混同状況を確認することを意図した設問である。

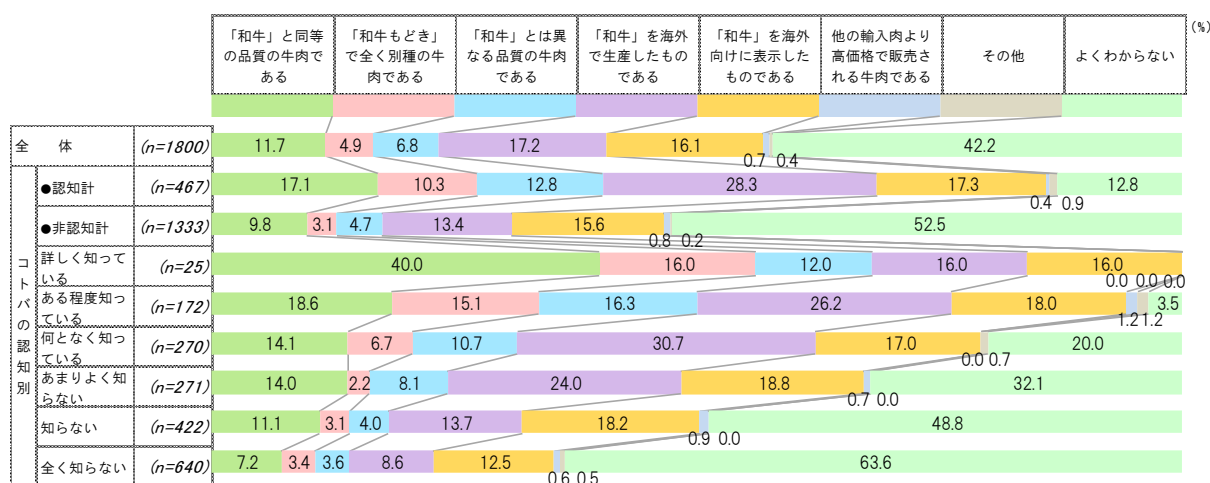


図表 33 「WAGYU」に対するイメージ

「WAGYU」のコトバの認知別に「WAGYU」のイメージを見た。

認知者計では、「「和牛」を海外で生産したものである」が28.3%と多く、「「和牛」を海外向けに表示したものである」が17.3%と続き、「和牛」の海外向けの商品と混同している人が45.6%いると考えられる。一方、「「和牛」と同等の品質の牛肉である」が17.1%いるが、「「和牛」とは異なる品質の牛肉である」が12.8%、「「和牛もどき」で全く別種の牛肉である」が10.3%となっており、認知者計の23.1%は、「WAGYU」は「和牛とは異なる品質・全く別種」と理解していると考えられる。

非認知者計では、「よくわからない」が52.5%と半数以上を占めるが、「「和牛」を海外で生産したものである」が13.4%、「「和牛」と同等の品質の牛肉である」が9.8%となっており、非認知者の23.2%が、「WAGYU」を「和牛」と同等のものと混同してイメージしてしまうと考えられる。

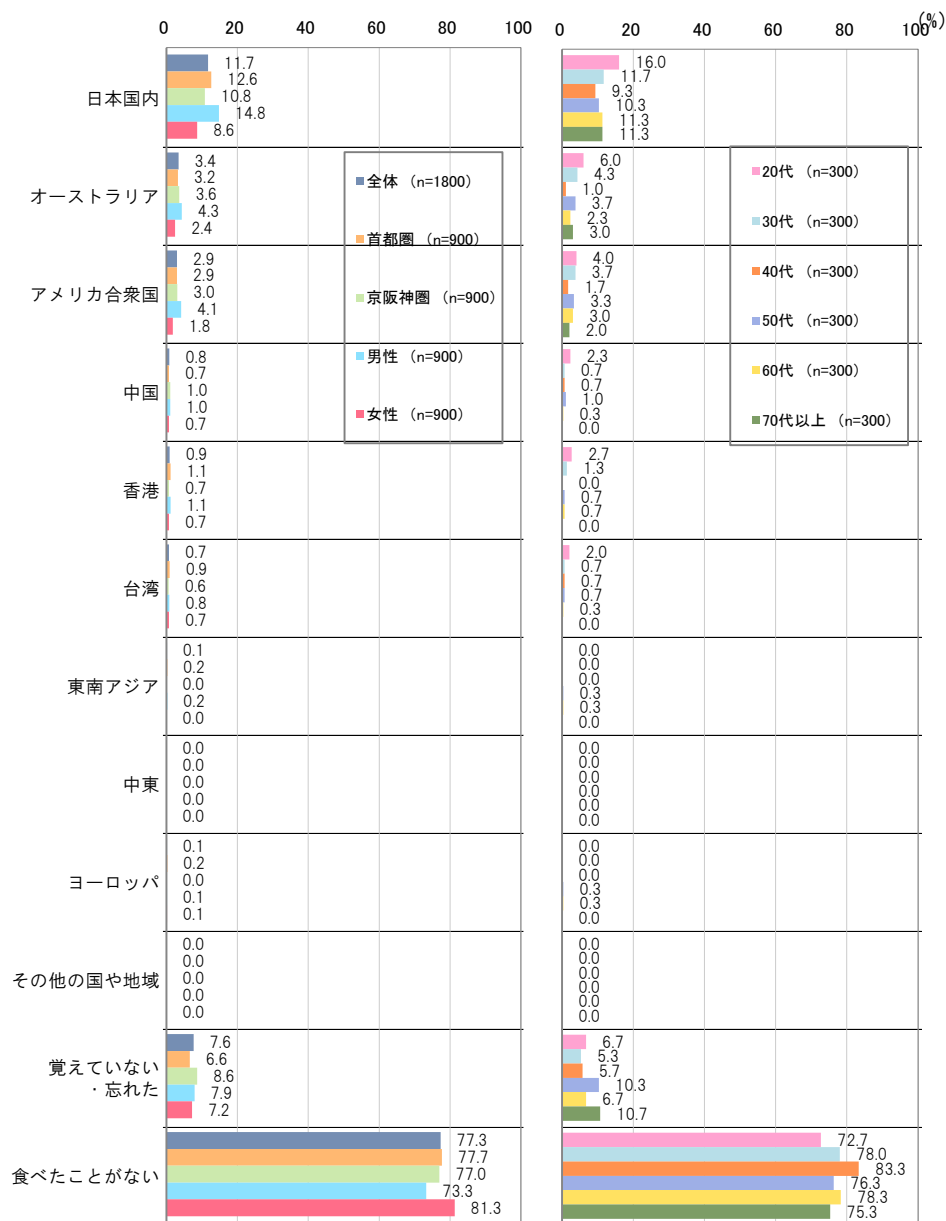


図表 34 「WAGYU」に対するイメージ（「WAGYU」のコトバの認知別）

3) 「WAGYU」の喫食地域（Q45）の地域・年代別分析

「WAGYU」を食べたことがある国や地域（Q45／複数回答）は、「食べたことがない」が77.3%で、「オーストラリア」が3.4%、「アメリカ」が2.9%であるが、「日本国内」が11.7%と最も多くあげられ、「和牛」と「WAGYU」を混同して回答している人が約1割いると考えられる。

※「日本国内は、厳格な「和牛」表示ルールがあるため、日本国内で「WAGYU」が「和牛」と表示の上、販売されている事例は現在ではほとんど確認できていない」が、この設問は、「WAGYU」の定義を説明せずに問うことにより、一般消費者における「和牛」と「WAGYU」の混同状況を確認することを意図した設問である。



図表 35 「WAGYU」の喫食地域

4) 「WAGYU」の定義の認知度（Q46）の地域・年代別分析

「WAGYU」の定義を説明せずに、「WAGYU」というコトバ自体の認知度を聞いた結果については28ページで示した。

ここでは、「WAGYU」と呼称される牛肉の説明文を提示した後に、改めて「WAGYU」の定義の認知度（Q26）を聞いた結果示している。その結果、「詳しく知っている」が1.3%（コトバ認知1.4%）、「ある程度知っている」が5.4%（コトバ認知9.6%）、「何となく知っている」が9.0%（コトバ認知15.0%）となっている。定義説明前のコトバ認知度計は26.0%であったが、定義の認知度計は全体の15.7%となり、10.3ポイント認知度が低くなっている。

一方、非認知は、「あまりよく知らない」が13.6%（コトバ非認知15.1%）、「知らない」が23.0%（コトバ非認知23.4%）、「全く知らない」が47.6%（コトバ非認知35.6%）で全体の約半数を占め、非認知計は全体の84.2%（コトバ非認知計74.1%）である。

エリア別に見では、定義の認知度に違いは見られない。

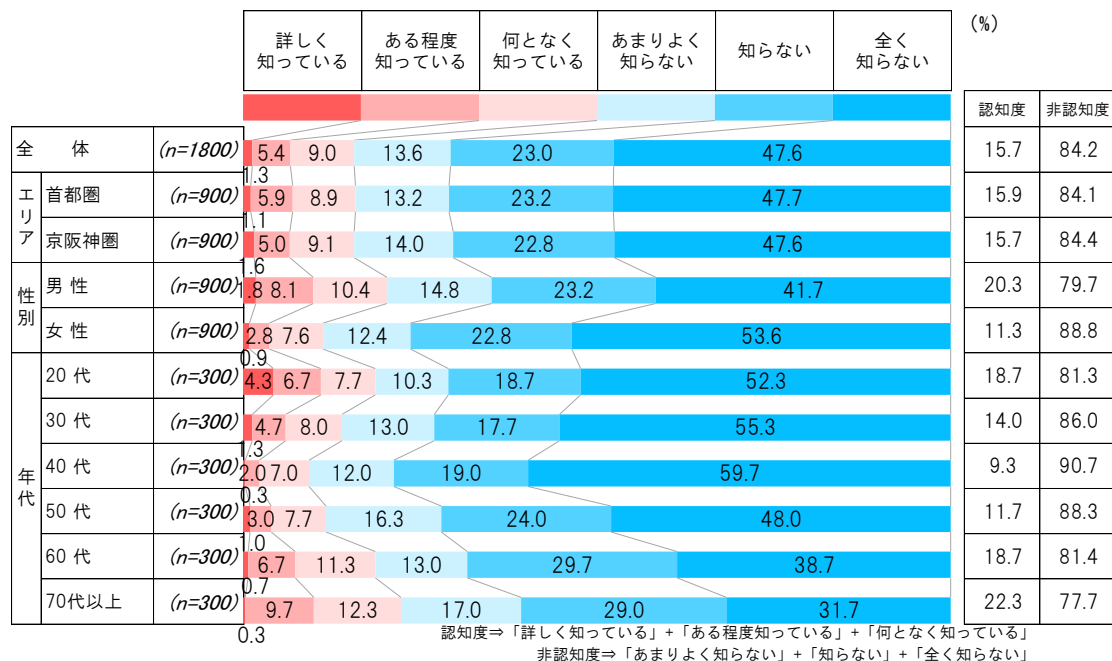
男女別に見ると、男性が認知度計20.3%、女性が認知度計11.3%と男性の方がやや高い。年代別に見ると、60代が認知度計18.7%、70代以上が22.3%と高い。

「WAGYU」は、元は和牛の遺伝資源を基礎に造成された牛の品種ですが、純血種である「full-blood WAGYU」のごく一部を除き、現在はほとんどがアンガス種・ヘレフォード種等の在来種との交雑種です。

オーストラリア・アメリカ国内で生産・消費されており、東南アジア、中東、中国、ヨーロッパ等の国や地域へ輸出もされています。

※日本国内は、厳格な「和牛」表示ルールがあるため、日本国内で「WAGYU」が「和牛」と表示の上、販売されている事例は現在ではほとんど確認できていません。

図表 36 提示説明文



図表 37 「WAGYU」の定義の認知度

5) 「WAGYU」の購入意向（Q47）と価格許容度（Q48）の地域・年代別分析

「WAGYU」が日本国内で購入・食べられるようになったとしたらと仮定して、「WAGYU」の購入意向（Q47）を説明文を提示して聞いた結果、「割高でも購入したい・食べたい」が2.1%、「国産和牛肉」と同程度の価格なら購入したい・食べたい」が13.9%で、同程度以上の価格（割高+同程度）の購入意向計が16.0%である。「安ければ購入したい・食べたい」42.5%も含めた購入意向計は全体の58.5%で、「購入したくない・食べたくない」が13.2%、「わからない」が28.3%いる。

エリア別に、同程度以上の購入意向計を見ると、首都圏が17.0%、京阪神圏が15.1%と首都圏の方がやや高い。

性別に、同程度以上の購入意向計を見ると、男性が18.4%、女性が13.6%と男性の方が女性より高い。

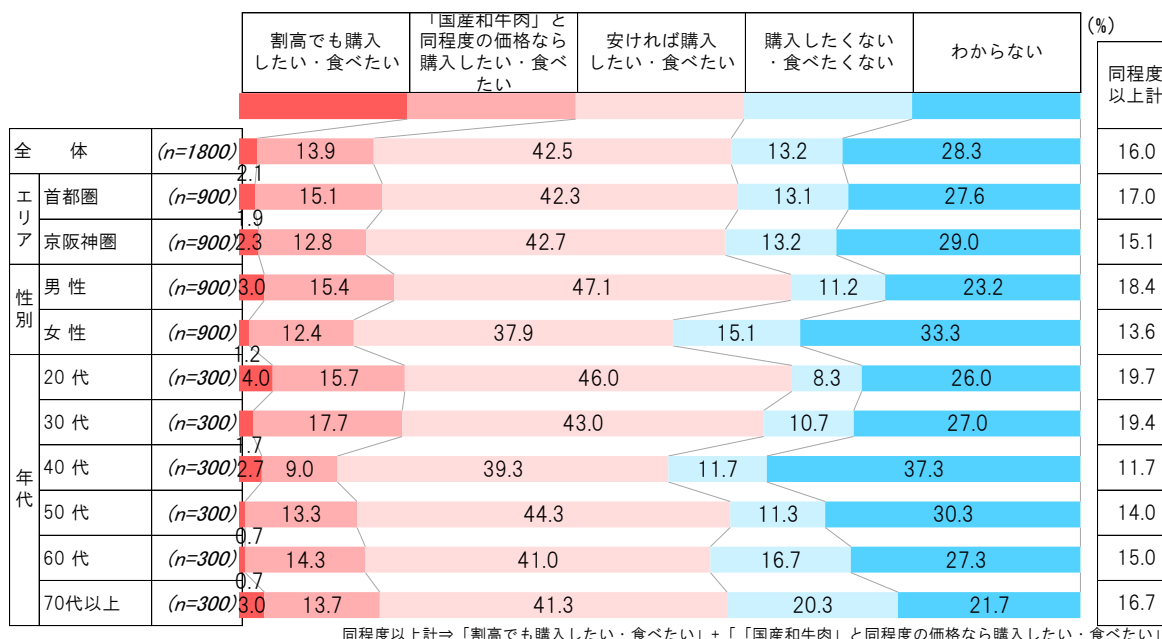
年代別に、同程度以上の購入意向計を見ると、20代が19.7%、30代が19.4%と高くなっている。

「WAGYU」は、元は和牛の遺伝資源を基礎に造成された牛の品種ですが、純血種である「full-blood WAGYU」のごく一部を除き、現在はほとんどがアンガス種・ヘレフォード種等の在来種との交雑種です。

オーストラリア・アメリカ国内で生産・消費されており、東南アジア、中東、中国、ヨーロッパ等の国や地域へ輸出もされています。

※日本国内は、厳格な「和牛」表示ルールがあるため、日本国内で「WAGYU」が「和牛」と表示の上、販売されている事例は現在ではほとんど確認できていません。

図表 38 提示説明文



図表 39 「WAGYU」の購入意向

「WAGYU」が日本国内で購入・食べられるようになったとしたらと仮定して、「国産和牛肉」と比べ、どのくらいの価格レベルまでなら「WAGYU」を選ぶかの価格許容度（Q48）を説明文を提示して聞いた結果、全体の14.8%が「割高でも「WAGYU」を選ぶ」と回答した。「同等の価格」以上では、34.7%が「「WAGYU」を選ぶ」としている。一方、「割安なら「WAGYU」を選ぶ」は41.6%であり、「「WAGYU」は購入したくない・食べたくない」が23.8%となっている。

エリア別に見ると、首都圏の方がやや価格許容度が高い。

性別に見ると、男性の方が女性より価格許容度が高い。

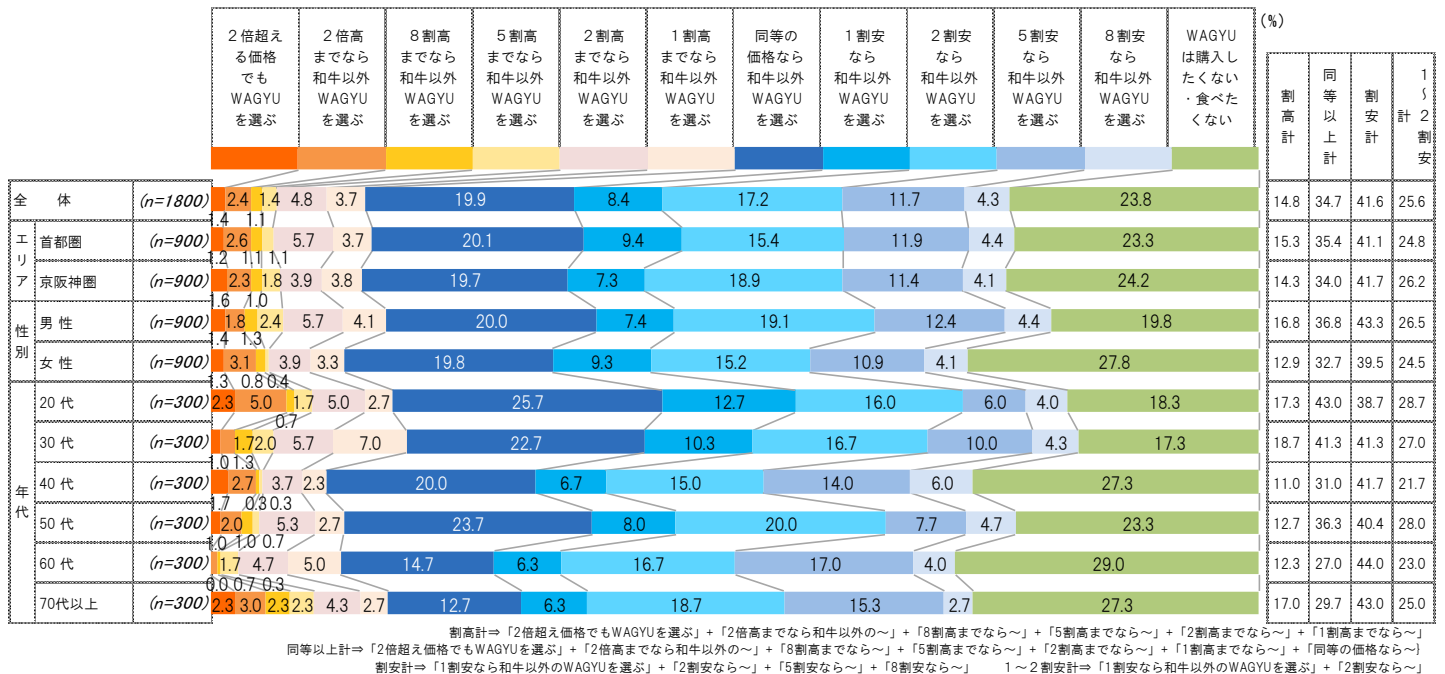
年齢別に見ると、20代、30代では他の年代に比べ「割高でも「WAGYU」を選ぶ」が多い。

「WAGYU」は、元は和牛の遺伝資源を基礎に造成された牛の品種ですが、純血種である「full-blood WAGYU」のごく一部を除き、現在はほとんどがアンガス種・ヘレフォード種等の在来種との交雑種です。

オーストラリア・アメリカ国内で生産・消費されており、東南アジア、中東、中国、ヨーロッパ等の国や地域へ輸出もされています。

※日本国内は、厳格な「和牛」表示ルールがあるため、日本国内で「WAGYU」が「和牛」と表示の上、販売されている事例は現在ではほとんど確認できていません。

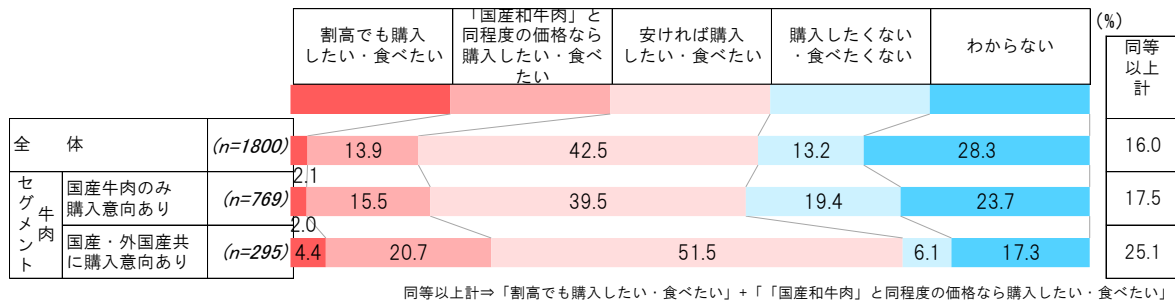
図表 40 提示説明文



図表 41 「WAGYU」の価格許容度

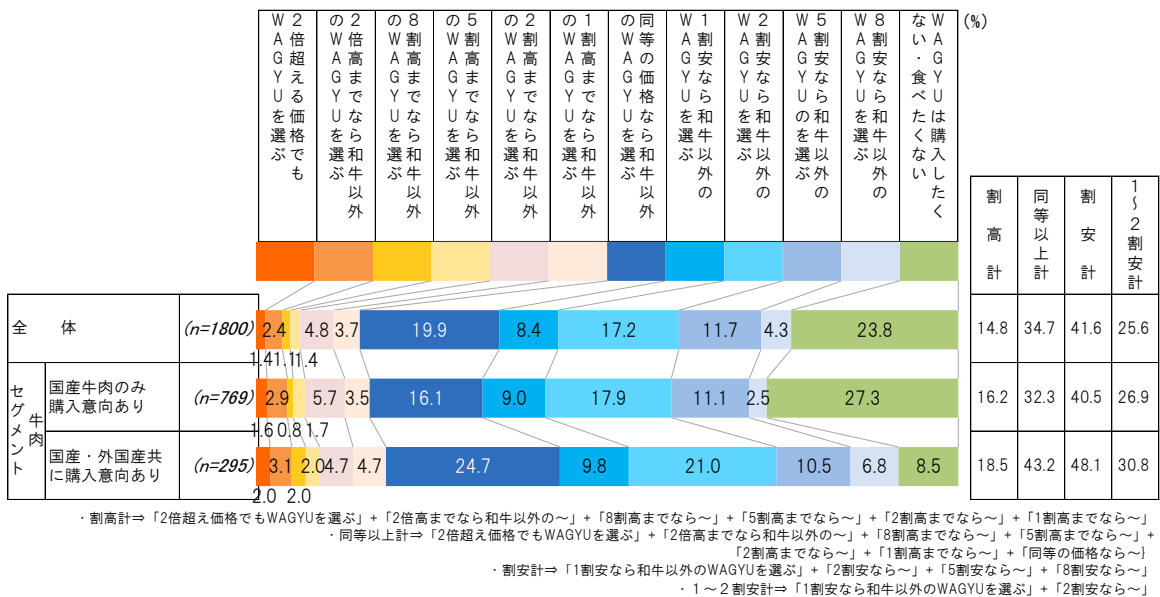
牛肉購入意向者のセグメント別(Q10)に同程度以上の購入意向計を見ると、国産牛肉のみ購入意向ありは17.5%、国産・外国産共に購入意向ありは25.1%と国産・外国産共に購入意向ありが7.6ポイント高い。

また、国産牛肉のみ購入意向ありでは、「購入したくない・食べたくない」が19.4%と2割を占めるが、国産・外国産共に購入意向ありでは「購入したくない・食べたくない」が6.1%と少ない。



図表 42 牛肉購入意向者のセグメント別「WAGYU」の購入意向

牛肉購入意向者のセグメント別(Q10)に「WAGYU」の価格許容度を見ると、「同等の価格」以上では、国産牛肉のみ購入意向ありは32.3%、国産・外国産共に購入意向ありは43.2%と国産・外国産共に購入意向ありが10.9ポイント高く、国産・外国産共に購入意向ありの方が価格許容度が高い。



図表 43 牛肉購入意向者のセグメント別「WAGYU」の価格許容度

さらに、「WAGYU」の「国産和牛肉」に対する価格許容度（Q48）を目的変数とし、「WAGYU」のイメージ（Q43）と、回答者属性（性別（Q2）・年齢（Q3）・居住地域（Q1）・世帯年収（Q63））を説明変数として順序プロビット回帰分析を行った。ただし、同分析で計測された回帰係数はそのままでは解釈できないため、各説明変数の限界効果を計算し、目的変数に及ぼす効果の大きさを定量的に確認した。

<順序プロビット回帰分析に用いる目的変数・説明変数>

「WAGYU」の「国産和牛肉」に対する価格許容度に関する質問回答（Q48）を順序カテゴリカルな目的変数とした。

説明変数のうち、回答者の性別（男性:0、女性:1）と居住エリア（京浜圏:0、京阪神:1）は、二値の変数としている。「WAGYU」のイメージ（Q43）は単一回答であるので二値変数化して分析を行った。ここでの限界効果は「わからない」と比較しての価格許容度のパーセントの変化分である。ただし、「他の輸入肉より高価格で販売される牛肉である」と「その他」を回答しているサンプルは少なかったため（ともに2サンプル）、推定の安定性から分析から除外した。これらの説明変数の限界効果は、当該変数値が0から1に変化した場合に回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率がどれだけ変化するかを示す。回答者の年齢に関しては10歳刻みの連続変数として説明変数に加えており、その限界効果は、年齢が10歳増加した場合に回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率の変化分である。

また、世帯年収について「7 分からない、答えたくない」と回答しているサンプルは分析から除外し、残りの6つの世帯年収カテゴリーを二値変数化（当該カテゴリーを非選択:0、当該カテゴリーを選択:1）して分析に用いる。ただし、世帯年収カテゴリー1～6をすべて投入すると識別性の問題によりモデルが推定できなくなるため、世帯年収カテゴリー「2 世帯年収300万円以上500万円未満」変数を除外した上で分析を行った。したがって、各世帯年収カテゴリーの限界効果は「世帯年収300万円以上500万円未満」と比較して、当該世帯年収カテゴリーの回答者が価格許容度に関する各選択肢を選ぶ確率がどれだけ増減するかを示す。

「WAGYU」の購入意向（5件法）で「わからない」と回答しているサンプルと、「WAGYU」の購入に関する質問回答（Q47）と整合性がないサンプルを分析から除外した。

なお、各説明変数の限界効果の計算の際には、該当する説明変数以外の説明変数にはサンプル平均値を投入している。サンプルサイズは654である。

■ 「WAGYU」のイメージと価格許容度の順序プロビット回帰分析

少なくとも10%水準で0と有意差のあった「「WAGYU」のイメージ」項目と、回答者属性に関する限界効果を図表44に示す。

「WAGYU」に対して、説明の提示前に「「和牛」と同等の品質の牛肉である」、「和牛」を海外向けに表示したものである」というイメージを持っていた回答者は、和牛以外の「WAGYU」に関する価格許容度がより高くなるものの5%水準でみると、和牛よりも高い価格を許容する確率は高まらないことがわかった。

回答者属性に着目すると、男性より女性の方が、また年齢が高くなるほど価格許容度が低くなることがわかった。

説明変数	Q48 WAGYUの価格許容度											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
「和牛」と同等の品質の牛肉である	-0.118	-0.019	-0.049	0.005	0.049	0.077	0.002	0.008	0.005	0.005	0.011	0.025
「和牛」とは異なる品質の牛肉である	-0.072	-0.011	-0.027	0.008	0.030	0.044	0.001	0.004	0.003	0.003	0.006	0.012
「和牛」を海外向けに表示したものである	-0.078	-0.011	-0.027	0.011	0.032	0.045	0.001	0.004	0.003	0.003	0.006	0.012
京阪神	-0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.001	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
性別	0.088	0.011	0.023	-0.020	-0.034	-0.043	-0.001	-0.004	-0.002	-0.002	-0.005	-0.010
年齢（10歳刻み）	0.034	0.005	0.009	-0.007	-0.014	-0.017	0.000	-0.002	-0.001	-0.001	-0.002	-0.004
世帯年収300万円未満	0.042	0.005	0.010	-0.011	-0.016	-0.020	0.000	-0.002	-0.001	-0.001	-0.002	-0.004
世帯年収500～700万円未満	-0.023	-0.003	-0.007	0.005	0.009	0.012	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.003
世帯年収700～1000万円未満	-0.046	-0.006	-0.014	0.008	0.019	0.025	0.000	0.002	0.001	0.001	0.003	0.006
世帯年収1000～1500万円未満	0.007	0.001	0.002	-0.002	-0.003	-0.004	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	-0.001
世帯年収1500万円以上	0.091	0.010	0.016	-0.028	-0.033	-0.037	-0.001	-0.003	-0.002	-0.002	-0.004	-0.007

図表44 「WAGYU」の価格許容度に関する順序プロビット回帰分析の限界効果

* 10%水準で有意となったセルを着色、5%水準で有意となったセルを太字にしている

2.3 食肉の第三者認証の認知度に関する考察

- ・ 「JGAP家畜・畜産物」の認証を受けていることが、「東京オリンピック・パラリンピックの会場等で、選手団、スタッフ、プレス、観客に提供する飲食で使用される畜産食材に適用される調達基準の要件を満たすことを示す方法のひとつとされていること」についての認知度は、全体の27.3%（「詳しく知っている」1.1%＋「ある程度知っている」7.6%＋「何となく知っている」18.6%）。
- ・ 「JGAP 認証農場の畜産物使用マーク」がついている商品の購入意向は、同程度以上の価格（割高＋同程度）の購入意向計が43.3%。「安ければ購入したい・食べたい」も含めた購入意向計は全体の69.9%。
- ・ 現時点では、「JGAP家畜・畜産物」の認証と「東京オリンピック・パラリンピック」の畜産食材の調達基準の認知度は、全体の3割以下と高くはなく、同等以上の価格の購入意向も4割程度にとどまる。まずは、「JGAP家畜・畜産物」の認証の認知度を高めていくことが課題である。

2.3 では、食肉の第三者認証の認知度を把握することを目的とし、そのために以下の2つの分析を行った。

- 1) 「JGAP家畜・畜産物」の認証と「東京オリンピック・パラリンピック」の畜産食材の調達基準の認知度（Q40）の地域・年代別分析
- 2) 「JGAP 認証農場の畜産物使用マーク」製品の購入意向（Q41）の地域・年代別分析

1) 「JGAP家畜・畜産物」の認証と「東京オリンピック・パラリンピック」の畜産食材の調達基準の認知度（Q40）の地域・年代別分析

「JGAP家畜・畜産物」の認証を受けていることが、「東京オリンピック・パラリンピックの会場等で、選手団、スタッフ、プレス、観客に提供する飲食で使用される畜産食材に適用される調達基準の要件を満たすことを示す方法のひとつとされていること」についての認知度（Q40）を説明文とロゴマークを提示して聞いた結果、「詳しく知っている」は1.1%とほとんどおらず、「ある程度知っている」が7.6%、「何となく知っている」が18.6%で、認知度計は全体の27.3%である。昨年度と比べると、「何となく知っている」が3.2ポイント増えている。

エリア別に見ると、京阪神圏で、昨年度と比べて「何となく知っている」が3.4ポイント増えている。

性別に見ると、認知度計は、昨年度同様、女性より男性の方が多い。

年代別に見ると、認知度計は、70代以上で32.7%、30代で30.0%、20代で28.9%と高くなっている。

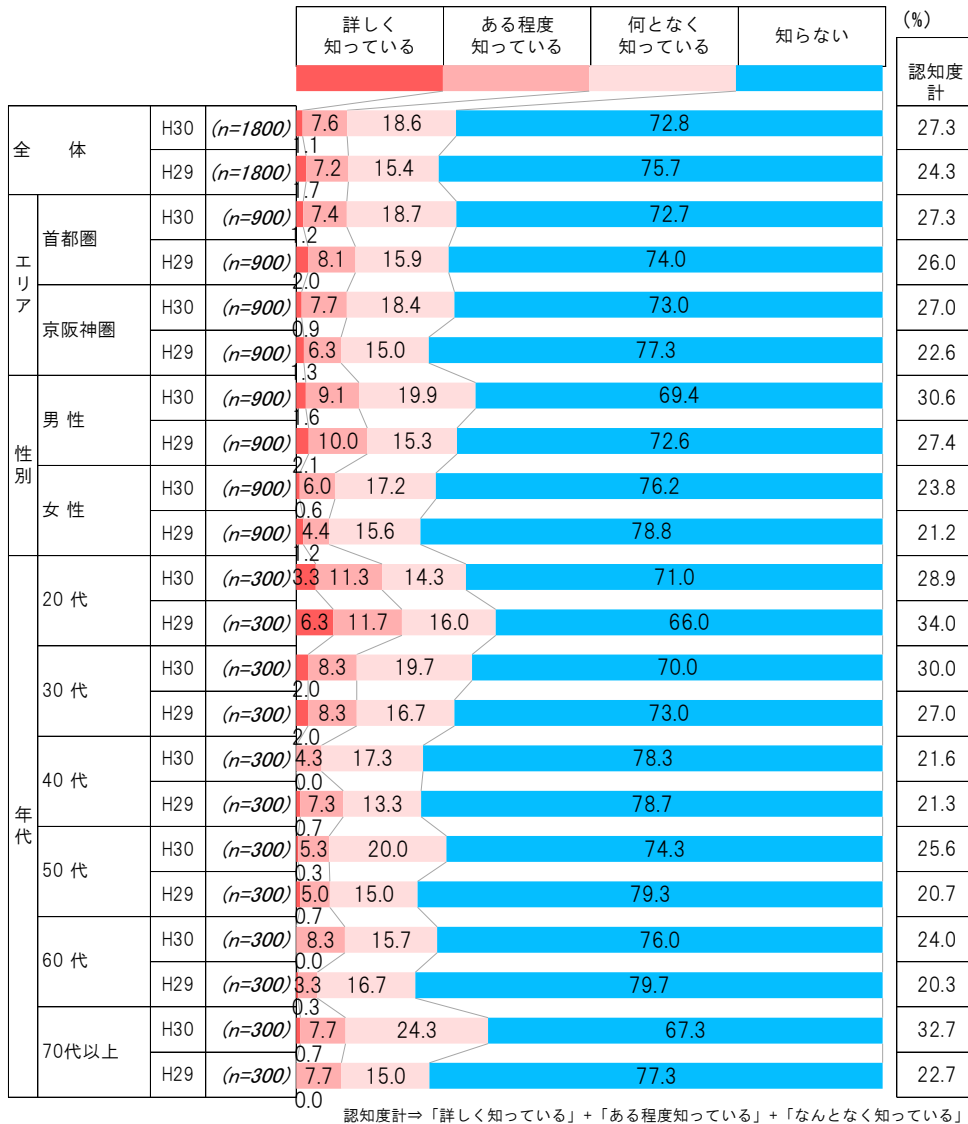
このロゴマークは、「JGAP 認証農場の畜産物使用マーク」といい、第三者機関である日本GAP協会の審査により、食品安全、環境保全、労働安全、人権と福祉、アニマルウェルフェアに配慮した農業生産工程管理を行っていることが確認された畜産農場の認証家畜・畜産物（JGAP家畜・畜産物）を原料として使用した商品であることを表すマークです。

JGAP家畜・畜産物の認証取得は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの会場等で、選手団、スタッフ、プレス、観客に提供する飲食で使用される畜産食材に適用される調達基準の要件を満たすことを示す方法のひとつとされています。

※アニマルウェルフェアとは、家畜を快適性に配慮した環境下で飼養することをいいます。



図表 45 提示説明文及びロゴマーク



図表 46 「JGAP家畜・畜産物」の認証と「東京オリンピック・パラリンピック」の畜産食材の調達基準の認知度の認知度

2) 「JGAP 認証農場の畜産物使用マーク」製品の購入意向 (Q41) の地域・年代別分析

「JGAP 認証農場の畜産物使用マーク」がついている商品の購入意向 (Q41) を説明文とロゴマークを提示して聞いた結果、「割高でも購入したい・食べたい」が 8.7%、「ロゴマークがついていない商品と同程度の価格なら購入したい・食べたい」が 34.6%で、同程度以上の価格 (割高+同程度) の購入意向計が 43.3%である。「安ければ購入したい・食べたい」26.6%も含めた購入意向計は全体の 69.9%で、「購入したくない・食べたくない」は 1.7%と少ない。この傾向は、昨年度と変わらない。

エリア別に同程度以上の購入意向計を見ると、首都圏が 44.5%、京阪神圏が 42.1%と首都圏の方がやや高い。

性別に同程度以上の購入意向計を見ると、男性が 43.8%、女性が 42.8%と男女で違いは見られない。

年代別に同程度以上の購入意向計を見ると、70代が 54.7%、60代が 51.3%と高年層で購入意向が高い。

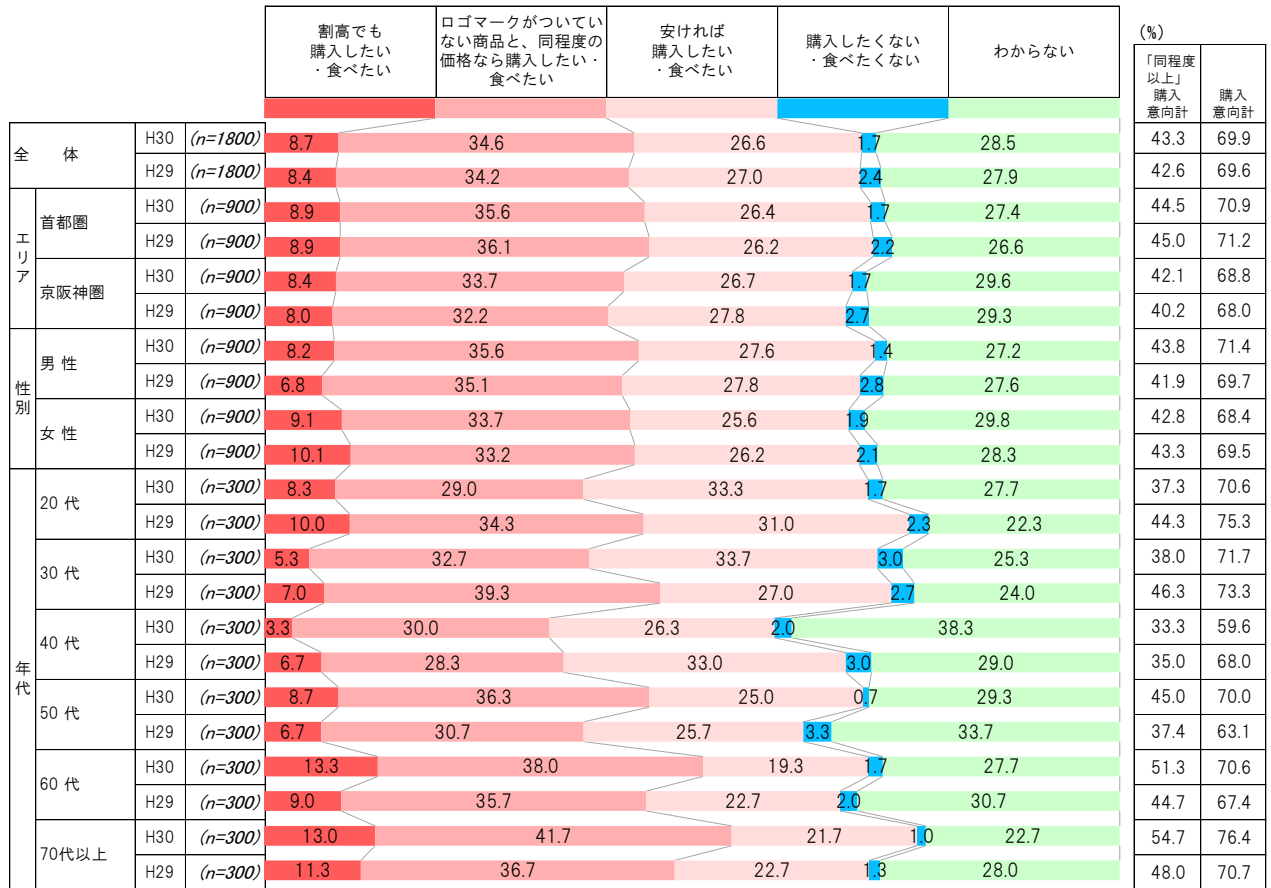
このロゴマークは、「JGAP 認証農場の畜産物使用マーク」といい、第三者機関である日本GAP協会の審査により、食品安全、環境保全、労働安全、人権と福祉、アニマルウェルフェアに配慮した農業生産工程管理を行っていることが確認された畜産農場の認証家畜・畜産物 (JGAP家畜・畜産物) を原料として使用した商品であることを表すマークです。

JGAP家畜・畜産物の認証取得は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの会場等で、選手団、スタッフ、プレス、観客に提供する飲食で使用される畜産食材に適用される調達基準の要件を満たすことを示す方法のひとつとされています。

※アニマルウェルフェアとは、家畜を快適性に配慮した環境下で飼養することをいいます。



図表 47 提示説明文及びロゴマーク



「同程度以上」購入意向計⇒「割高でも購入したい・食べたい」+「ロゴマークがついていない商品と、同程度の価格なら購入したい・食べたい」
 購入意向計⇒「割高でも購入したい・食べたい」+「ロゴマークがついていない商品と、同程度の価格なら購入したい・食べたい」+「安ければ購入したい・食べたい」

図表 48 「JGAP 認証農場の畜産物使用マーク」製品の購入意向

2.4 ジビエの認知度に関する考察

- ・ 「ジビエ」というコトバの認知度は、全体の 54.1%（「詳しく知っている」 6.0%＋「ある程度知っている」 24.8%＋「何となく知っている」 23.3%）。
- ・ 「ジビエ」の定義の認知度は、全体の 53.9%（「詳しく知っている」 5.4%＋「ある程度知っている」 23.8%＋「何となく知っている」 24.7%）
- ・ 「ジビエ」の喫食頻度は、「食べたことがない」が 52.9%と全体の半数以上。
- ・ 「ジビエ」の喫食機会は、「ジビエ専門店」「フランス料理店・フレンチレストラン」「焼き肉店」「自宅」「友人・知人宅」。
- ・ 「ジビエ」に対するイメージは、「たんぱく質が豊富」が高く、シカ肉は「カロリーが低い」、イノシシ肉は「スタミナ源、栄養がある」も高い。
- ・ 「ジビエ」について認知している事柄は、「ジビエは、豊かな風味があり、自然そのままの味が楽しめる」「ジビエは、狩猟解禁後（秋冬）に流通するので、季節感が感じられる」といった自然や季節感や、「野生鳥獣（主にシカやイノシシ）による農作物被害や自然環境被害が深刻化し、野生鳥獣の有効利用としてジビエが役立っている」が高い。「国は、捕獲したシカやイノシシを処理する食肉処理施設の認証を行っている」は 5.2%とあまり認知されていない。
- ・ 「ジビエ」のマークを見たことがある計は、全体の 1 割（「確かに見たことがある」 2.1%＋「見たことがあるような気がする」 7.3%）。「マークがあることは知っているが見たことはない」も含めた認知度は 17.9%。
- ・ 「ジビエ」に与えられる「マーク」がついている商品の購入意向は、全体の 43.0%（「割高でも購入したい・食べたい」 4.8%＋「マークがついていない商品と同程度の価格なら購入したい・食べたい」 12.9%＋「安ければ購入したい・食べたい」 25.2%）。「購入したくない・食べたくない」が 23.1%。
- ・ 「ジビエ」のコトバの認知度、定義の認知度は、全体の 5 割程度あるが、「食べたことがない」が昨年同様半数以上を占め、喫食頻度・経験が低いことが引き続き課題と考えられる。そのため、「マークがついたジビエ商品」への購入意向も全体の 4 割、非購入意向者が 2 割となっており、現時点では受容度が高いとは言えない。一方、「ジビエ」に対するイメージは、「たんぱく質が豊富」「カロリーが低い」「スタミナ源、栄養がある」といった健康イメージが強く、自然や季節感が感じられ、農作物被害や自然環境被害対策に役立っているという知識もある。「ジビエ」の強みであるイメージ、消費者・一般生活者に対するメリットをきちんと伝達し、認知度を高めていくことが引き続き今後の課題と考えられる。

2.4 では、ジビエの認知度を把握すること、及びそれを高める方策を探ることを目的とし、そのために以下の7つの分析を行った。

- 1) 「ジビエ」のコトバの認知度 (Q49) と定義の認知度 (Q50) の地域・年代別分析
- 2) 「ジビエ」の喫食頻度 (Q51) の地域・年代別分析
- 3) 「ジビエ」の喫食機会 (Q52) の地域・年代別分析
- 4) 「シカ肉」「イノシシ肉」に対するイメージ (Q53) の地域・年代別分析
- 5) 「ジビエ」についての知っている事柄と魅力に感じる事柄 (Q54) の地域・年代別分析
- 6) 「ジビエ」のマークの認知度 (Q55) の地域・年代別分析
- 7) 「ジビエ」のマーク製品の購入意向 (Q56) と価格許容度 (Q57) の地域・年代別分析

1) 「ジビエ」のコトバの認知度（Q49）と定義の認知度（Q50）の地域・年代別分析

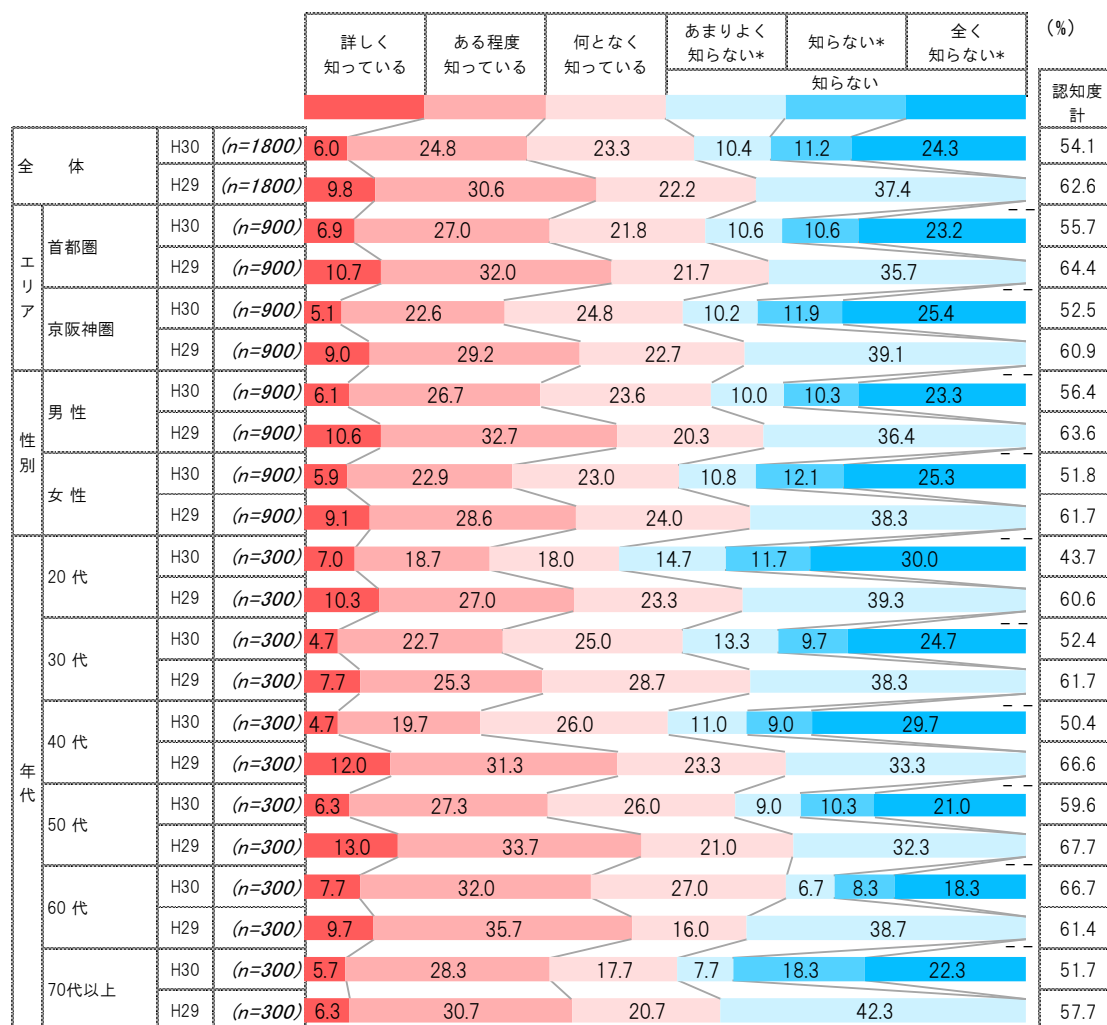
「ジビエ」というコトバの認知度（Q49）は、「詳しく知っている」が6.0%、「ある程度知っている」が24.8%、「何となく知っている」が23.3%で、認知度計は全体の54.1%となっている。

エリア別に見ると、首都圏が認知度計55.7%、京阪神圏が認知度計52.5%と首都圏の方がやや高い。

男女別に見ると、男性が認知度計56.4%、女性が認知度計51.8%と女性のほうがやや高い。

年代別に見ると、60代が認知度計66.7%、50代が59.6%と高くなっている。

※昨年度は「知らない」で聞いたが、今年度は「あまりよく知らない」「知らない」「全く知らない」の三択で聞いたため、昨年度のデータは参考値として図示することとする。



認知度計⇒「詳しく知っている」+「ある程度知っている」+「何となく知っている」

図表 49 「ジビエ」というコトバの認知度

「ジビエ」の定義の認知度（Q50）を説明文を提示して聞いた結果、「詳しく知っている」が5.4%、「ある程度知っている」が23.8%、「何となく知っている」が24.7%で、認知度計は全体の53.9%となっている。説明文を提示する前に聞いた「ジビエ」というコトバの認知度計54.1%と比べてほぼ同水準である。

エリア別に見ると、首都圏が認知度計56.4%、京阪神圏が51.5%と首都圏の方がやや高い。

性別に見ると、男性が認知度計57.0%、女性が50.9%と男性の方が高い。

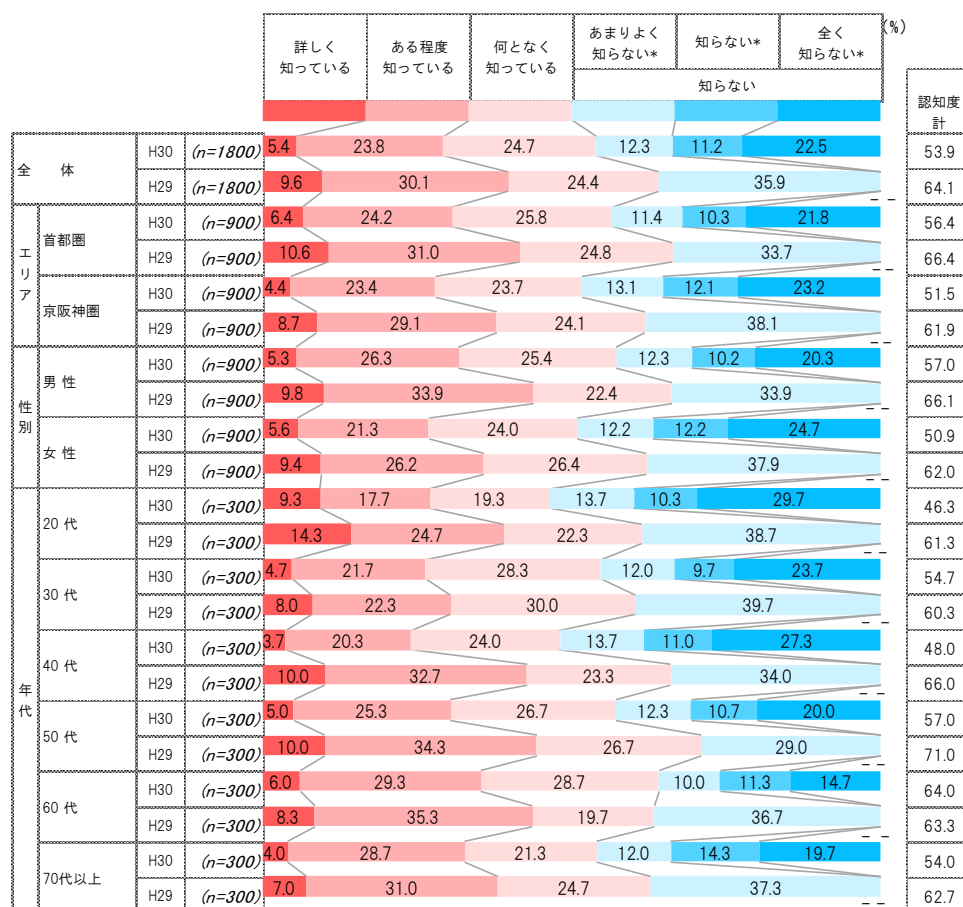
年代別に見ると、「ジビエ」というコトバの認知と同様、60代が認知度計64.0%、50代が57.0%と高くなっている。

※昨年度は「知らない」で聞いたが、今年度は「あまりよく知らない」「知らない」「全く知らない」の三択で聞いたため、昨年度のデータは参考値として図示することと定める。

ジビエとは狩猟で得た天然の野生鳥獣の食肉を意味する言葉(フランス語)で、ヨーロッパでは貴族の伝統料理として古くから発展してきた食文化です。

日本で有名なジビエは、シカやイノシシがあげられます。他にも、狩猟の対象となっている野生鳥獣の肉(野ウサギ、山鳩、鴨、キジ等)は全てジビエとして定義されます。

図表 50 提示説明文



認知度計⇒「詳しく知っている」+「ある程度知っている」+「何となく知っている」
*平成30年より新規項目

図表 51 「ジビエ」の定義の認知度

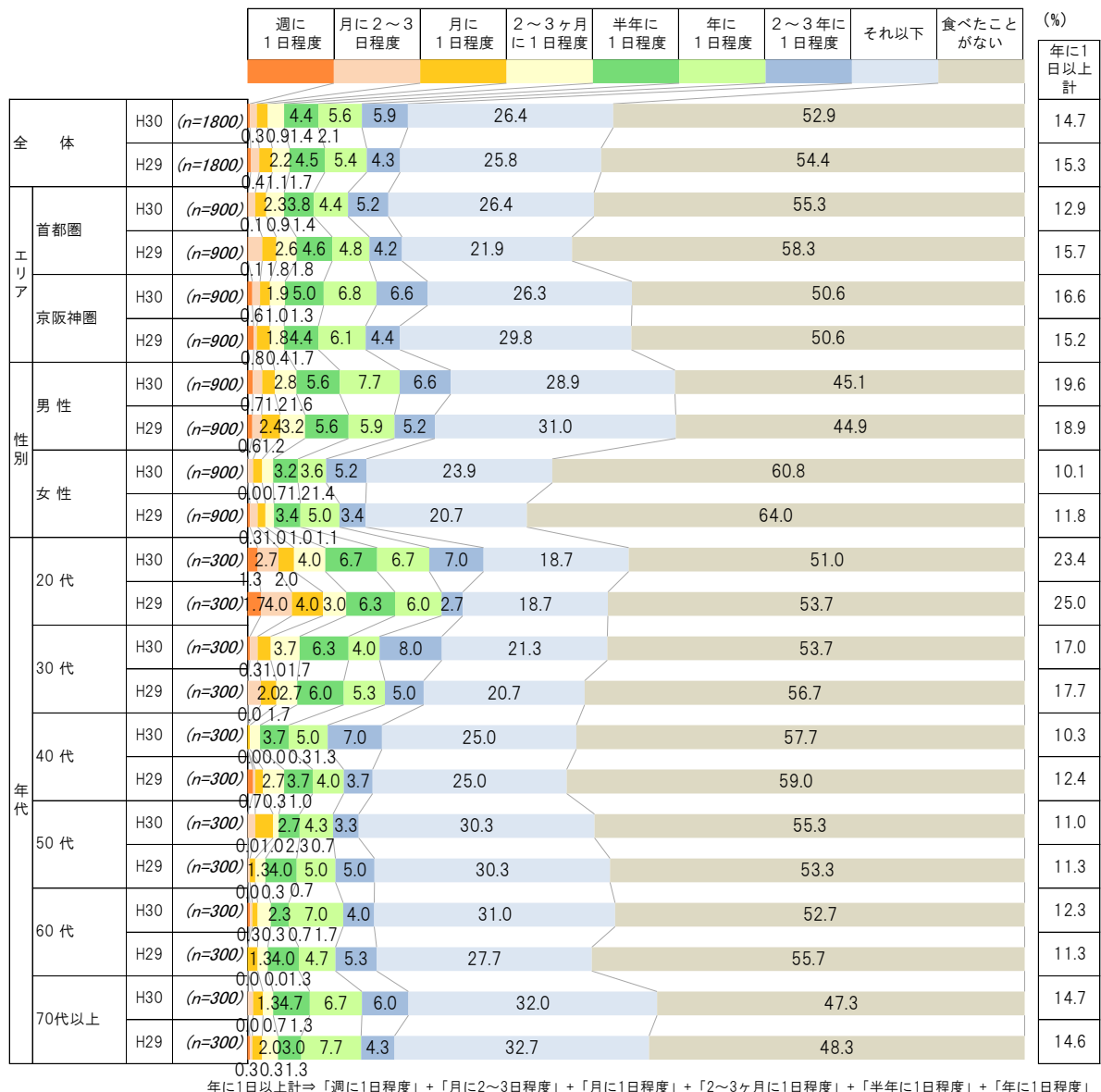
2) 「ジビエ」の喫食頻度 (Q51) の地域・年代別分析

「ジビエ (主にシカとイノシシ)」の喫食頻度 (Q51) は、昨年度同様、「食べたことがない」が半数以上を占める。「年に1日以上計」が約15%である。

エリア別に見ると、「食べたことがない」は、昨年度同様、首都圏の方が喫食経験がない人が多い。

性別に見ると、「食べたことがない」は、昨年度同様、女性の方が喫食経験がない人が多い。

年代別に見ると、「年に1日以上計」は、昨年度同様、20代で2割以上と多くなっている。



図表 52 「ジビエ」の喫食頻度

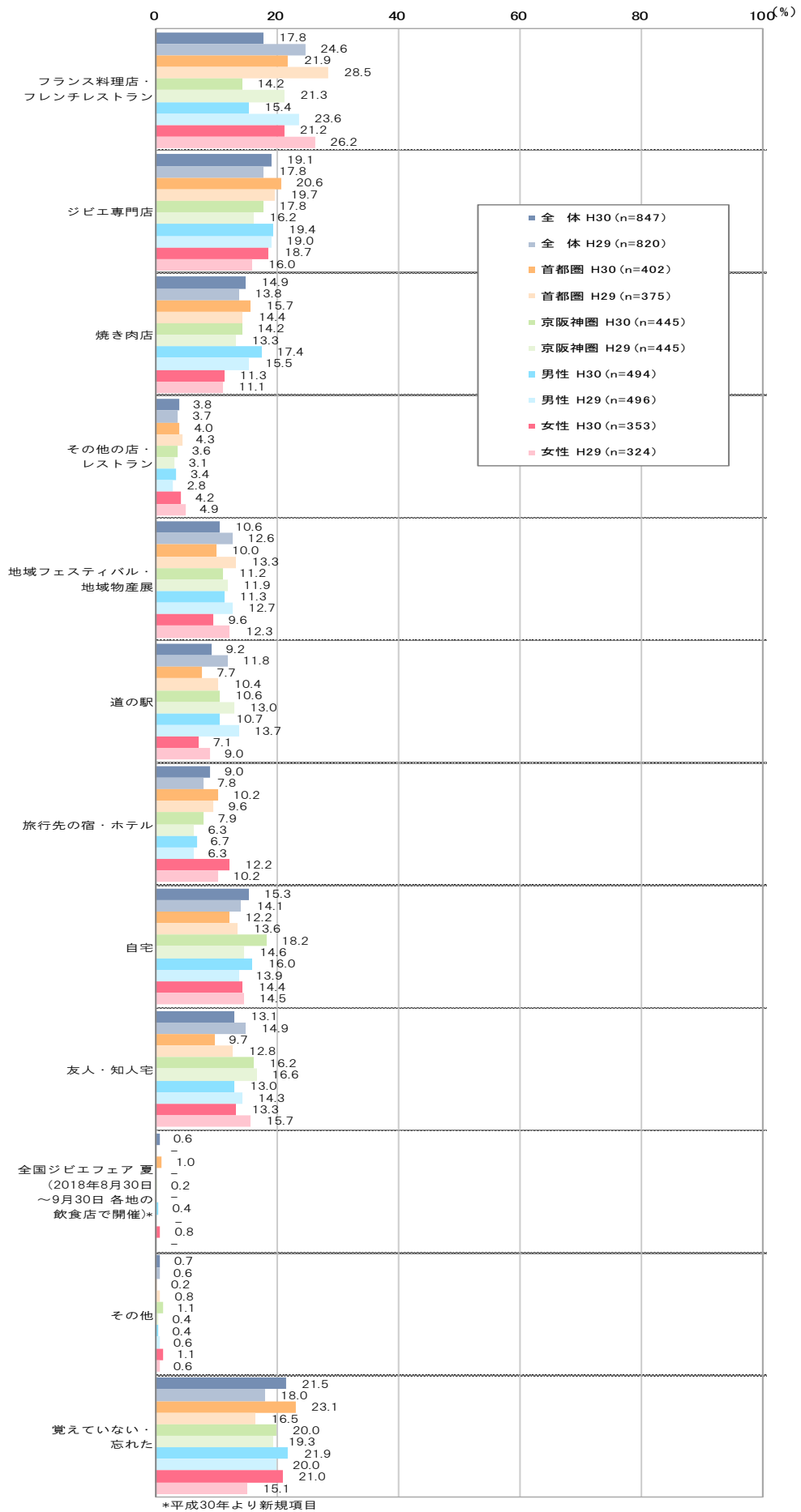
3) 「ジビエ」の喫食機会 (Q52) の地域・年代別分析

「ジビエ (主にシカとイノシシ) 」を食べたことがある店やレストラン・機会 (Q52/複数回答) は、昨年同様、「ジビエ専門店」「フランス料理店・フレンチレストラン」「焼き肉店」の外食と、「自宅」「友人・知人宅」が1割以上で多くなっている。

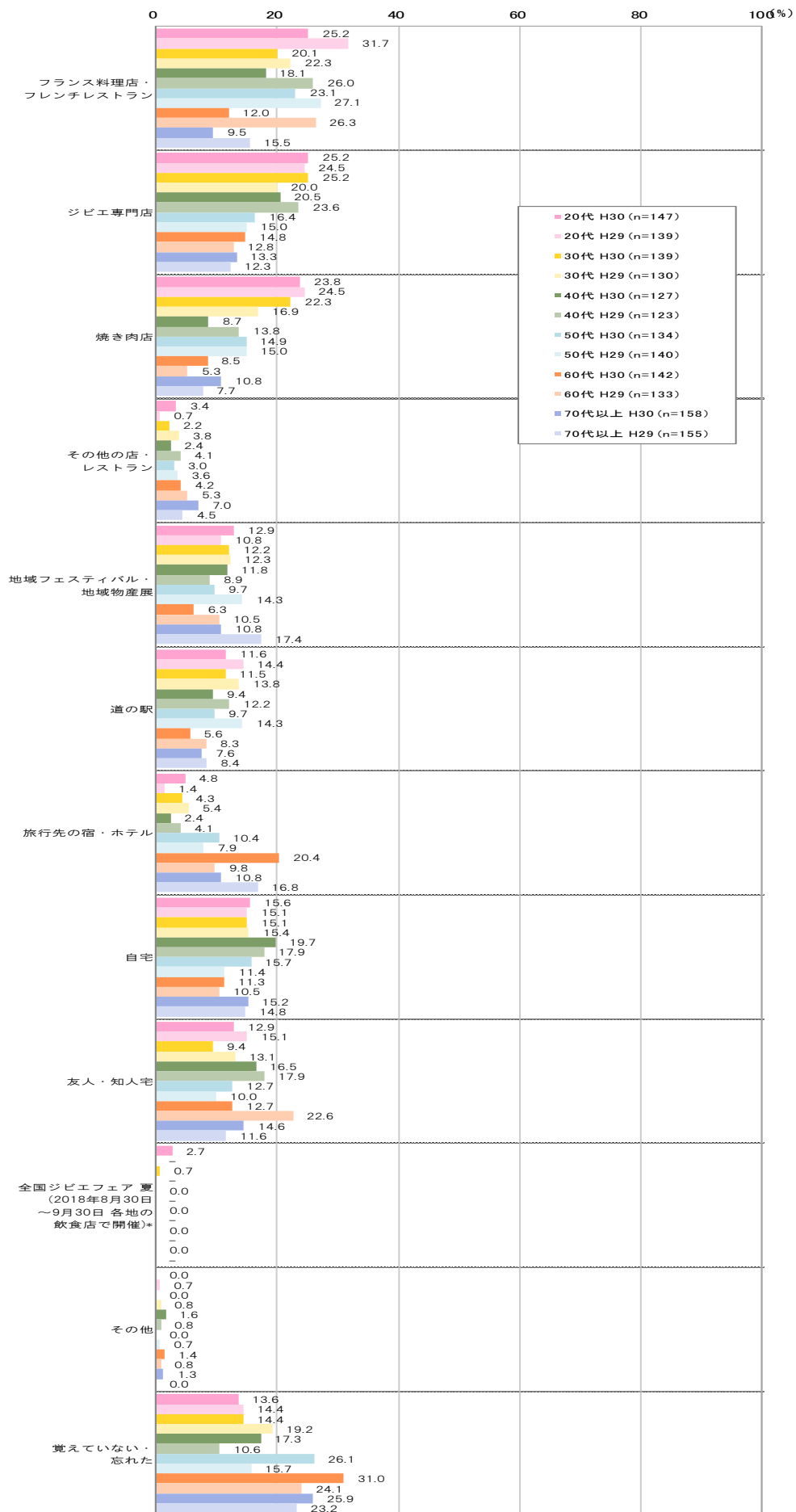
エリア別に見ると、昨年同様、首都圏の方が「フランス料理店・フレンチレストラン」「ジビエ専門店」が高く、京阪神圏の方が「自宅」「友人・知人宅」「道の駅」が高い。

性別に見ると、男性の方が「焼き肉店」「道の駅」が高く、女性の方が「フランス料理店・フレンチレストラン」「旅行先の宿・ホテル」が高い。

年代別に見ると、喫食頻度が高めだった20代では、昨年同様、「ジビエ専門店」「フランス料理店・フレンチレストラン」「焼き肉店」と外食での喫食が高くなっている。



図表 53 「ジビエ」の喫食機会（全体・エリア・性別）

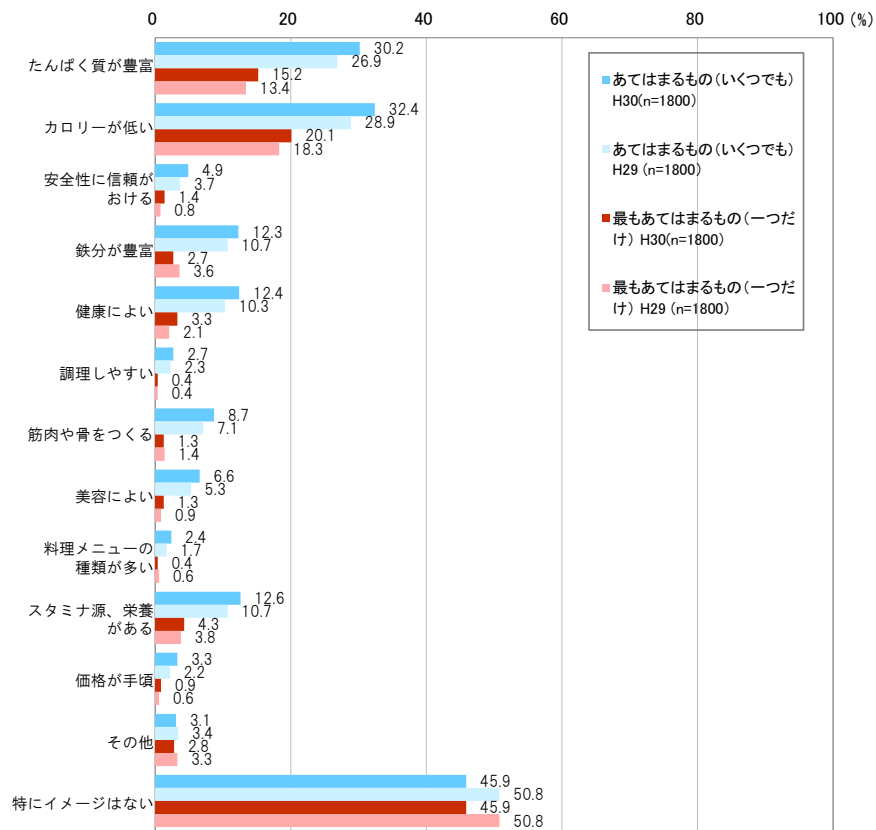


図表 54 「ジビエ」の喫食機会（年代別）

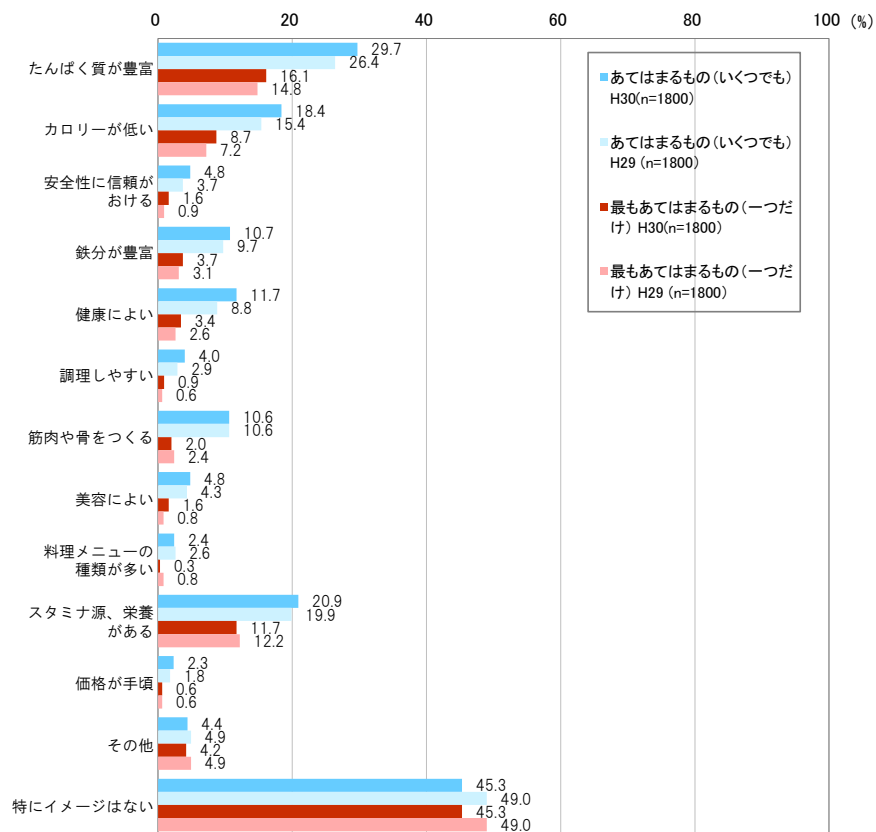
4) 「シカ肉」「イノシシ肉」に対するイメージ（Q53）の地域・年代別分析

シカ肉に対するイメージ（Q53／複数回答）は、昨年同様、「カロリーが低い」「たんぱく質が豊富」が高い。

一方、イノシシ肉に対するイメージ（複数回答）は、昨年同様、「たんぱく質が豊富」が最も高く、次いで、「スタミナ源、栄養がある」「カロリーが低い」が高くなっている。



図表 55 「シカ肉」に対するイメージ



図表 56 「イノシシ肉」に対するイメージ

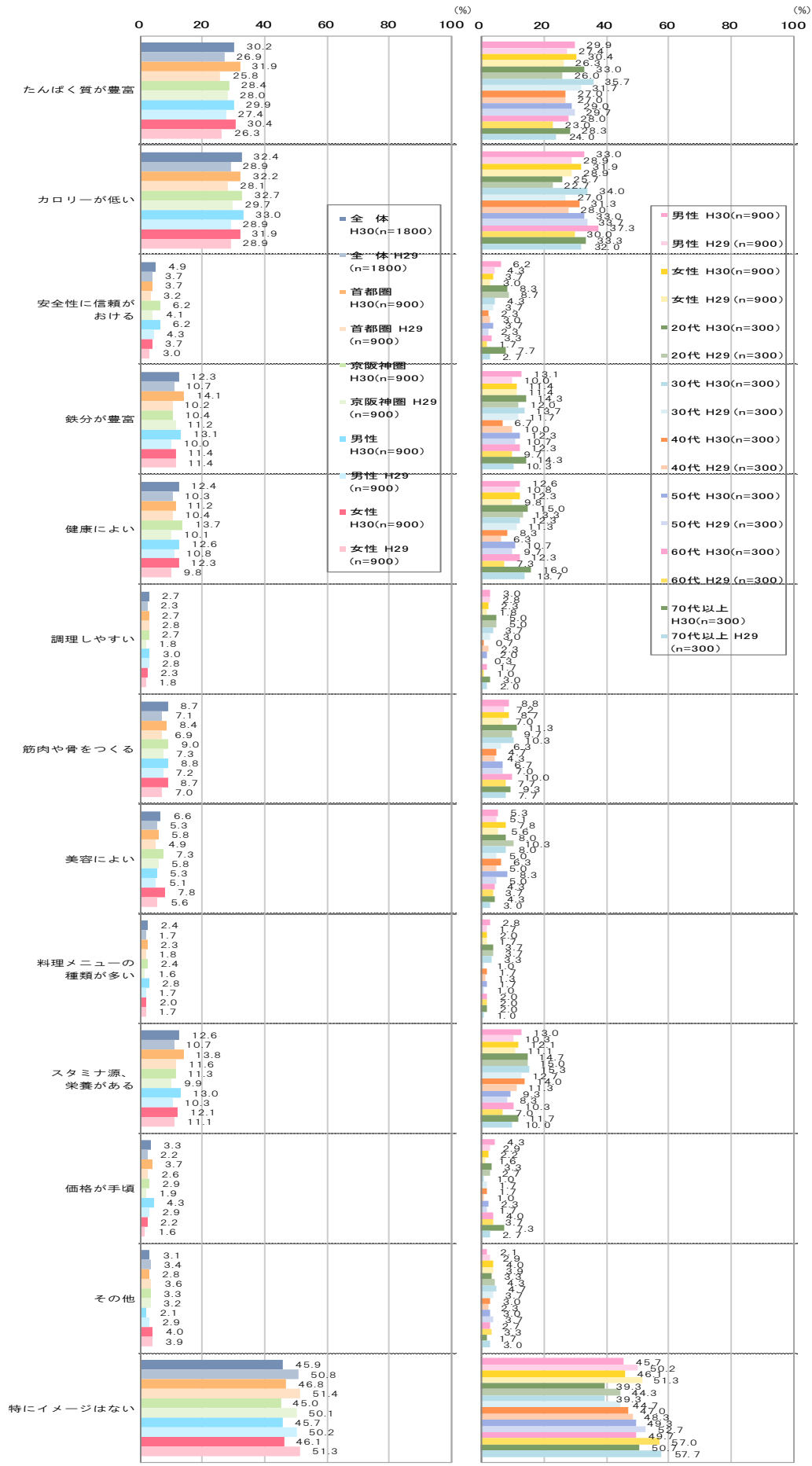
シカ肉に対するイメージ（複数回答）は、エリア別・性別では、大きな違いは見られない。

年代別に見ると、加齢とともに「特にイメージはない」が多くなっている。一方、20代では、「たんぱく質が豊富」「筋肉や骨を作る」「美容によい」といったイメージが他の年代に比べて高くなっている。

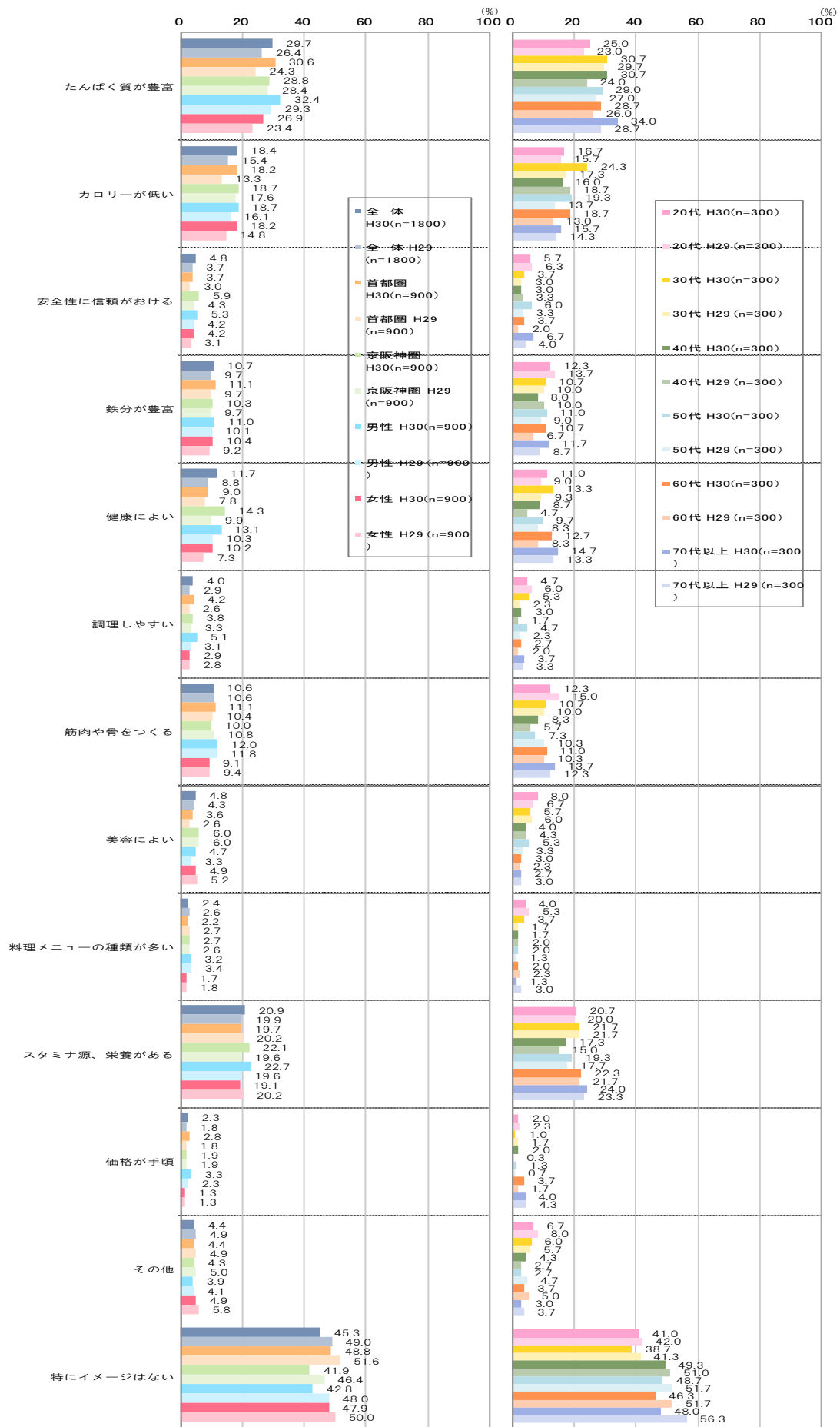
イノシシ肉に対するイメージ（複数回答）をエリア別に見ると、首都圏では「特にイメージがない」が半数以上を占める。京阪神圏の方が「健康によい」「美容によい」「安全性に信頼がおける」が首都圏より高くなっている。

性別に見ると、男性の方が「たんぱく質が豊富」が女性より高くなっている。

年代別に見ると、20代では、「筋肉や骨を作る」「美容によい」「安全性に信頼がおける」といったイメージが他の年代に比べてやや高くなっている。



図表 57 「シカ肉」に対するイメージ（複数回答／エリア・性別・年代別）

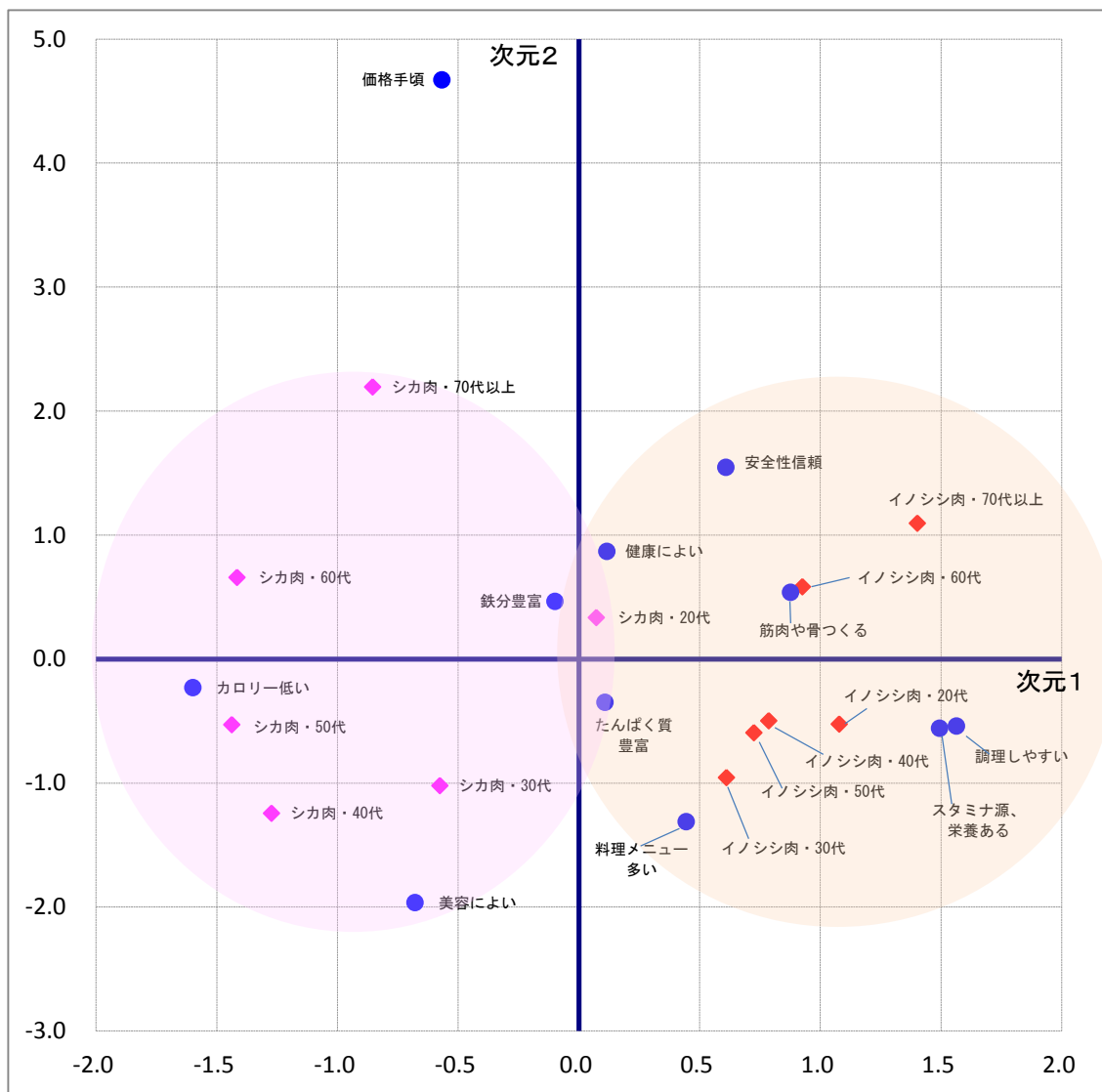


図表 58 「イノシシ肉」に対するイメージ（複数回答／エリア・性別・年代別）

シカ肉・イノシシ肉に対する年代別イメージ（複数回答）で、コレスポンデンス分析を行った。

イノシシ肉は、各年代が近い位置にあり、「筋肉や骨を作る」「スタミナ源、栄養がある」「たんぱく質が豊富」「健康によい」「料理メニューが多い」「調理しやすい」「安全性に信頼がおける」と近い位置にあり、相対的に関連が強いと考えられる。

シカ肉も、各年代が近い位置にあり、「カロリーが低い」「美容によい」「鉄分が豊富」「たんぱく質が豊富」に近い位置にあり、これらのイメージが相対的に強いと考えられる。



(寄与率 次元1 53.0%、次元2 22.1%)

図表 59 「シカ肉」「イノシシ肉」に対するイメージ（複数回答）の年代別コレスポンデンス分析結果

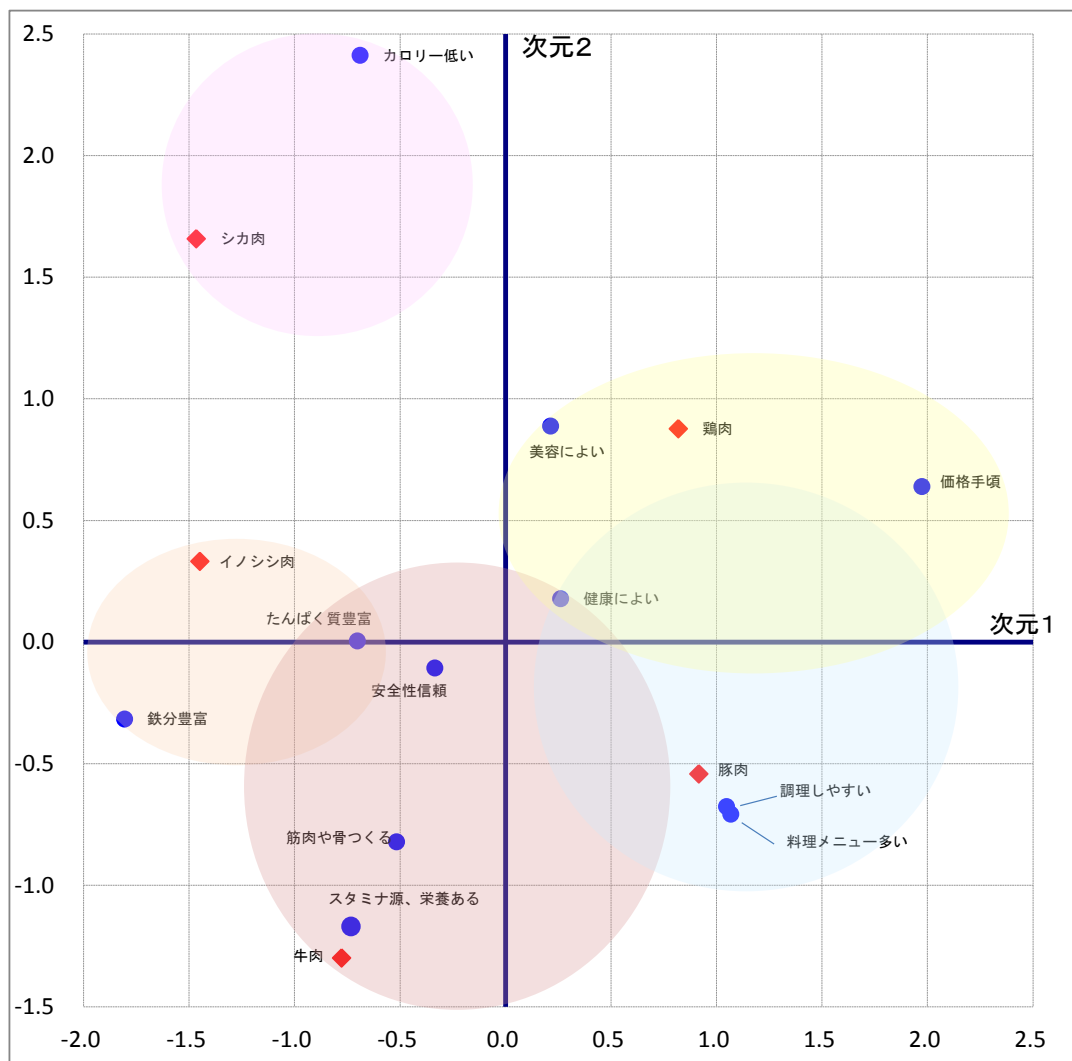
シカ肉・イノシシ肉に対するイメージ（Q53／複数回答）と、牛肉・豚肉・鶏肉に対するイメージ（Q5／複数回答）のイメージの違いを見るために、コレスポンデンス分析を行った。昨年度とほぼ同一の分析結果となった。

シカ肉は「カロリーが低い」に近い位置にあり、相対的に独立したポジションにあると考えられる。

一方、イノシシ肉は、「たんぱく質が豊富」「鉄分が豊富」に近い位置にあり、これらのイメージが相対的に強いと考えられる。

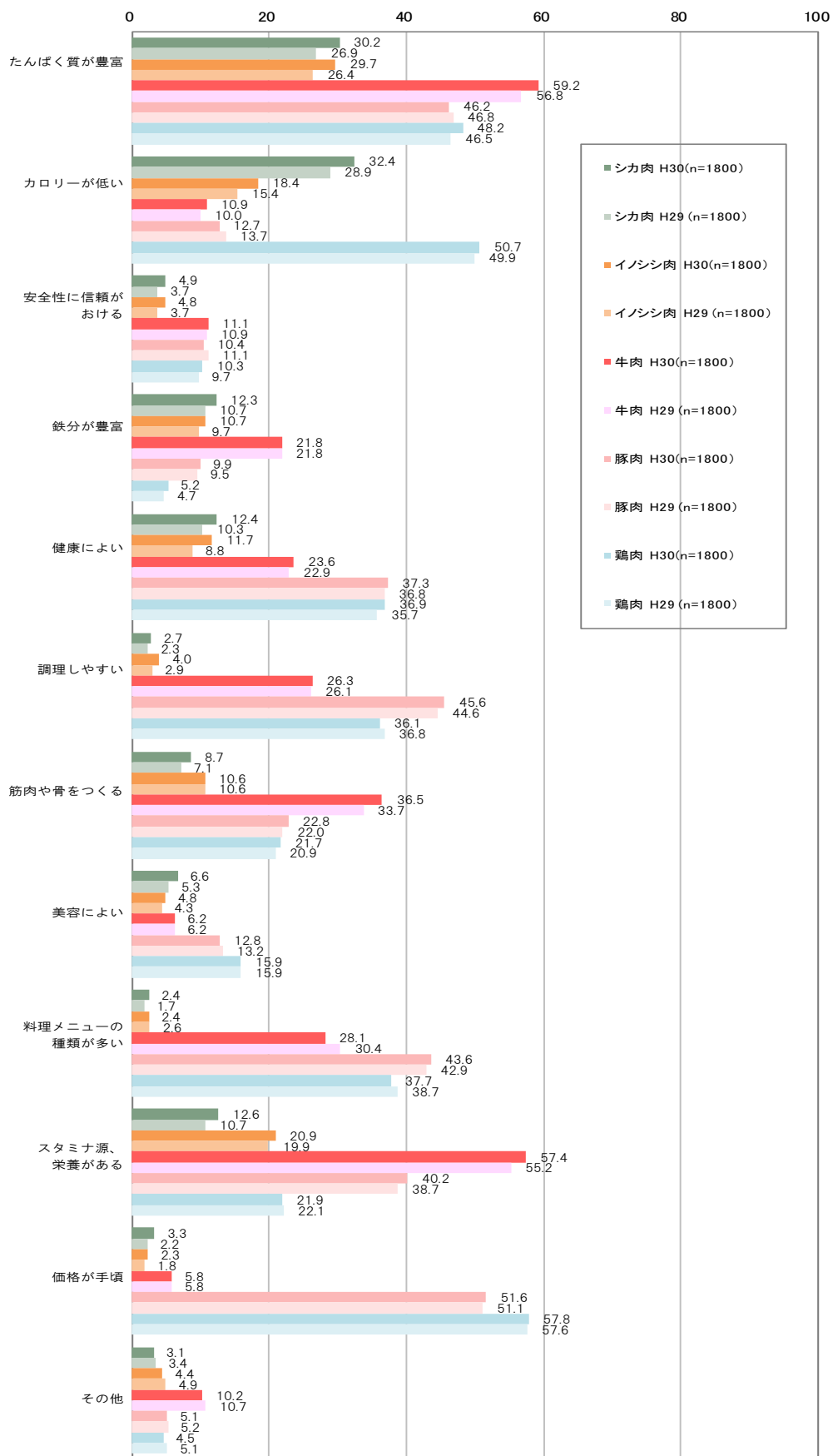
牛肉は、「スタミナ源、栄養がある」「筋肉や骨を作る」「安全性に信頼がおける」「たんぱく質が豊富」などのイメージに近い位置にある。

豚肉は、「調理しやすい」「料理メニューの種類が多い」「健康によい」「価格が手頃」のイメージが強く、鶏肉は「美容によい」「健康によい」「価格が手頃」のイメージが強いと考えられる。



(寄与率 次元1 59.6%、次元2 38.6%)

図表 60 「シカ肉」「イノシシ肉」に対するイメージのコレスポンデンス分析結果



図表 61 「シカ肉」「イノシシ肉」「牛肉」「豚肉」「鶏肉」に対するイメージ

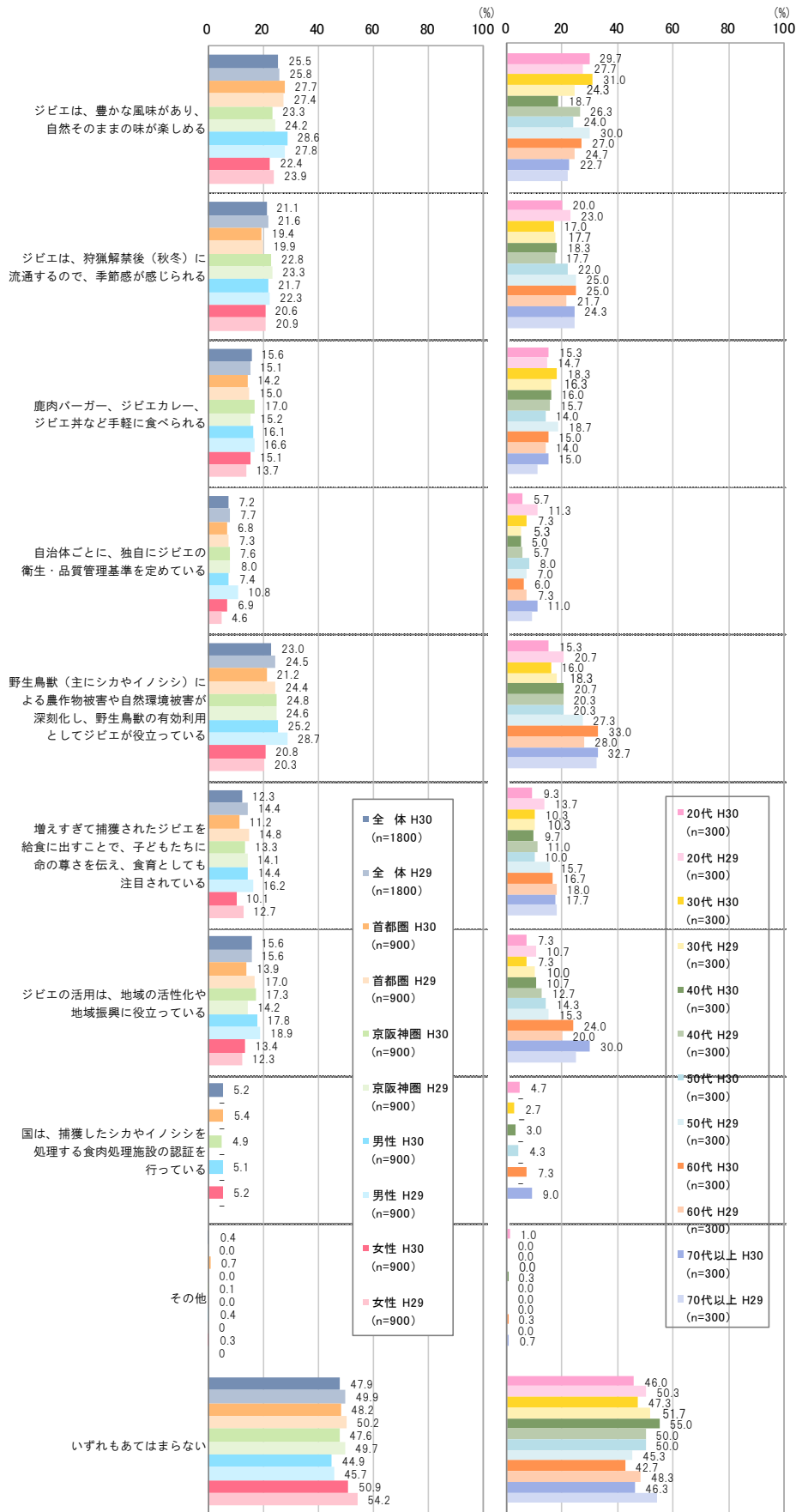
5) 「ジビエ」についての知っている事柄と魅力を感じる事柄（Q54）の地域・年代別分析

「ジビエ（主にシカとイノシシ）」について知っている事柄（Q54(1)／複数回答）は、昨年同様、「ジビエは、豊かな風味があり、自然そのままの味が楽しめる」が最も高く、次いで「野生鳥獣（主にシカやイノシシ）による農作物被害や自然環境被害が深刻化し、野生鳥獣の有効利用としてジビエが役立っている」、「ジビエは、狩猟解禁後（秋冬）に流通するので、季節感が感じられる」が高くなっている。

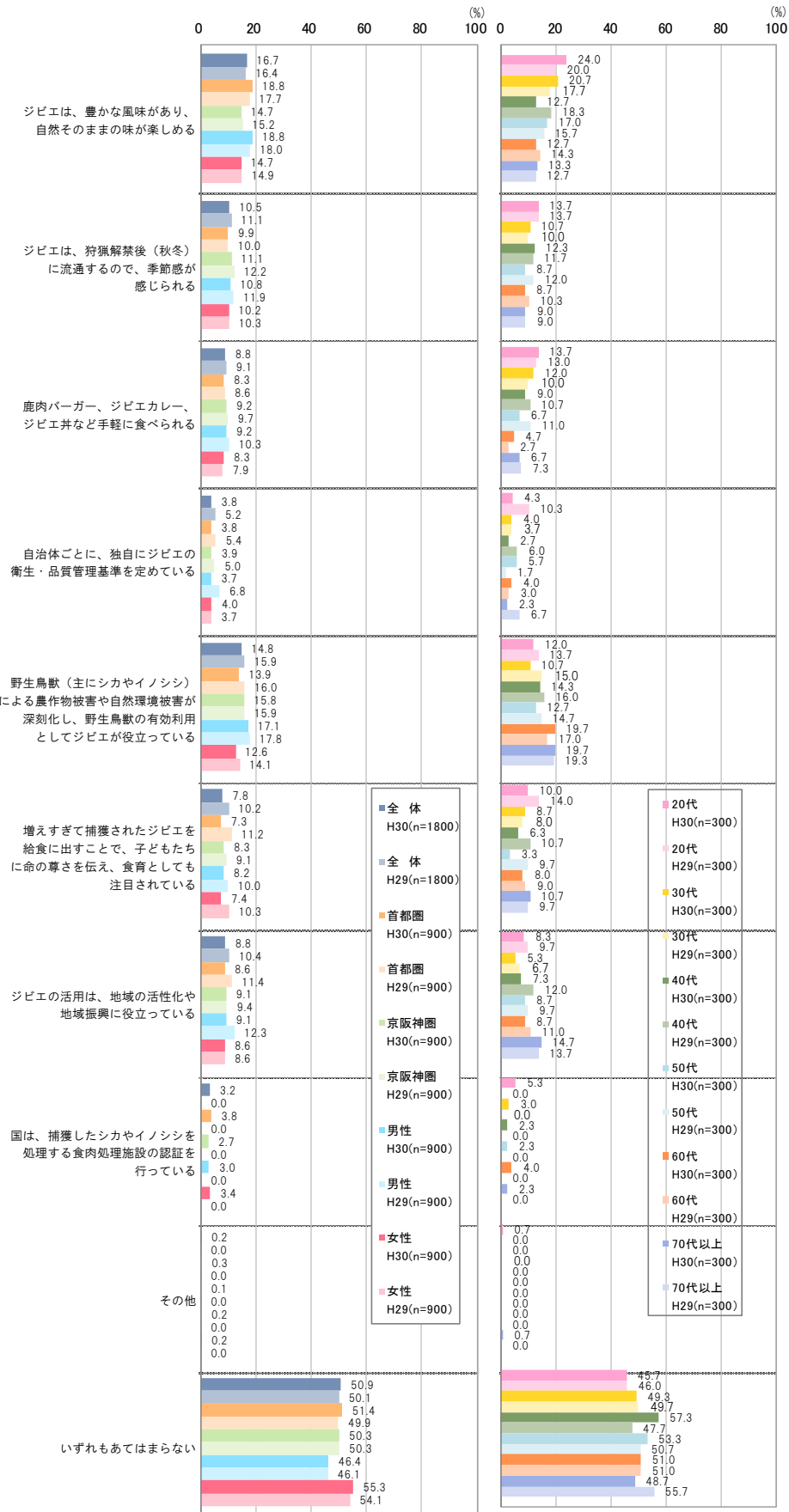
「国は、捕獲したシカやイノシシを処理する食肉処理施設の認証を行っている」は 5.2%とまだあまり認知されてはいない。

「ジビエ（主にシカとイノシシ）」について魅力を感じる事柄（Q54(2)／複数回答）は、昨年同様、「ジビエは、豊かな風味があり、自然そのままの味が楽しめる」が最も高く、「野生鳥獣（主にシカやイノシシ）による農作物被害や自然環境被害が深刻化し、野生鳥獣の有効利用としてジビエが役立っている」、「ジビエは、狩猟解禁後（秋冬）に流通するので、季節感が感じられる」が高くなっている。

「国は、捕獲したシカやイノシシを処理する食肉処理施設の認証を行っている」は、認知度と同様、魅力度も 3.2%と低い。



図表 62 「ジビエ（主にシカとイノシシ）」の知っている事柄



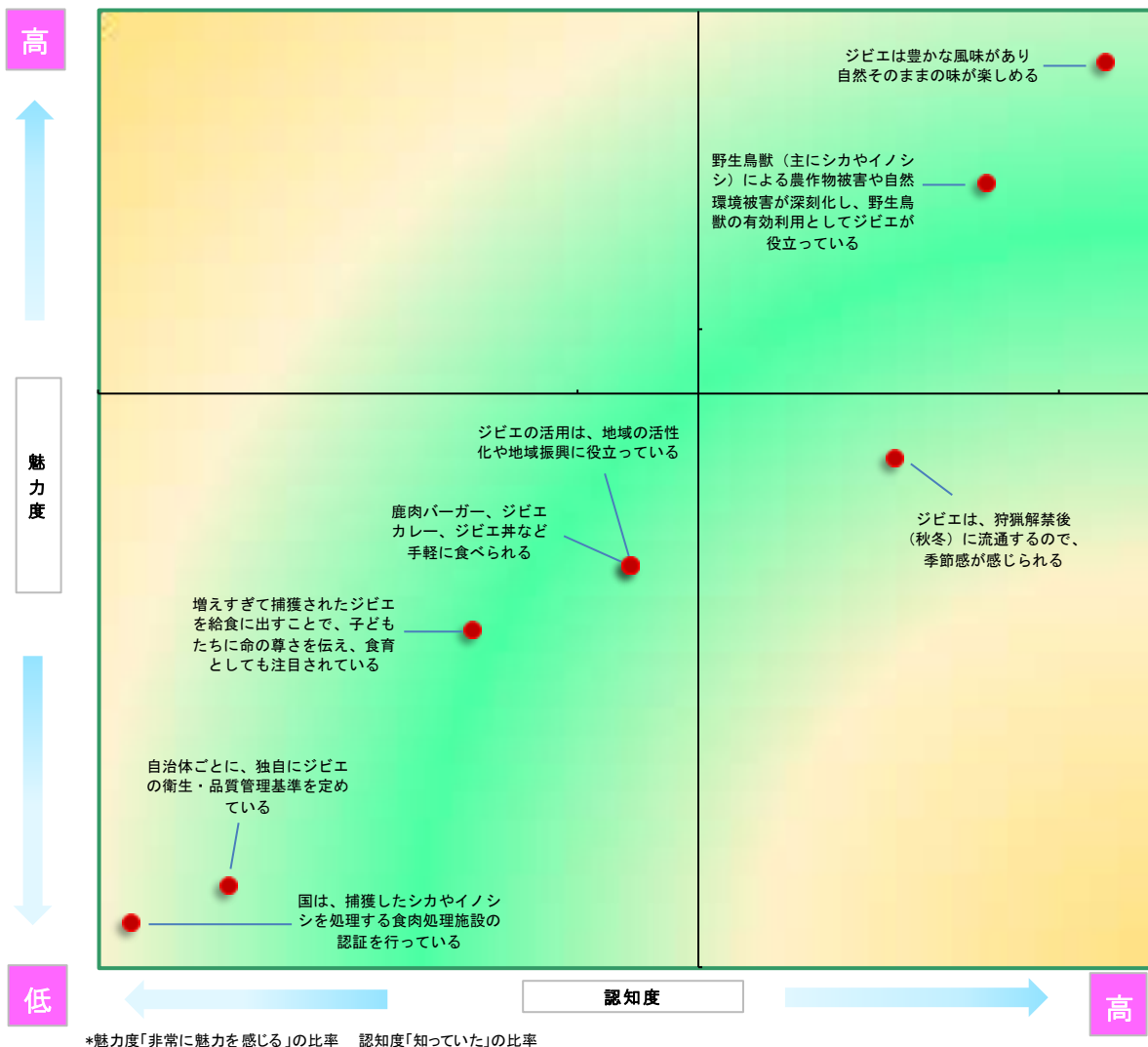
図表 63 「ジビエ（主にシカとイノシシ）」の魅力に感じる事柄

「ジビエ（主にシカとイノシシ）」について知っている事柄を横軸、魅力に感じる事柄を縦軸に、プロット図にまとめた。

認知度・魅力度ともに高い事柄は、「ジビエは、豊かな風味があり、自然そのままの味が楽しめる」「野生鳥獣（主にシカやイノシシ）による農作物被害や自然環境被害が深刻化し、野生鳥獣の有効利用としてジビエが役立っている」である。

一方、認知度は高めだが魅力度が低い事柄は、「ジビエは、狩猟解禁後（秋冬）に流通するので、季節感が感じられる」である。

「自治体ごとに、独自にジビエの衛生・品質管理基準を定めている」「国は、捕獲したシカやイノシシを処理する食肉処理施設の認証を行っている」は、現時点では、認知度・魅力度ともに低い事柄となっており、今後の課題である。



図表 64 「ジビエ（主にシカとイノシシ）」の知っている事柄×魅力に感じる事柄

6) 「ジビエ」のマークの認知度（Q55）の地域・年代別分析

「ジビエ（主にシカ肉・イノシシ肉）」のマークの認知度（Q55）を説明文とマークを提示して聞いた結果、昨年同様、「確かに見たことがある」が2.1%、「見たことがあるような気がする」が7.3%で、見たことがある計は全体の約1割となっている。「マークがあることは知っているが見たことはない」までを含めた認知度計は18.0%である。

エリア別に見ても、昨年同様、認知度の大きな違いは見られない。

性別に見ると、昨年同様、男性が認知度計で2割以上と、男性の方が高い。

年代別に見ると、昨年同様、若い年代の方が認知度が高くなっており、20代は2割以上と高い。

日本では、近年、野生鳥獣による農作物被害が深刻化しているため、増え過ぎた野生動物の捕獲を積極的に実施しており、効果的に進めていくために、野生動物の有効利用（食肉化・ジビエ）が考えられるようになりました。

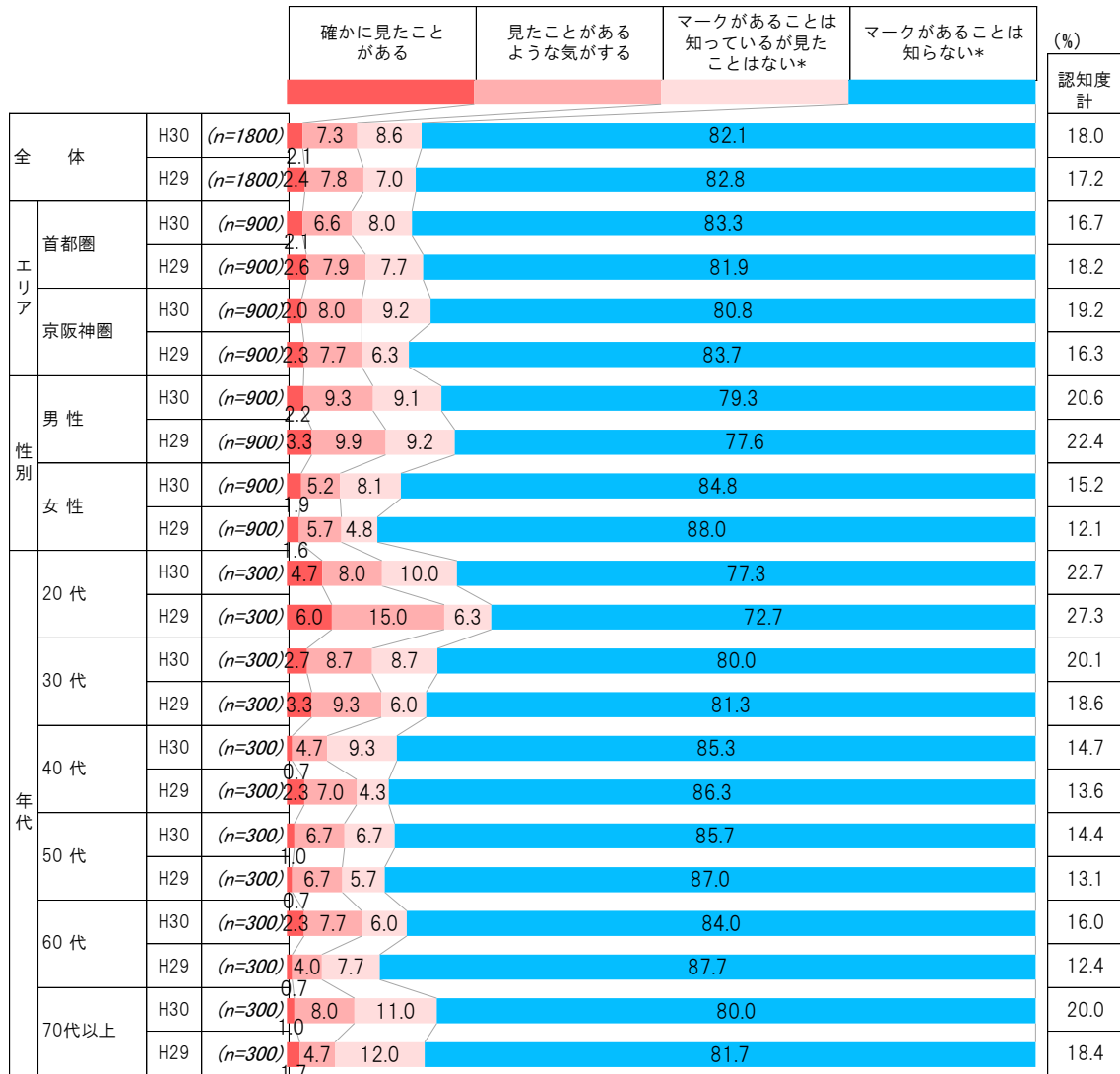
自治体ごとに、独自にジビエ（主にシカとイノシシ）の衛生・品質管理基準を定めており、食用に適すると認証した肉には下記のようなマークを与えています。



なお、農林水産省は平成30年度より「国産ジビエ認証制度」を制定しました。認証事業者が認証を受けた食肉処理施設で生産したジビエ製品には、下記の認証マークを表示することができます。



図表 65 提示説明文及びマーク



*平成29年の選択肢「ロゴマークがあることは知っていたが見たことはない」「ロゴマークがあることは知らない」より変更
 認知度計⇒「確かに見たことがある」+「見たことがあるような気がする」+「ロゴマークがあることは知っているが見たことはない」
 *「マークがあることは知っているが見たことはない」、「マークがあることは知らない」は平成30年より変更

図表 66 「ジビエ（主にシカ肉・イノシシ肉）」のマークの認知度

7) 「ジビエ」のマーク製品の購入意向（Q56）と価格許容度（Q57）の地域・年代別分析

一般のお店やレストランで、食用に適すると認証した「ジビエ（主にシカ肉・イノシシ肉）」に与えられる「マーク」がついている商品の購入意向（Q56）を説明文とマークを提示して聞いた結果、「割高でも購入したい・食べたい」が4.8%、「マークがついていない商品と同程度の価格なら購入したい・食べたい」が12.9%で、同程度以上の価格（割高＋同程度）の購入意向計が17.7%である。

「安ければ購入したい・食べたい」25.2%も含めた購入意向計は全体の42.9%で、「購入したくない・食べたくない」が23.1%、「わからない」が33.9%いる。昨年度と比べると、同程度以上の価格（割高＋同程度）の購入意向計が5.6%、購入意向計が3.5ポイント減っている。

エリア別に、同程度以上の購入意向計を見ると、今年度は、首都圏が17.4%、京阪神圏が18.2%と違いは見られない。

性別に、同程度以上の購入意向計を見ると、昨年同様、男性の方が女性より高い。

年代別に、同程度以上の購入意向計を見ると、昨年同様、20代は2割以上と高い。

日本では、近年、野生鳥獣による農作物被害が深刻化しているため、増え過ぎた野生動物の捕獲を積極的に実施しており、効果的に進めていくために、野生動物の有効利用（食肉化・ジビエ）が考えられるようになりました。

自治体ごとに、独自にジビエ（主にシカとイノシシ）の衛生・品質管理基準を定めており、食用に適すると認証した肉には下記のようなマークを与えています。



なお、農林水産省は平成30年度より「国産ジビエ認証制度」を制定しました。認証事業者が認証を受けた食肉処理施設で生産したジビエ製品には、下記の認証マークを表示することができます。



図表 67 提示説明文及びマーク

		<div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> 割高でも購入したい・食べたい マークがついていない商品と、同程度の価格なら購入したい・食べたい* 安ければ購入したい・食べたい 購入したくない・食べたくない わからない </div>					(%) <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: x-small;"> 「同程度以上」購入意向計 購入意向計 </div>			
全 体	H30	(n=1800)	4.8	12.9	25.2	23.1	33.9	17.7	42.9	
	H29	(n=1800)	4.7	18.8	22.9	19.6	33.9	23.5	46.4	
エリア	首都圏	H30	(n=900)	4.7	12.7	24.9	23.7	34.1	17.4	42.3
		H29	(n=900)	5.7	19.3	23.6	19.4	32.0	25.0	48.6
	京阪神圏	H30	(n=900)	5.0	13.2	25.6	22.6	33.7	18.2	43.8
		H29	(n=900)	3.8	18.2	22.3	19.8	35.9	22.0	44.3
性別	男 性	H30	(n=900)	5.4	15.7	30.3	16.9	31.7	21.1	51.4
		H29	(n=900)	5.3	22.7	28.6	14.2	29.2	28.0	56.6
	女 性	H30	(n=900)	4.2	10.2	20.1	29.3	36.1	14.4	34.5
		H29	(n=900)	4.1	14.9	17.3	25.0	38.7	19.0	36.3
年代	20 代	H30	(n=300)	8.0	15.7	29.7	15.0	31.7	23.7	53.4
		H29	(n=300)	7.3	22.0	25.0	15.7	30.0	29.3	54.3
	30 代	H30	(n=300)	4.3	15.3	27.7	19.7	33.0	19.6	47.3
		H29	(n=300)	4.7	23.3	22.0	17.0	33.0	28.0	50.0
	40 代	H30	(n=300)	3.3	13.7	24.7	18.7	39.7	17.0	41.7
		H29	(n=300)	5.0	19.0	28.0	14.7	33.3	24.0	52.0
	50 代	H30	(n=300)	4.7	11.0	23.7	22.3	38.3	15.7	39.4
		H29	(n=300)	3.7	15.0	25.7	19.7	36.0	18.7	44.4
	60 代	H30	(n=300)	2.7	10.0	23.3	31.3	32.7	12.7	36.0
		H29	(n=300)	4.0	17.7	18.3	26.3	33.7	21.7	40.0
	70代以上	H30	(n=300)	6.0	12.0	22.3	31.7	28.0	18.0	40.3
		H29	(n=300)	3.7	15.7	18.7	24.3	37.7	19.4	38.1

*平成29年の選択肢「ロゴマークマークがついていない商品と、同程度の価格なら購入したい・食べたい」より変更
「同程度以上」購入意向計⇒「割高でも購入したい・食べたい」+「マークがついていない商品と、同程度の価格なら購入したい・食べたい」
購入意向計⇒「割高でも購入したい・食べたい」+「マークがついていない商品と、同程度の価格なら購入したい・食べたい」+「安ければ購入したい・食べたい」

図表 68 「ジビエ（主にシカ肉とイノシシ肉）」のマーク製品の購入意向

「マークがついていない商品」と比べ、どのくらいの価格レベルまでなら、「食用に適すると認証したジビエのマークがついている商品」を選ぶかの価格許容度（Q57）をマークを提示して聞いた結果、昨年同様、全体の約2割が「割高でもマークがついている商品を選ぶ」と回答した。「同等の価格」以上では、昨年同様、4割以上が「マークがついている商品を選ぶ」としている。一方、「食用に適すると認証したジビエのマークの商品へのこだわりはない」は、今年度は15.9%とやや減ったが、「マークの有無にかかわらずジビエは食べない・買わない」が41.4%と昨年より4.0ポイント増加している。

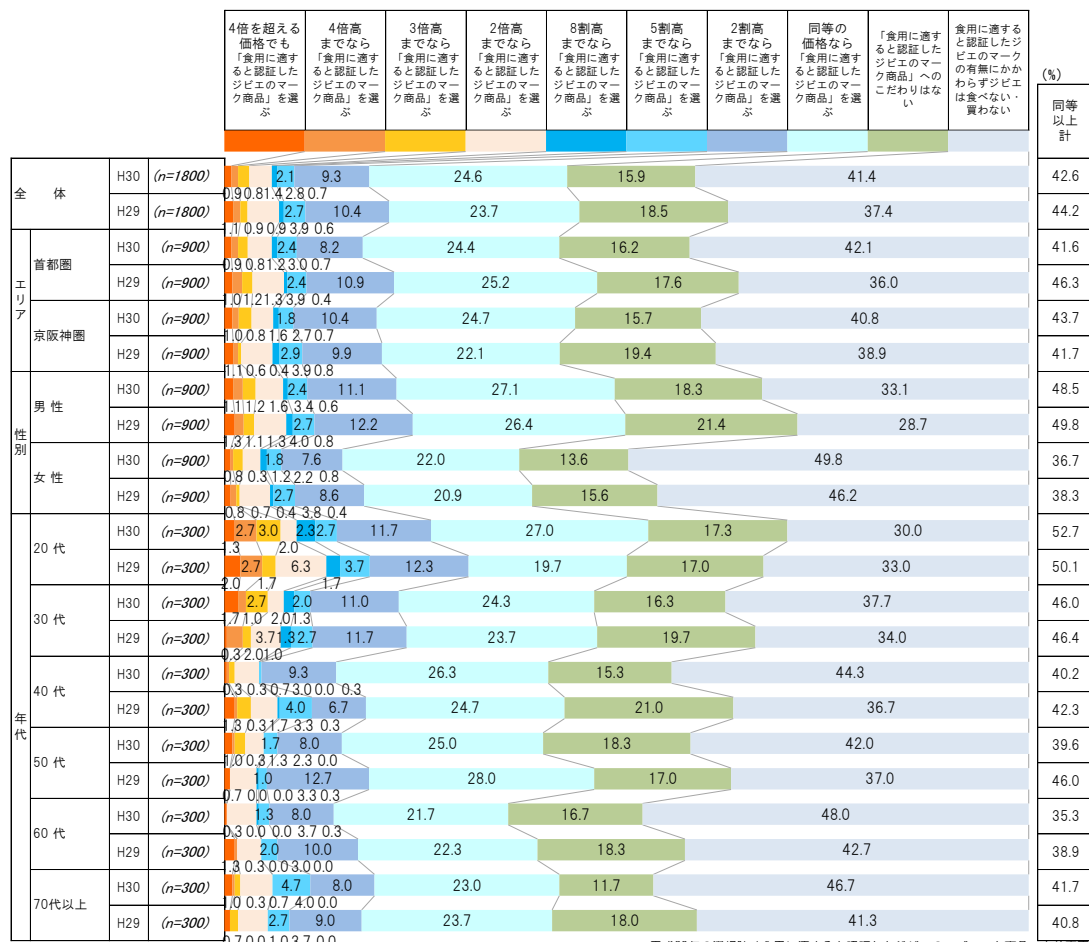
エリア別に見ると、京阪神圏の方がやや価格許容度が高い。

性別に見ると、昨年同様、男性の方が女性より価格許容度が高い。

年齢別に見ると、20代は「割高でもマークがついている商品を選ぶ」が多い。



図表 69 提示マーク



*平成29年の選択肢「食用に適すると認証したジビエのロゴマーク商品」より裏面同等以上計⇒「4倍を超える価格でも食用に適すると認証したジビエのマークの商品を選ぶ」+「4倍高までなら〜」+「3倍高までなら〜」+「2倍高までなら〜」+「8割高までなら〜」+「5割高までなら〜」+「2割高までなら〜」+「同等の価格なら〜」

図表 70 「ジビエ」のマーク製品の価格許容度

2.5 福島県産牛肉の購入意向に関する考察

- ・ 福島県産牛肉の購入意向は、この7年間で見ると「割高でも購入したい」と「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」の合計が増加傾向、「購入したくない」が減少傾向。
- ・ 「購入したくない」の回答理由は、「原発事故の影響が気になる」「安全なイメージがない」「放射能や放射性物質の影響が気になる」が非常に高く、依然として原発事故の影響が購入阻害要因となっていると考えられる。「わからない」の回答理由は、「特に理由はない」が高いが、「なんとなく不安」「安全なイメージがない」や「原発事故の影響」「放射能や放射性物質の影響」が気になっており、漠然とした不安感が購入阻害要因と考えられる。
- ・ 「購入したくない」と回答している対象者は、昨年度と同様、牛肉の安全性に対して不安を感じており、食肉の放射能汚染への関心が高く、福島県産の食肉への放射能汚染についての不安感が高い。
- ・ 福島県産食肉の放射能汚染について不安を感じている人は、一般的な放射線に関する知識はあるが、牛・食品・食肉の放射性物質濃度の基準値や検査結果に関する知識が少ない人が多く、それが不安感に影響を与えていると考えられる。
- ・ 放射能汚染の不安解消に必要なこととして、不安を感じている人では、「福島県産の全ての食肉から、放射性物質が検出されないこと」「福島県の大気・土壌・水中の放射線量が平常値であること」が高く、放射性物質・放射線量への不安感が強い。
- ・ 福島県産牛肉の購入受容について特徴分析を機械学習の1つである決定木で行ったところ、「厚生労働省」と「食肉卸売業者」が食肉の安全性を確保するために行っている取り組みに対する「信頼性」が、福島県産牛肉の購入受容には非常に重要であることがわかる。

2.5 では、福島県産牛肉の購入意向を把握すること、及びそれを高める方策を探ることを目的とし、以下の6つの分析を行った。

- 1) 福島県産牛肉の購入意向 (Q16) の時系列分析
- 2) 福島県産牛肉の購入意向 (Q16) で「購入したくない」「わからない」と回答した対象者の購入阻害要因分析
- 3) 福島県産牛肉の購入意向 (Q16) で「購入したくない」と回答した対象者の分析
- 4) 福島県産食肉の放射能汚染への不安 (Q31) と放射性物質に関する知識 (Q29・Q30) に関する分析
- 5) 福島県産食肉の放射能汚染への不安 (Q31) と放射能汚染への不安解消に必要な事柄 (Q32) に関する分析
- 6) 福島県産牛肉の購入意向 (Q16) による受容者・拒否者・保留者のセグメント特徴分析 (決定木)

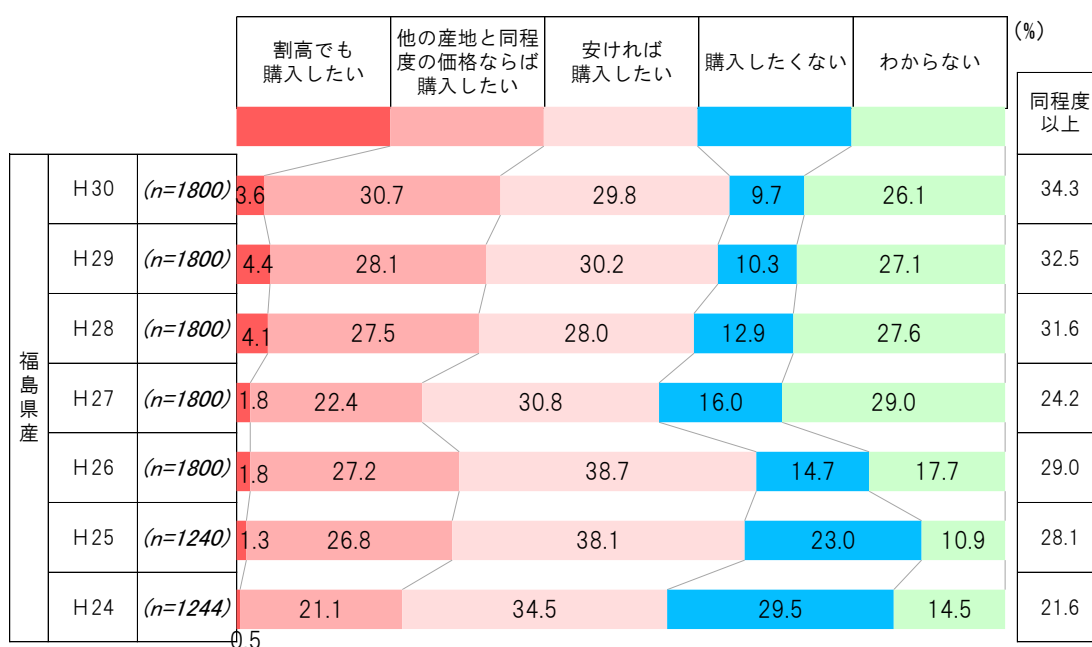
1) 福島県産牛肉の購入意向（Q16）の時系列分析

福島県産牛肉の購入意向（Q16）がどのように変化しているかを把握するため、平成 24 年度調査から今年度調査までの結果を比較した。

その結果を見ると「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」は増加傾向にあり昨年度から 2.6 ポイント増加した。「割高でも購入したい」と「他の産地と同程度ならば購入したい」の合計は 34.3%となり、昨年度に引き続き 3 割を超えた。

一方、「安ければ購入したい」は 29.8%と昨年度と同水準となった。

「購入したくない」は減少傾向にあり、平成 24 年度には約 3 割、平成 25 年度には約 2 割だったのが、昨年度は 10.3%となり、今年度は 0.6 ポイント減少し 9.7%と 1 割未満にまで減少した。また、「わからない」は 26.1%と昨年度と同水準である。



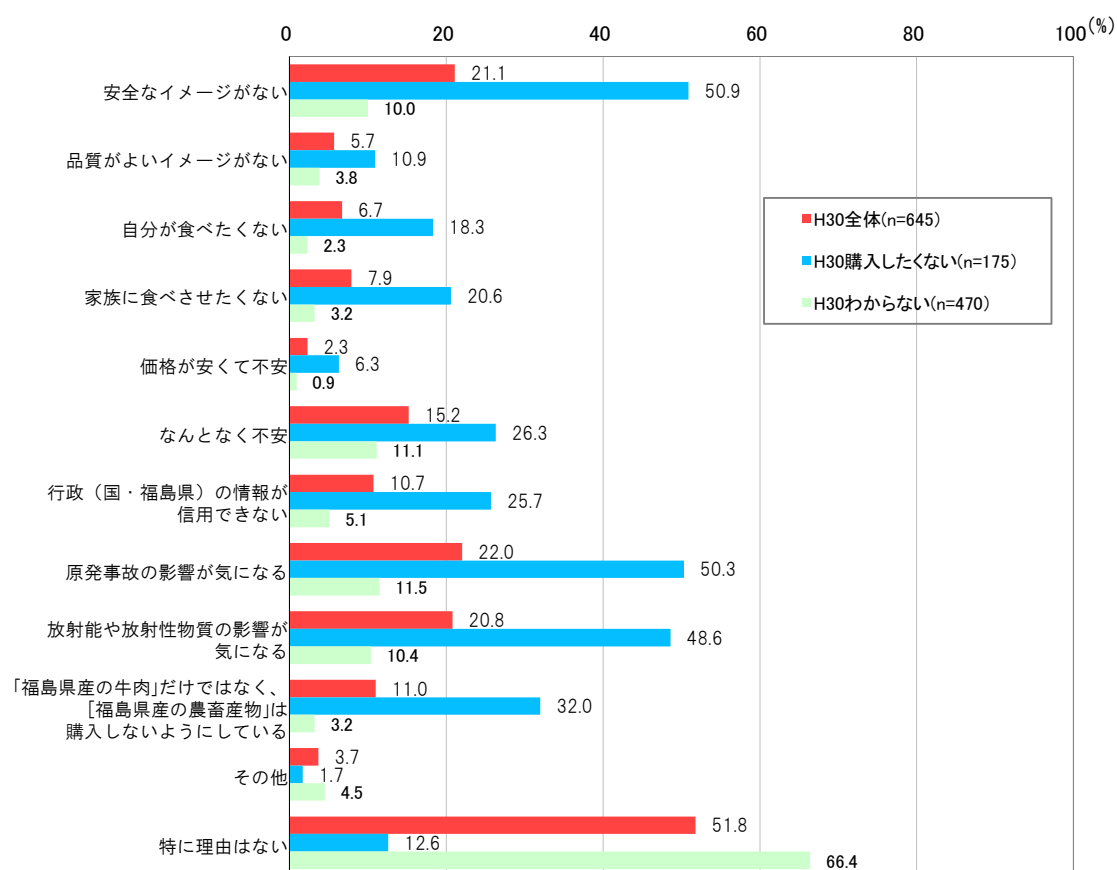
図表 71 福島県産牛肉の購入意向

2) 福島県産牛肉の購入意向 (Q16) で「購入したくない」「わからない」と回答した対象者の購入阻害要因分析

福島県産牛肉の購入意向 (Q16) について、「購入したくない」「わからない」と回答した対象者にその理由を聞いたところ、以下のような特徴が見られた。

「購入したくない」と回答した対象者 (拒否者) では、「原発事故の影響が気になる」「安全なイメージがない」「放射能や放射性物質の影響が気になる」が非常に高く、依然として原発事故の影響が福島県産牛肉の購入阻害要因となっていることが考えられる。

一方、「わからない」と回答した対象者 (保留者) では、「特に理由はない」が 66.4%と高く、「なんとなく不安だから」「原発事故の影響が気になる」「安全なイメージがない」「放射能や放射性物質の影響が気になる」は 1 割程度である。保留者では、漠然とした不安感が福島県産牛肉の購入阻害要因となっていることが考えられる。

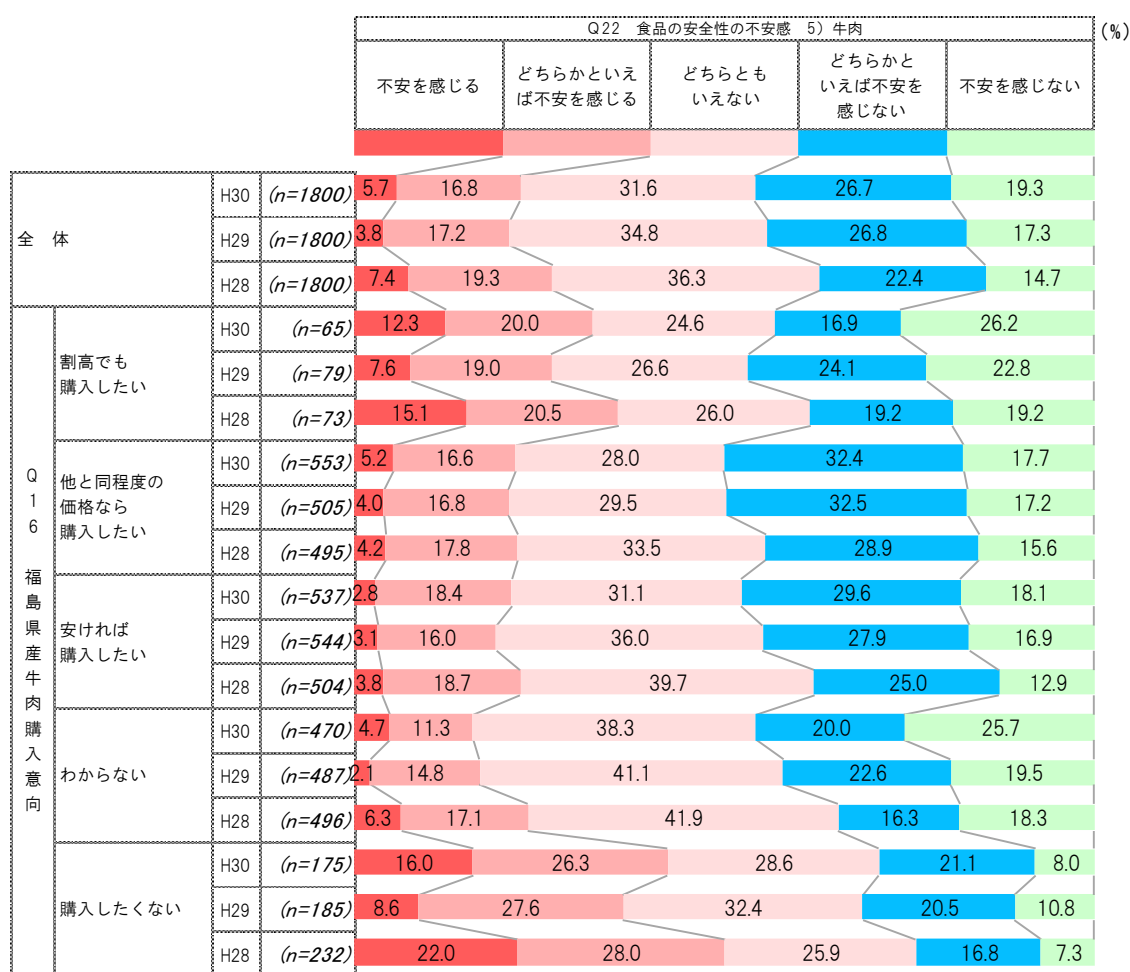


図表 72 福島県産牛肉購入意向を「購入したくない」「(購入したいかどうか) わからない」理由

3) 福島県産牛肉の購入意向（Q16）で「購入したくない」と回答した対象者の分析

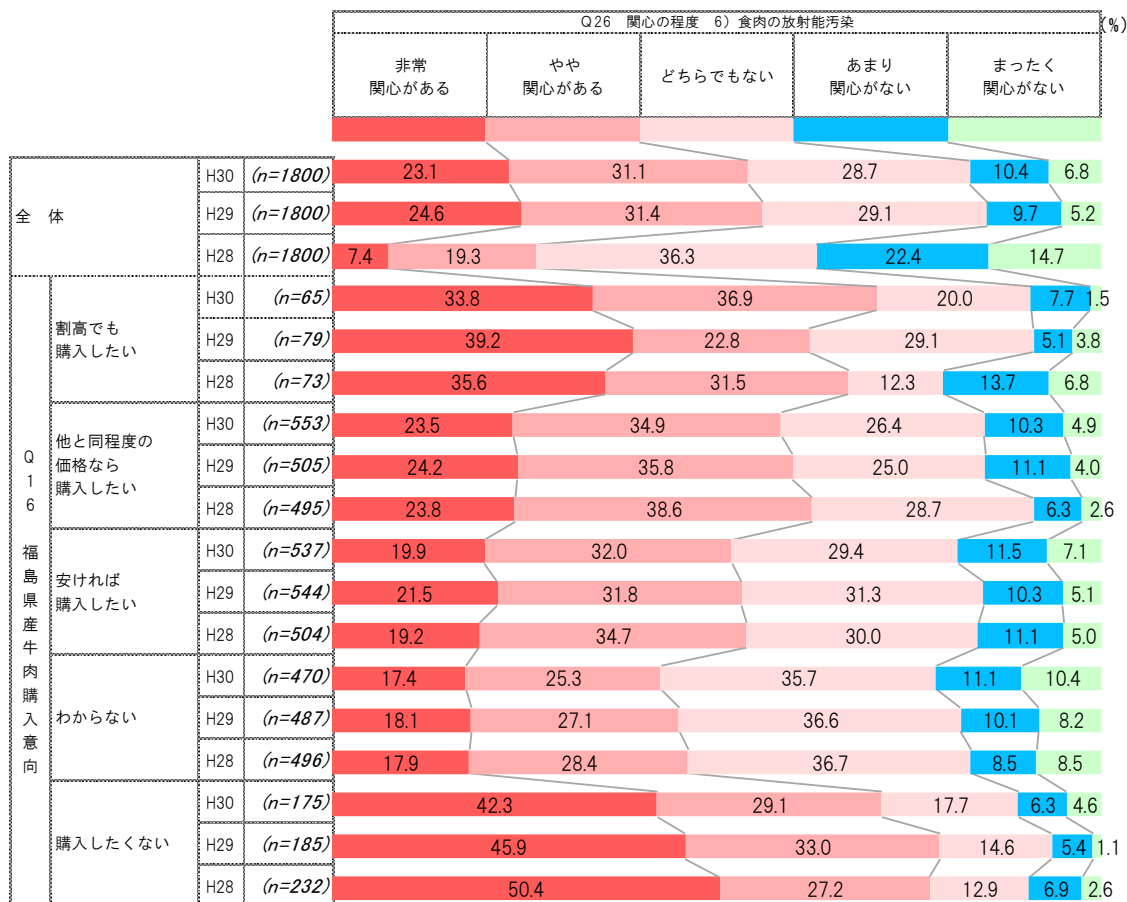
続いて福島県産牛肉の購入意向（Q16）について、「購入したくない」と回答した対象者（平成30年度175名、平成29年度185名、平成28年度232名）がどのような特徴を持っているかを抽出するため、各設問とクロス集計を行ったところ、以下のような特徴が見られた。

「購入したくない」と回答した対象者は、昨年度と同様、牛肉の安全性(Q22)で「不安を感じる」「どちらかといえば不安を感じる」とする割合が他に比べて高い。



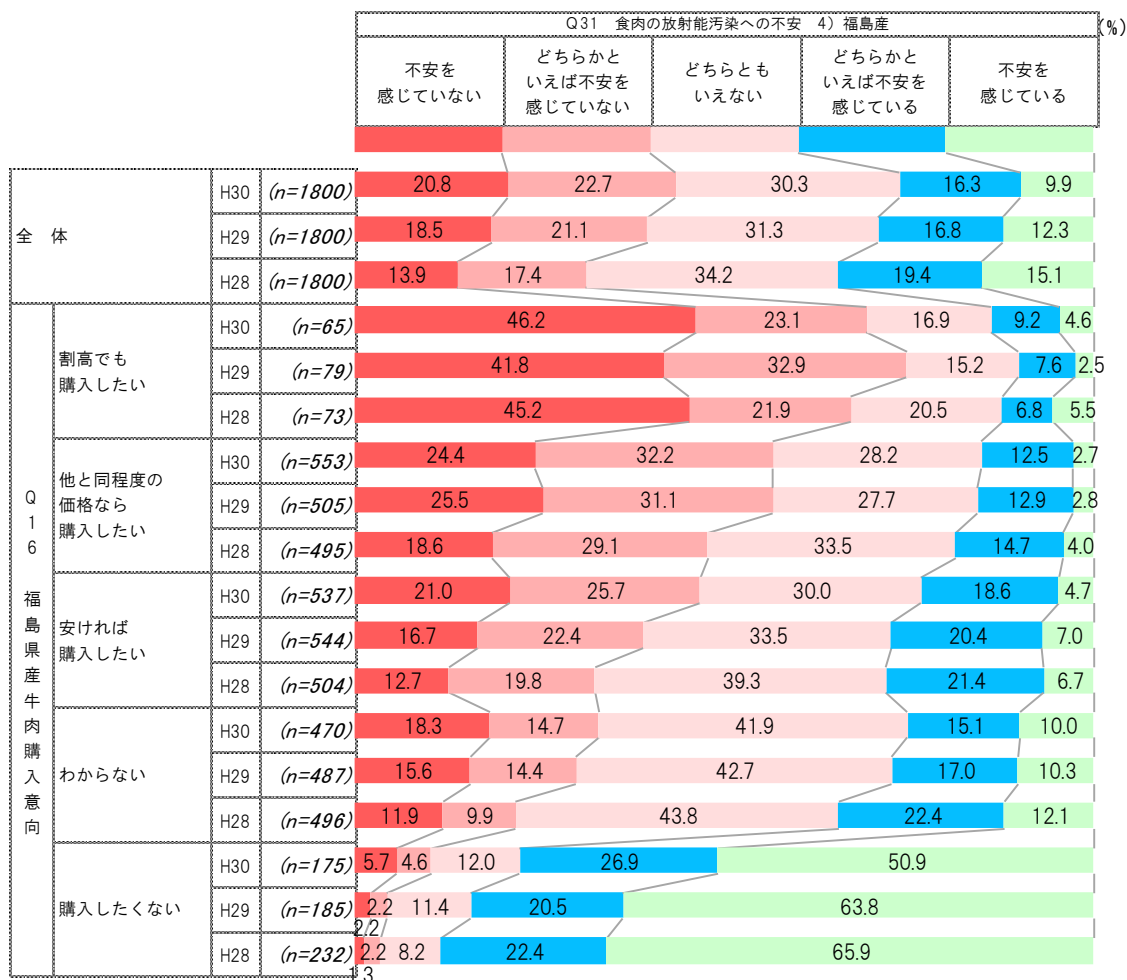
図表 73 福島県産牛肉購入意向と牛肉の安全性の不安感のクロス集計結果

「購入したくない」と回答した対象者は、食肉の放射能汚染（Q26）に対しては、昨年度と同様「非常に興味がある」とする割合が他に比べて高いが、その割合は減少傾向にある。



図表 74 福島県産牛肉購入意向と食肉の放射能汚染への関心のクロス集計結果

「購入したくない」と回答した対象者は、福島県産食肉の放射能汚染への不安（Q31）に対しては、「不安を感じている」とする割合が他に比べて非常に高いが、その割合は減少傾向にある。



図表 75 福島県産牛肉購入意向と福島県産食肉の放射能汚染への不安のクロス集計結果

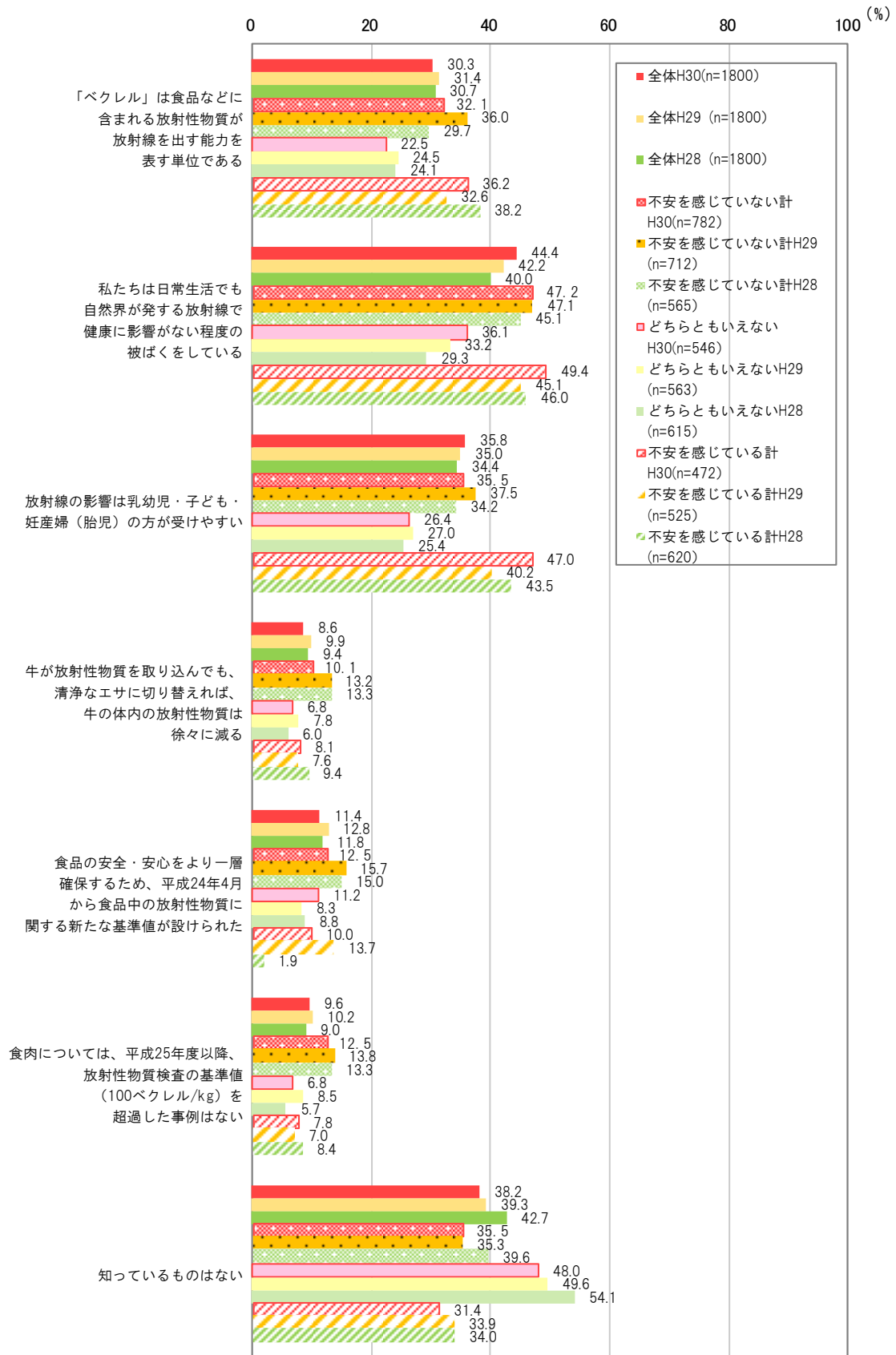
4) 福島県産食肉の放射能汚染への不安（Q31）と放射性物質に関する知識（Q29・Q30）に関する分析

福島県産食肉の放射能汚染への不安（Q31）と放射性物質に関する知識の関連について分析をするため、福島県産食肉の放射能汚染への不安（Q31）について、「不安を感じている」＋「どちらかといえば不安を感じている」と回答した対象者を「不安を感じている計」、「不安を感じていない」＋「どちらかといえば不安を感じていない」と回答した対象者を「不安を感じていない計」とした上で、放射能や食肉中の放射性物質に関する知識（Q29）、食品中の放射性物質対策や畜産現場での安全確保の取り組みについての知識（Q30）とのクロス集計を行った。

放射能や食肉中の放射性物質に関する知識（Q29）に関して、「不安を感じている計」は、「「ベクレル」は食品などに含まれる放射性物質が放射線を出す能力を表す単位である」「私たちは日常生活でも自然界が発する放射線で健康に影響がない程度の被ばくをしている」「放射線の影響は乳幼児・子供・妊産婦（胎児）の方が受けやすい」といった一般的な放射線に関する知識の認知度は、昨年度と同様、全体よりも高いが、牛・食品・食肉についての知識の認知度は全体と同程度である。ここから、福島県産食肉の放射能汚染について不安を感じている人は放射線に関する知識は持っているものの、食品の放射性物質濃度の基準値や検査結果に関する知識が少ない人が多く、そのことが不安感に影響を与えていると考えられる。

また、「不安を感じていない計」と「不安を感じている計」を比較すると、「牛が放射性物質を取り込んでも、清浄なエサに切り替えれば、牛の体内の放射性物質は徐々に減る」「食品の安全・安心をより一層確保するため、平成24年4月から食品中の放射性物質に関する新たな基準値が設けられた」「食肉については、平成25年度以降、放射性物質検査の基準値（100ベクレル/kgを超過した事例はない）の3項目の認知度は、昨年度と同様、「不安を感じていない計」の方が「不安を感じている計」よりも高い。ここから、これらの項目の周知が不安感の解消に影響を与えていると考えられる。また、「放射線の影響は乳幼児・子供・妊産婦（胎児）の方が受けやすい」は、「不安を感じている計」の方が「不安を感じていない計」よりも高く、子供への放射線の影響への不安感が強い。

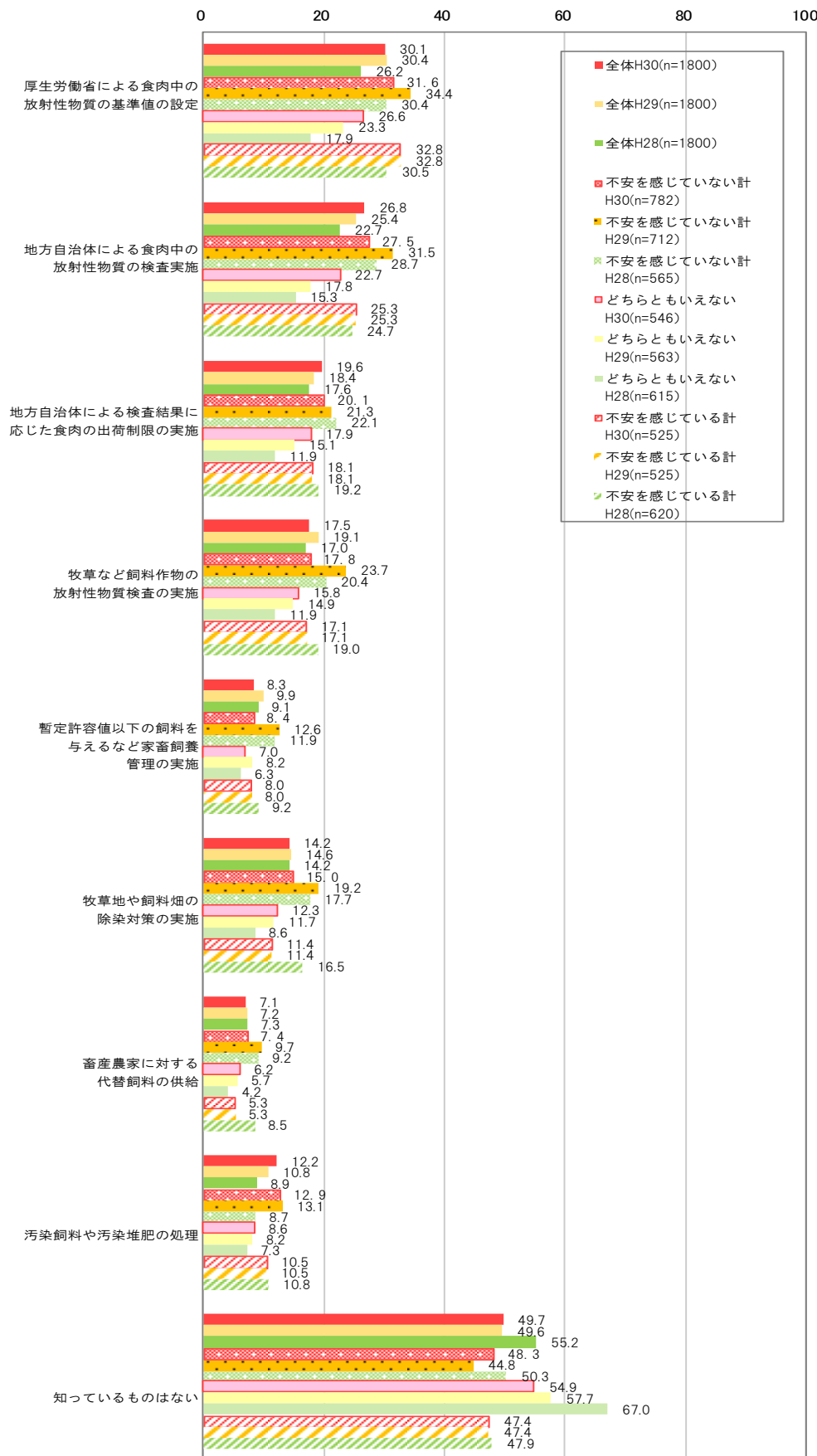
一方、「どちらともいえない」と回答した対象者は、昨年度と同様、全体に比べて「知っているものはない」が高く、こうした知識に乏しいと言える。



図表 76 福島県産食肉の放射能汚染への不安と放射能や食肉中の放射性物質に関する知識のクロス集計結果

食品中の放射性物質対策や畜産現場での安全確保の取り組みについての知識（Q30）を見ると、「不安を感じていない計」では、昨年同様、「牧草地や飼料畑の除染対策の実施」が「不安を感じている計」に比べて高い。

また、「どちらともいえない」と回答した対象者は、昨年度と同様、全体に比べて「知っているものはない」が高く、食肉の安全確保の取組に関する知識に乏しいと言える。

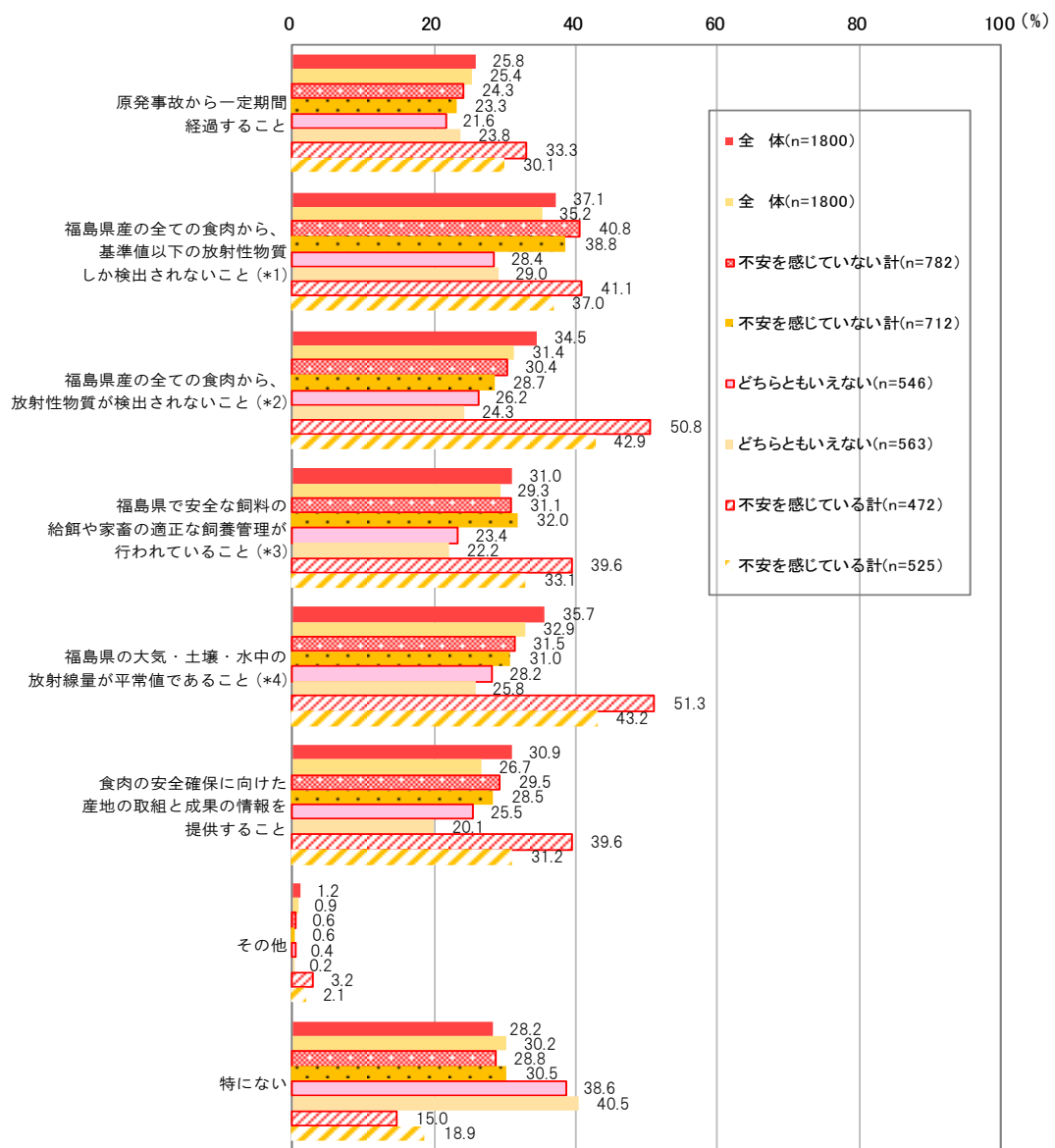


図表 77 福島県産食肉の放射能汚染への不安と食品中の放射性物質対策や畜産現場での安全確保の取り組みについての知識のクロス集計結果

5) 福島県産食肉の放射能汚染への不安（Q31）と放射能汚染への不安解消に必要な事柄（Q32）に関する分析

放射能汚染への不安解消に必要な事柄（Q32）を見ると、「不安を感じている計」では「福島県産の全ての食肉から、放射性物質が検出されないこと」「福島県の大気・土壌・水中の放射線量が平常値であること」が全体に比べて15ポイント以上高く、放射性物質・放射線量への不安感が強いと言える。「原発事故から一定期間経過すること」も全体に比べて7.5ポイント高くなっている。

一方、「不安を感じていない計」では、放射能汚染への不安解消に必要な事柄は「特にない」が約3割、「どちらともいえない」では「特にない」が約4割と高くなっており、不安解消への事柄へのニーズが低い。



*1 平成28年の選択肢「その産地の全ての食肉から、基準値以下の放射性物質しか検出されないこと」より変更
 *2 平成28年の選択肢「その産地の全ての食肉から、放射性物質が検出されないこと」より変更
 *3 平成28年の選択肢「その産地で安全な飼料の給餌や家畜の適正な飼養管理が行われていること」より変更
 *4 平成28年の選択肢「その産地の大気・土壌・水中の放射線量が平常値であること」より変更

図表 78 放射能汚染への不安解消に必要な事柄についてのクロス集計結果

6) 福島県産牛肉の購入意向 (Q16) による受容者・拒否者・保留者のセグメント特徴分析 (決定木)

福島県産牛肉の購入意向 (Q16) により、対象者を以下の3セグメントに分け、機械学習の1つである決定木を用い、セグメント特徴分析を行った。

【購入層】

- ・①受容者 (率) 64% : 「割高でも購入したい」
「他の産地と同程度の価格なら購入したい」
「安ければ購入したい」

【非購入層】

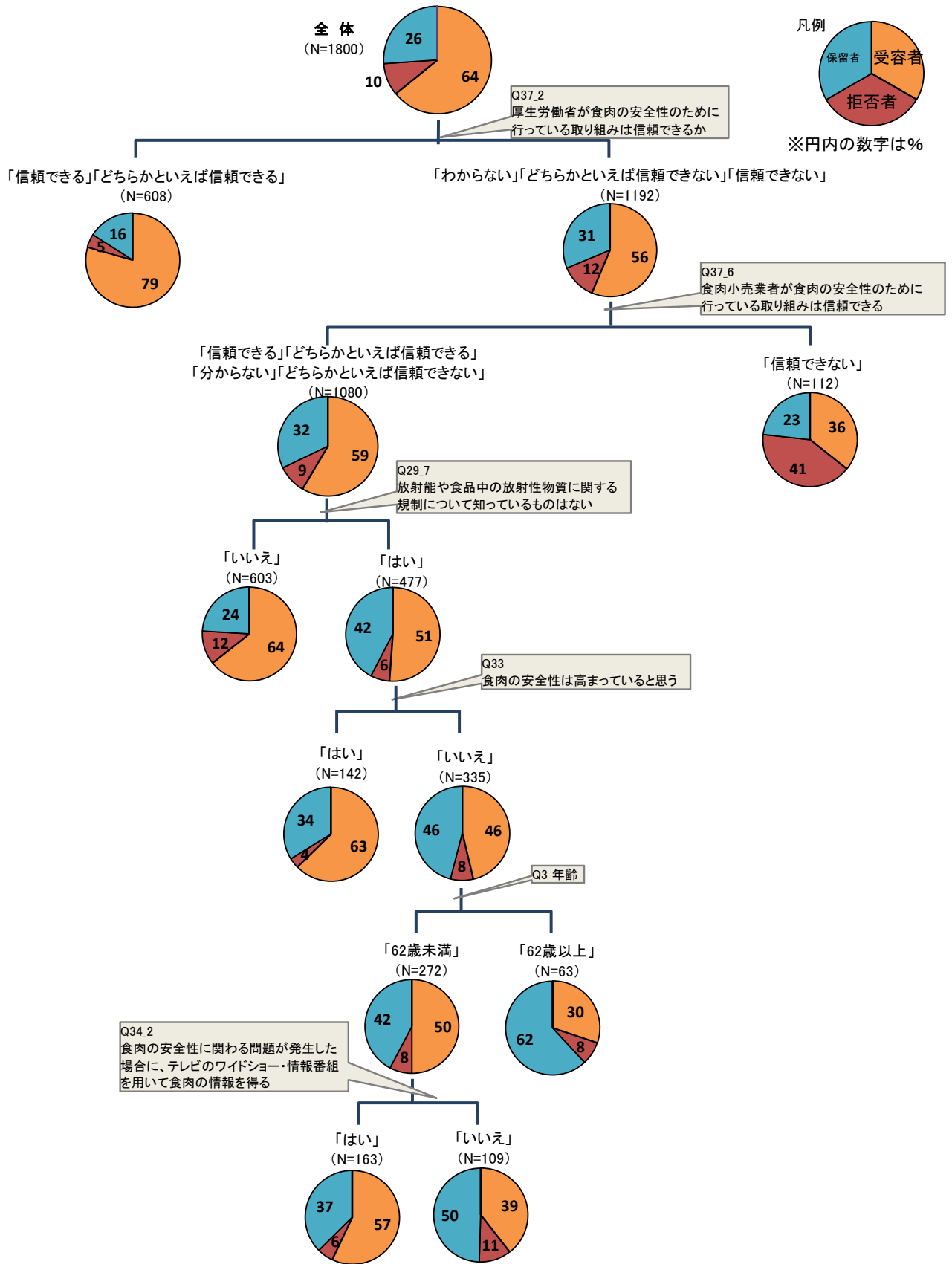
- ・②拒否者 (率) 10% : 「購入したくない」
- ・③保留者 (率) 26% : 「わからない」

全体の【福島県産牛肉の購入受容率】は64%であった。

まず、全体からの分岐の質問として、「厚生労働省が食肉の安全性を確保するために行っている取り組みについてどの程度信頼できるか」(Q37_2)が選ばれた。「信頼できる」「どちらかといえば信頼できる」では、【福島県産牛肉の購入受容率】が79%に高くなり、決定木によるセグメントの中で受容率が最も高くなった。「どちらともいえない」「どちらかといえば信頼できない」「信頼できない」では、【福島県産牛肉の購入受容率】が56%に低くなった。

次に「食肉小売業者が食肉の安全性を確保するために行っている取り組みについてどの程度信頼できるか」(Q37_5)が分岐の質問として選ばれた。これに「信頼できない」と回答した場合が、全セグメントの中で【福島県産牛肉の購入拒否率】が41%と最も高くなった。

これらの結果から、福島県産牛肉の購入受容には、「厚生労働省」と「食肉卸売業者」が食肉の安全性を確保するために行っている取り組みに対する「信頼性」が非常に重要であることがわかる。



図表 79 福島県産牛肉の購入意向によるセグメント特徴分析（決定木）

3. 食肉の購買実態に関する調査

1) 食肉の種類別機会別の喫食頻度 (Q4)

- 牛肉料理の内食は「週に1日程度」、中食、外食では「それ以下」とする割合が高い。
- 豚肉料理と鶏肉料理、魚介料理の傾向は似ており、内食では「週に2~3日程度」、中食、外食では「それ以下」とする割合が最も高い。

【今年度調査】

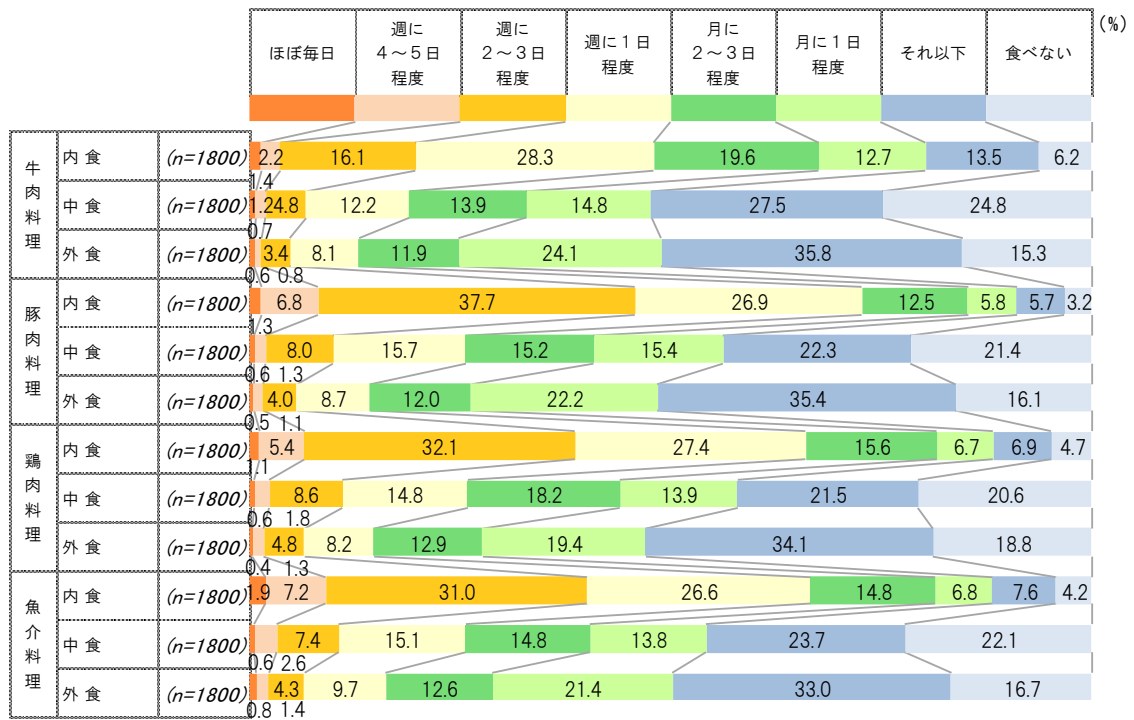
牛肉料理の喫食頻度は、内食では「週に1日程度」「月に2~3日程度」「週に2~3日程度」の順で高く、それぞれ28.3%、19.6%、16.1%となっている。中食では、「それ以下」「食べない」「月に1日程度」の順で高く、それぞれ27.5%、24.8%、14.8%。外食では、「それ以下」「月に1日程度」「食べない」の順で高く、それぞれ35.8%、24.1%、15.3%。牛肉の内食は「週に1日程度」が最も高く、他の食肉に比べ頻度が低い傾向にある。

豚肉料理の喫食頻度は、内食では「週に2~3日程度」「週に1日程度」「月に2~3日程度」の順で高く、それぞれ37.7%、26.9%、12.5%。中食では、「それ以下」「食べない」「月に1日程度」の順で高く、それぞれ22.3%、21.4%、15.4%。外食では、「それ以下」「月に1日程度」「食べない」の順で高く、それぞれ35.4%、22.2%、16.1%。

鶏肉料理の喫食頻度は、内食では「週に2~3日程度」「週に1日程度」「月に2~3日程度」の順で高く、それぞれ32.1%、27.4%、15.6%。中食では、「それ以下」「食べない」「月に2~3日程度」の順で高く、それぞれ21.5%、20.6%、18.2%。外食では、「それ以下」「月に1日程度」「食べない」の順で高く、それぞれ34.1%、19.4%、18.8%。

魚介料理の喫食頻度は、内食では「週に2~3日程度」「週に1日程度」「月に2~3日程度」の順で高く、それぞれ31.0%、26.6%、14.8%。中食では、「それ以下」「食べない」「週に1日程度」の順で高く、それぞれ23.7%、22.1%、15.1%。外食では、「それ以下」「月に1日程度」「食べない」の順で高く、それぞれ33.0%、21.4%、16.7%。

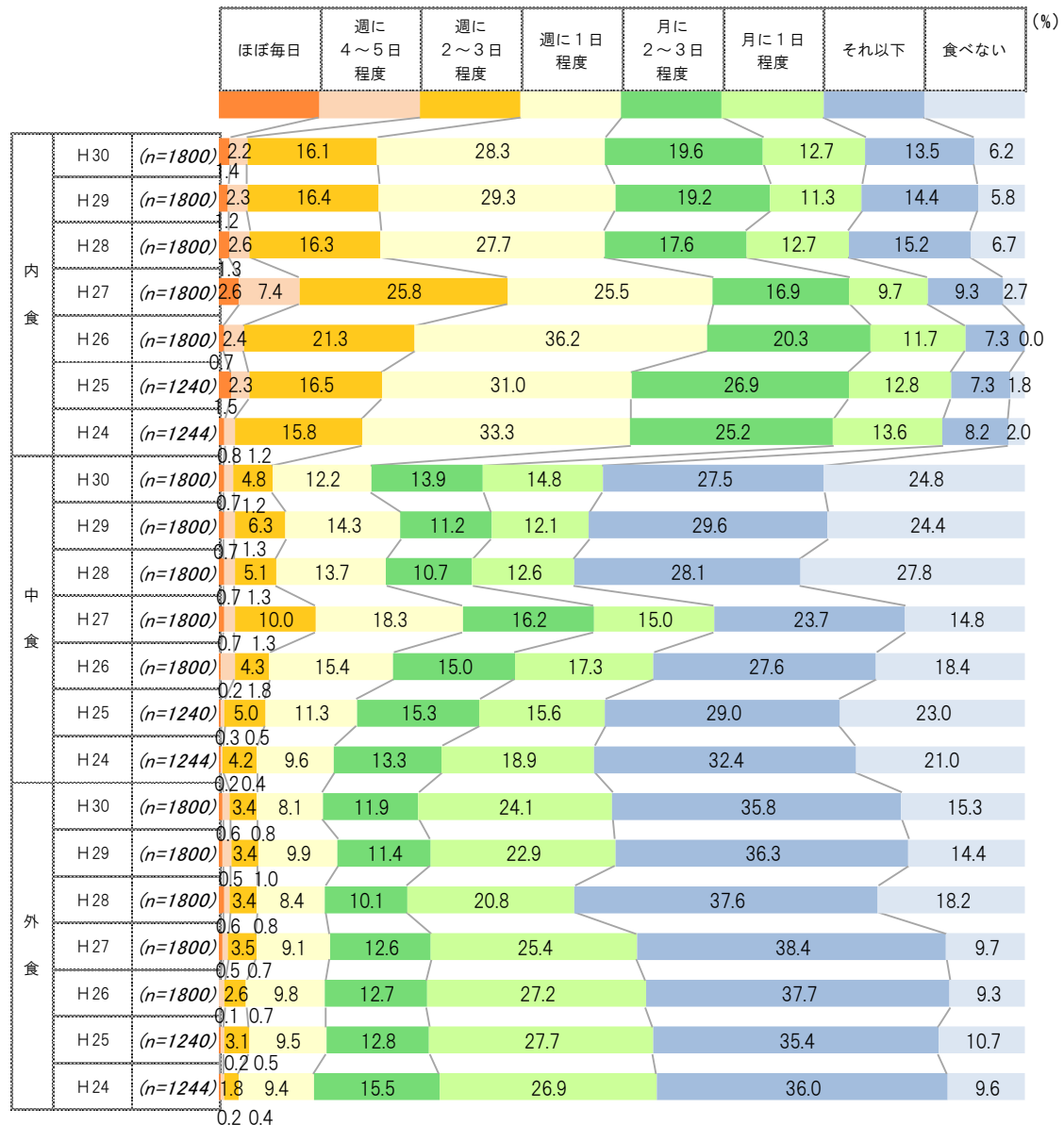
豚肉料理、鶏肉料理、魚介料理は内食、中食、外食のいずれの喫食頻度も似た傾向にあると言える。



図表 80 食肉の種類別機会別の喫食頻度

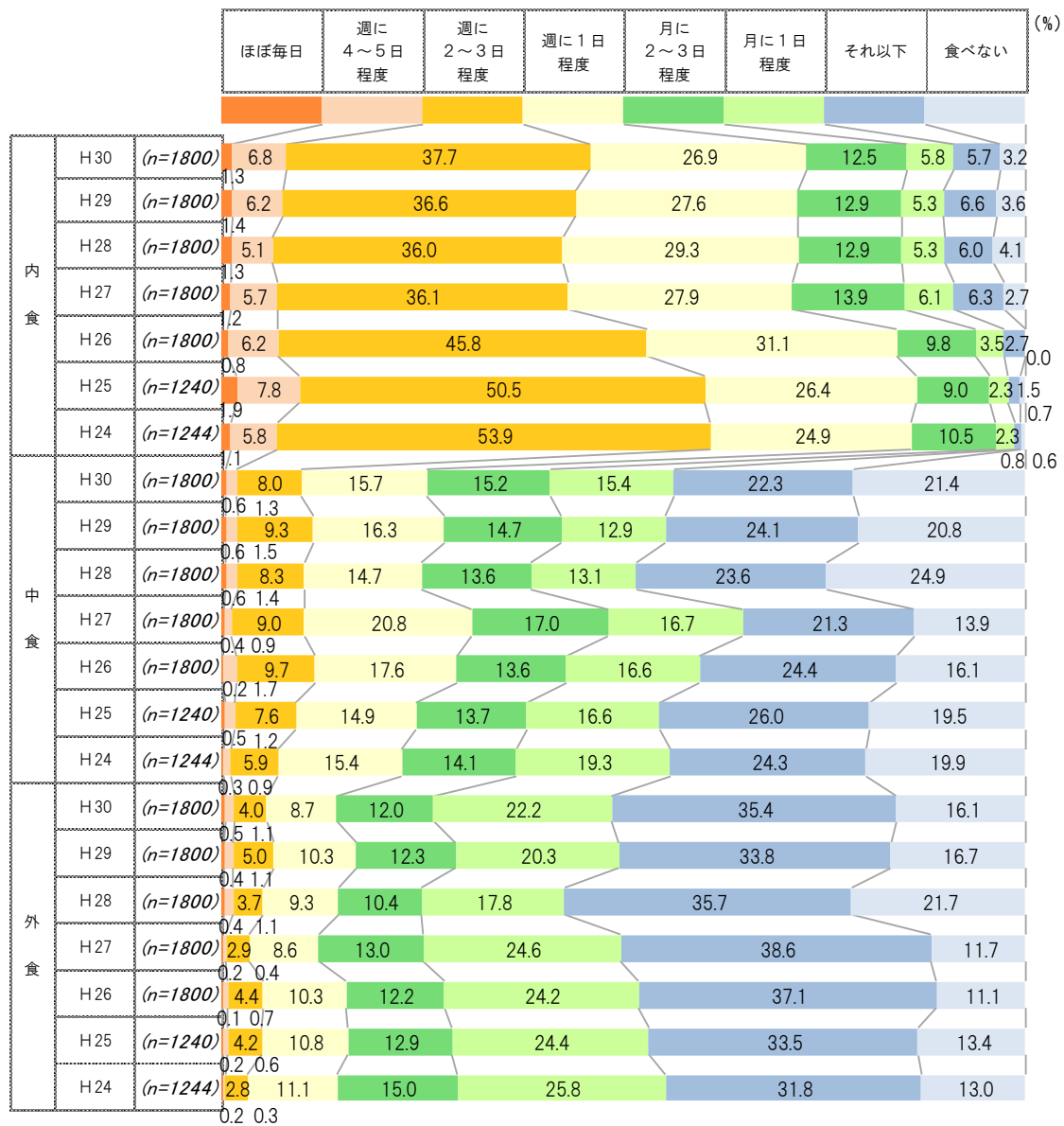
【過年度調査との比較】

牛肉料理の内食は、昨年度に比べて大きな変化はない。また、中食、外食では「月に1日程度」が昨年度に比べてやや増加している。



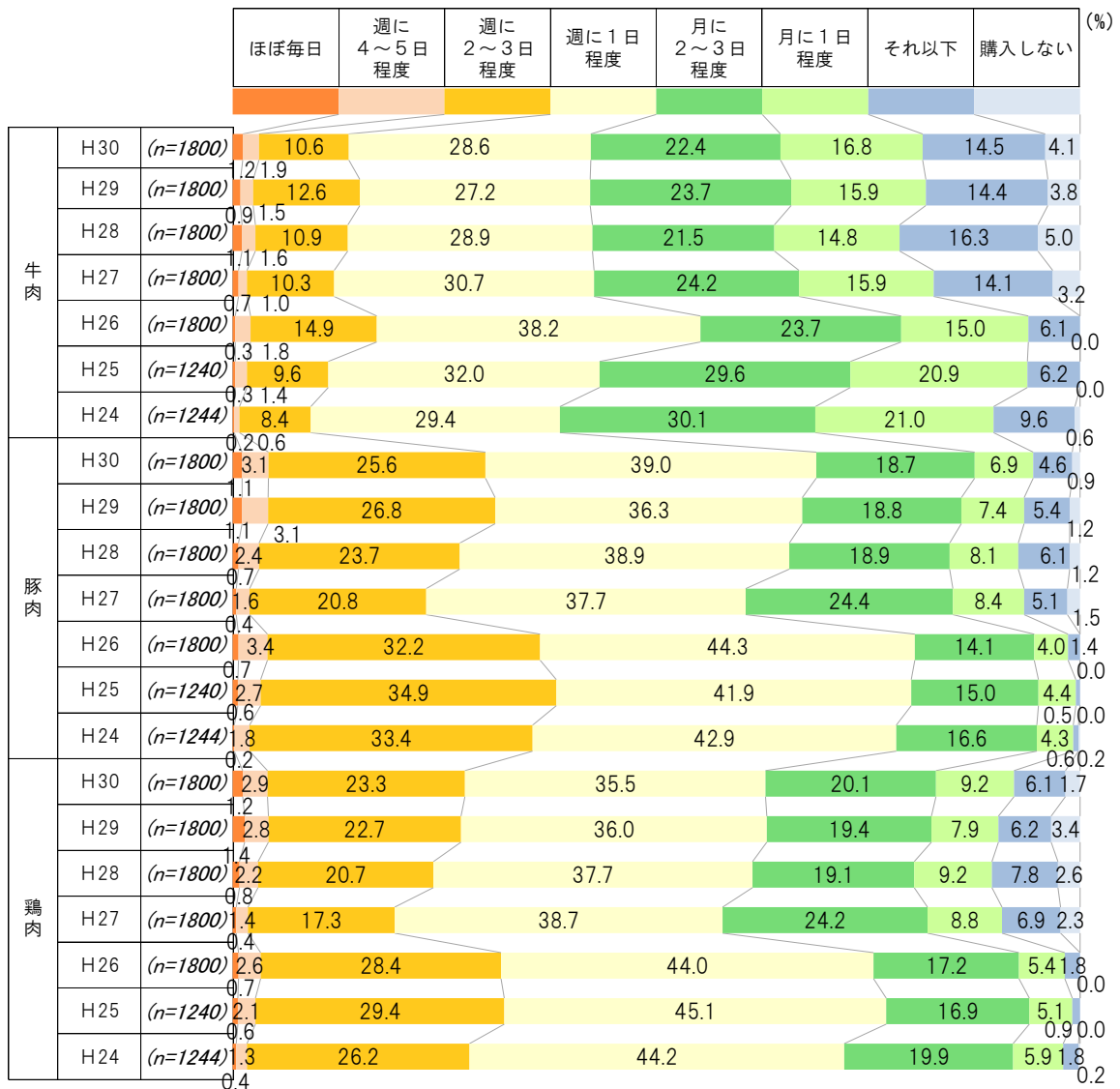
図表 81 牛肉料理の喫食頻度（経年変化）

豚肉料理の内食は昨年度に比べて大きな変化はない。また、中食、外食では「月に1日程度」が昨年度に比べてやや増加している。



図表 82 豚肉料理の喫食頻度（経年変化）

鶏肉料理の内食、中食では、昨年度に比べて「月に2~3日程度」がやや増加している。また、外食では、「週に2~3日」が昨年度に比べてやや減少している。



図表 83 鶏肉料理の喫食頻度（経年変化）

2) 食肉に対する種類別イメージ (Q5)

- ▶ どの食肉も「たんぱく質が豊富」というイメージが強い。
- ▶ 牛肉は栄養の高さ、豚肉は価格と調理の手軽さ、鶏肉は、価格とカロリーの低さに関するイメージが強い。
- ▶ 過年度調査と比較すると、牛肉は「たんぱく質が豊富」「健康に良い」「筋肉や骨をつくる」「スタミナ源、栄養がある」の割合が増加。豚肉では、「健康に良い」「調理しやすい」「料理メニューの種類が多い」「スタミナ源・栄養がある」の割合が増加。鶏肉は「カロリーが低い」の割合が増加。

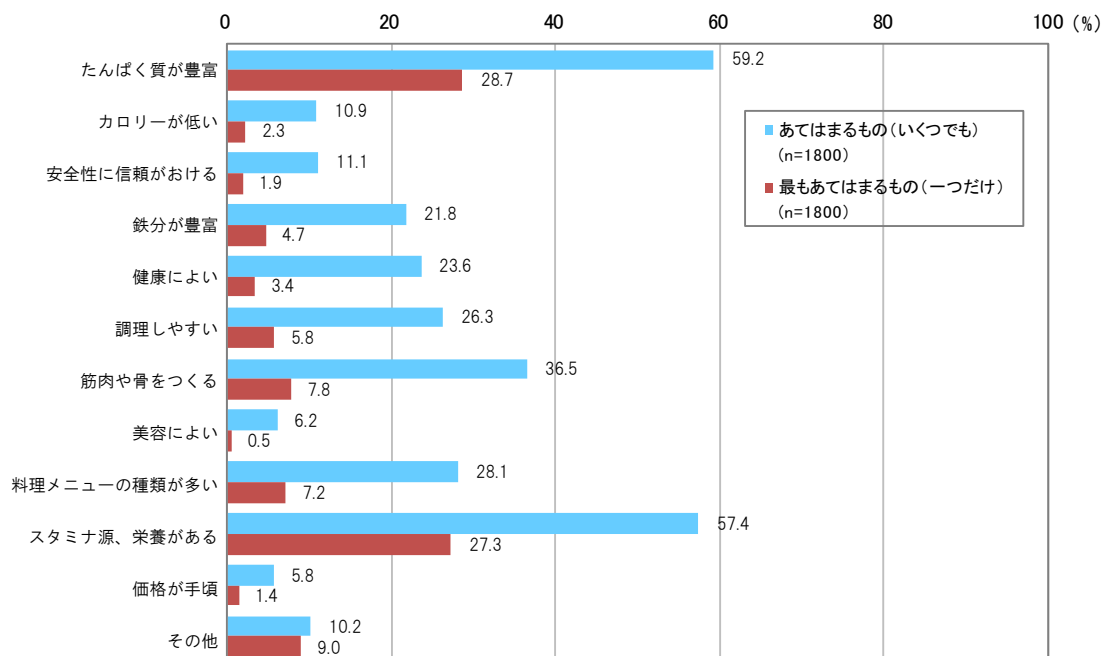
【今年度調査】

牛肉に対するイメージは（複数回答）、「たんぱく質が豊富」「スタミナ源、栄養がある」「筋肉や骨をつくる」の順で高く、それぞれ 59.2%、57.4%、36.5%。

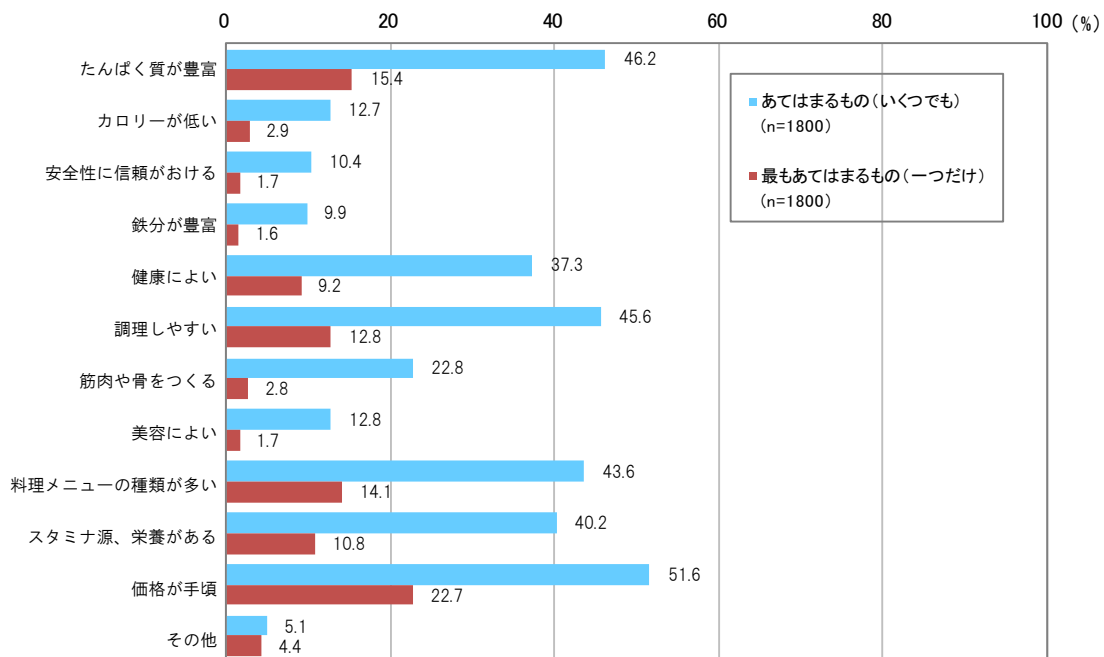
豚肉に対するイメージは（複数回答）、「価格が手頃」「たんぱく質が豊富」「調理しやすい」の順で高く、それぞれ 51.6%、46.2%、45.6%。

鶏肉に対するイメージは（複数回答）、「価格が手頃」「カロリーが低い」「たんぱく質が豊富」の順で高く、57.8%、50.7%、48.2%。

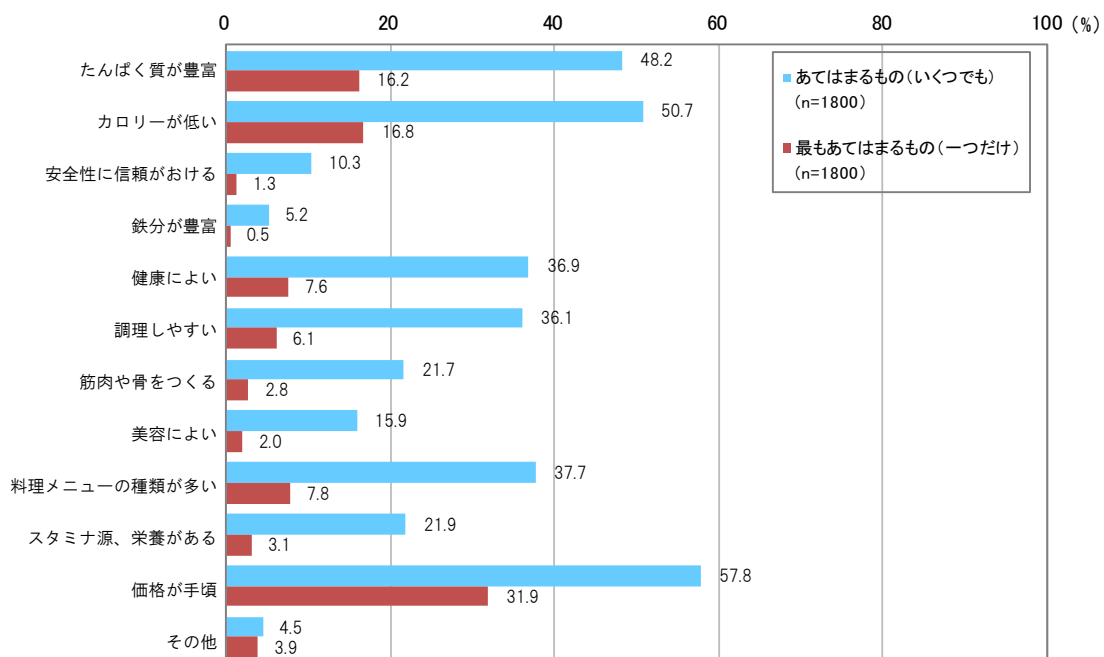
どの食肉も「たんぱく質が豊富」というイメージが強い。また、牛肉は栄養の高さ、豚肉は価格と調理のしやすさ、鶏肉は価格とカロリーの低さに関するイメージが強い。



図表 84 牛肉に対するイメージ



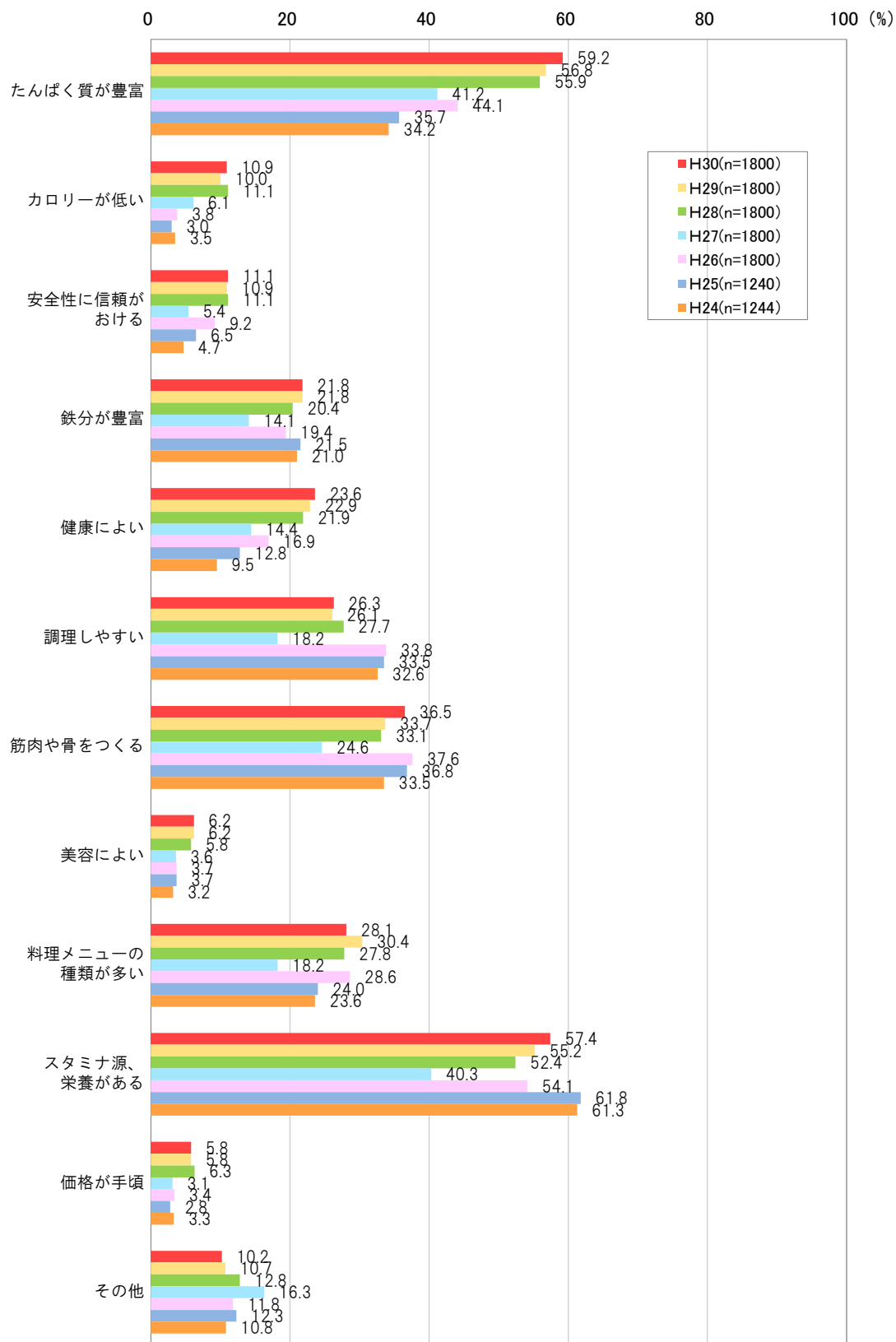
図表 85 豚肉に対するイメージ



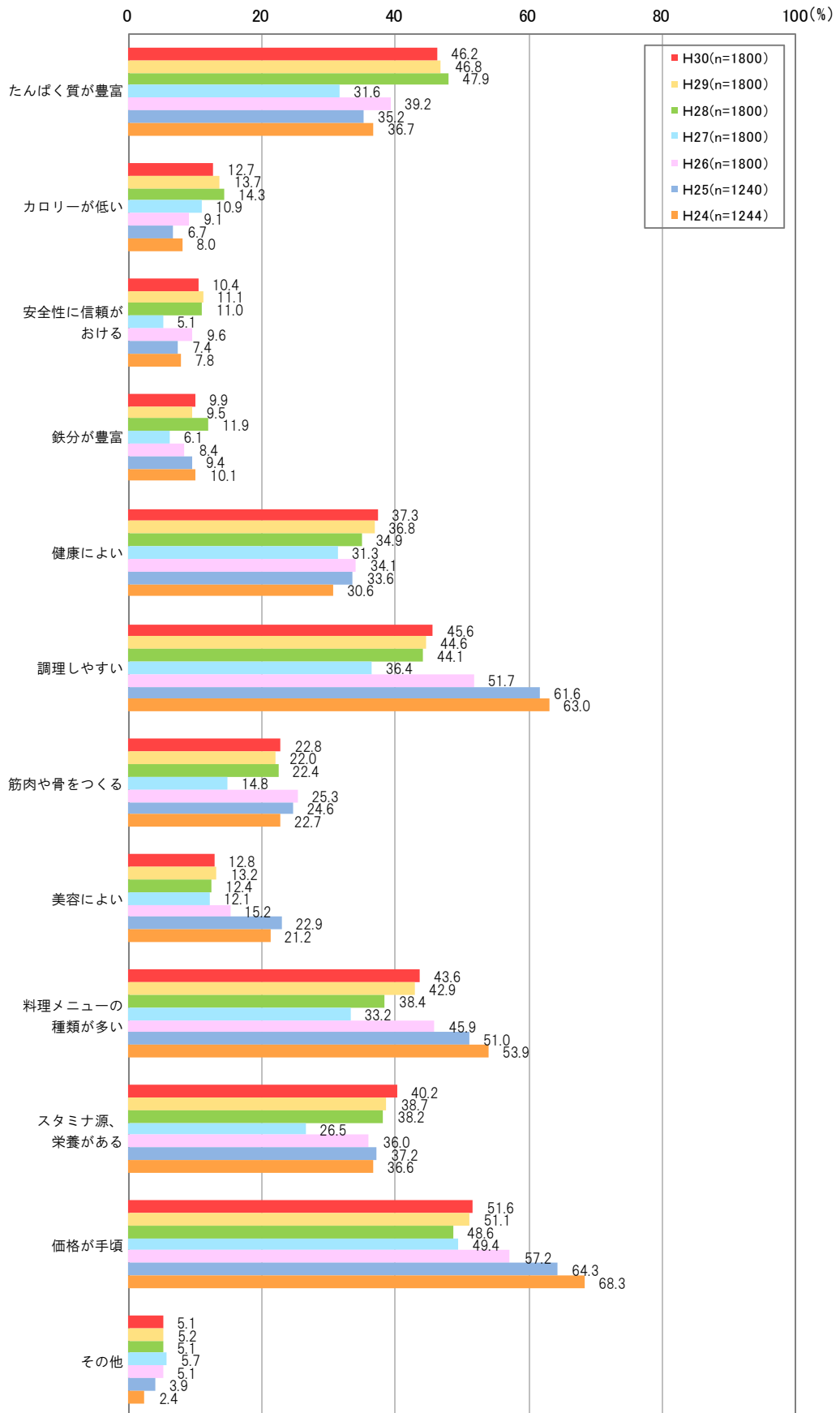
図表 86 鶏肉に対するイメージ

【過年度調査との比較】

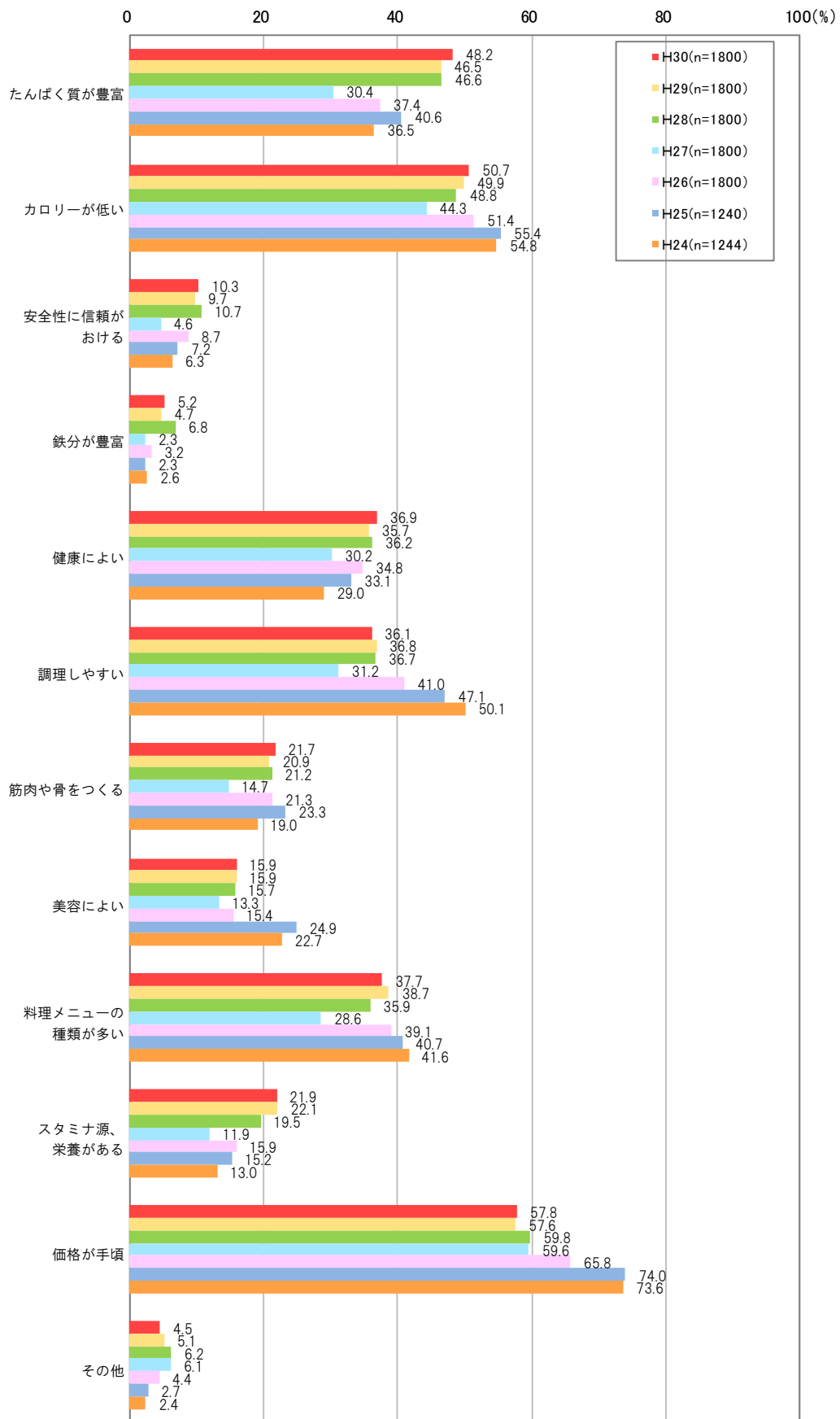
過年度調査と比較すると、牛肉は「たんぱく質が豊富」「健康に良い」「筋肉や骨をつくる」「スタミナ源、栄養がある」の割合が増加している。また、豚肉では、「健康に良い」「調理しやすい」「料理メニューの種類が多い」「スタミナ源・栄養がある」の割合が増加している。鶏肉は「カロリーが低い」の割合が増加している。



図表 87 牛肉に対するイメージ（経年変化）



図表 88 豚肉に対するイメージ（経年変化）



図表 89 鶏肉に対するイメージ（経年変化）

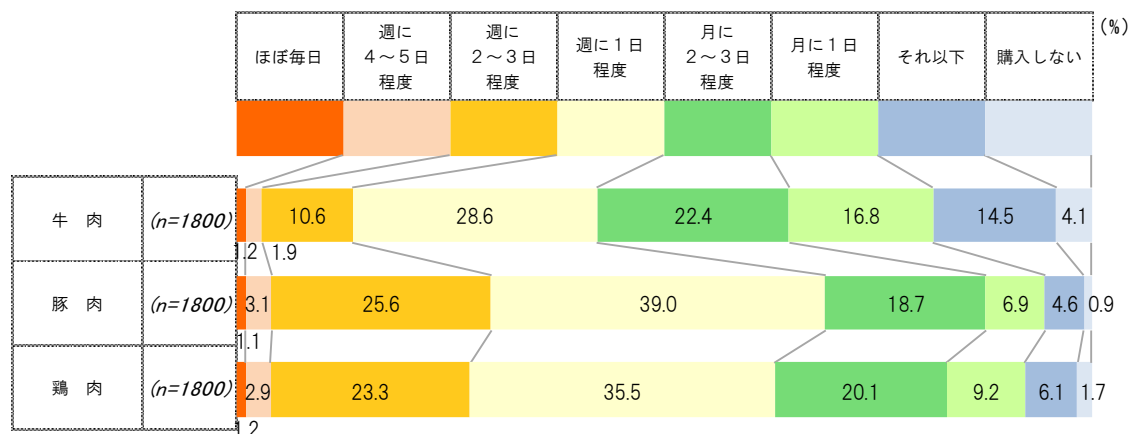
3) 食肉の種類別購入頻度 (Q6)

- 牛肉は「週に1日程度」と「月に2～3日程度」がボリュームゾーン。
- 豚肉、鶏肉は「週に1日程度」と「週に2～3日程度」がボリュームゾーン。
- 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と同傾向にある。

【今年度調査】

牛肉の購入頻度のボリュームゾーンは「週に1日程度」と「月に2～3日程度」がそれぞれ28.6%と22.4%で、あわせて51.0%を占める。他の食肉と比較して低頻度購入のボリュームが大きく、「月に1日程度」が16.8%、「それ以下」が14.5%と他の食肉に比べて高い。

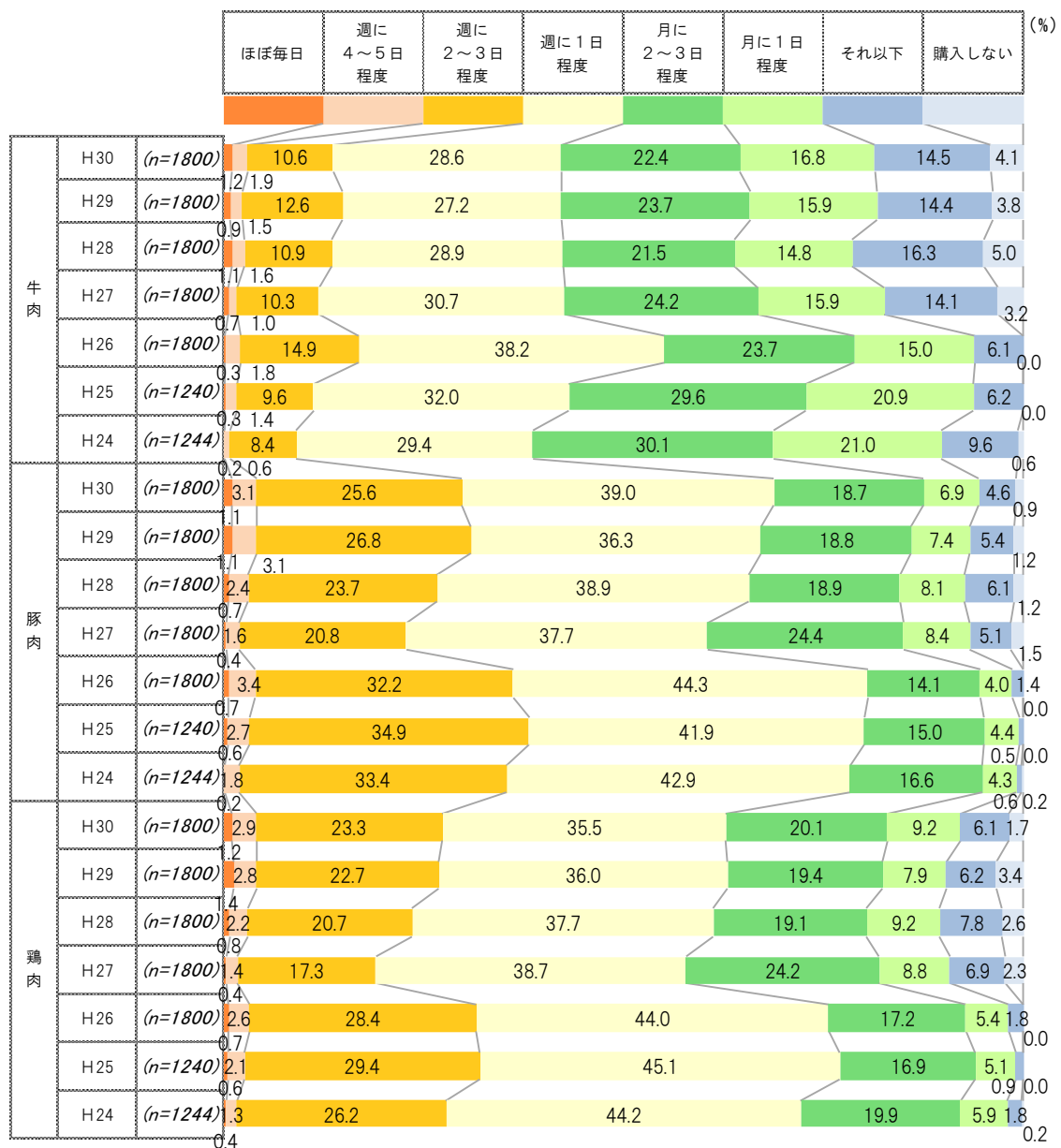
豚肉及び鶏肉の購入頻度のボリュームゾーンは「週に1日程度」と「週に2～3日程度」であり、豚肉は39.0%と25.6%、鶏肉は35.5%と23.3%となっており、いずれの食肉も合計で約6割を占める。



図表 90 食肉の種類別購入頻度

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と同傾向である。



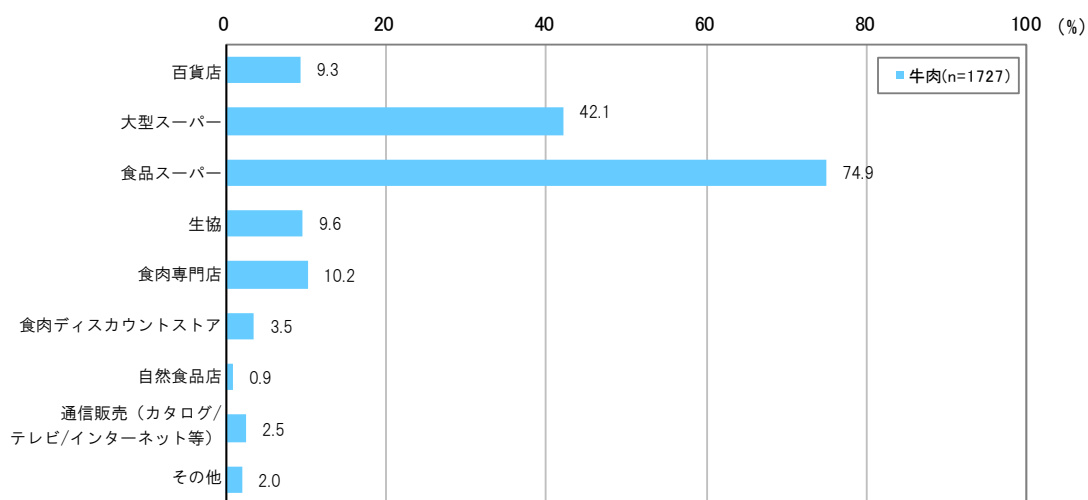
図表 91 食肉の種類別購入頻度（経年変化）

4) 食肉の種類別の主な購入先（Q7）

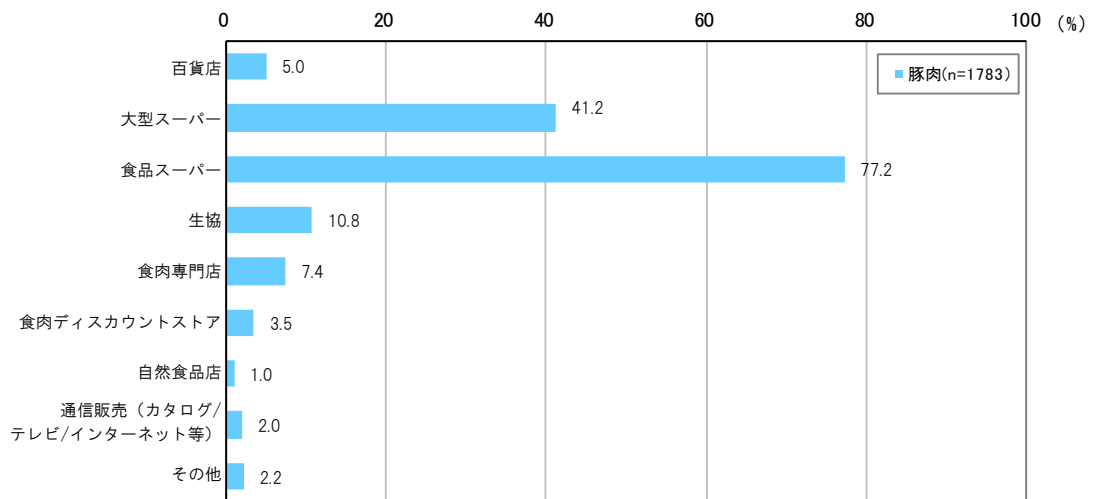
- どの食肉でも 8 割弱が「食品スーパー」で購入、次いで「大型スーパー」。
- 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と同傾向。

【今年度調査】

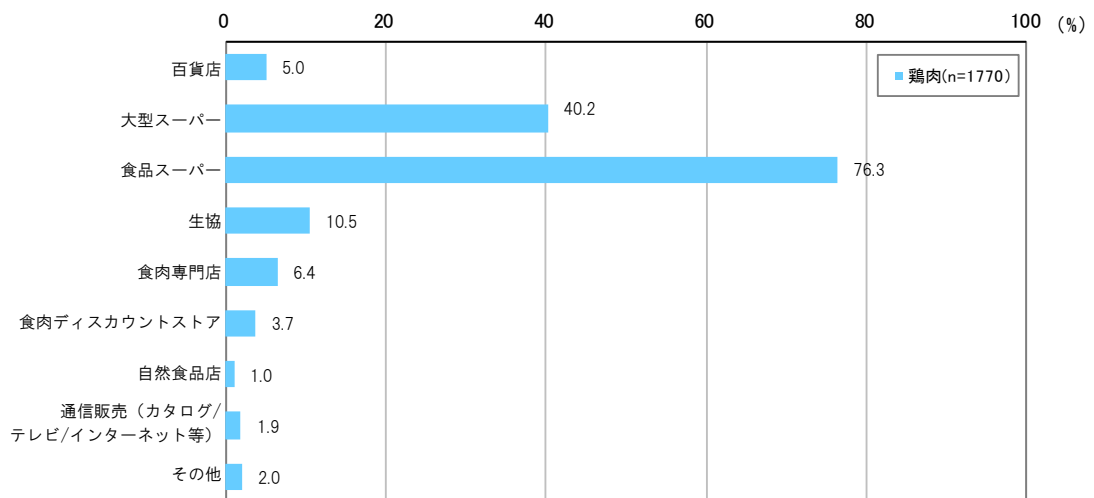
食肉の主な購入先を尋ねたところ（複数回答）、牛肉、豚肉、鶏肉のいずれも同様の傾向があり、「食品スーパー」が 8 割弱と圧倒的に多く（牛肉 74.9%、豚肉 77.2%、鶏肉 76.3%）、次いで「大型スーパー」が約 4 割（牛肉 42.1%、豚肉 41.2%、鶏肉 40.2%）となっている。



図表 92 牛肉の主な購入先



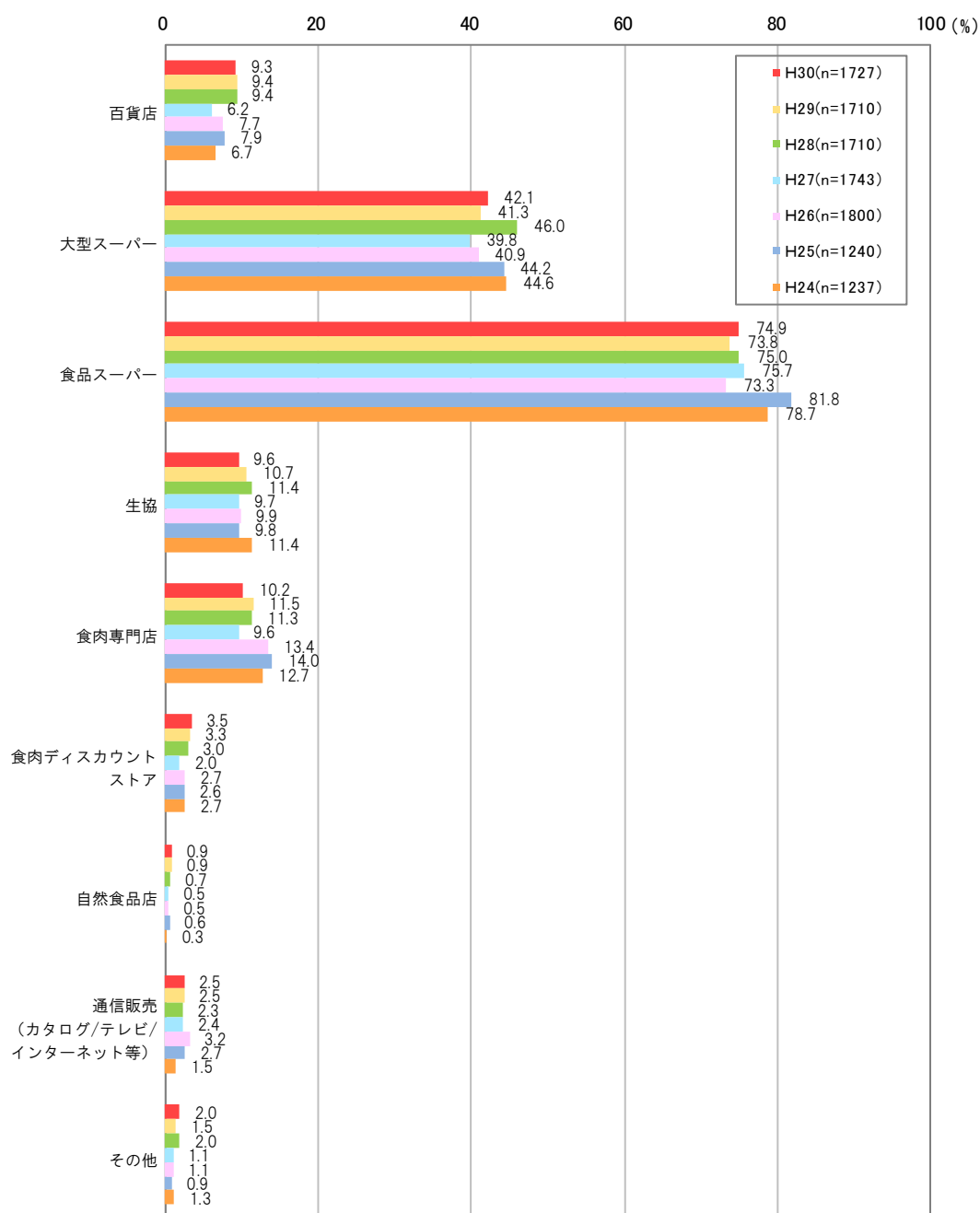
図表 93 豚肉の主な購入先



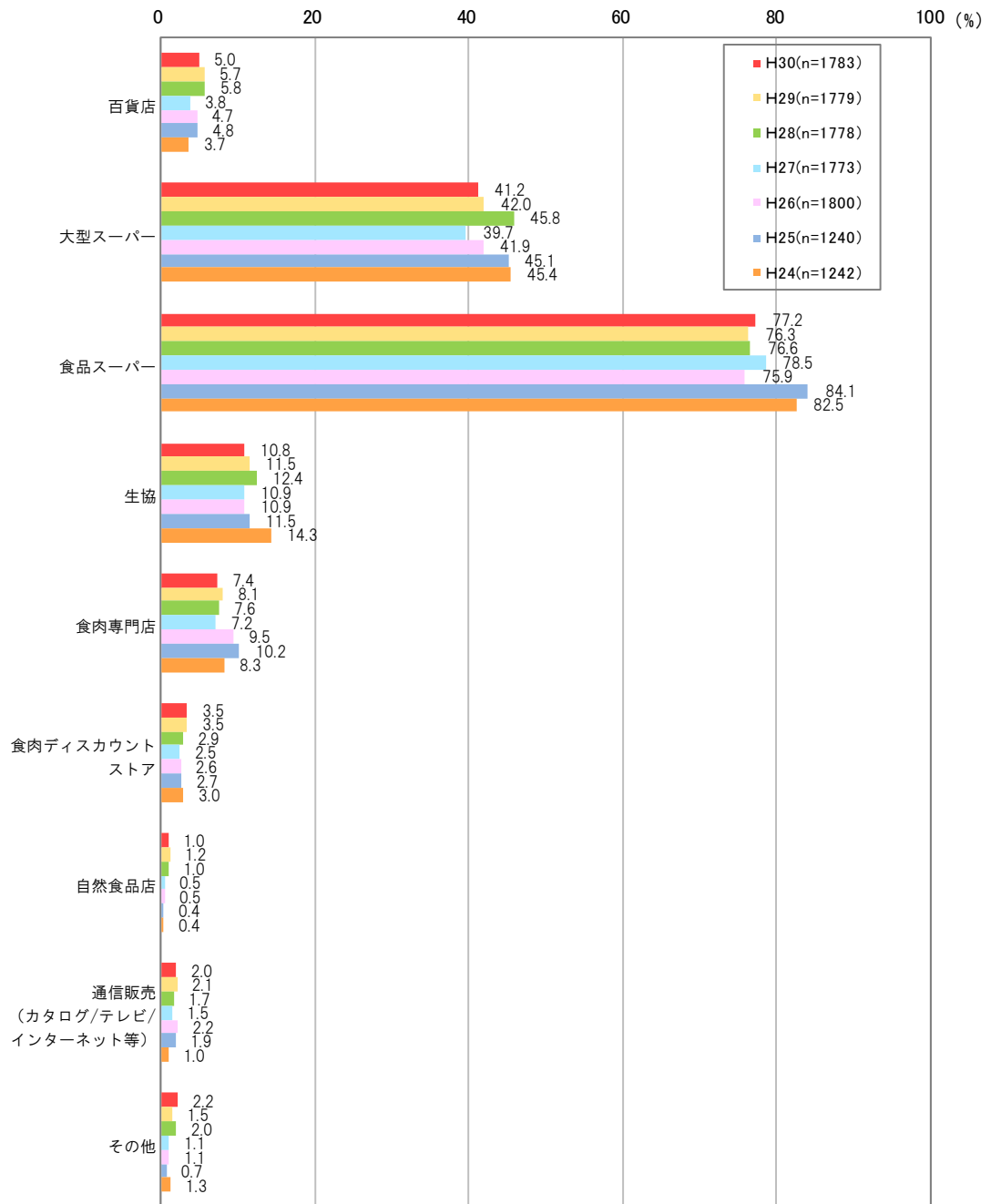
図表 94 鶏肉の主な購入先

【過年度調査との比較】

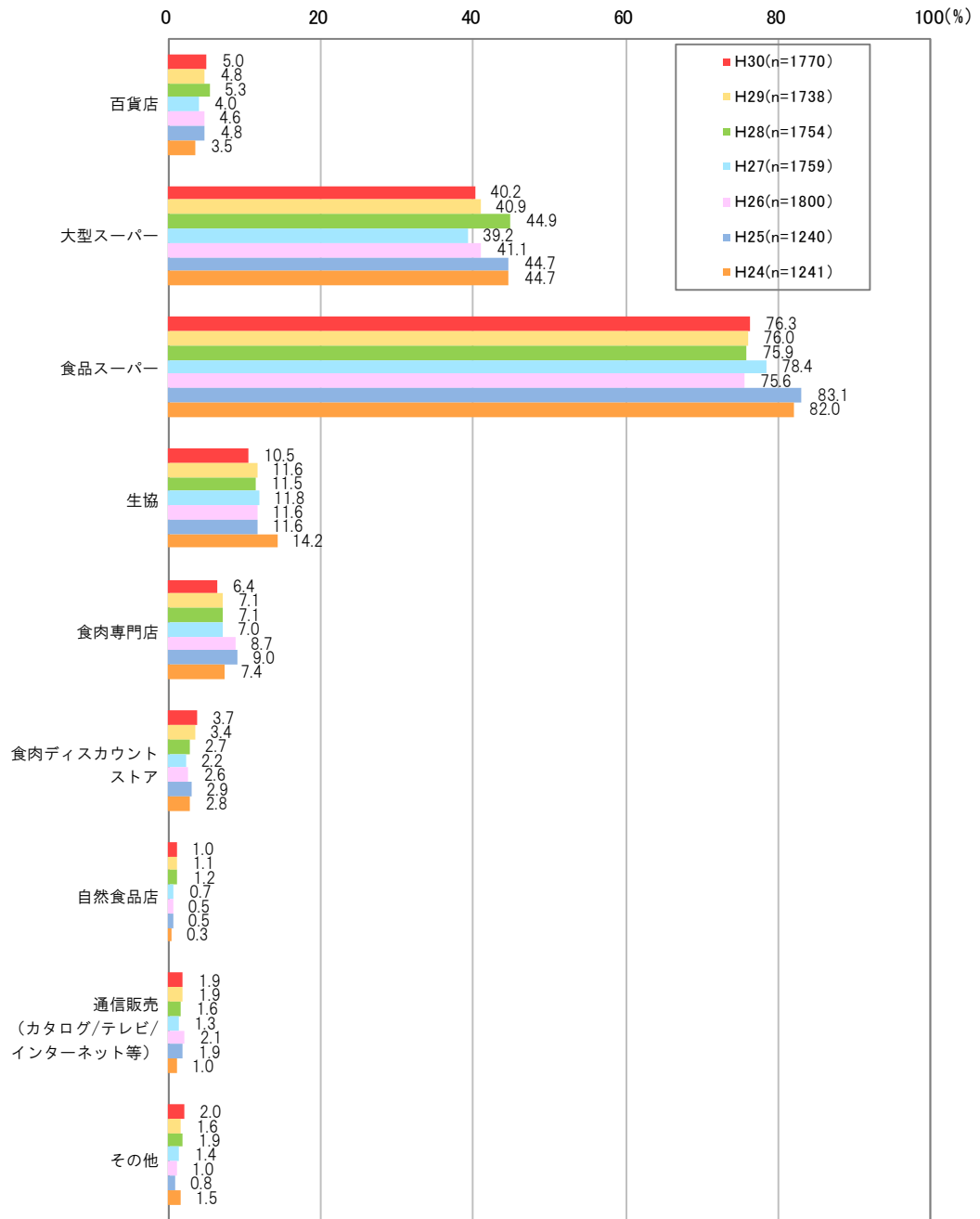
過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉、鶏肉ともに、昨年度と同傾向である。



図表 95 牛肉の主な購入先（経年変化）



図表 96 豚肉の主な購入先（経年変化）



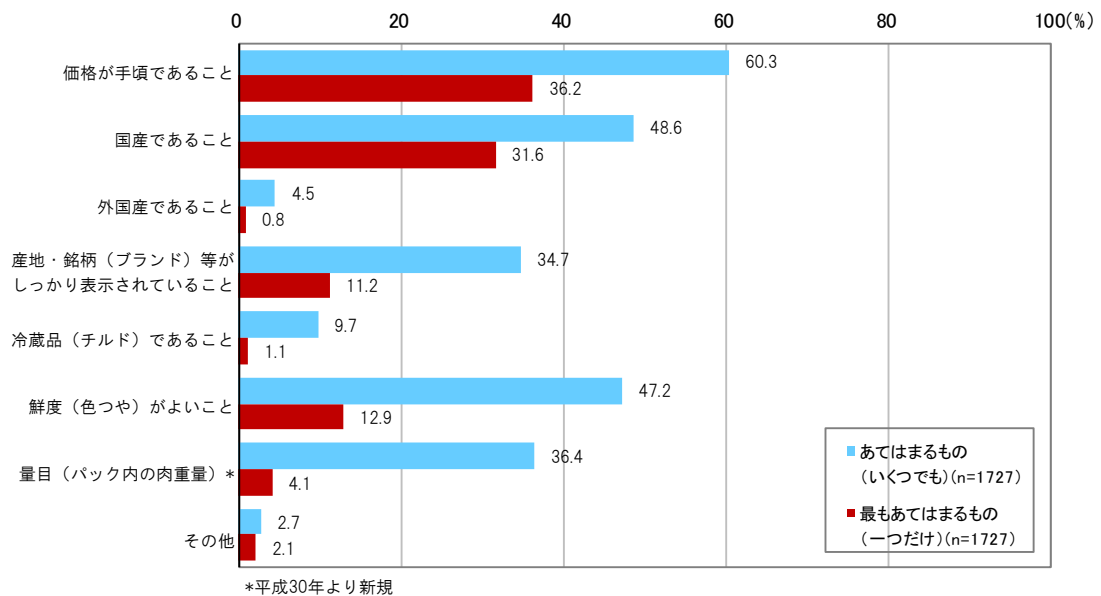
図表 97 鶏肉の主な購入先（経年変化）

5) 食肉購入時に重視する点 (Q8)

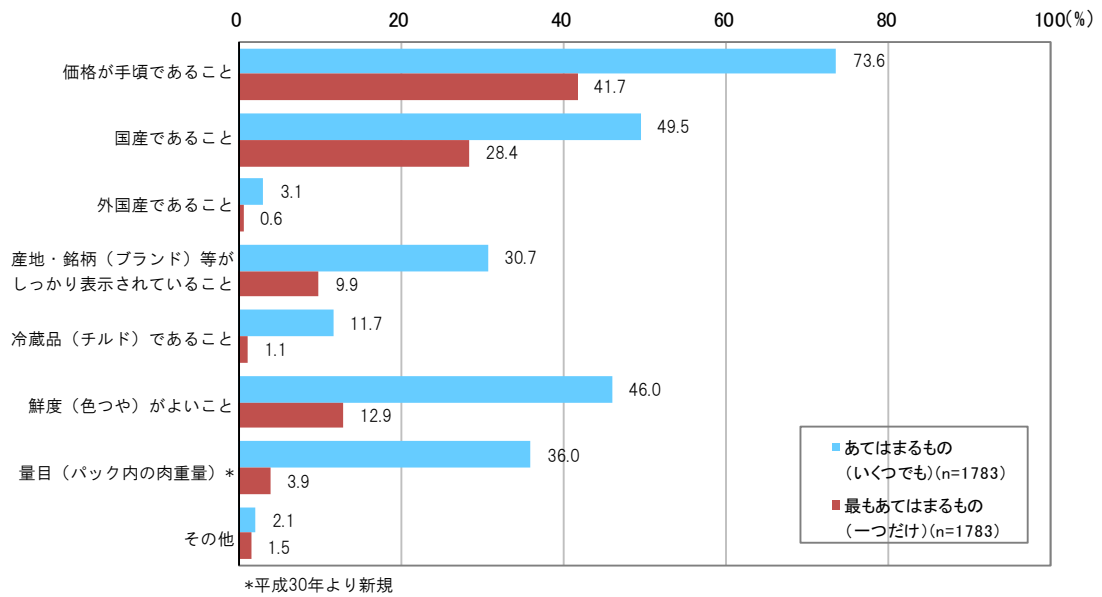
- どの食肉でも TOP3 は「価格の手頃さ」「国産であること」「鮮度」。
- 過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉は、「国産であること」が昨年度より減少したが、平成 27 年度と同水準。鶏肉は、「国産であること」「価格が手頃であること」が減少し、「鮮度（色つや）がよいこと」が増加傾向。

【今年度調査】

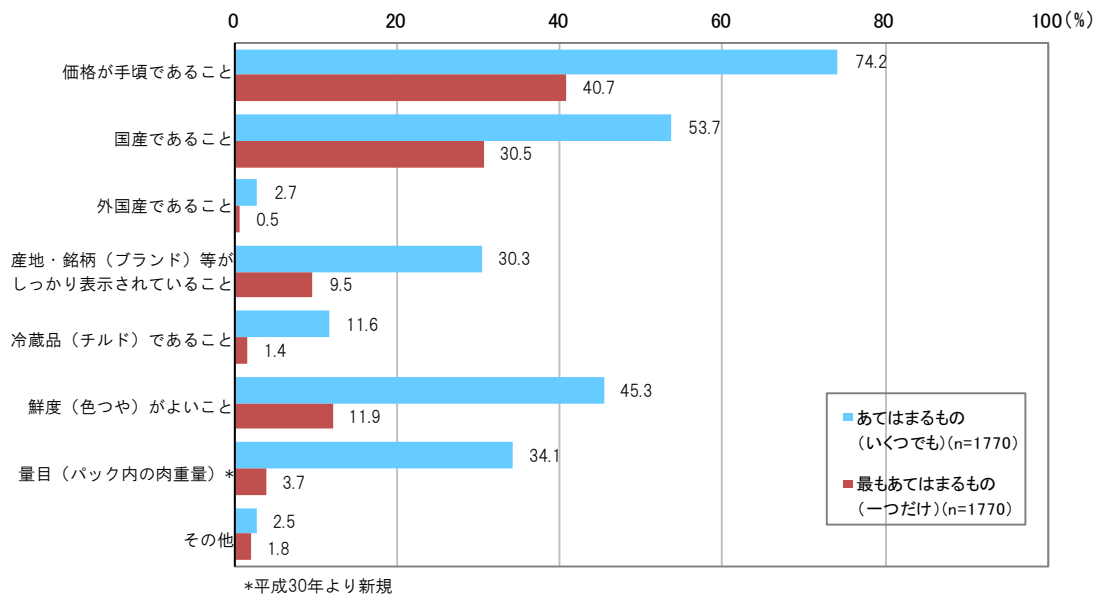
食肉購入時に重視する点（複数回答）の TOP3 は、どの食肉でも同じ順位で、「価格が手頃であること」（牛肉 60.3%、豚肉 73.6%、鶏肉 74.2%）、「国産であること」（牛肉 48.6%、豚肉 49.5%、鶏肉 53.7%）、「鮮度（色つや）がよいこと」（牛肉 47.2%、豚肉 46.0%、鶏肉 45.3%）。



図表 98 牛肉購入時に重視する項目



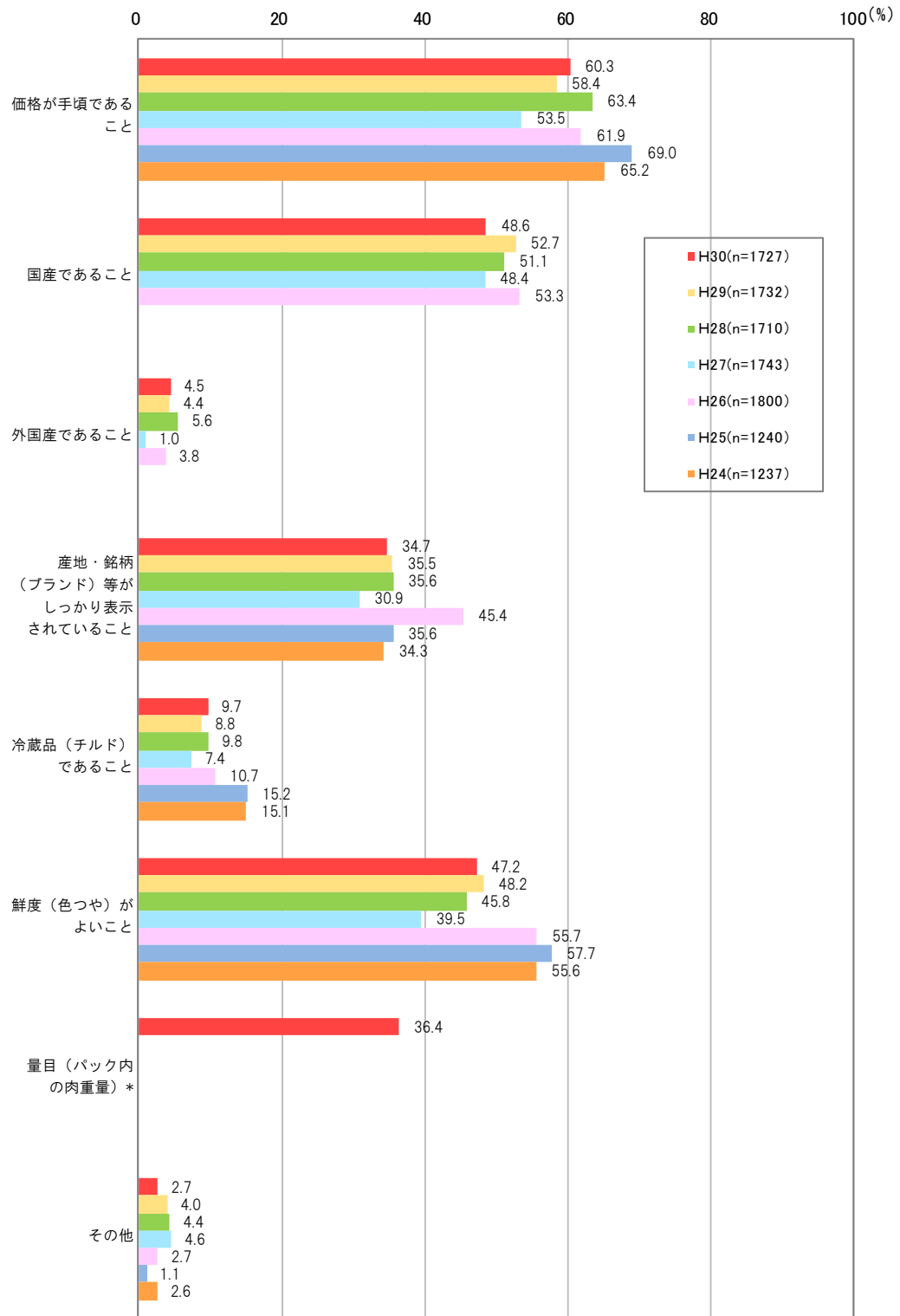
図表 99 豚肉購入時に重視する項目



図表 100 鶏肉購入時に重視する項目

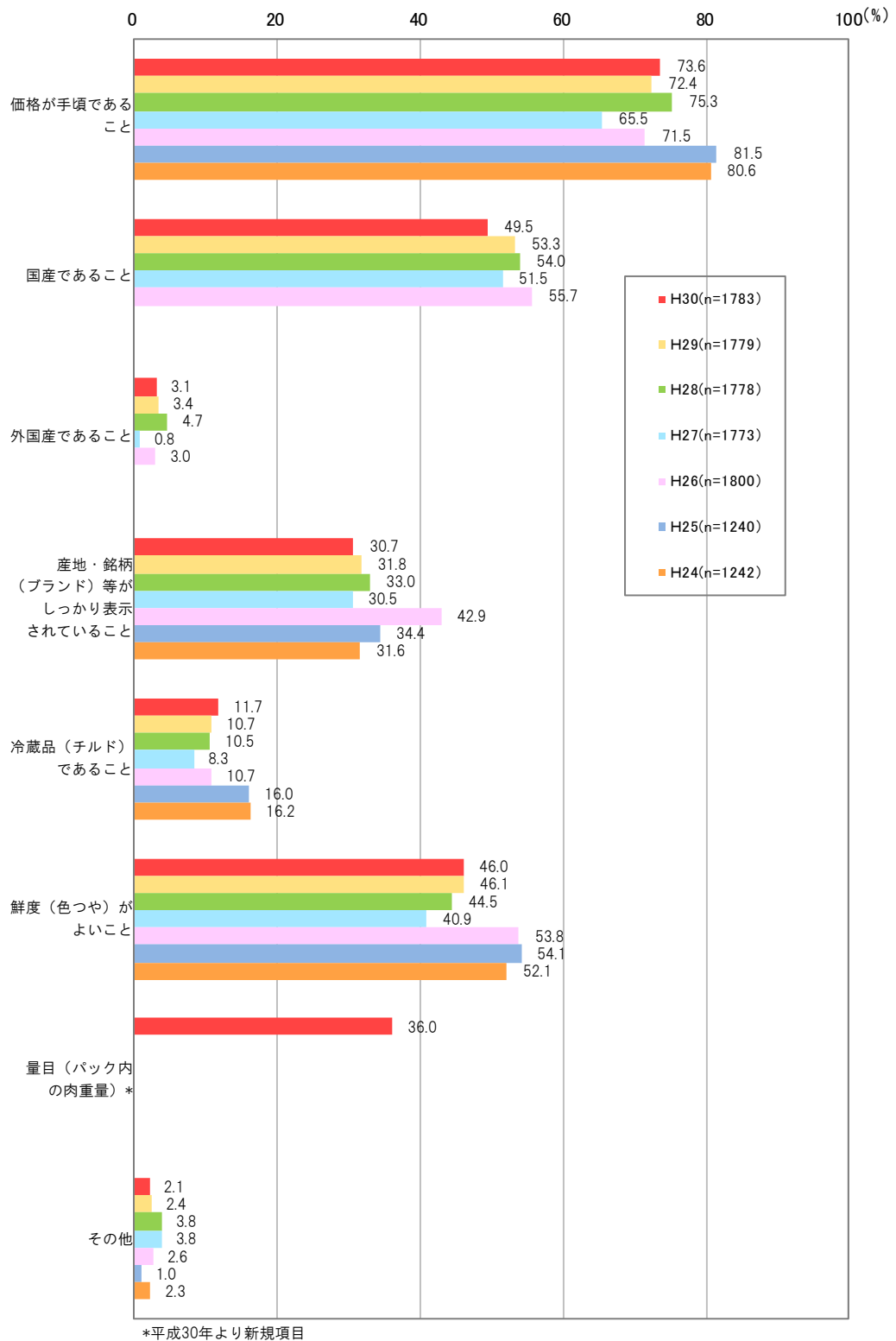
【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、牛肉、豚肉は、「国産であること」が昨年度より減少したが、平成27年度と同水準である。鶏肉は、「国産であること」「価格が手頃であること」が減少しており、「鮮度（色つや）がよいこと」が増加傾向。

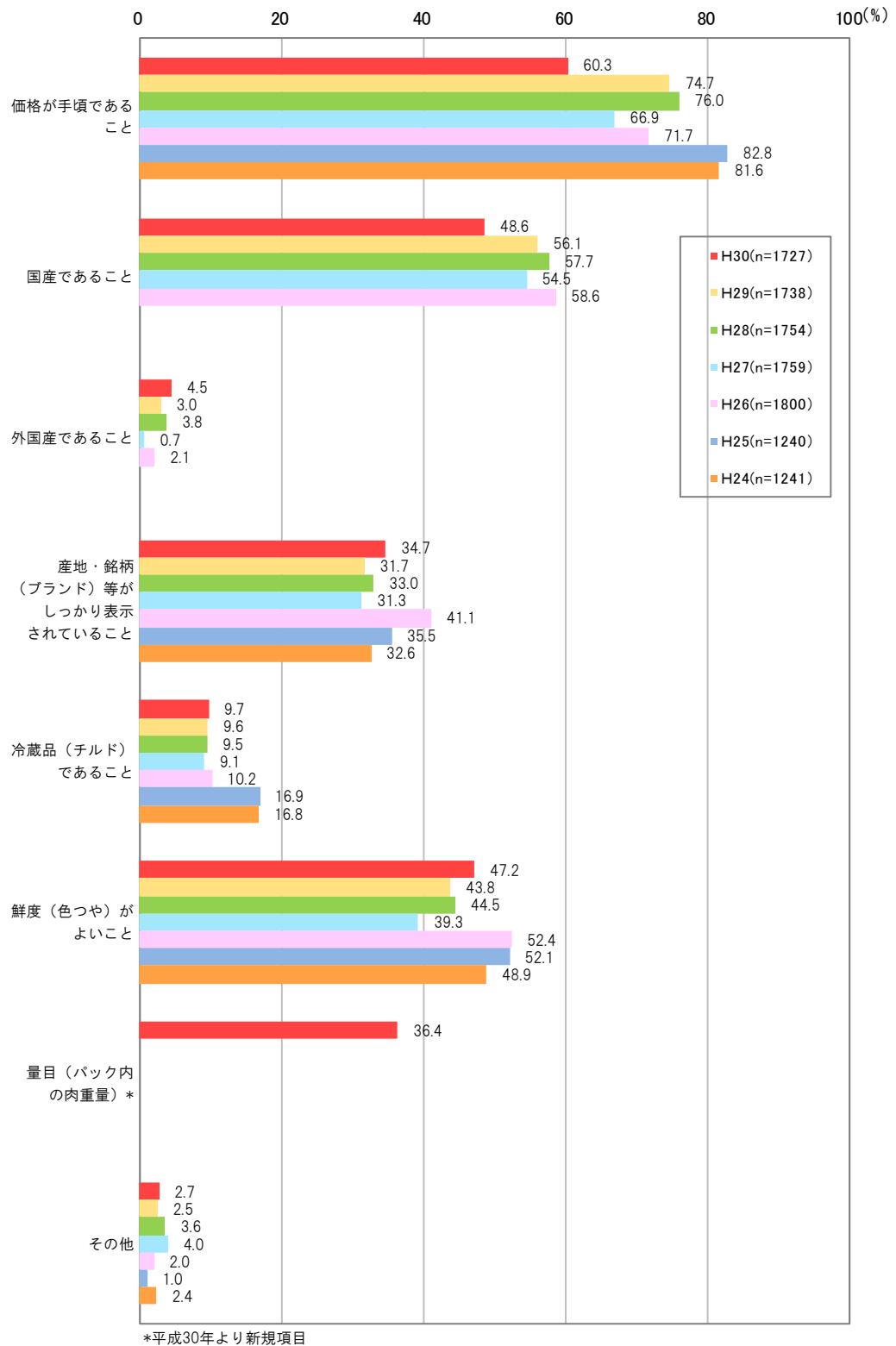


*平成30年より新規項目

図表 101 牛肉購入時に重視する項目（経年変化）



図表 102 豚肉購入時に重視する項目（経年変化）



図表 103 鶏肉購入時に重視する項目（経年変化）

6) 普段店頭に並んでいる「牛肉」の原産地 (Q19)

- ▶ 普段店頭に並んでいる「牛肉」の原産地は、「国産・国内産（都道府県等、地名の表示なし）」が64.2%で最も多く、「オーストラリア」「アメリカ」がそれぞれ45.7%、41.9%。
- ▶ 国内産のTOP3は、「岩手県」「宮城県」「栃木産」で、それぞれ14.5%、12.4%、10.6%。
- ▶ 「牛肉の原産地はみない・気にしない」は、18.2%

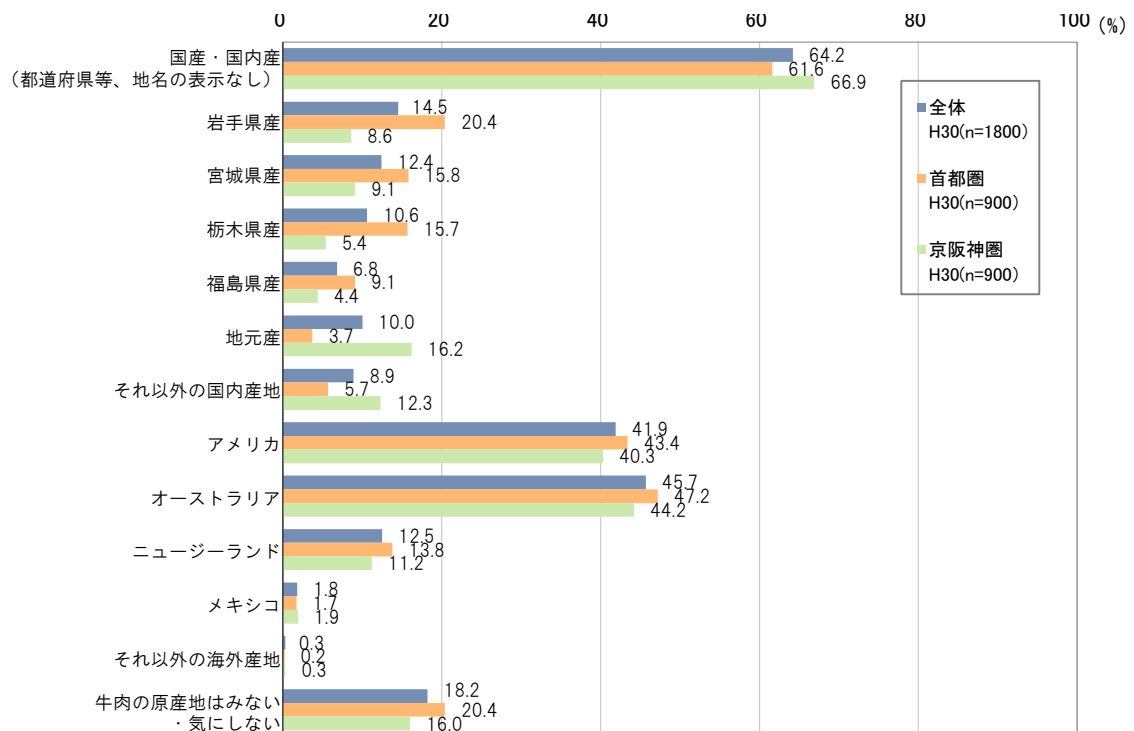
【今年度調査】

普段買い物をしているスーパー・生協・食肉専門店などの店頭に並んでいる「牛肉」の原産地のTOP3は、「国産・国内産（都道府県等、地名の表示なし）」「オーストラリア」「アメリカ」で、それぞれ64.2%、45.7%、41.9%。

国内産のTOP3は、「岩手県」「宮城県」「栃木産」で、それぞれ14.5%、12.4%、10.6%。

「牛肉の原産地はみない・気にしない」は18.2%。

エリア別に見ると、首都圏の方が「岩手県」「宮城県」「栃木県」が多く、京阪神圏の方が「地元産」が16.2%と多い。福島県産は、首都圏は9.1%だが、京阪神圏では4.4%と少ない。



図表 104 普段店頭に並んでいる「牛肉」の原産地

7) 直近1年以内に購入したことがある原産地 (Q20)

- 直近1年以内に購入したことがある「牛肉」の原産地は、「国産・国内産（都道府県等、地名の表示なし）」が61.4%で最も多く、「オーストラリア」「アメリカ」がそれぞれ37.8%、31.7%。
- 国内産のTOP3は、「岩手県」「宮城県」「地元産」で、それぞれ12.0%、10.4%、9.1%。
- 「牛肉の原産地をみて購入しない・気にしない」は、20.4%

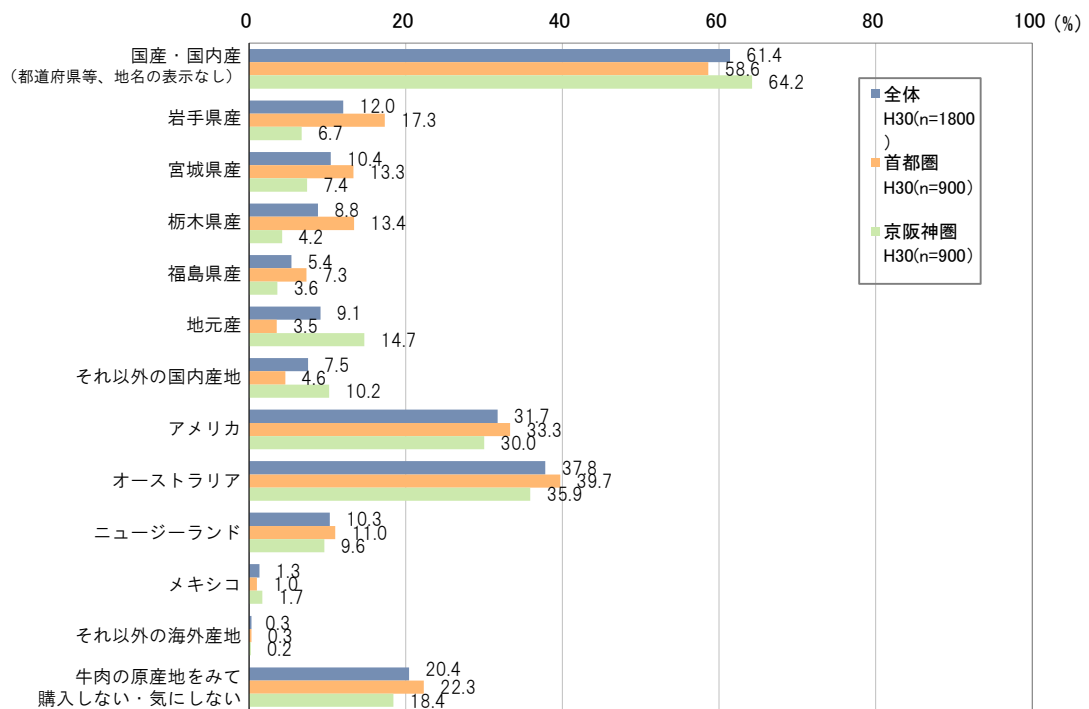
【今年度調査】

スーパー・生協・食肉専門店などの店頭で、あなたが直近1年以内に購入したことがある「牛肉」の原産地のTOP3は、「国産・国内産（都道府県等、地名の表示なし）」「オーストラリア」「アメリカ」で、それぞれ61.4%、37.8%、31.7%。

国内産のTOP3は、「岩手県」「宮城県」「地元産」で、それぞれ12.0%、10.4%、9.1%。

「牛肉の原産地をみて購入しない・気にしない」は20.4%。

エリア別に見ると、首都圏の方が「岩手県」「宮城県」「栃木県」が多く、京阪神圏の方が「地元産」が14.7%と多い。福島県産は、首都圏は7.3%だが、京阪神圏では3.6%と少ない。



図表 105 直近1年以内に購入したことがある「牛肉」の原産地

8) 昨年同期と比べた最近 1 か月の食肉購入回数の変化 (Q9)

- 食肉全体で「増えた」は 14.2%。一方「減った」は 13.5%。
- 過年度調査と比較すると、食肉全体でも個別でも食肉購入回数は増加傾向。

【今年度調査】

昨年同期と比べた最近 1 か月間の食肉購入回数の変化を尋ねたところ、食肉全体では「増えた (増えた+やや増えた)」は 14.2%、「減った (減った+やや減った)」は 13.5%。「変わらない」は 66.7%。

牛肉では、「増えた」が最も多いのは輸入牛肉で 9.9%、「減った」が多いのは、国産和牛で 21.2%。

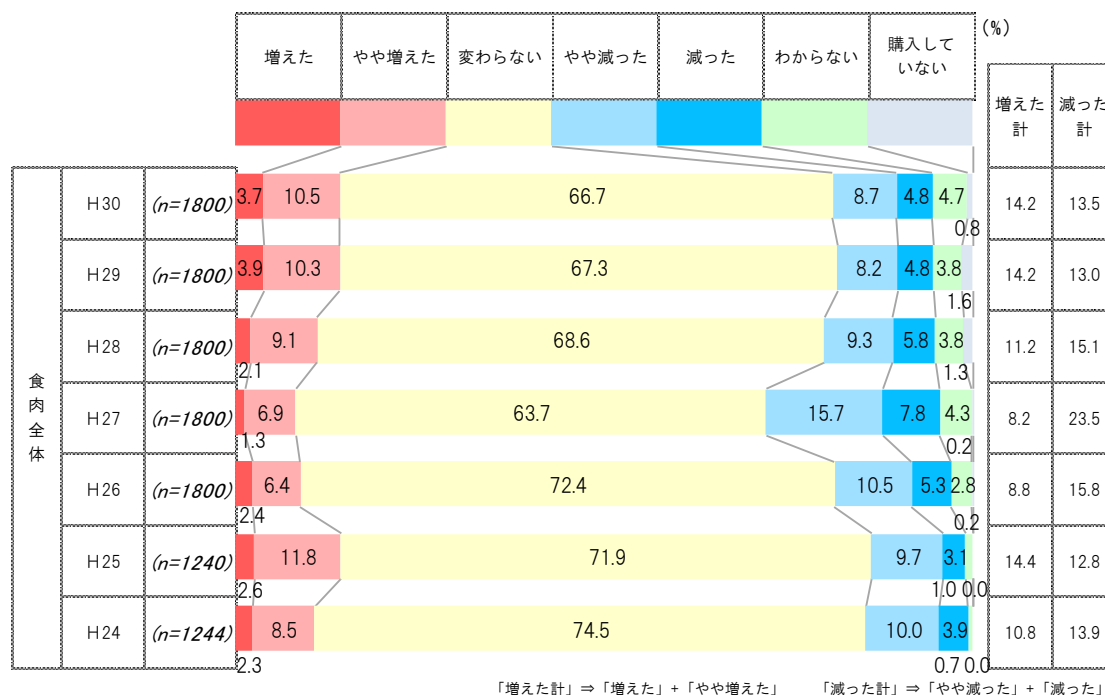
豚肉では、「増えた」が国産豚肉で 14.4%、輸入豚肉では 8.8%。「減った」は、国産豚肉で 12.1%、輸入豚肉で 16.5%。

鶏肉では、「増えた」が国産鶏肉で 16.6%、輸入鶏肉では 7.5%。「減った」は、国産鶏肉で 11.4%、輸入鶏肉で 16.9%。

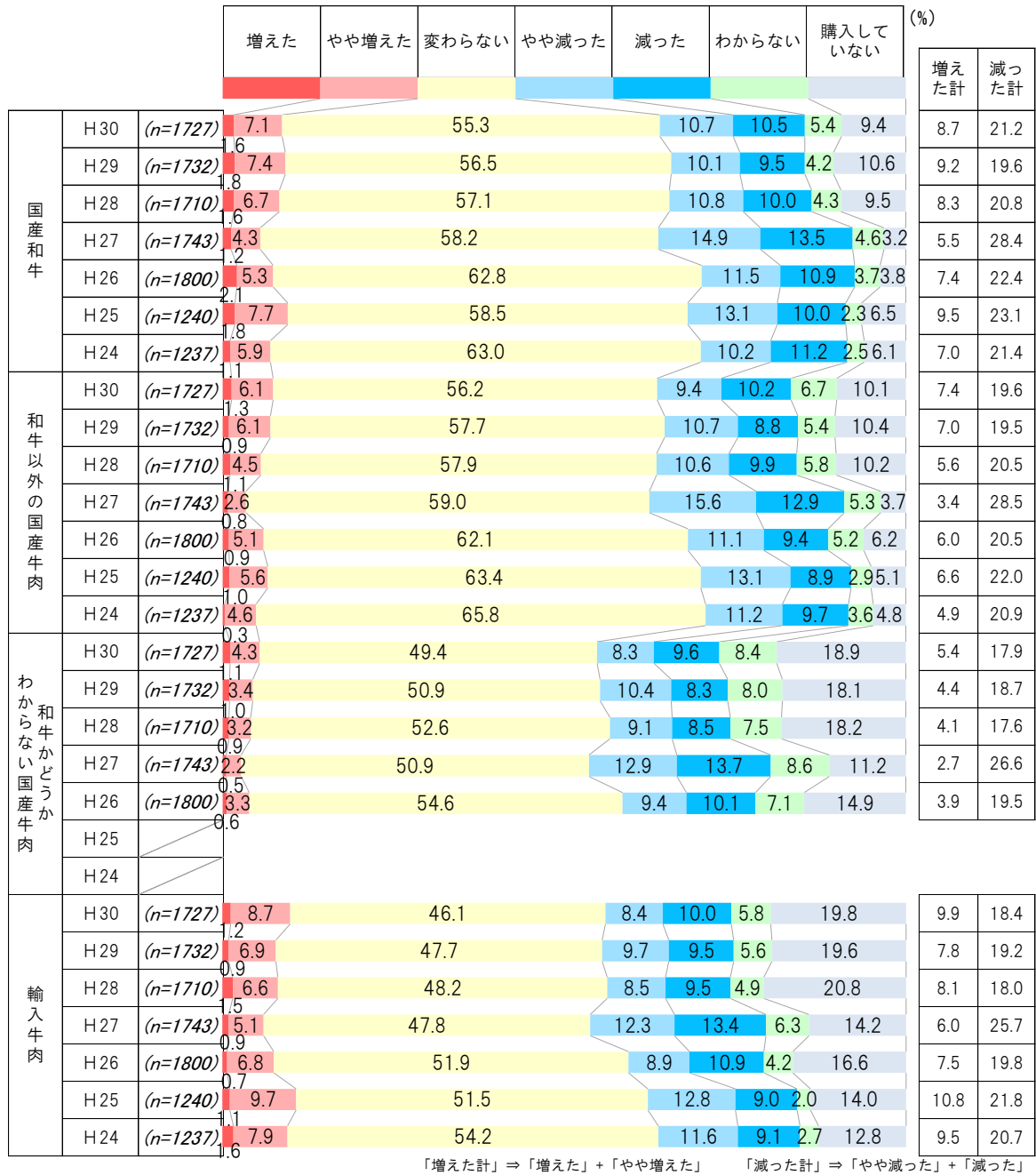
【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、食肉全体は、昨年度と同傾向である。

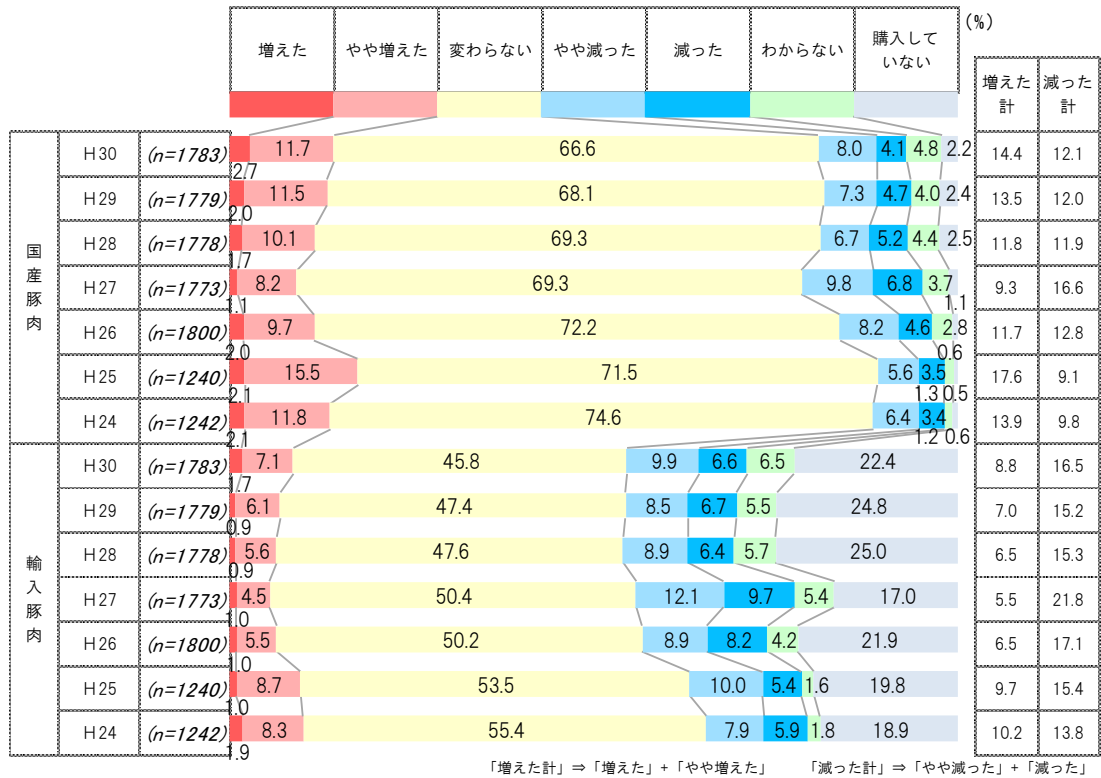
食肉を個別に見ても、どの食肉でも、昨年度と同傾向である。



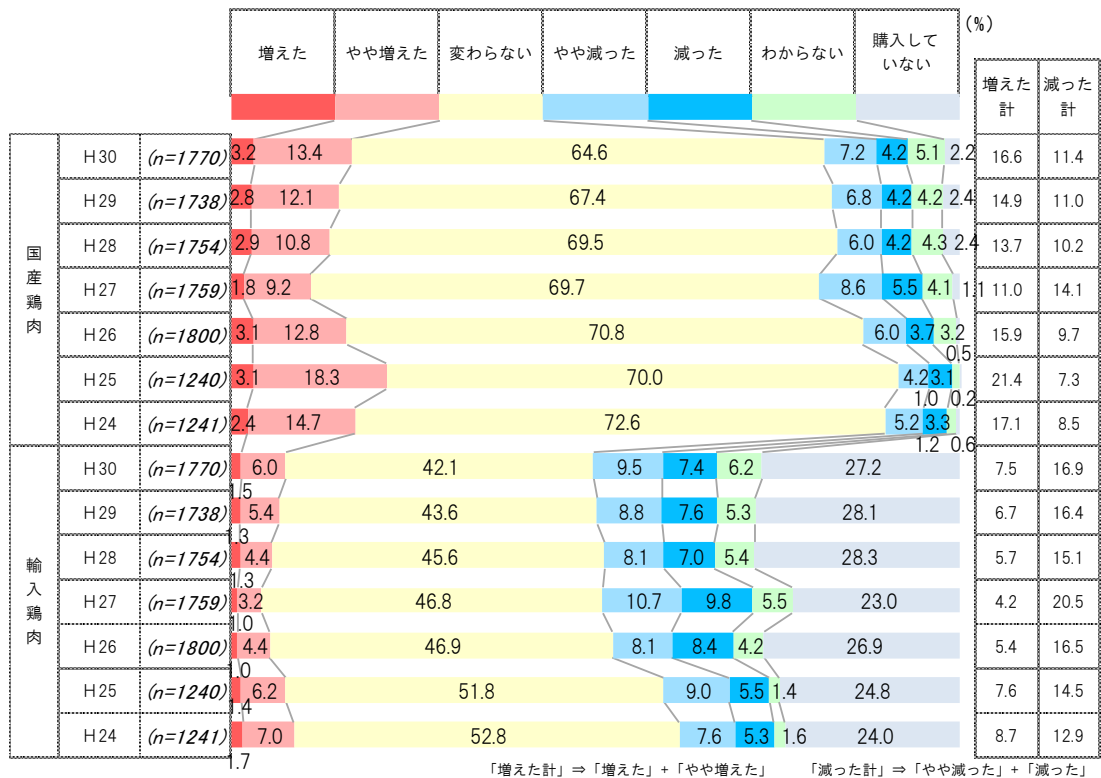
図表 106 昨年同期と比べた最近 1 か月の食肉購入回数の変化 (食肉全体)



図表 107 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化（牛肉全体）



図表 108 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化（豚肉全体）



図表 109 昨年同期と比べた最近1か月の食肉購入回数の変化（鶏肉全体）

9) 各種牛肉の購入意向 (Q10)

- 牛肉の購入意向は、「国産和牛」が最も高く 79.3%。次いで「和牛以外の国産牛肉」が 67.7%。
- 過年度調査と比較すると、いずれの牛肉でも購入意向が増加傾向。

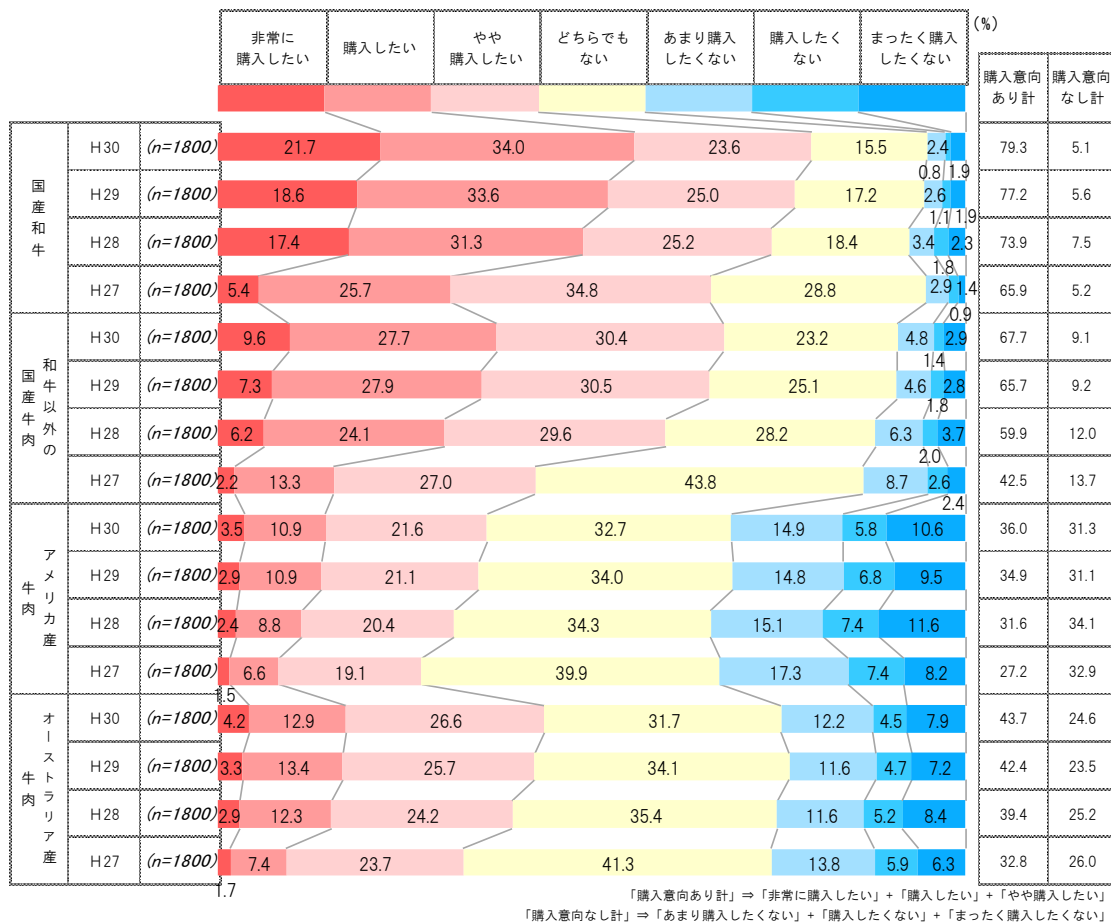
【今年度調査】

「購入したい（非常に購入したい+購入したい+やや購入したい）」では「国産和牛」「和牛以外の国産牛肉」の順で高くそれぞれ 79.3%、67.7%。

一方で「購入したくない（あまり購入したくない+購入したくない+まったく購入したくない）」は「アメリカ産牛肉」「オーストラリア産牛肉」の順で高くそれぞれ 31.3%、24.6%。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、いずれの種類牛肉も「どちらでもない」が減少し、「購入したい（非常に購入したい+購入したい+やや購入したい）」が増加傾向にある。



図表 110 各種牛肉の購入意向

10) 各種牛肉のイメージ (Q11)

- 国産和牛のイメージは「高級品」「おいしい」「柔らかい」が高い。
- 和牛以外の国産牛肉は「おいしい」「安心」「安全」が高い。
- アメリカ産牛肉やオーストラリア産牛肉はいずれも「価格が手頃」「入手しやすい」「特売」が高い。
- 過年度調査と比較すると、国産和牛は「柔らかい」「あぶら身が多い」「おいしい」「旨味がある」「和食に合う」が増加傾向にあるが、「入手しやすい」「価格が手頃」は減少傾向。和牛以外の国産牛肉は、「安全」「衛生的」「高品質」「筋肉や骨をつくる」が増加傾向にあるが、「入手しやすい」は減少傾向。アメリカ産牛肉は、「洋食に合う」「若者向き」「男性向き」「肉々しい」「あぶら身が多い」が増加傾向にあるが、「入手しやすい」は減少傾向。オーストラリア産牛肉も、「入手しやすい」が減少傾向。

【今年度調査】

各種牛肉のイメージ（複数回答）のTOP3は、国産和牛では「高級品」「おいしい」「柔らかい」でそれぞれ55.4%、48.1%、45.9%。

和牛以外の国産牛肉では「安心」「おいしい」「安全」でそれぞれ27.6%、27.1%、27.0%。

アメリカ産牛肉では「価格が手頃」「特売」「入手しやすい」でそれぞれ48.7%、29.3%、27.6%。

オーストラリア産牛肉ではアメリカ産牛肉と同じく、「価格が手頃」「入手しやすい」「特売」でそれぞれ50.4%、28.3%、25.8%。

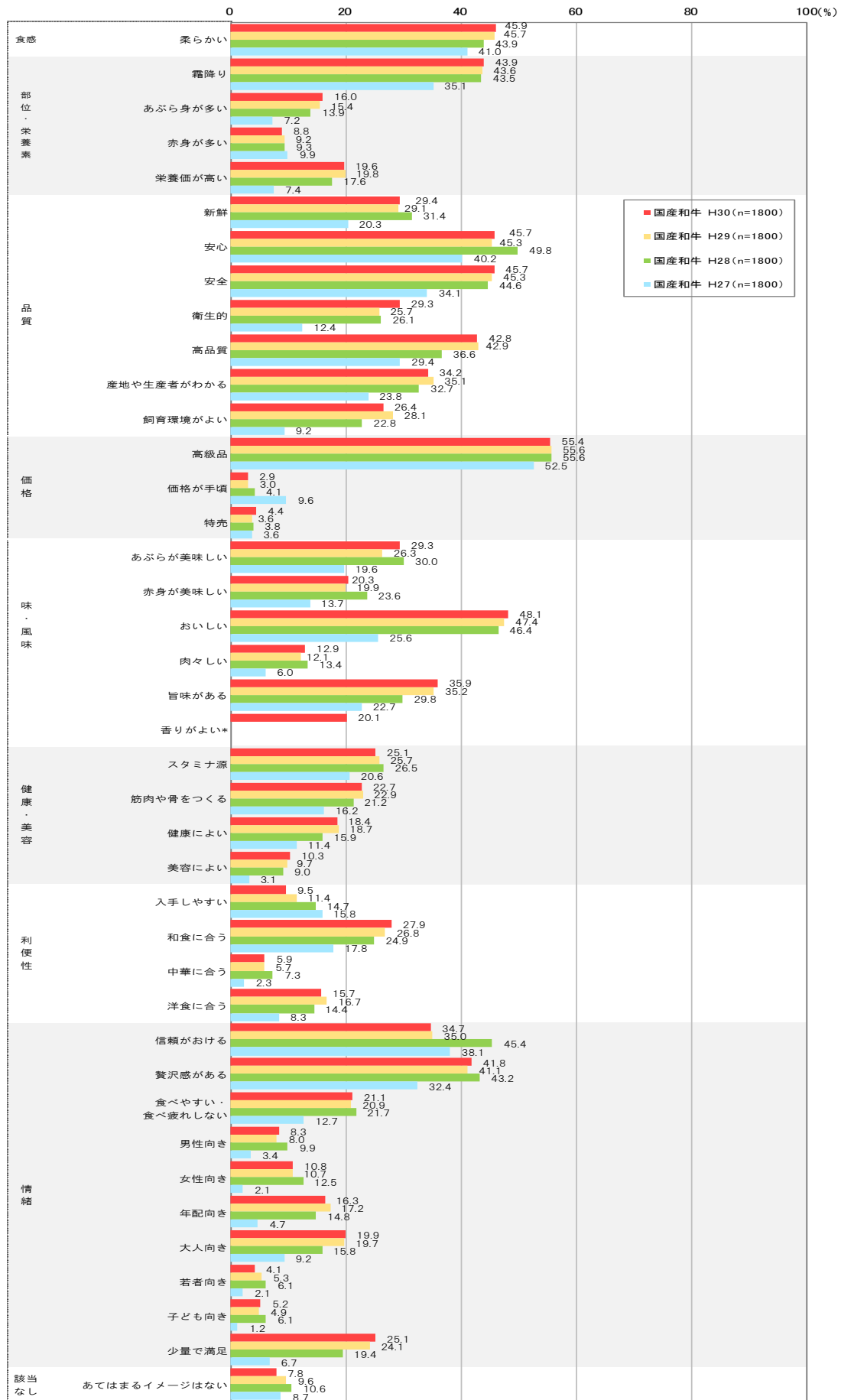
【過年度調査との比較】

昨年度調査と比較すると、国産和牛は「柔らかい」「あぶら身が多い」「おいしい」「旨味がある」「和食に合う」が増加傾向にあるが、「入手しやすい」「価格が手頃」は減少傾向にある。

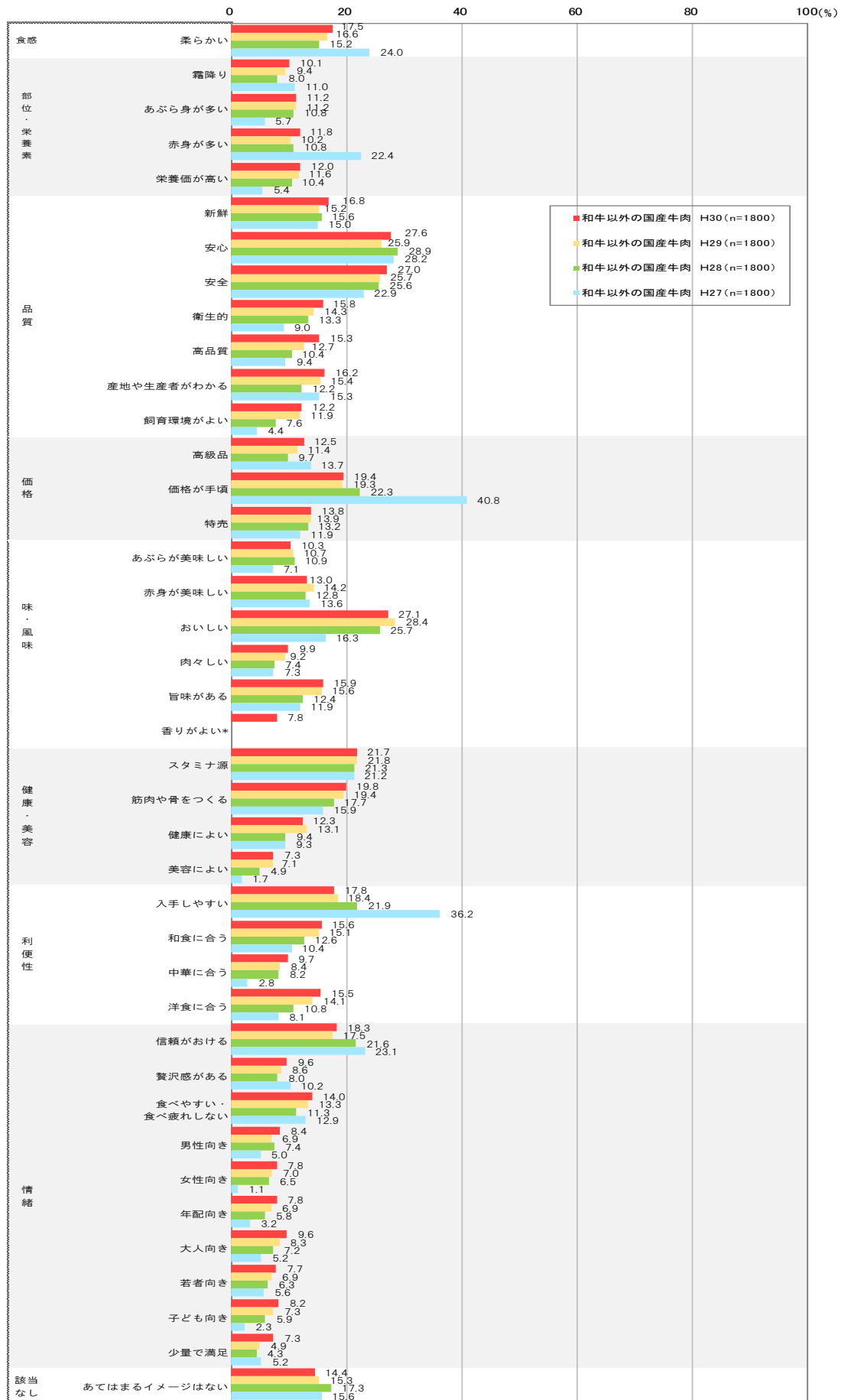
また、和牛以外の国産牛肉は、「安全」「衛生的」「高品質」「筋肉や骨をつくる」が増加傾向にあるが、「入手しやすい」は減少傾向にある。

アメリカ産牛肉は、「洋食に合う」「若者向き」「男性向き」「肉々しい」「あぶら身が多い」が増加傾向にあるが、「入手しやすい」が減少傾向にある。

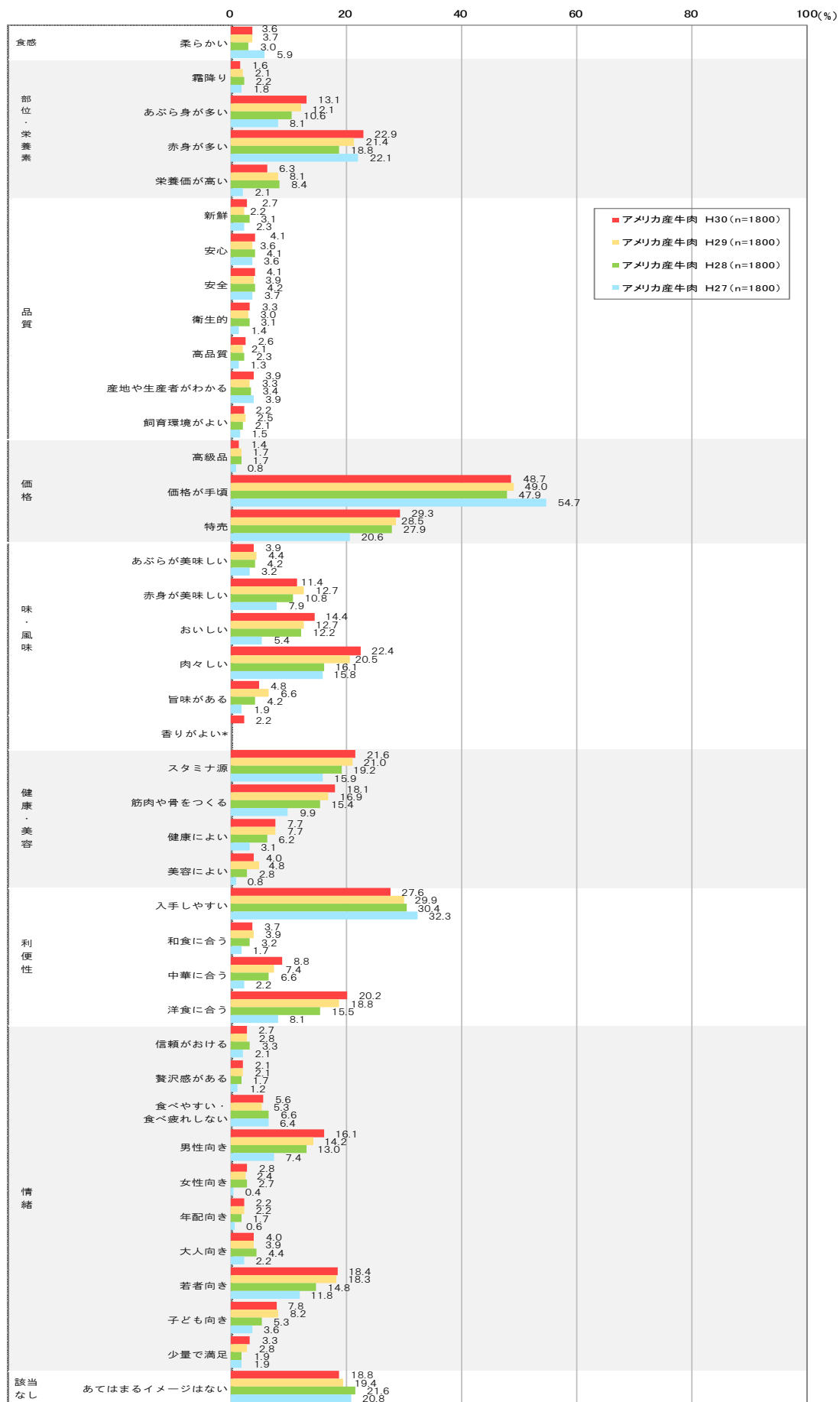
オーストラリア産牛肉も、は、「入手しやすい」は減少傾向にある。



図表 111 国産和牛のイメージ（経年変化）

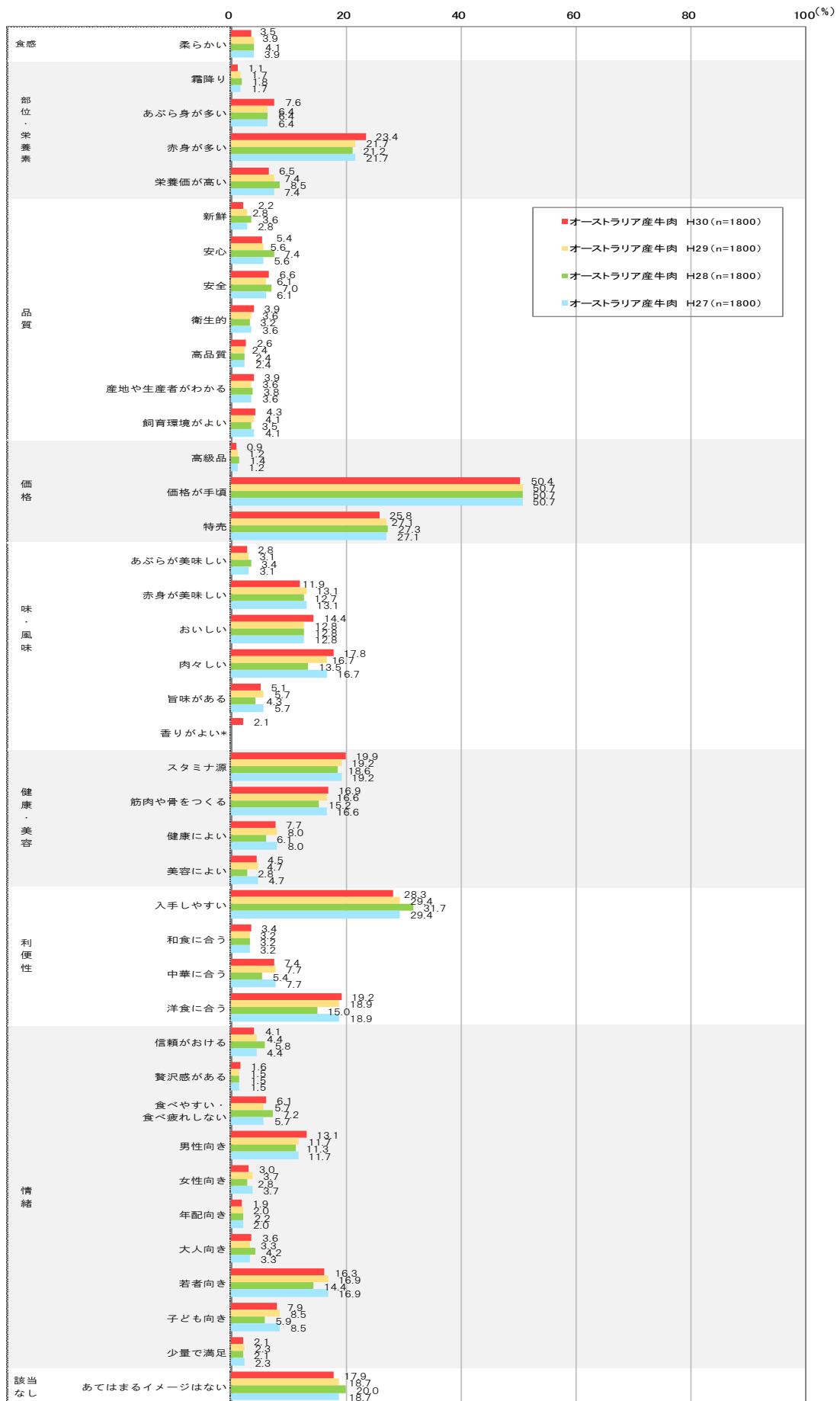


図表 112 和牛以外の国産牛肉のイメージ（経年変化）



*平成30年より新規項目

図表 113 アメリカ産牛肉のイメージ（経年変化）



図表 114 オーストラリア産牛肉のイメージ (経年変化)

11) 各種牛肉を家庭内で食べる場面（Q12-1）

- 国産和牛を食べる場面は「誕生日・記念日」「自分へのご褒美」「日常の食材」が多い。
- 和牛以外の国産牛肉、アメリカ産牛肉、オーストラリア産牛肉は「日常の食材」が4割～5割と高い。
- 昨年度調査と比較すると、国産和牛は「自分へのご褒美」「家族のリクエスト」「休日」「お正月」「クリスマス」などの特別な日が増加傾向。和牛以外の国産牛肉も、「友人との食事」「自分へのご褒美」「クリスマス」「お正月」「バーベキューをする時」が増加傾向。アメリカ産牛肉は、「日常の食材」「バーベキューをする時」「家族のリクエスト」が増加傾向。オーストラリア産牛肉は、昨年度と同傾向。

【今年度調査】

各種牛肉を家庭内で食べる場面（複数回答）のTOP3は、国産和牛では、「誕生日・記念日」「自分へのご褒美」「日常の食材」でそれぞれ34.5%、34.5%、34.4%。

和牛以外の国産牛肉では、「日常の食材」「休日」「バーベキューをする時」でそれぞれ52.8%、20.3%、18.9%。

アメリカ産牛肉では、「日常の食材」「バーベキューをする時」「休日」でそれぞれ46.5%、24.9%、10.4%。「この産地の牛肉は食べない」が26.4%。

オーストラリア産牛肉では、「日常の食材」「バーベキューをする時」「その他の場面」でそれぞれ50.3%、24.5%、12.0%。「この産地の牛肉は食べない」が23.2%。

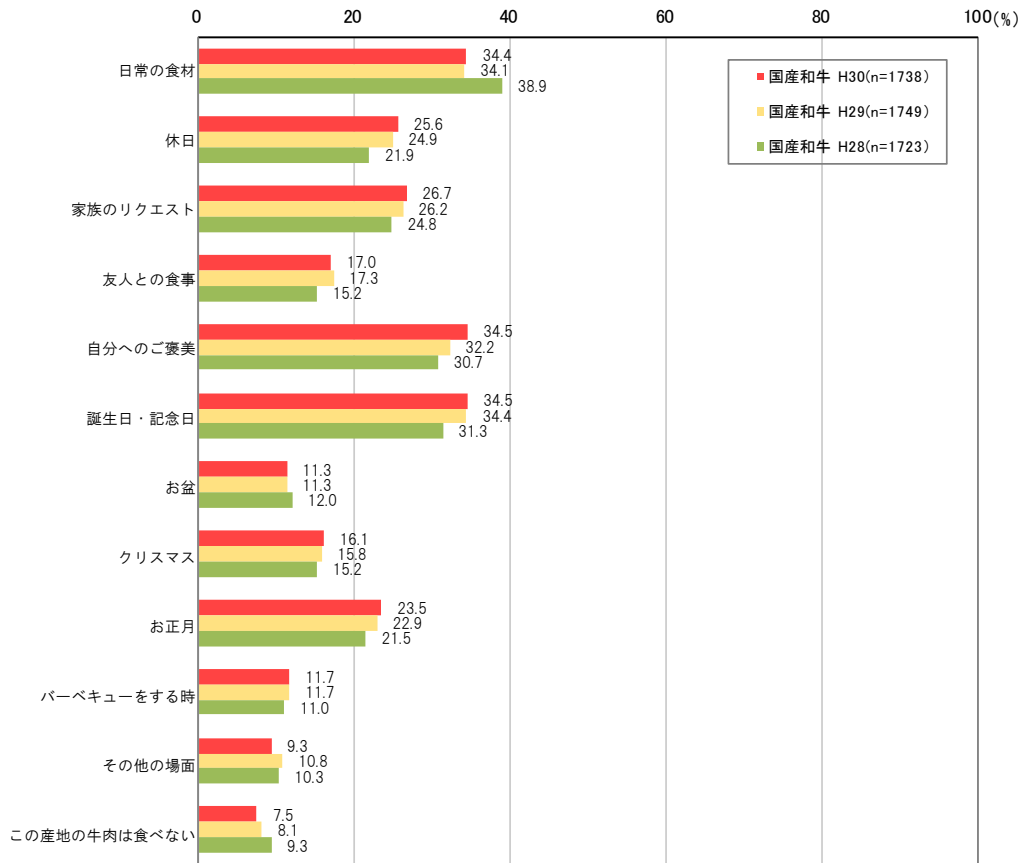
【過年度調査との比較】

昨年度調査と比較すると、国産和牛は、「自分へのご褒美」「家族のリクエスト」「休日」「お正月」「クリスマス」が増加傾向にある。

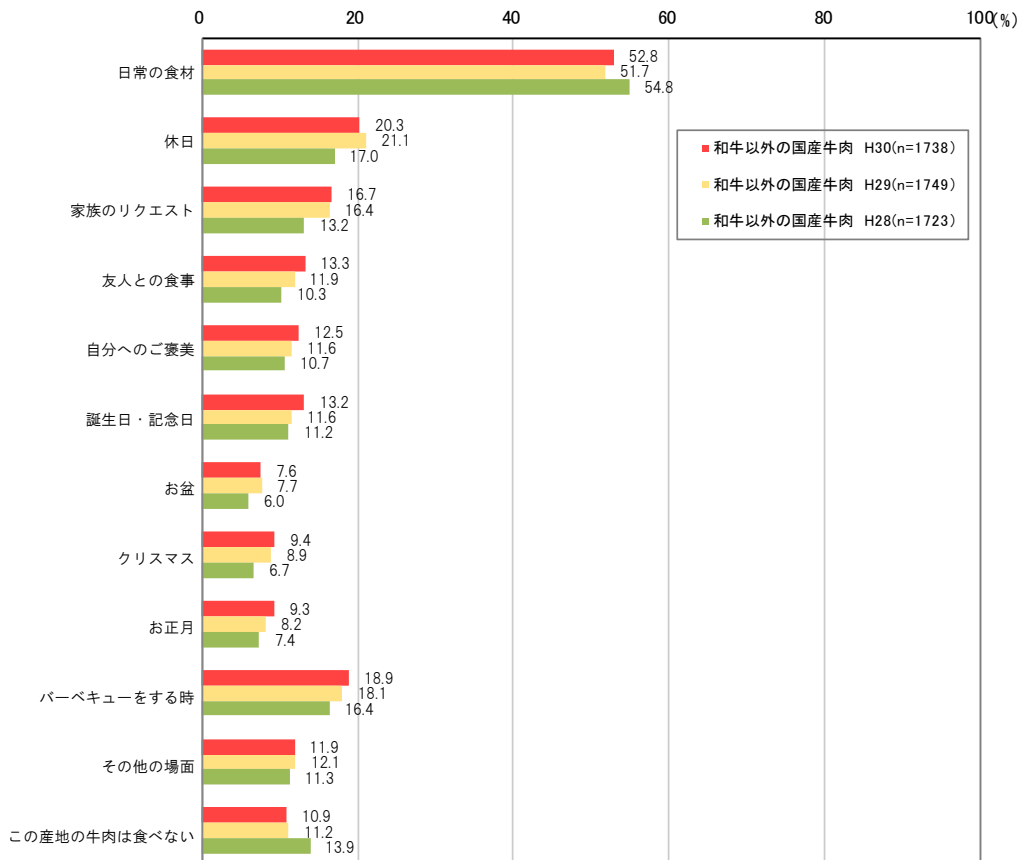
和牛以外の国産牛肉は、「友人との食事」「自分へのご褒美」「クリスマス」「お正月」「バーベキューをする時」が増加傾向にある。

アメリカ産牛肉は、「日常の食材」「バーベキューをする時」「家族のリクエスト」が増加傾向にある。

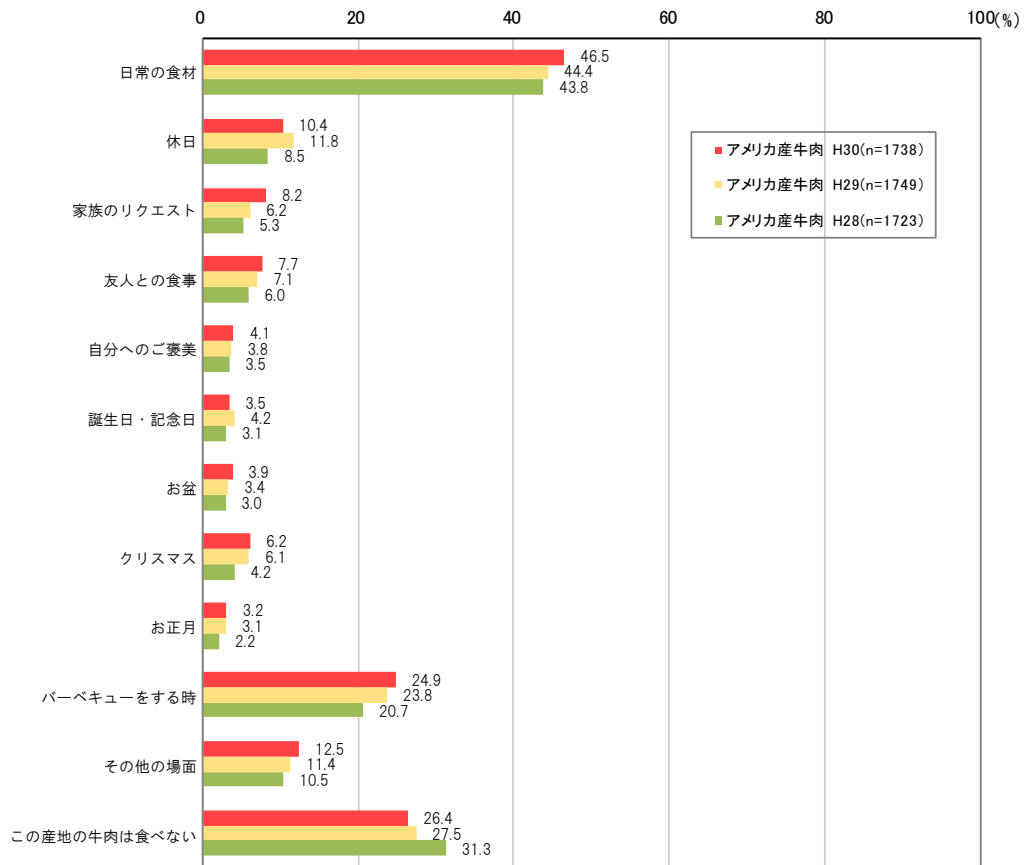
オーストラリア産牛肉は、昨年度と同傾向である。



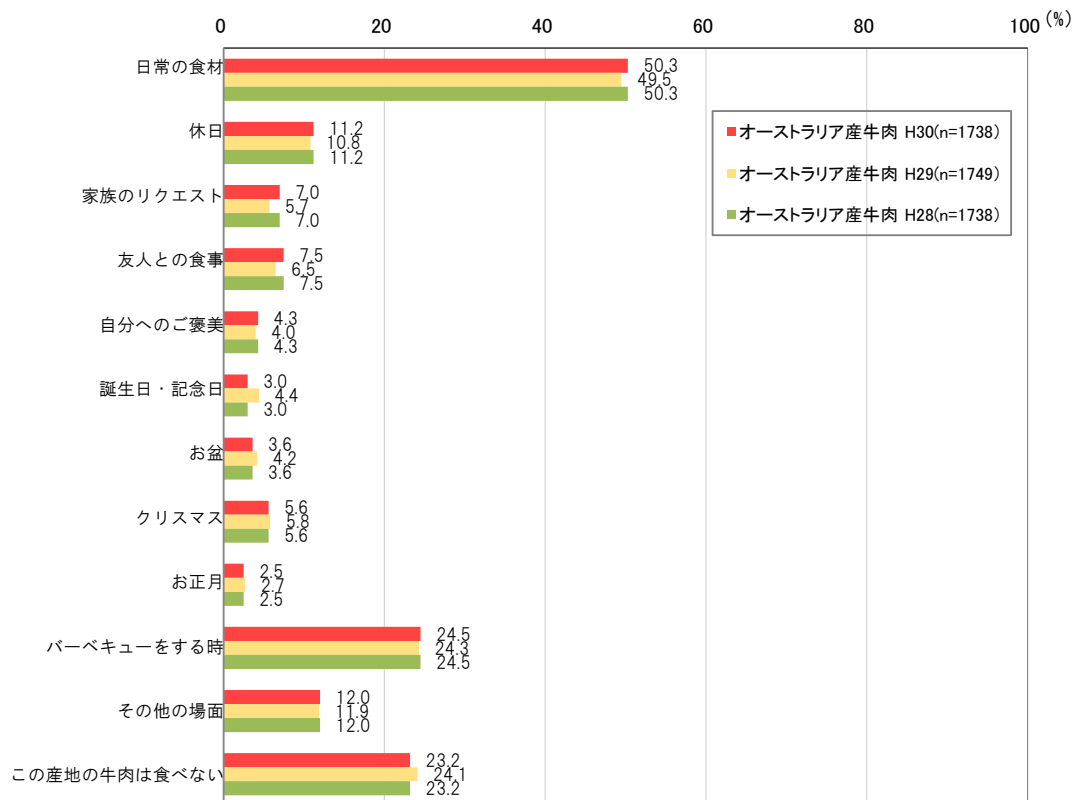
図表 115 国産和牛を家庭内で食べる場面（経年変化）



図表 116 和牛以外の国産牛肉を家庭内で食べる場面（経年変化）



図表 117 アメリカ産牛肉を家庭内で食べる場面（経年変化）



図表 118 オーストラリア産牛肉を家庭内で食べる場面（経年変化）

12) 各種牛肉を家庭内で食べる料理 (Q12-2)

- ▶ 各種牛肉を家庭内で食べる料理の TOP3 は、国産和牛では「すき焼き」「焼き肉」「ステーキ」で、これらに用途が集中する傾向にある。
- ▶ 和牛以外の国産牛肉では「焼き肉」「すき焼き」「肉じゃが」。
- ▶ アメリカ産、オーストラリア産では「ステーキ」「焼き肉」「カレー」。
- ▶ 昨年度調査と比較すると、国産和牛は、「鍋・しゃぶしゃぶ」が増加傾向。和牛以外の国産牛肉は、「ステーキ」「鍋・しゃぶしゃぶ」が増加傾向。アメリカ産牛肉も、「ステーキ」「鍋・しゃぶしゃぶ」「炒め物」「丼物」が増加傾向。オーストラリア産牛肉は、「シチュー」が増加傾向。

【今年度調査】

各種牛肉を家庭内で食べる料理（複数回答）の TOP3 は、国産和牛では、「すき焼き」「焼き肉」「ステーキ」でそれぞれ 66.0%、59.1%、50.6%。

和牛以外の国産牛肉では、「焼き肉」「すき焼き」「肉じゃが」でそれぞれ 52.6%、43.5%、43.5%。

アメリカ産牛肉では、「ステーキ」「カレー」「焼き肉」でそれぞれ 45.9%、42.8%、42.3%。

オーストラリア産牛肉では、「ステーキ」「焼き肉」「カレー」でそれぞれ 43.0%、41.5%、41.4%。

国産和牛は TOP3 が 5 割を超える一方で、4 位の「鍋・しゃぶしゃぶ」が約 4 割、それ以降は 1~2 割と TOP3 に用途が集中する傾向にある。

アメリカ産牛肉やオーストラリア産牛肉は、順位が多少異なるが TOP3 の料理は同じであり、またそれ以外の料理も同じ並び順となっている。

【過年度調査との比較】

昨年度調査と比較すると、国産和牛は、「鍋・しゃぶしゃぶ」が増加傾向にある。

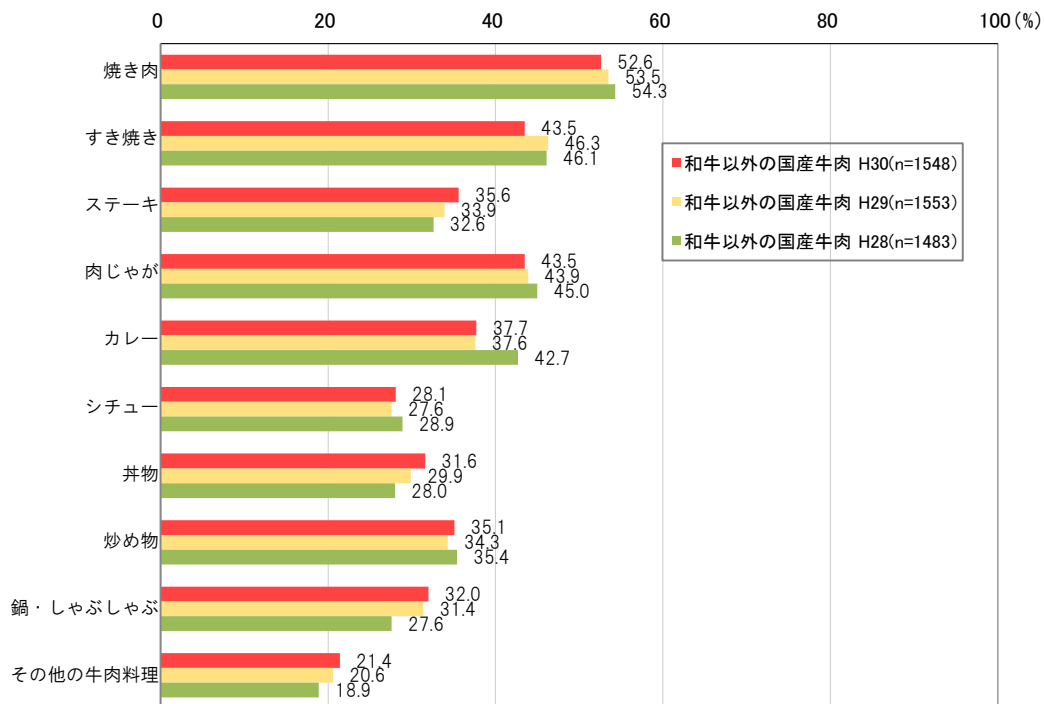
和牛以外の国産牛肉は、「ステーキ」「鍋・しゃぶしゃぶ」が増加傾向にある。

アメリカ産牛肉も、「ステーキ」「鍋・しゃぶしゃぶ」「炒め物」「丼物」が増加傾向にある。

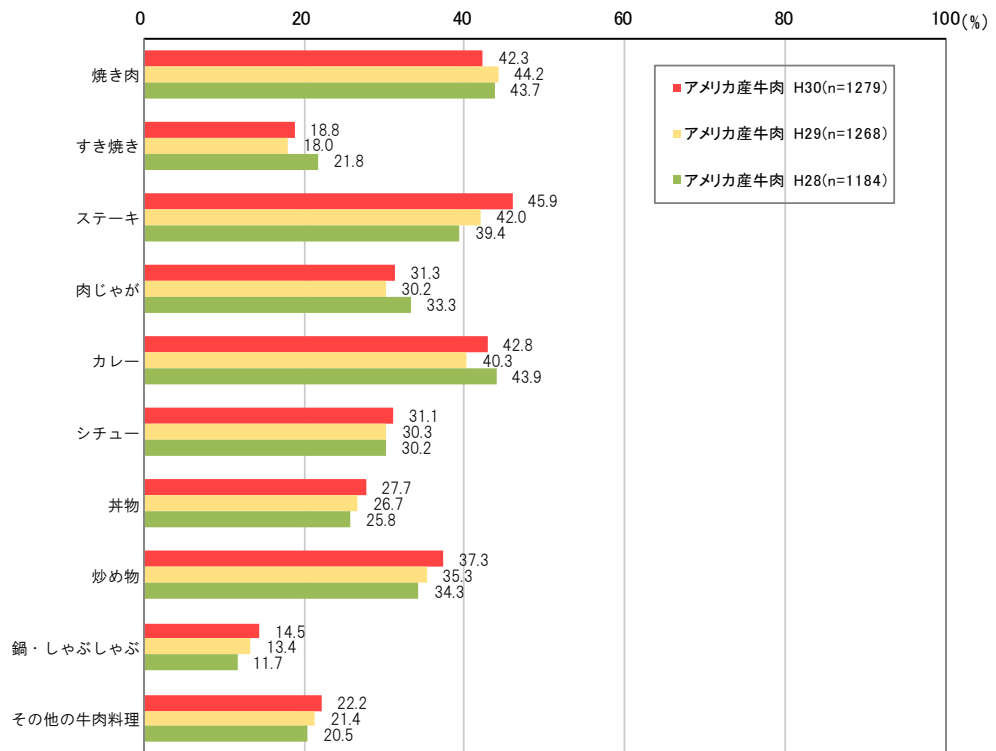
オーストラリア産牛肉は、「シチュー」が増加傾向にある。



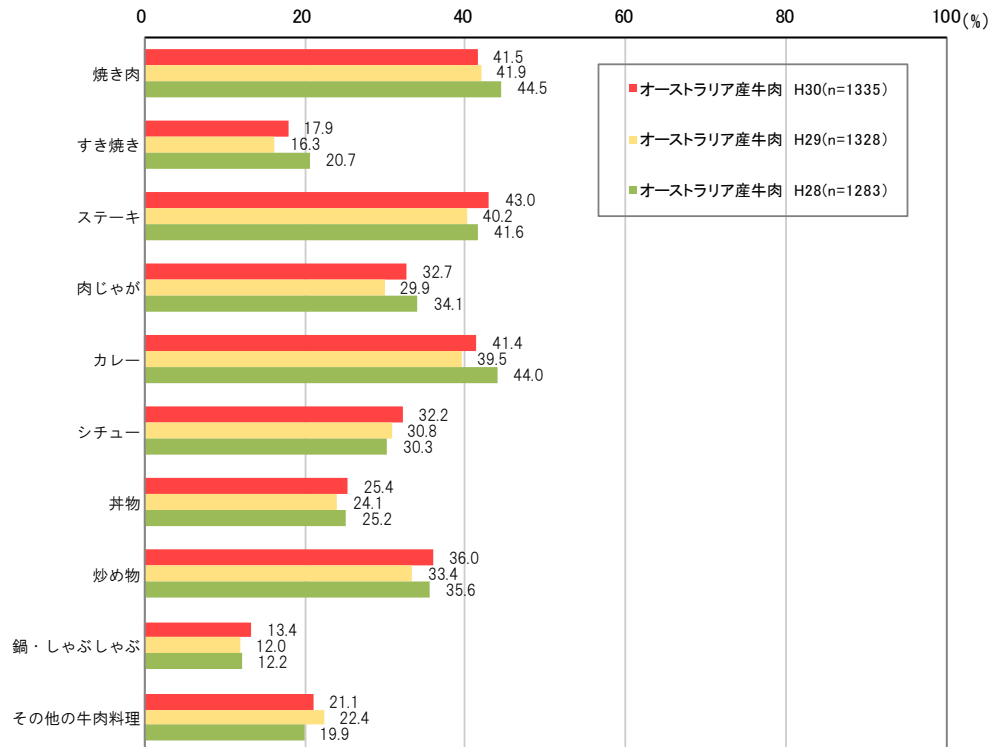
図表 119 国産和牛を家庭内で食べる料理（経年変化）



図表 120 和牛以外の国産牛肉を家庭内で食べる料理（経年変化）



図表 121 アメリカ産牛肉を家庭内で食べる料理（経年変化）



図表 122 オーストラリア産牛肉を家庭内で食べる料理（経年変化）

13) 各種牛肉の情報を得るために用いている情報源 (Q13)

- ▶ 各種牛肉の情報を得るために用いている情報源の TOP3 は順位は異なるが、どの牛肉でも「テレビのニュース・報道番組」「スーパーやデパートの店頭・店内やスタッフの話」「自宅で購入したものを食して」。
- ▶ 「特になし」の割合がどの牛肉でも 4 割を超える。
- ▶ 昨年度調査と比較すると、いずれの牛肉の情報源も、いずれの牛肉の情報源も、「家族や友人・知人の話」が増加し、「インターネット・アプリのニュース記事やコラム」が減少傾向。

【今年度調査】

国産和牛、和牛以外の国産牛肉の情報を得るために用いている情報源（複数回答）の TOP3 は、いずれも「自宅で購入したものを食して」（国産和牛 17.6%、和牛以外の国産牛肉 16.6%）、「テレビのニュース・報道番組」（国産和牛 15.1%、和牛以外の国産牛肉 15.1%）、「スーパーやデパートの店頭・店内やスタッフの話」（国産和牛 14.6%、和牛以外の国産牛肉 13.9%）。

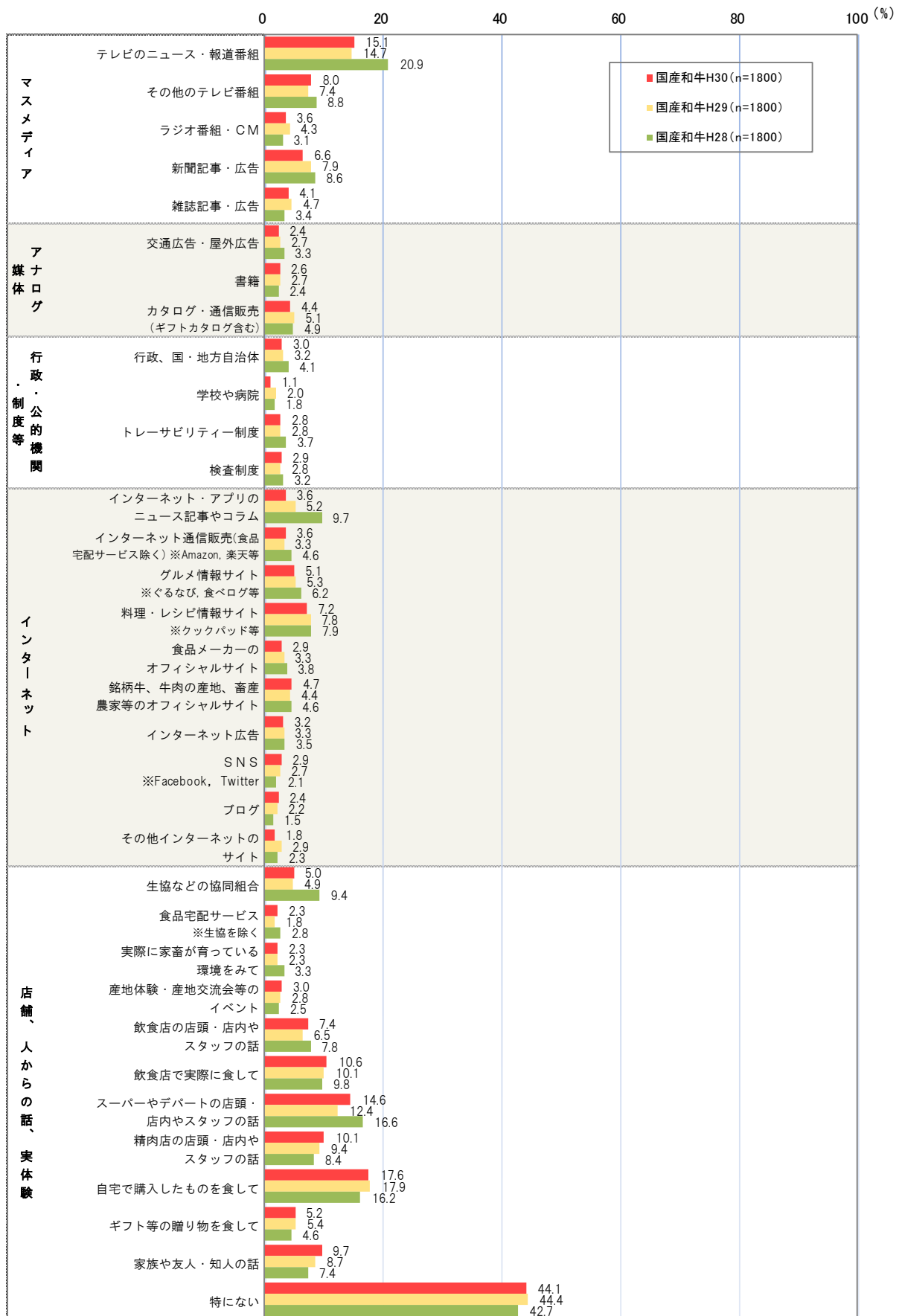
アメリカ産牛肉の情報を得るために用いている情報源（複数回答）の TOP3 は、「テレビのニュース・報道番組」「自宅で購入したものを食して」「スーパーやデパートの店頭・店内やスタッフの話」でそれぞれ 14.7%、13.4%、12.6%。

オーストラリア産牛肉の情報を得るために用いている情報源（複数回答）の TOP3 は、「テレビのニュース・報道番組」「自宅で購入したものを食して」「スーパーやデパートの店頭・店内やスタッフの話」でそれぞれ 14.8%、13.8%、13.7%。

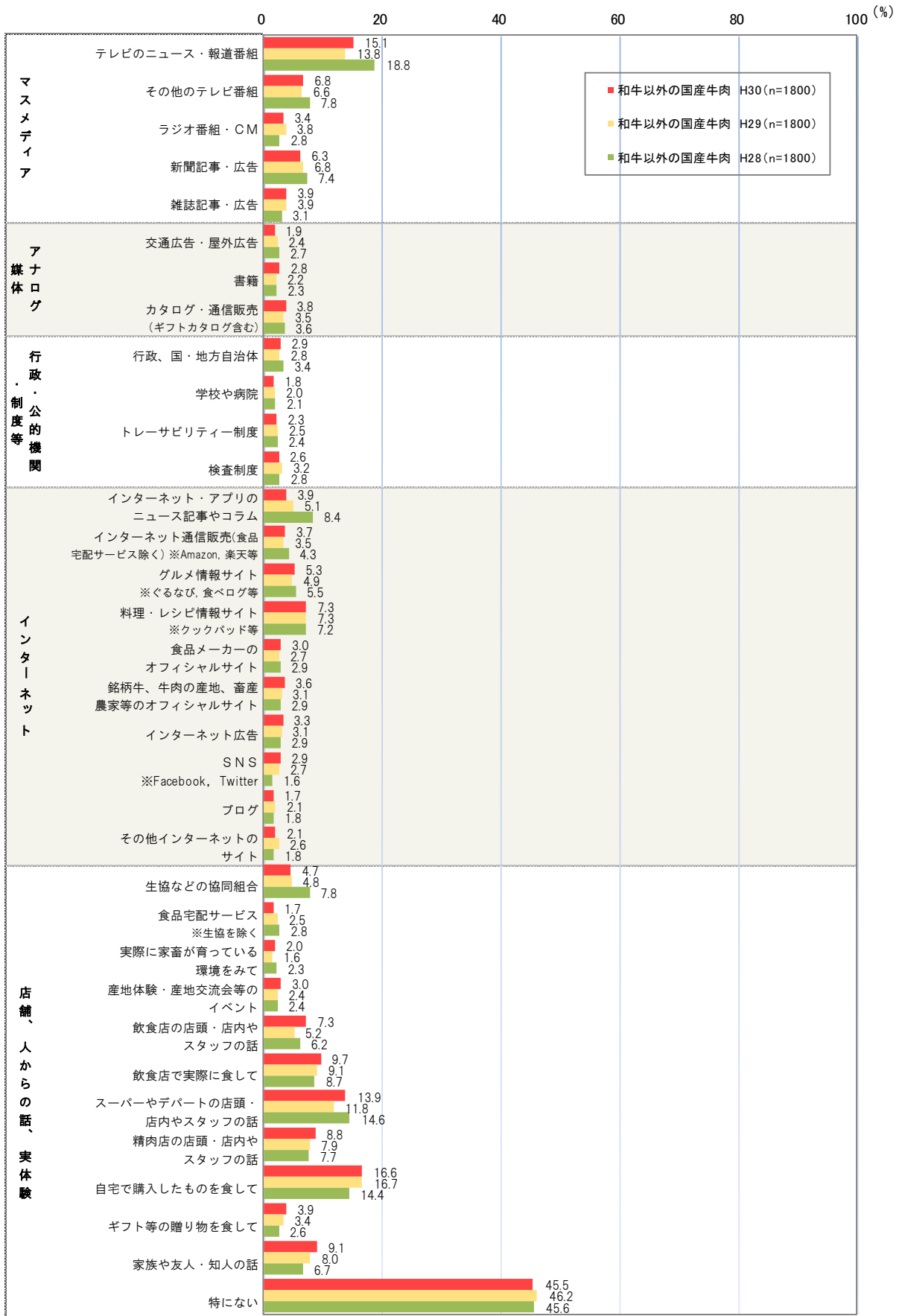
また、「特になし」の割合がどの牛肉でも 4 割を超えていた。

【過年度調査との比較】

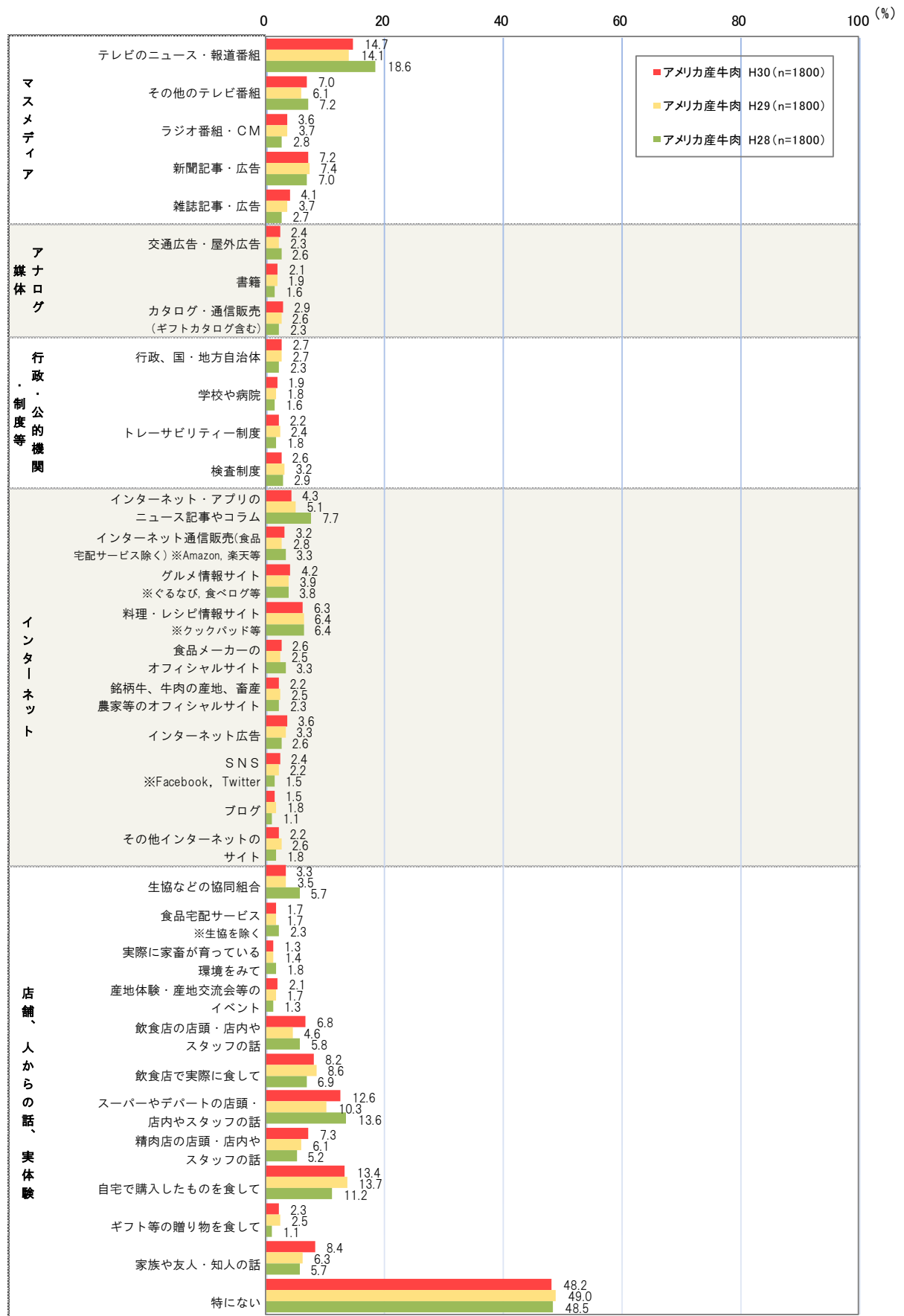
昨年度調査と比較すると、いずれの牛肉の情報源も、「家族や友人・知人の話」が増加し、「インターネット・アプリのニュース記事やコラム」が減少している。



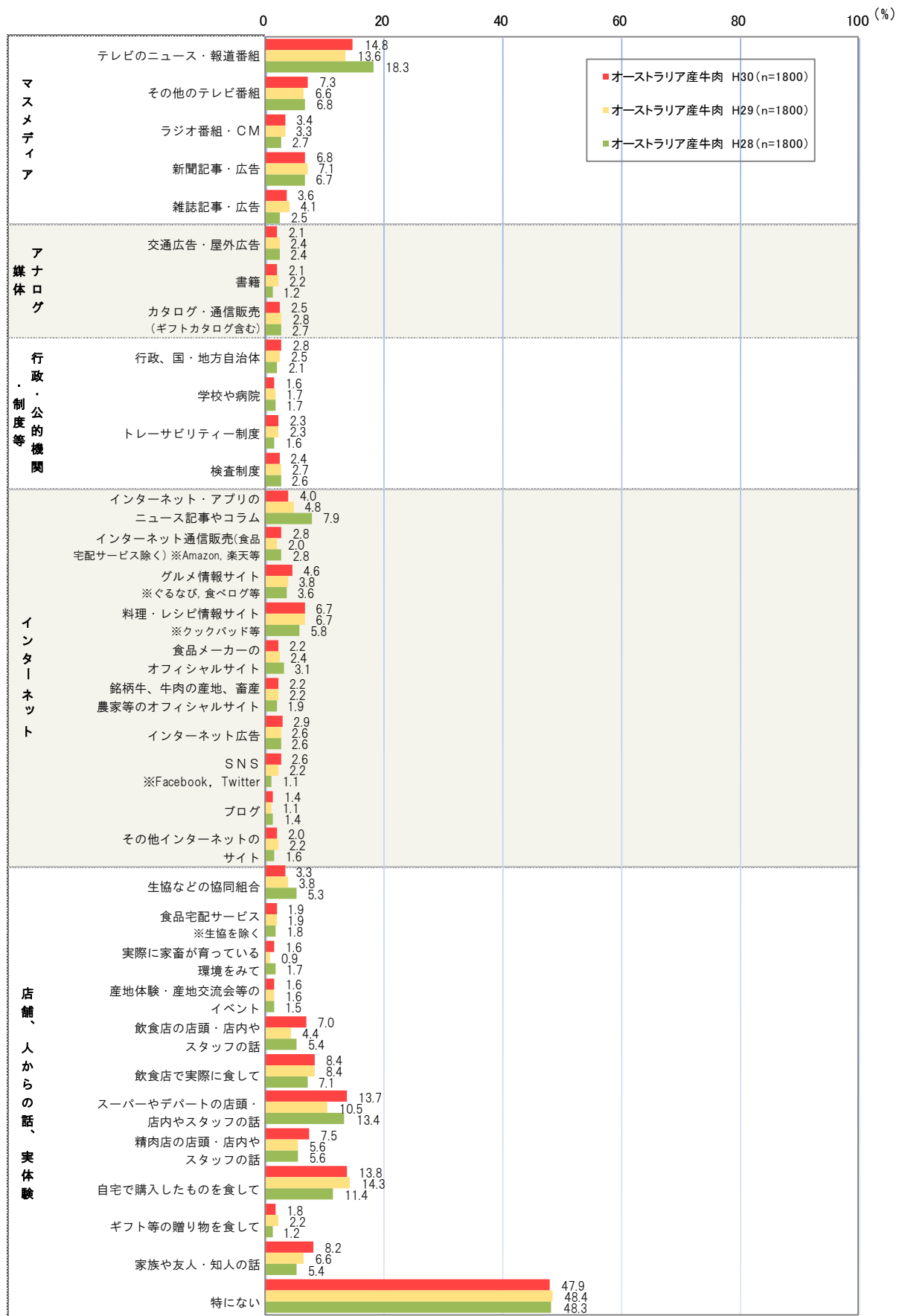
図表 123 国産和牛の情報を得るために用いている情報源（経年変化）



図表 124 和牛以外の国産牛肉の情報を得るために用いている情報源（経年変化）



図表 125 アメリカ産牛肉の情報を得るために用いている情報源（経年変化）



図表 126 オーストラリア産牛肉の情報を得るために用いている情報源（経年変化）

14) 国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（Q14）

- 国産和牛肉を選ぶ割合は全体の約 8 割。
- 「2割高までなら国産和牛肉を選ぶ」の割合が最も高く、20.9%。
- 過年度調査の結果から特に大きな変動は見られなかった。

【今年度調査】

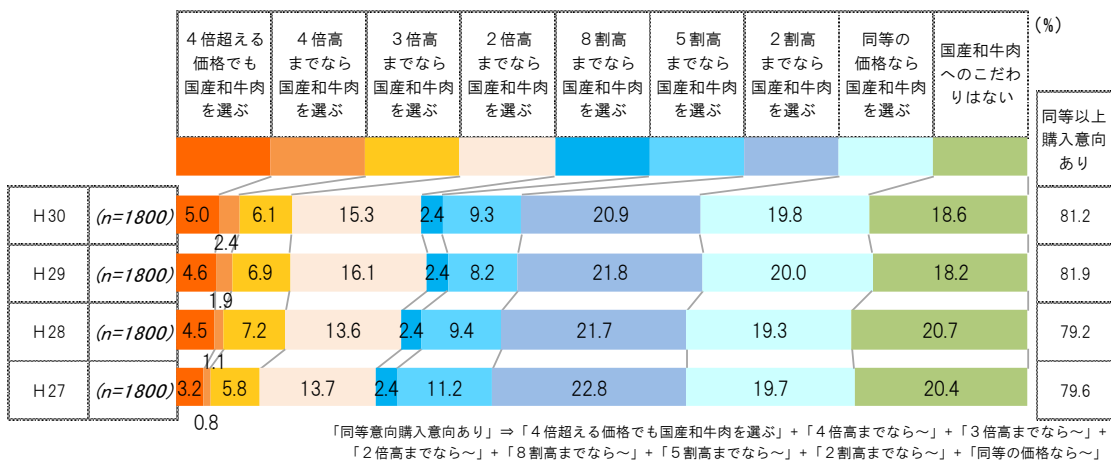
国産和牛肉を選ぶ（「4倍を超える価格でも国産和牛肉を選ぶ」～「同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ」）割合は 81.2%。

特に「2割高までなら国産和牛肉を選ぶ」「同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ」の順で高く、それぞれ 20.9%、19.8%となっている。

また、「2割高までなら国産和牛肉を選ぶ」～「同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ」で全体の約 4 割を占める。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、国産和牛肉を選ぶ（「4倍を超える価格でも国産和牛肉を選ぶ」～「同等の価格なら国産和牛肉を選ぶ」）割合も、各項目の割合も同傾向にあり、特に大きな変動は見られない。



図表 127 国産和牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（経年変化）

15) 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度 (Q15)

- 和牛以外の国産牛肉を選ぶ割合は全体の約 8 割。
- 「同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」の割合が最も多く、21.5%。
- 過年度調査の結果から特に大きな変動は見られなかった。

【今年度調査】

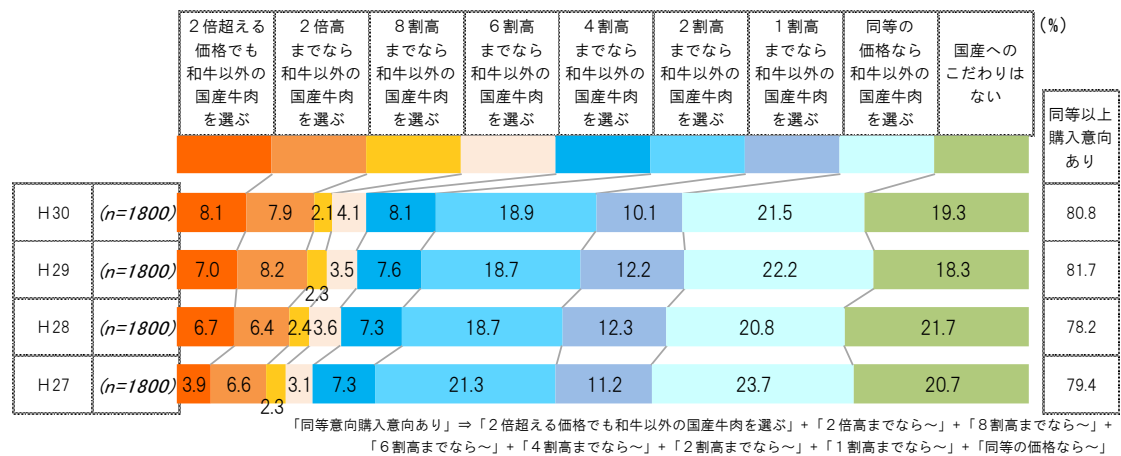
和牛以外の国産牛肉を選ぶ（「2 倍を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」～「同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」）割合は 80.8%。

特に「同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」「2 割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」の順で高く、それぞれ 21.5%、18.9%となっている。

また、「2 割高までなら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」～「同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」で全体の半数以上を占める。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、和牛以外の国産牛肉を選ぶ（「2 倍を超える価格でも和牛以外の国産牛肉を選ぶ」～「同等の価格なら和牛以外の国産牛肉を選ぶ」）割合も、各項目の割合も同傾向にあり、特に大きな変動は見られない。



図表 128 和牛以外の国産牛肉の輸入牛肉に対する価格許容度（経年変化）

16) 産地別牛肉の購入意向 (Q16)

- 岩手県産、宮城県産、栃木県産は購入意向が7割近くを占めており、福島県産は6割程度。
- 過年度調査と比較すると、岩手県産、宮城県産、栃木県産、福島県産では、「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」が増加傾向。
- 地元産は他の産地に比べて購入意向派が多く、特に「割高でも購入したい」と「他の原産地と同程度の価格ならば購入したい」の合計は4割を超えており、食材の地元志向は強いと言える。
- 外国産は「安ければ購入したい」割合が4割以上と高い。過年度調査では、特に大きな変動は見られない。

【今年度調査】

岩手県産、宮城県産、栃木県産、福島県産

牛肉の産地別購入意向をみると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は岩手県産、宮城県産、栃木県産については7割近くを占めており（それぞれ71.3%、70.9%、69.6%）、福島県産では64.1%となっている。

また岩手県産、宮城県産、栃木県産については「購入したくない」人の割合はそれぞれ3.6%、4.4%、4.9%、福島県産のみが高めで9.7%となっている。

地元産、それ以外の国内産地

地元産や上記4県以外の国内産の牛肉では「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は、それぞれ7割以上を占める（それぞれ74.3%、73.8%）。

地元産については、購入意向派は上記4県の購入意向派よりも高い。特に、「割高でも購入したい」「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」の合計は、地元産では43.8%と4割を超えている。

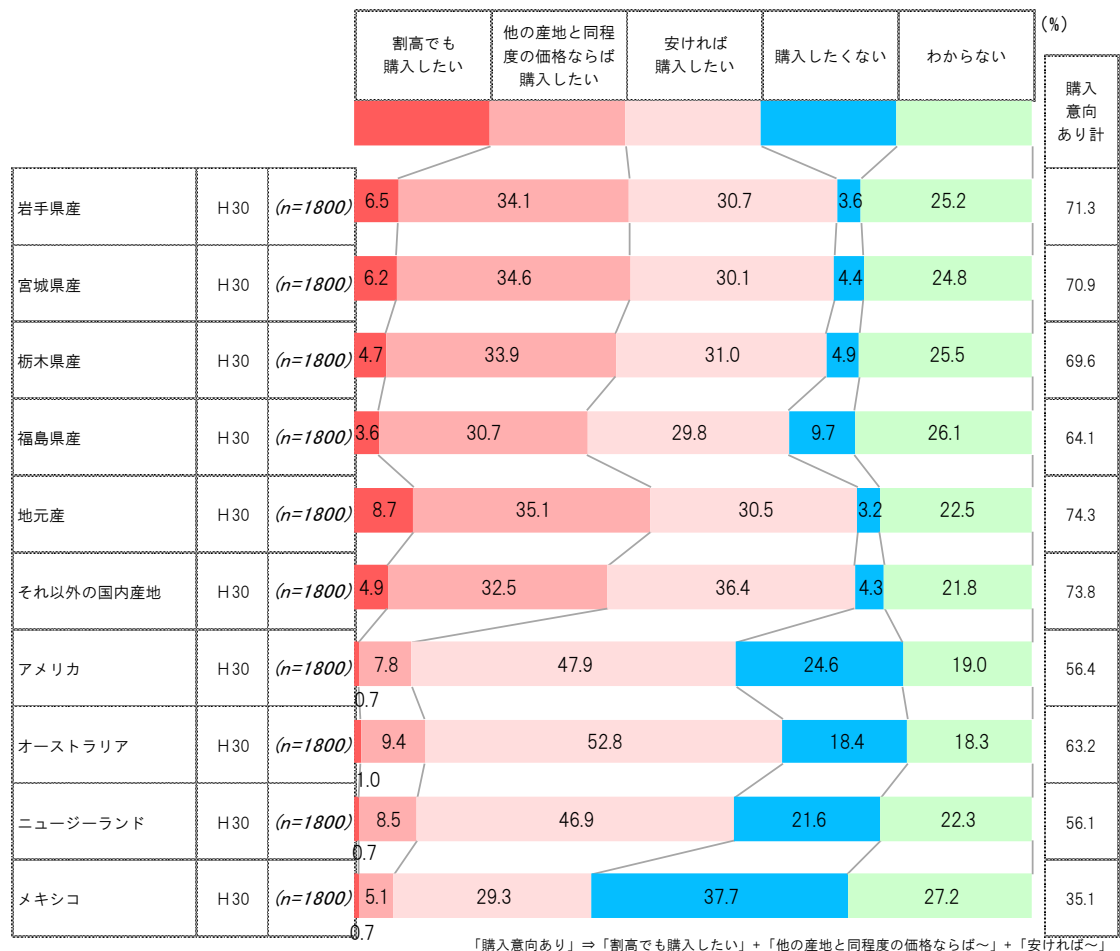
外国産

外国産牛肉ではメキシコ産以外で「安ければ購入したい」の割合が4割を超える（アメリカ産47.9%、オーストラリア産52.8%、ニュージーランド産46.9%）。また、メキシコ産は「購入したくない」の割合が37.7%と他の産地に比べて高い。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、岩手県産、宮城県産、栃木県産、福島県産では、「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」が増加傾向にある。

また、外国産は、昨年度と同傾向で、特に大きな変動は見られない。



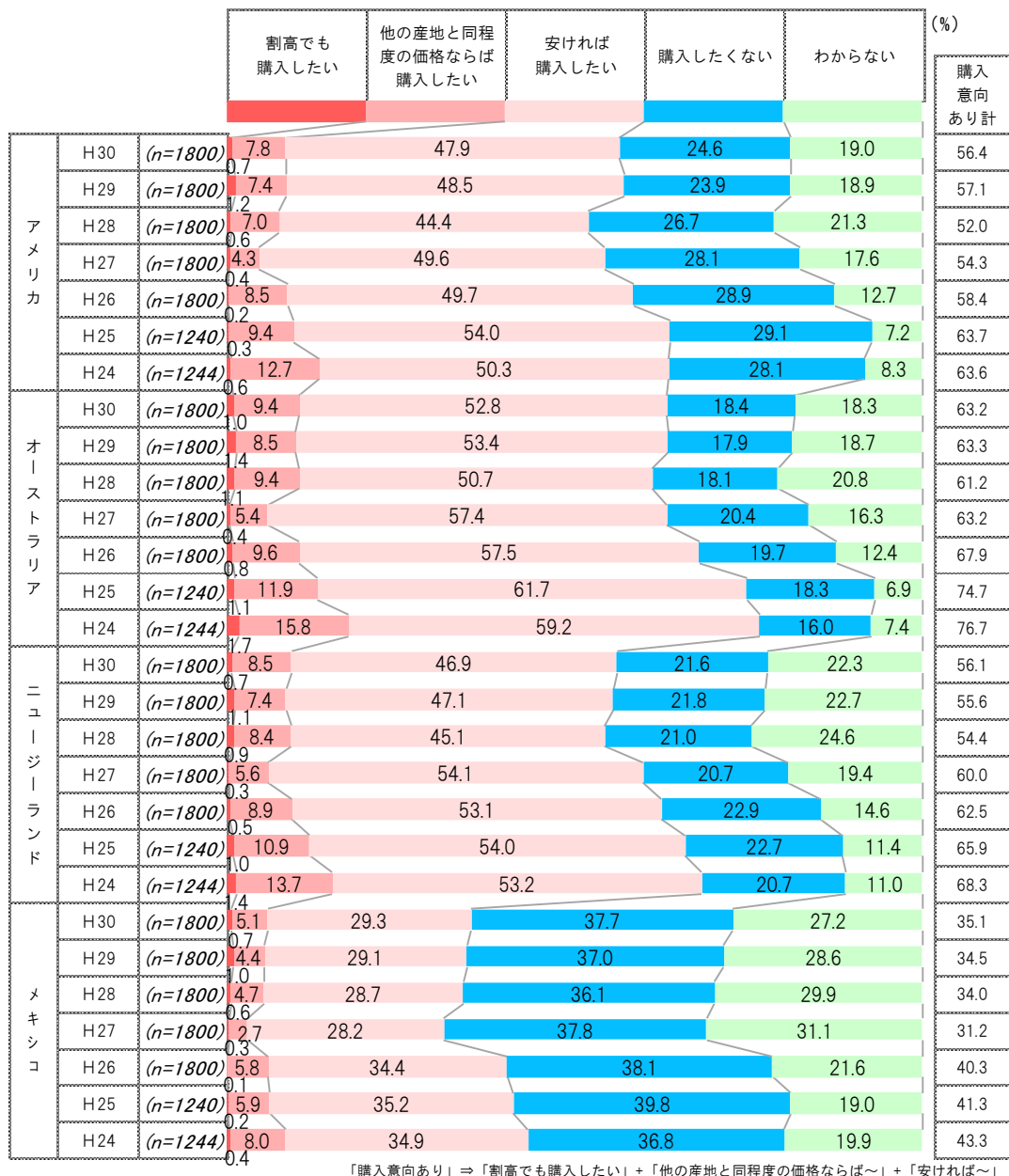
「購入意向あり」⇒「割高でも購入したい」+「他の産地と同程度の価格ならば～」+「安ければ～」

図表 129 牛肉の産地別購入意向

		割高でも 購入したい	他の産地と同程 度の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない	(%)	購入 意向 あり計
岩手県産	H30 (n=1800)	6.5	34.1	30.7	3.6	25.2		71.3
	H29 (n=1800)	6.8	32.8	29.2	4.2	27.0		68.8
	H28 (n=1800)	6.7	32.2	29.1	5.4	26.6		68.0
	H27 (n=1800)	3.4	31.7	32.2	4.7	28.0		67.3
	H26 (n=1800)	3.2	34.1	40.6	4.8	17.4		77.9
	H25 (n=1240)	2.2	35.2	41.8	11.0	9.8		79.2
	H24 (n=1244)	1.6	27.3	42.4	16.3	12.4		71.3
宮城県産	H30 (n=1800)	6.2	34.6	30.1	4.4	24.8		70.9
	H29 (n=1800)	5.5	33.6	29.5	4.7	26.7		68.6
	H28 (n=1800)	5.7	32.7	28.7	6.5	26.4		67.1
	H27 (n=1800)	3.0	29.5	32.2	7.0	28.3		64.7
	H26 (n=1800)	2.5	33.5	39.6	6.8	17.6		75.6
	H25 (n=1240)	1.8	34.0	41.2	13.5	9.6		77.0
	H24 (n=1244)	1.2	26.1	40.1	19.8	12.8		67.4
栃木県産	H30 (n=1800)	4.7	33.9	31.0	4.9	25.5		69.6
	H29 (n=1800)	4.6	32.6	31.4	4.4	27.0		68.6
	H28 (n=1800)	4.7	31.6	30.6	6.1	27.0		66.9
	H27 (n=1800)	2.5	28.8	34.3	5.3	29.0		65.6
	H26 (n=1800)	1.9	32.7	41.6	6.1	17.8		76.2
	H25 (n=1240)	1.7	33.9	43.4	11.0	10.0		79.0
	H24 (n=1244)	0.5	26.1	40.9	18.6	13.9		67.5
福島県産	H30 (n=1800)	3.6	30.7	29.8	9.7	26.1		64.1
	H29 (n=1800)	4.4	28.1	30.2	10.3	27.1		62.7
	H28 (n=1800)	4.1	27.5	28.0	12.9	27.6		59.6
	H27 (n=1800)	1.8	22.4	30.8	16.0	29.0		55.0
	H26 (n=1800)	1.8	27.2	38.7	14.7	17.7		67.7
	H25 (n=1240)	1.3	26.8	38.1	23.0	10.9		66.2
	H24 (n=1244)	0.5	21.1	34.5	29.5	14.5		56.1
地元産	H30 (n=1800)	8.7	35.1	30.5	3.2	22.5		74.3
	H29 (n=1800)	9.6	33.7	29.9	3.0	23.8		73.2
	H28 (n=1800)	10.1	34.1	29.2	3.1	23.5		73.4
	H27 (n=1800)	6.3	32.9	35.6	2.2	22.9		74.8
	H26 (n=1800)	6.3	37.8	39.5	1.5	14.9		83.6
	H25 (n=1240)	5.2	42.9	40.4	4.0	7.4		88.5
	H24 (n=1244)	6.8	36.2	43.1	4.7	9.2		86.1
それ以外の 国内産地	H30 (n=1800)	4.9	32.5	36.4	4.3	21.8		73.8
	H29 (n=1800)	5.5	31.4	36.8	3.6	22.7		73.7
	H28 (n=1800)	6.7	30.7	34.7	4.5	23.4		72.1
	H27 (n=1800)	3.1	34.1	39.5	1.6	21.8		76.7
	H26 (n=1800)	4.0	36.2	44.5	1.6	13.7		84.7
	H25 (n=1240)	4.8	43.5	42.7	1.9	7.1		91.0
	H24 (n=1244)	7.2	37.0	46.3	2.3	7.2		90.5

「購入意向あり」⇒「割高でも購入したい」+「他の産地と同程度の価格ならば～」+「安ければ～」

図表 130 国産牛肉の産地別購入意向（経年変化）



図表 131 外国産牛肉の産地別購入意向（経年変化）

17) 産地別豚肉の購入意向の購入意向 (Q17)

- 岩手県産、宮城県産、栃木県産は購入意向が約7割を占めており、福島県産は6割強。
- 岩手県産、宮城県産、栃木県産、福島県産の「購入したくない」の割合は減少傾向。
- 地元産は他の産地に比べて購入意向派が多く、特に「割高でも購入したい」と「他の原産地と同程度の価格ならば購入したい」の合計は4割を超えており、食材の地元志向は強いと言える。
- 外国産はアメリカ産、カナダ産、スペイン産、デンマーク産の購入意向は4割を超える。
- メキシコ産、チリ産は「購入したくない」割合が3割超と他の産地に比べて高い。

【今年度調査】

岩手県産、宮城県産、栃木県産、福島県産

豚肉の産地別購入意向をみると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は岩手県産、宮城県産、栃木県産については約7割を占めており(それぞれ74.3%、73.4%、73.1%)、福島県産では67.7%となっている。

また岩手県産、宮城県産、栃木県産については「購入したくない」人の割合はそれぞれ3.6%、4.6%、4.4%、福島県産のみが高めで9.7%となっている。

地元産、それ以外の国内産地

地元産の豚肉は「割高でも購入したい」「他の産地の食肉と同程度の価格ならば購入したい」を合わせた合計が47.2%、「安ければ購入したい」も含めた合計は地元産、それ以外の国内産地でそれぞれ77.8%、77.9%と、上記4県より高くなっている。

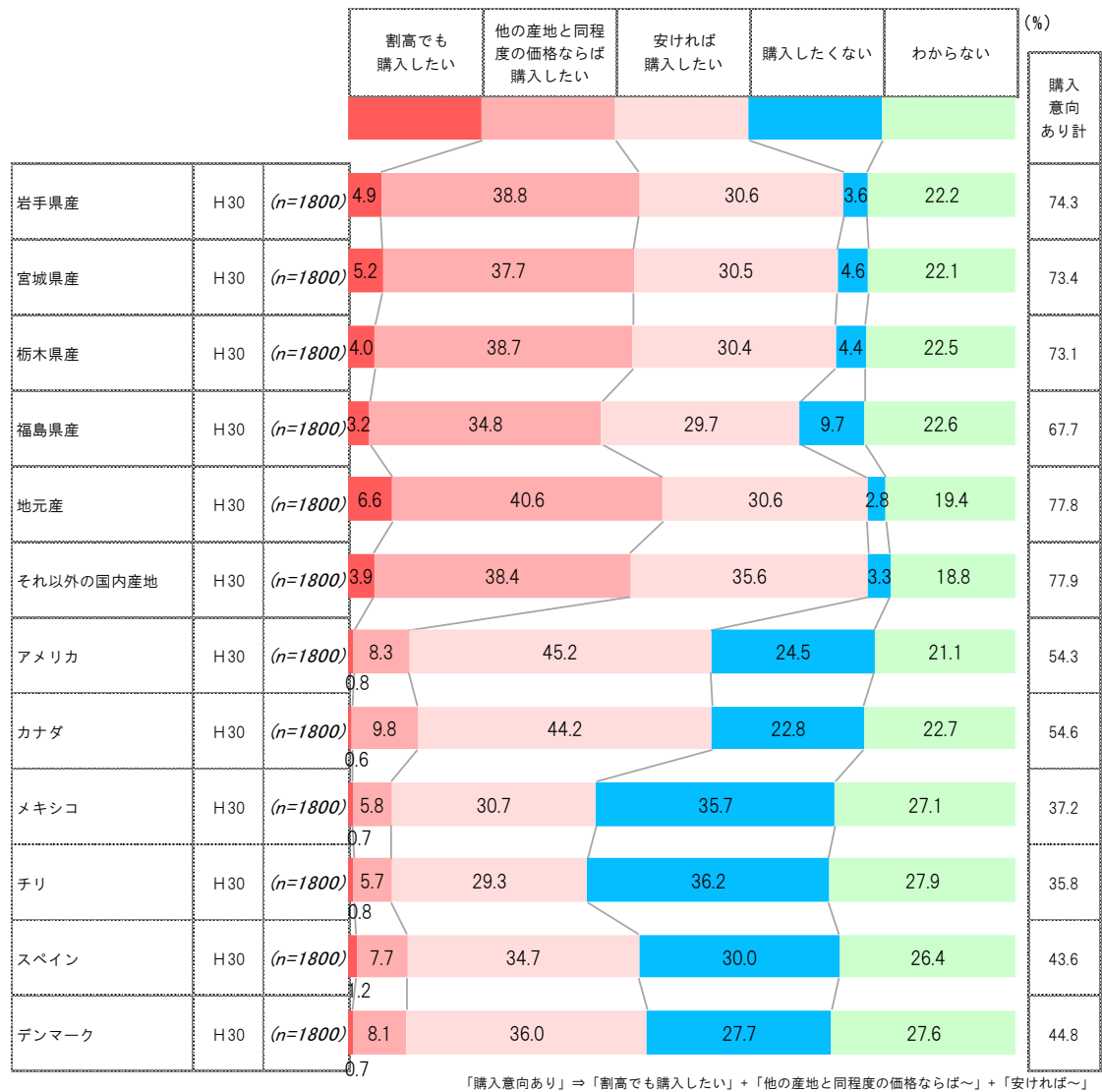
外国産

外国産豚肉では、アメリカ産、カナダ産、スペイン産、デンマーク産の「安ければ購入したい」も含めた購入意向派の割合が54.3%、54.6%、43.6%、44.8%と4割を超える一方、メキシコ産、チリ産は37.2%、35.8%と4割を下回り、「購入したくない」の割合も、それぞれ35.7%、36.2%と他の産地に比べて高い。

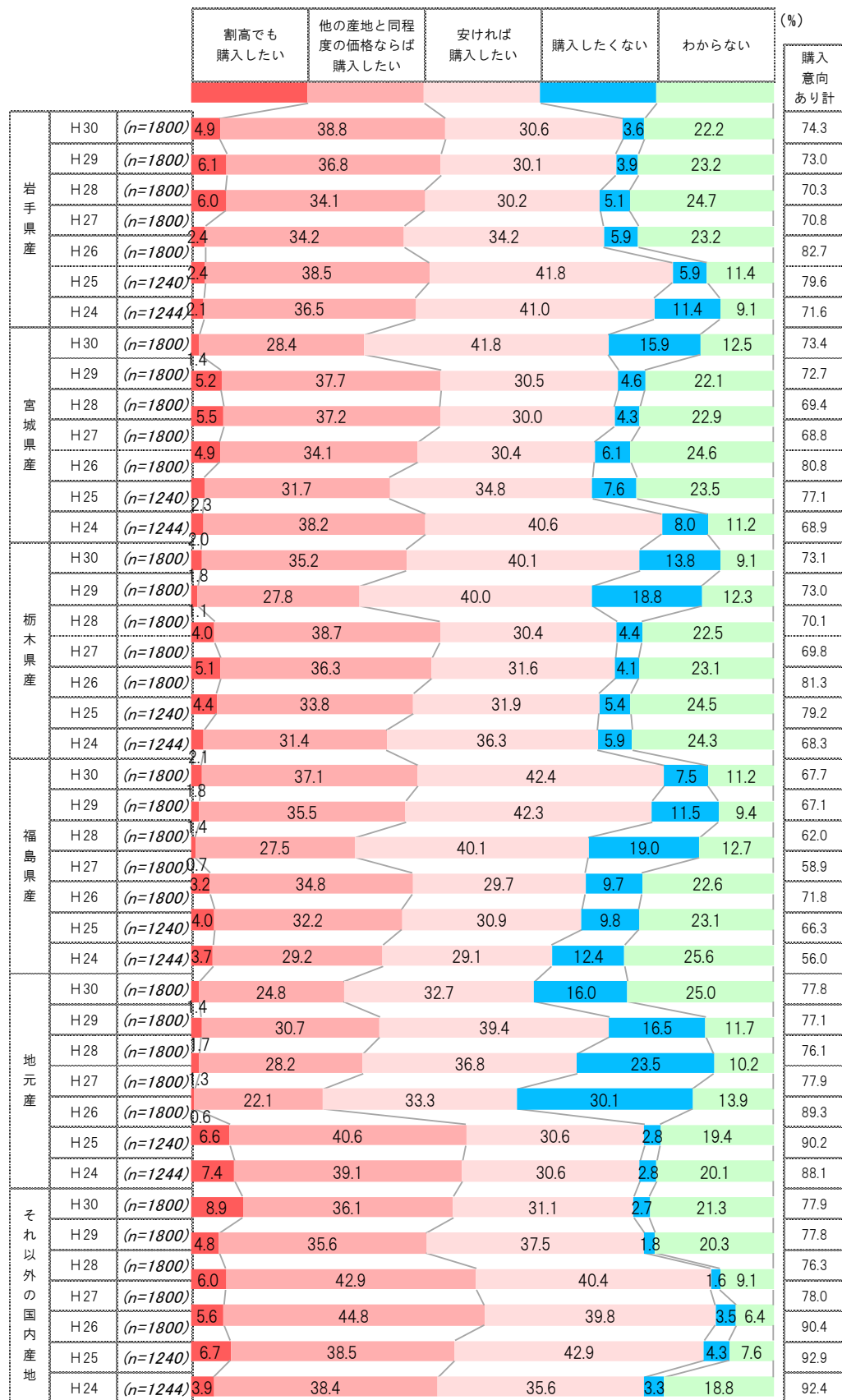
【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、岩手県産、宮城県産、栃木県産、福島県産では、「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」が増加傾向にある。

また、外国産は、昨年度と同傾向で、特に大きな変動は見られない。

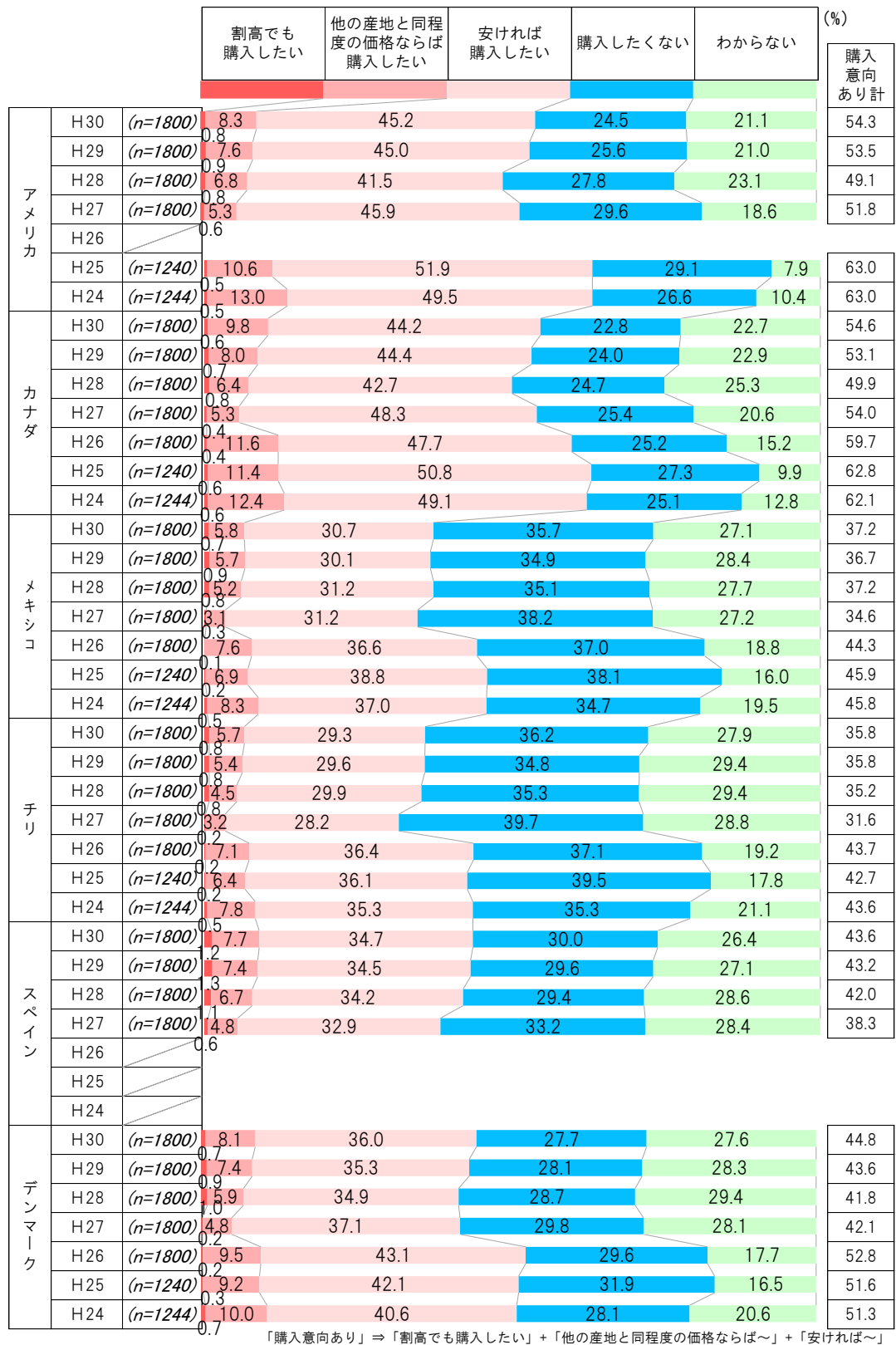


図表 132 豚肉の産地別購入意向



「購入意向あり」⇒「割高でも購入したい」+「他の産地と同程度の価格ならば～」+「安ければ～」

図表 133 国産豚肉の産地別購入意向（経年変化）



図表 134 外国産豚肉の産地別購入意向（経年変化）

18) 産地別鶏肉の購入意向 (Q18)

- 岩手県産、宮城県産、栃木県産は購入意向が7割強を占めており、福島県産は7割弱。
- 岩手県産、宮城県産、栃木県産で「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」の割合が増加傾向。福島県産は、平成24年からの時系列で見ると「購入したくない」の割合が大幅に減少。
- 地元産は他の産地に比べて購入意向派が多く、特に「割高でも購入したい」と「他の原産地と同程度の価格ならば購入したい」の合計は4割を超えており、食材の地元志向は強いと言える。
- アメリカ産、ブラジル産、タイ産は「購入したくない」の割合が3~4割だが、中国産の「購入したくない」の割合は半数以上を占める。

【今年度調査】

岩手県産、宮城県産、栃木県産、福島県産の4県

鶏肉の産地別購入意向をみると、「安ければ購入したい」も含めた購入意向派は岩手県産、宮城県産、栃木県産については約7割を占めており(それぞれ74.7%、73.5%、73.8%)、福島県産は68.6%である。

また岩手県産、宮城県産、栃木県産については「購入したくない」人の割合はそれぞれ4.2%、5.8%、4.6%、福島県産のみが高めで10.1%となっている。

地元産、それ以外の国内産地

地元産の鶏肉は「割高でも購入したい」「他の原産地の食肉と同程度の価格ならば購入したい」を合わせた合計が48.5%、「安ければ購入したい」も含めた合計は地元産、それ以外の国内産地でそれぞれ79.2%、76.3%と、上記4県より高い。

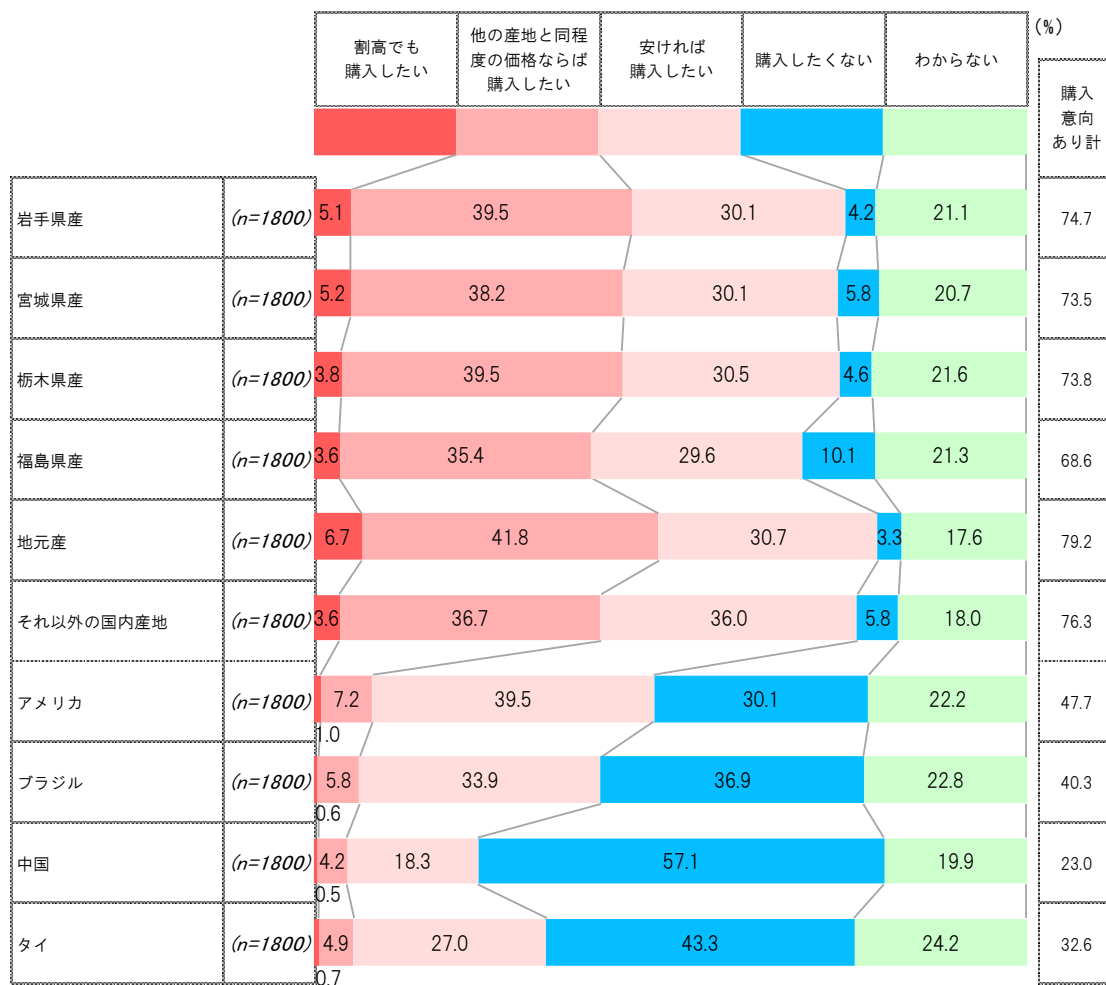
外国産

外国産鶏肉では、アメリカ産、ブラジル産、タイ産は「購入したくない」の割合が30.1%、36.9%、43.3%なのに対して、中国産では57.1%と半数以上を占めている。

【過年度調査との比較】

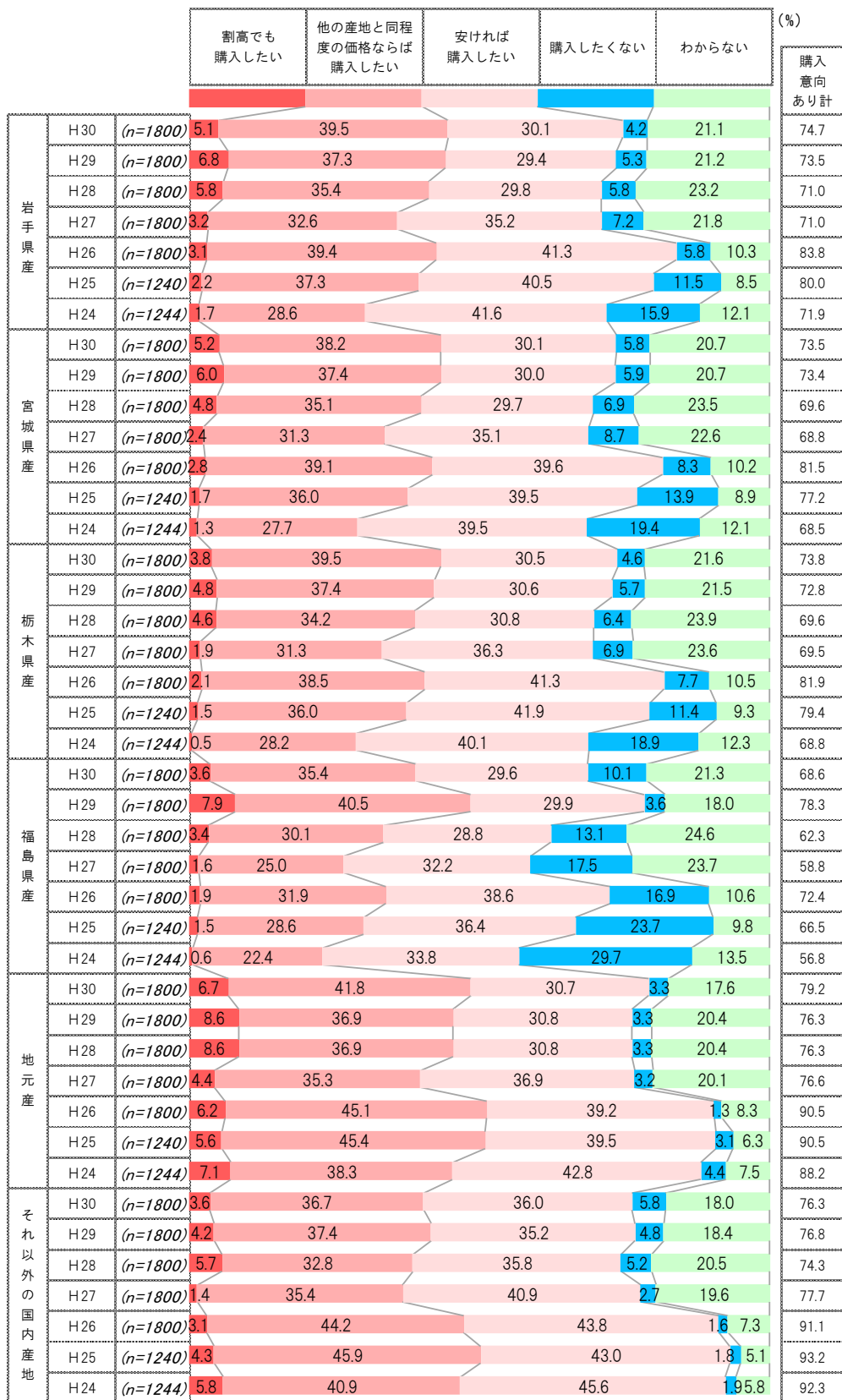
過年度調査と比較すると、岩手県産、宮城県産、栃木県産で「他の産地と同程度の価格ならば購入したい」の割合が増加傾向にある。福島県産では、平成24年からの時系列で見ると「購入したくない」の割合が大幅に減少した。

また、外国産は、昨年度と同傾向で、特に大きな変動は見られない。



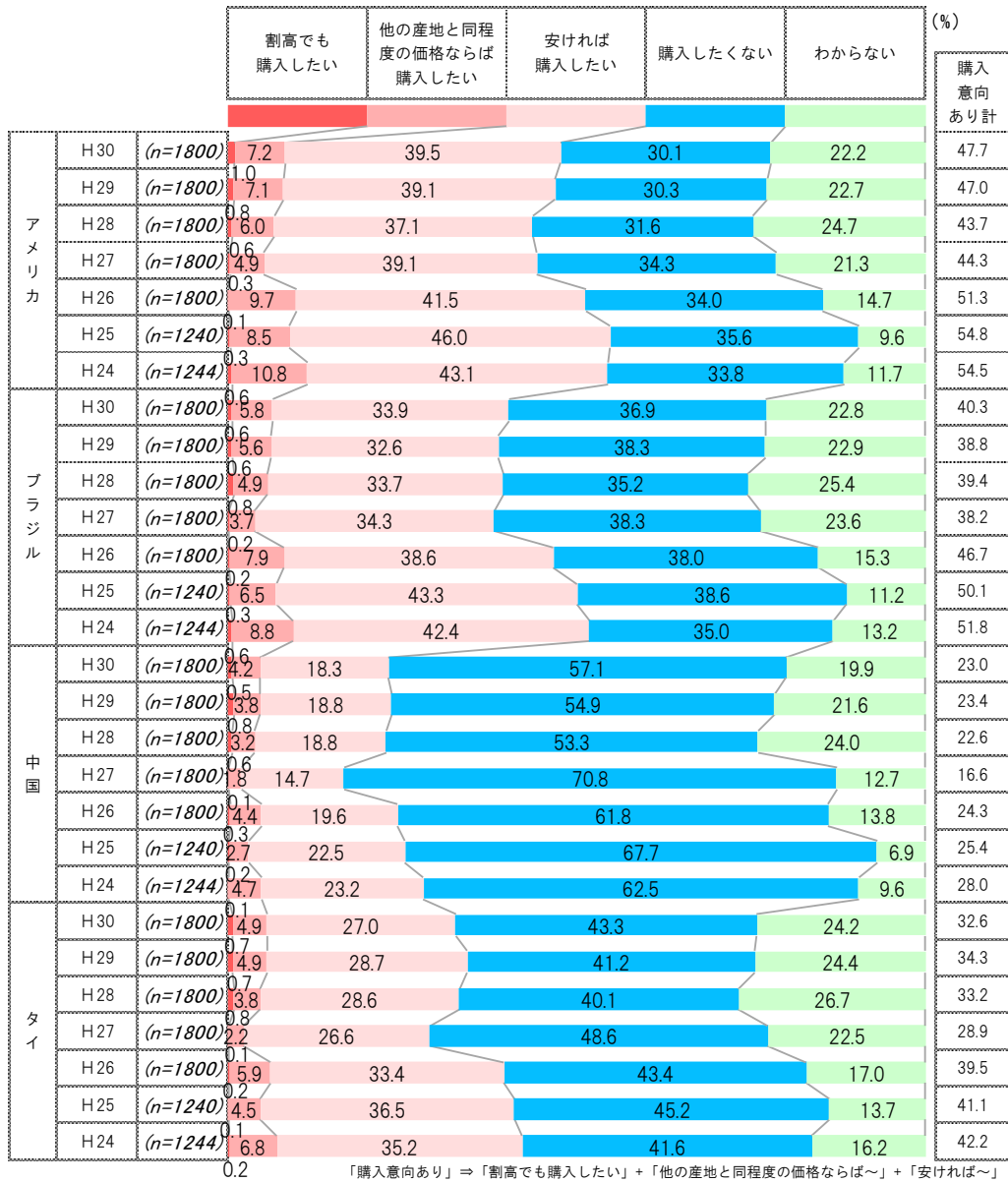
「購入意向あり」⇒「割高でも購入したい」+「他の産地と同程度の価格ならば～」+「安ければ～」

図表 135 鶏肉の産地別購入意向



「購入意向あり」⇒「割高でも購入したい」+「他の産地と同程度の価格ならば～」+「安ければ～」

図表 136 国産鶏肉の産地別購入意向（経年変化）



図表 137 外国産鶏肉の産地別購入意向（経年変化）

4. 食肉の安全性に関する意識調査

(1) 食品の安全性に関する意識

1) 食品の安全性の不安感 (Q22)

- 「不安を感じる」とする回答割合が高い食品は、「ファストフード」「食肉加工品」「冷凍食品」。
- 過年度調査と比較すると、「ファストフード」「食肉加工品」に不安を感じる割合は減少傾向。

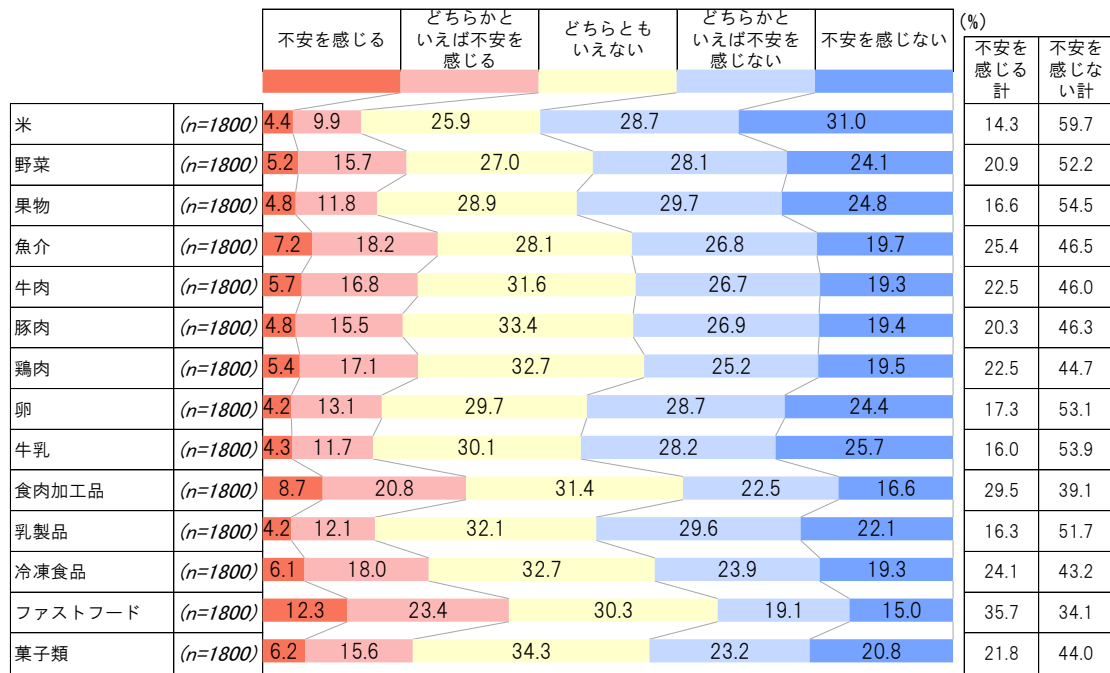
【今年度調査】

14種類の食品（食品群）の安全性について不安を感じるかどうかを尋ねたところ、「不安を感じる（不安を感じる+どちらかといえば不安を感じる）」の割合は「ファストフード」「食肉加工品」「魚介」「冷凍食品」の順で高く35.7%、29.5%、25.4%、24.1%となっている。

逆に、「不安を感じない（どちらかといえば不安を感じない+不安を感じない）」の割合は「米」「果物」「牛乳」「卵」の順で高く、59.7%、54.5%、53.9%、53.1%であった。なお「牛肉」は46.0%、「豚肉」は46.3%、「鶏肉」は44.7%であった。

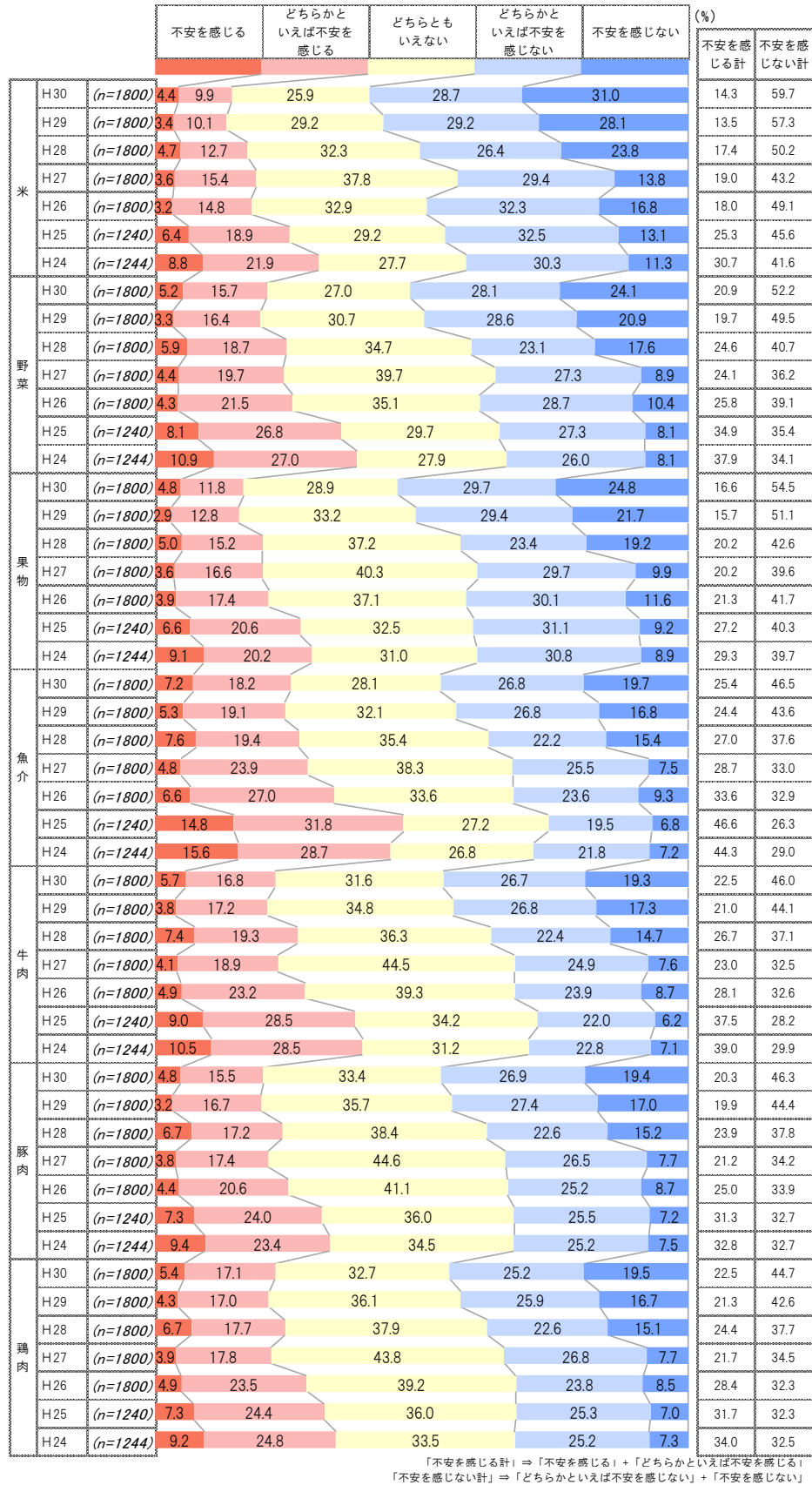
【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「ファストフード」「食肉加工品」において、「不安を感じる」割合が減少傾向にある。



「不安を感じる計」⇒「不安を感じる」+「どちらかといえ不安を感じる」
「不安を感じない計」⇒「どちらかといえ不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 138 食品の安全性の不安感



図表 139 食品の安全性に関する意識調査①（経年変化）

		n	不安を感じる					不安を感じる計 (%)	
			不安を感じる	どちらかといえは不安を感じる	どちらともいえない	どちらかといえは不安を感じない	不安を感じない	不安を感じる計	不安を感じない計
卵	H30	(n=1800)	4.2	13.1	29.7	28.7	24.4	17.3	53.1
	H29	(n=1800)	2.9	13.1	32.2	29.9	21.9	16.0	51.8
	H28	(n=1800)	5.4	12.8	36.8	25.8	19.2	18.2	45.0
	H27	(n=1800)	3.2	14.2	41.4	30.4	10.8	17.4	41.2
	H26	(n=1800)	2.8	14.9	37.6	31.6	13.1	17.7	44.7
	H25	(n=1240)	5.7	17.1	34.3	32.8	10.1	22.8	42.9
	H24	(n=1244)	7.8	19.5	31.8	31.5	9.5	27.3	41.0
牛乳	H30	(n=1800)	4.3	11.7	30.1	28.2	25.7	16.0	53.9
	H29	(n=1800)	2.9	11.6	32.6	30.3	22.7	14.5	53.0
	H28	(n=1800)	5.8	11.4	36.3	26.6	19.8	17.2	46.4
	H27	(n=1800)	3.7	12.9	40.3	31.4	11.6	16.6	43.0
	H26	(n=1800)	3.1	14.3	37.6	31.7	13.2	17.4	44.9
	H25	(n=1240)	5.6	18.5	31.9	33.1	10.9	24.1	44.0
	H24	(n=1244)	9.6	19.2	29.7	31.7	9.8	28.8	41.5
食肉加工品	H30	(n=1800)	8.7	20.8	31.4	22.5	16.6	29.5	39.1
	H29	(n=1800)	8.4	22.4	35.0	20.1	14.1	30.8	34.2
	H28	(n=1800)	10.7	22.7	36.7	17.2	12.7	33.4	29.9
	H27	(n=1800)	9.2	29.1	37.3	19.4	5.0	38.3	24.4
	H26	(n=1800)	13.3	32.3	32.2	16.8	5.4	45.6	22.2
	H25	(n=1240)	13.9	32.9	29.8	17.9	5.6	46.8	23.5
	H24	(n=1244)	13.5	28.9	30.9	20.6	6.1	42.4	26.7
乳製品	H30	(n=1800)	4.2	12.1	32.1	29.6	22.1	16.3	51.7
	H29	(n=1800)	2.9	11.7	36.7	29.8	18.9	14.6	48.7
	H28	(n=1800)	5.4	13.9	39.1	24.5	17.2	19.3	41.7
	H27	(n=1800)	3.6	15.2	43.0	30.1	8.2	18.8	38.3
	H26	(n=1800)	4.1	16.2	41.8	27.8	10.2	20.3	38.0
	H25	(n=1240)	6.1	17.6	36.7	30.7	8.9	23.7	39.6
	H24	(n=1244)	7.8	19.1	33.9	30.3	8.8	26.9	39.1
冷凍食品	H30	(n=1800)	6.1	18.0	32.7	23.9	19.3	24.1	43.2
	H29	(n=1800)	6.0	18.2	35.7	23.7	16.4	24.2	40.1
	H28	(n=1800)	9.1	19.8	37.6	20.4	13.2	28.9	33.6
	H27	(n=1800)	6.3	22.7	40.9	23.1	7.0	29.0	30.1
	H26	(n=1800)	12.7	28.8	33.4	19.2	5.9	41.5	25.1
	H25	(n=1240)	11.9	28.1	32.3	20.2	7.4	40.0	27.6
	H24	(n=1244)	10.5	25.2	31.1	24.6	8.6	35.7	33.2
ファーストフード	H30	(n=1800)	12.3	23.4	30.3	19.1	15.0	35.7	34.1
	H29	(n=1800)	12.6	24.4	33.3	18.1	11.6	37.0	29.7
	H28	(n=1800)	14.9	26.6	33.9	14.7	9.8	41.5	24.5
	H27	(n=1800)	14.6	32.7	35.4	13.7	3.7	47.3	17.4
	H26	(n=1800)	23.6	33.6	28.0	11.3	3.6	57.2	14.9
	H25	(n=1240)	18.5	35.9	26.8	13.7	5.2	54.4	18.9
	H24	(n=1244)	13.8	29.2	31.1	19.1	6.8	43.0	25.9
菓子類	H30	(n=1800)	6.2	15.6	34.3	23.2	20.8	21.8	44.0
	H29	(n=1800)	4.8	16.4	37.8	23.0	17.9	21.2	40.9
	H28	(n=1800)	7.2	16.5	40.9	20.2	15.2	23.7	35.4
	H27	(n=1800)	5.1	19.3	44.8	23.1	7.7	24.4	30.8
	H26	(n=1800)	7.3	21.9	41.4	20.2	9.2	29.2	29.4
	H25	(n=1240)	7.2	23.3	36.5	22.9	10.2	30.5	33.1
	H24	(n=1244)	6.8	18.6	33.8	28.2	12.6	25.4	40.8

「不安を感じる計」⇒「不安を感じる」+「どちらかといえは不安を感じる」
「不安を感じない計」⇒「どちらかといえは不安を感じない」+「不安を感じない」

図表 140 食品の安全性に関する意識調査②（経年変化）

2) 牛肉の安全性について感じている不安 (Q23)

➤ 牛肉の安全性について感じている不安として「狂牛病・BSE」「飼料・飼育環境」と回答する件数が最も多い。

Q23で牛肉の安全性について「不安を感じる」または「どちらかといえば不安を感じる」と回答した人に、牛肉の安全性に関して感じている不安を具体的に記入してもらい、キーワードをもとに意見を集計した。

その結果、「飼育環境・飼料・薬・遺伝子組換え」の件数が最も多く、次いで「輸入牛肉・海外産」「病気・菌・BSE・O157」「産地偽装・偽装・食中毒・事故」の順となった。

キーワード	件数	主な回答内容
飼育環境・飼料・薬・遺伝子組換え	105	<ul style="list-style-type: none"> 飼育方法、薬を用いていないか、ストレスを与える方法で飼育していないか。 牛の飼育に使われている抗生物質やホルモン剤の安全性。 飼料に遺伝子組み換え食材が使用されていないか。
輸入牛肉・海外産	61	<ul style="list-style-type: none"> 外国産は 餌に 抗生物質を混ぜているのではないがなど 飼育方法に不安がある 輸入品に対する品質、添加物とかないか。外国産には日本で認められていない薬品が使われているのではないか。
病気・菌・BSE・O157	51	<ul style="list-style-type: none"> 病気にかかった牛を食肉として販売されること。 昔あったアメリカ産のBSEのことがまだ頭の片隅にあり、なるべく買いたくないと思ってしまう。 O157などの菌がいるかどうか。
産地偽装・偽装・食中毒・事故	46	<ul style="list-style-type: none"> 産地偽装とかしていないか不安。 食中毒のような病気を引き起こす菌が含まれていたりしないか。 病気肉や管理がずさんなものが過去にあったので、またあるかもしれないという不安。
放射能・放射能汚染・福島原発	37	<ul style="list-style-type: none"> 政府、東電の原発の処理方法が信用出来ないから不安を感じる。 食べているものや飲み水から、放射性物質を吸収していないか。 牛が食べている餌は、放射線を浴びた草などではないか。それが積もり積もって、私たちの身体に害を及ぼすのではないか。
狂牛病	32	<ul style="list-style-type: none"> 狂牛病がこわい。昔流行した狂牛病などが、また流行らないか。 数年前の狂牛病のニュースの印象が強く、海外の牛肉は安心できない。
産地	30	<ul style="list-style-type: none"> 国内産を買っているが産地を書いていない。 表示されている産地の信憑性に不安を感じる。 海外産は成長過程でどんな薬などを使用しているかわからないから不安。
衛生	18	<ul style="list-style-type: none"> 出荷時の衛生管理が気になる。 海外製の衛生管理等が気になる。 中国の衛生面の映像を見ると、他国もそうなのかと思ってしまう。
鮮度	14	<ul style="list-style-type: none"> 鮮度がいいかが不安を感じる。 新鮮そうな見た目を維持するために何か薬品を使っているのではないかという不安。
検査・加工・流通	14	<ul style="list-style-type: none"> 加工や下処理についてはなにも表示がないのが一番不安。 加工の時に変なものを入れてないか。 特に外国産はきちんと検査をしているか不安。

図表 141 牛肉の安全性について感じている不安

3) 豚肉の安全性について感じている不安 (Q24)

➤ 豚肉の安全性について感じている不安として「飼料・飼育環境」と回答する件数が最も多い。

Q24で豚肉の安全性について「不安を感じる」または「どちらかといえば不安を感じる」と回答した人に、豚肉の安全性に関して感じている不安を具体的に記入してもらい、キーワードをもとに意見を集計した。

その結果、「飼料・飼育環境・遺伝子組換え・薬」の件数が最も多く、次いで「病気・菌・豚コレラ・インフルエンザ」「産地偽装・偽装・食中毒・事故」「輸入牛肉・海外産」「産地」の順となった。

キーワード	件数	主な回答内容
飼料・飼育環境・遺伝子組換え・薬	85	<ul style="list-style-type: none"> 飼料や飼われている環境や、発育促進剤のような薬品など与えられていないか不安。 豚に与えているエサが安全かどうか。 とても安いと、どんな餌を食べてるのが気になる。
病気・菌・豚コレラ・インフルエンザ	48	<ul style="list-style-type: none"> 豚コレラ菌発生を知ってから、そのほかの病気や菌などの発生が心配。 豚コレラが日本の養豚場が出たとの事で人間にうつらないか心配。 豚肉は他の肉と比べよく焼く必要があるため、他の肉以上に寄生虫や病気に不安を感じる。
産地偽装・偽装・食中毒・事故	36	<ul style="list-style-type: none"> 原産国の改ざんなどがあるのではないか、賞味期限切れのものが売られてないかという心配。 国内産で販売していても偽装などあるから。 食中毒のような病気を引き起こす菌が含まれていたりしないか。
輸入牛肉・海外産	25	<ul style="list-style-type: none"> 産地が海外だと品質に不安がある。 国内産と輸入品の値段の違いはなんなのか、与える餌などが気になります。
産地	21	<ul style="list-style-type: none"> 産地表記が正しいか不安。 産地の表示がなく売られていること。
放射能・放射能汚染・福島原発	19	<ul style="list-style-type: none"> 豚肉についても放射能汚染地域で育てられたものは放射能残留があり安全性に問題点があると判断されます。 放射能の水質が流れた周辺のものを買わない。
衛生	15	<ul style="list-style-type: none"> 海外製の衛生管理等が気になる。 餌や水などの豚が摂取しているものの衛生面。
鮮度	15	<ul style="list-style-type: none"> 鮮度が気になる。ドリップの出ているものは避ける。変色があれば買わない。国産のものを選びがち。 新鮮そうな見た目を維持するために何か薬品を使っているのではないかという不安。
検査・加工・流通	10	<ul style="list-style-type: none"> ウイルス等の検査がちゃんとされているかどうか。 国産豚肉のみ信頼できる。輸入品は検査方法が今一つ疑問で不安である。

図表 142 豚肉の安全性について感じている不安

4) 鶏肉の安全性について感じている不安 (Q25)

➤ 鶏肉の安全性について感じている不安として「飼料・飼育環境」と回答する件数が最も多い。

Q25で鶏肉の安全性について「不安を感じる」または「どちらかといえば不安を感じる」と回答した人に、鶏肉の安全性に関して感じている不安を具体的に記入してもらい、キーワードをもとに意見を集計した。

その結果、「病気・菌・鶏インフルエンザ」の件数が最も多く、次いで「飼料・飼育環境・遺伝子組換え・薬」「輸入牛肉・海外産」「産地偽装・偽装・食中毒・事故」の順となった。

キーワード	件数	主な回答内容
病気・菌・鶏インフルエンザ	95	<ul style="list-style-type: none"> ・鶏インフルエンザのニュースがたまにあり、規制をすり抜けて流通しているのではないかと不安。 ・鳥インフルエンザの徹底した対策がとれているか不安。 ・鶏の持っている病気が人間に感染しないかが不安。
飼料・飼育環境・遺伝子組換え・薬	91	<ul style="list-style-type: none"> ・飼料に化学物質が大量に含まれていないか心配である。 ・狭い檻の中で、抗生物質を与えられ、成長をはやめ、不健康な鶏になっていることに不満や、不安を感じる。 ・ホルモン剤の使用と抗生物質の使用、狭いところでの飼育。
輸入牛肉・海外産	52	<ul style="list-style-type: none"> ・中国やブラジルはニュースになっているので怖い。 ・外国産のものだと成長ホルモンを使用されていそうなのが不安。 ・輸入が安いので購入することもあるが、輸入は薬品に浸かっていると聞いたことがあり、不安。
産地偽装・偽装・食中毒・事故	38	<ul style="list-style-type: none"> ・原産国の改ざんなどがあるのではないかと、賞味期限切れのものが売られてないかという心配。 ・生食による食中毒。 ・産地偽装と品質偽装が心配。
衛生	20	<ul style="list-style-type: none"> ・中国産、ブラジル産など衛生的な環境で精肉処理されているか。 ・海外製の衛生管理等が気になる。
産地	17	<ul style="list-style-type: none"> ・産地表記が正しいか不安。 ・国内産と書いて産地を書いてないこと。
鮮度	15	<ul style="list-style-type: none"> ・鶏肉は鮮度が気になる。 ・新鮮そうな見た目を維持するために何か薬品を使っているのではないかと不安。
放射能・放射能汚染・福島原発	15	<ul style="list-style-type: none"> ・鶏肉も、放射能汚染地域で育てられた鶏は放射能汚染を受け、体内に放射能を被ばくしているのではないかと不安。 ・放射能や化学物質による汚染。
検査・加工・流通	14	<ul style="list-style-type: none"> ・加工や下処理、場所や時期については、触れられていないので(製品になったとき)やや不安である。 ・加工工場の清潔さがどうなのか。 ・海外産の検査基準。

図表 143 鶏肉の安全性について感じている不安

5) 食肉の安全性に関する項目別関心度 (Q26)

- 関心が高い項目 TOP3 は「鳥インフルエンザ」「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」「食肉の消費期限改ざん」。
- 「食肉の放射能汚染」については、「関心がある」の割合は 54.2% で、減少傾向。

【今年度調査】

食肉の安全性に関して尋ねたところ、幅広い項目に対して高い関心が寄せられていることがわかった。「関心がある（非常に関心がある＋やや関心がある）」の割合が最も高かったのは「鳥インフルエンザ」「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」「食肉の消費期限改ざん」「食肉の産地偽装」「豚インフルエンザ」で高く、それぞれ 68.2%、65.4%、65.1%、64.1%、63.2%であった。

「食肉の放射能汚染」については 54.2% となっており、他の項目に比べて特別に高い関心が寄せられているわけではない。

「非常に関心がある」の割合は、「食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染」「食肉の消費期限改ざん」「鳥インフルエンザ」の順で高く、それぞれ 31.6%、31.5%、31.3%であった。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、多くの項目で、今年度は昨年度と同傾向にあり、特に大きな変動は見られない。

「食肉の放射能汚染」についても、「関心がある（非常に関心がある＋やや関心がある）」の割合は減少傾向にある。

	(n=1800)	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない	(%)	
							関心がある計	関心がない計
食肉中の残留抗生物質	(n=1800)	15.1	33.7	28.8	14.3	8.1	48.8	22.4
食肉中の残留動物薬	(n=1800)	16.3	33.7	28.1	13.8	8.1	50.0	21.9
遺伝子組換え飼料を用いた食肉	(n=1800)	18.7	32.8	28.9	11.8	7.7	51.5	19.5
牛のBSE（牛海綿状脳症）	(n=1800)	26.6	34.2	23.8	9.2	6.3	60.8	15.5
成形肉（インジェクション）*1	(n=1800)	18.3	30.2	31.9	11.4	8.2	48.5	19.6
食肉の放射能汚染	(n=1800)	23.1	31.1	28.7	10.4	6.8	54.2	17.2
クローン家畜由来の食肉	(n=1800)	20.9	32.2	29.3	10.4	7.2	53.1	17.6
牛・豚の口蹄疫	(n=1800)	25.1	31.9	28.1	7.9	7.1	57.0	15.0
豚コレラ *2	(n=1800)	25.9	33.8	25.6	8.4	6.3	59.7	14.7
豚インフルエンザ	(n=1800)	27.6	35.6	24.4	7.3	5.0	63.2	12.3
鳥インフルエンザ	(n=1800)	31.3	36.9	21.3	5.7	4.8	68.2	10.5
食肉中の食中毒菌（サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など）の汚染	(n=1800)	31.6	33.8	23.0	6.8	4.8	65.4	11.6
食肉の生食	(n=1800)	26.8	31.1	25.7	8.6	7.8	57.9	16.4
食肉の産地偽装	(n=1800)	31.0	33.1	24.0	6.7	5.2	64.1	11.9
食肉の消費期限改ざん	(n=1800)	31.5	33.6	24.3	6.1	4.5	65.1	10.6
牛肉・豚肉の発がん性	(n=1800)	28.2	30.3	28.1	7.9	5.6	58.5	13.5
豚肉加工品（ハム・ソーセージ）の発がん性	(n=1800)	29.8	31.7	25.6	7.5	5.4	61.5	12.9

*1 平成29年の選択肢「成形肉」より変更 *2 平成30年より新規項目

「関心がある計」⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」
「関心がない計」⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

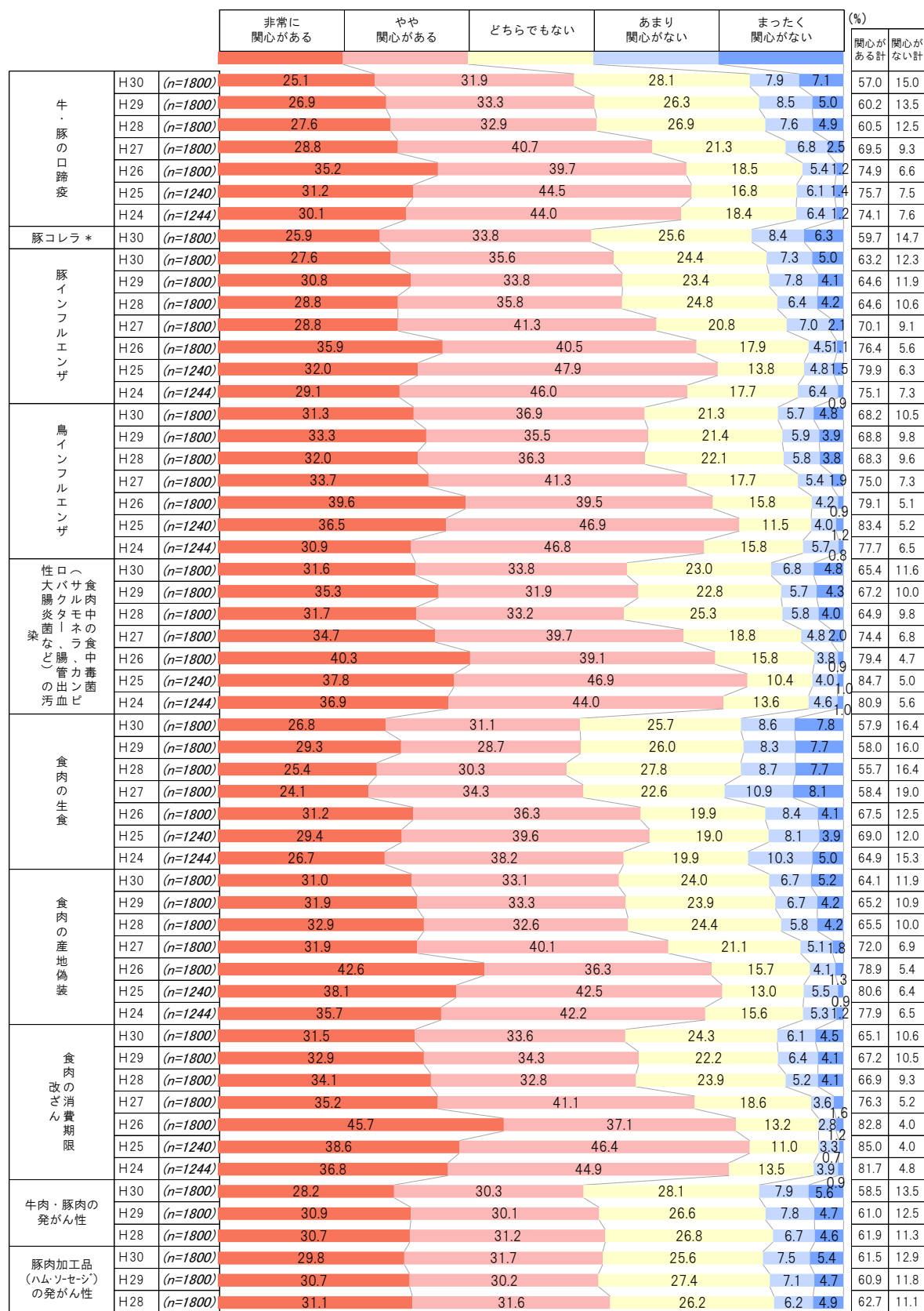
図表 144 食肉の安全性に関する項目別関心度

			(%)					関心がある計	関心がない計
			非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない		
残留食肉中の 抗菌生物質	H30 (n=1800)	15.1	33.7	28.8	14.3	8.1	48.8	22.4	
	H29 (n=1800)	17.1	34.2	28.4	14.3	6.0	51.3	20.3	
	H28 (n=1800)	16.9	34.8	30.6	12.4	5.3	51.7	17.7	
	H27 (n=1800)	14.6	41.4	27.8	13.1	3.2	56.0	16.3	
	H26 (n=1800)	21.4	44.6	23.3	8.9	1.8	66.0	10.7	
	H25 (n=1240)	18.2	44.8	21.9	12.9	2.2	63.0	15.1	
	H24 (n=1244)	15.5	39.8	26.5	15.8	2.4	55.3	18.2	
残留食肉中の 動物性物質	H30 (n=1800)	16.3	33.7	28.1	13.8	8.1	50.0	21.9	
	H29 (n=1800)	17.2	33.9	29.3	13.4	6.2	51.1	19.6	
	H28 (n=1800)	17.7	35.2	30.2	11.6	5.3	52.9	16.9	
	H27 (n=1800)	16.2	41.4	26.9	12.5	3.0	57.6	15.5	
	H26 (n=1800)	22.7	43.9	23.8	7.7	1.9	66.6	9.6	
	H25 (n=1240)	20.8	48.2	19.7	9.3	2.0	69.0	11.3	
	H24 (n=1244)	16.5	47.0	22.8	11.7	2.0	63.5	13.7	
飼料を伝子 組換え肉	H30 (n=1800)	18.7	32.8	28.9	11.8	7.7	51.5	19.5	
	H29 (n=1800)	19.0	34.5	28.8	11.9	5.7	53.5	17.6	
	H28 (n=1800)	21.0	34.6	28.8	10.2	5.5	55.6	15.7	
	H27 (n=1800)	17.7	40.1	27.7	11.8	2.8	57.8	14.6	
	H26 (n=1800)	23.1	42.6	24.6	7.8	2.0	65.7	9.8	
	H25 (n=1240)	23.5	44.8	19.8	9.8	2.2	68.3	12.0	
	H24 (n=1244)	18.4	43.1	24.4	11.6	2.5	61.5	14.1	
(牛海綿状脳症) BSE	H30 (n=1800)	26.6	34.2	23.8	9.2	6.3	60.8	15.5	
	H29 (n=1800)	29.4	32.7	24.5	8.2	5.1	62.1	13.3	
	H28 (n=1800)	30.7	34.4	23.7	6.7	4.5	65.1	11.2	
	H27 (n=1800)	31.2	38.7	21.7	6.2	2.2	69.9	8.4	
	H26 (n=1800)	35.4	40.9	17.0	5.2	1.4	76.3	6.6	
	H25 (n=1240)	35.4	43.8	13.8	5.5	1.5	79.2	7.0	
	H24 (n=1244)	32.3	44.3	15.3	6.5	1.6	76.6	8.1	
(インシエクション) 成形肉	H30 (n=1800)	18.3	30.2	31.9	11.4	8.2	48.5	19.6	
	H29 (n=1800)	19.8	32.6	30.5	11.2	6.0	52.4	17.2	
	H28 (n=1800)	20.8	35.1	30.2	8.9	5.1	55.9	14.0	
	H27 (n=1800)	18.3	38.1	30.0	9.9	3.7	56.4	13.6	
	H26 (n=1800)	27.7	42.3	21.3	6.8	1.9	70.0	8.7	
	H25 (n=1240)	22.7	42.0	24.3	8.7	2.3	64.7	11.0	
	H24 (n=1244)	18.1	39.3	29.8	10.4	2.4	57.4	12.8	
食肉の放射能汚染	H30 (n=1800)	23.1	31.1	28.7	10.4	6.8	54.2	17.2	
	H29 (n=1800)	24.6	31.4	29.1	9.7	5.2	56.0	14.9	
	H28 (n=1800)	24.8	32.9	28.6	8.6	5.1	57.7	13.7	
	H27 (n=1800)	26.6	38.9	24.1	7.9	2.5	65.5	10.4	
	H26 (n=1800)	32.4	39.4	19.9	6.4	1.9	71.8	8.3	
	H25 (n=1240)	33.0	39.7	18.0	7.3	2.0	72.7	9.3	
	H24 (n=1244)	33.8	39.9	17.8	6.4	2.1	73.7	8.5	
クローン畜 由来の食肉	H30 (n=1800)	20.9	32.2	29.3	10.4	7.2	53.1	17.6	
	H29 (n=1800)	23.4	32.9	27.7	10.7	5.3	56.3	16.0	
	H28 (n=1800)	24.2	32.9	29.2	8.3	5.4	57.1	13.7	
	H27 (n=1800)	24.7	38.7	25.4	7.9	3.3	63.4	11.2	
	H26 (n=1800)	28.5	40.4	22.9	6.5	1.7	68.9	8.2	
	H25 (n=1240)	28.3	41.2	20.6	7.7	2.1	69.5	9.8	
	H24 (n=1244)	23.4	42.5	22.7	9.2	2.2	65.9	11.4	

* 平成29年の選択肢(成形肉)より変更

「関心がある計」⇒「非常に関心がある」+「やや関心がある」
「関心がない計」⇒「あまり関心がない」+「まったく関心がない」

図表 145 食肉の安全性に関する項目別関心度① (経年変化)



*平成30年より新規項目

「関心がある計」⇒「非常に関心がある」＋「やや関心がある」
「関心がない計」⇒「あまり関心がない」＋「まったく関心がない」

図表 146 食肉の安全性に関する項目別関心度②（経年変化）

(2) 鳥インフルエンザ・豚コレラに関する知識

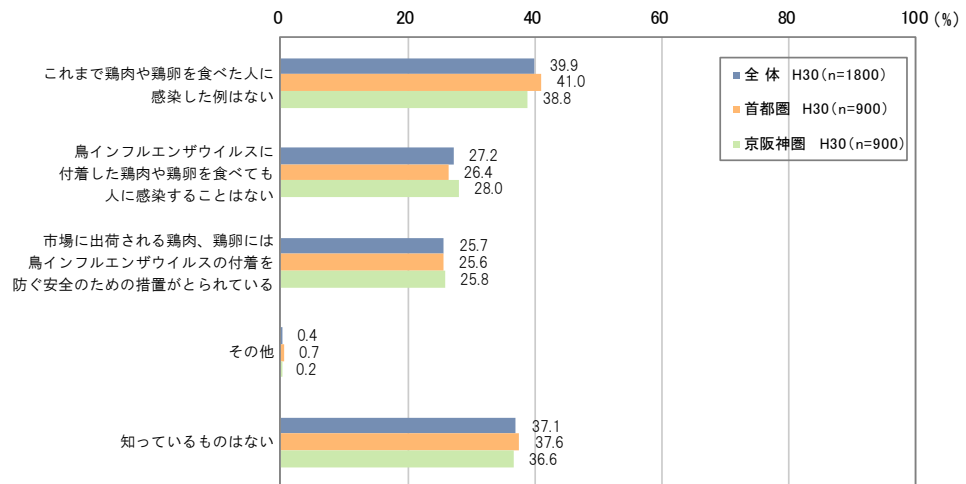
1) 鳥インフルエンザについて知っている知識 (Q27)

- 「これまで鶏肉や鶏卵を食べて人に感染した例はない」を知っている割合が最も高く、約4割が認識。
- 過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向である。

【今年度調査】

鳥インフルエンザについて知っている知識（複数回答）は、「これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない」「鳥インフルエンザウイルスに付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない」「市場に出荷される鶏肉・鶏卵には鳥インフルエンザウイルスの付着を防ぐ安全のための措置がとられている」の順に多く、それぞれ39.9%、27.2%、25.7%。

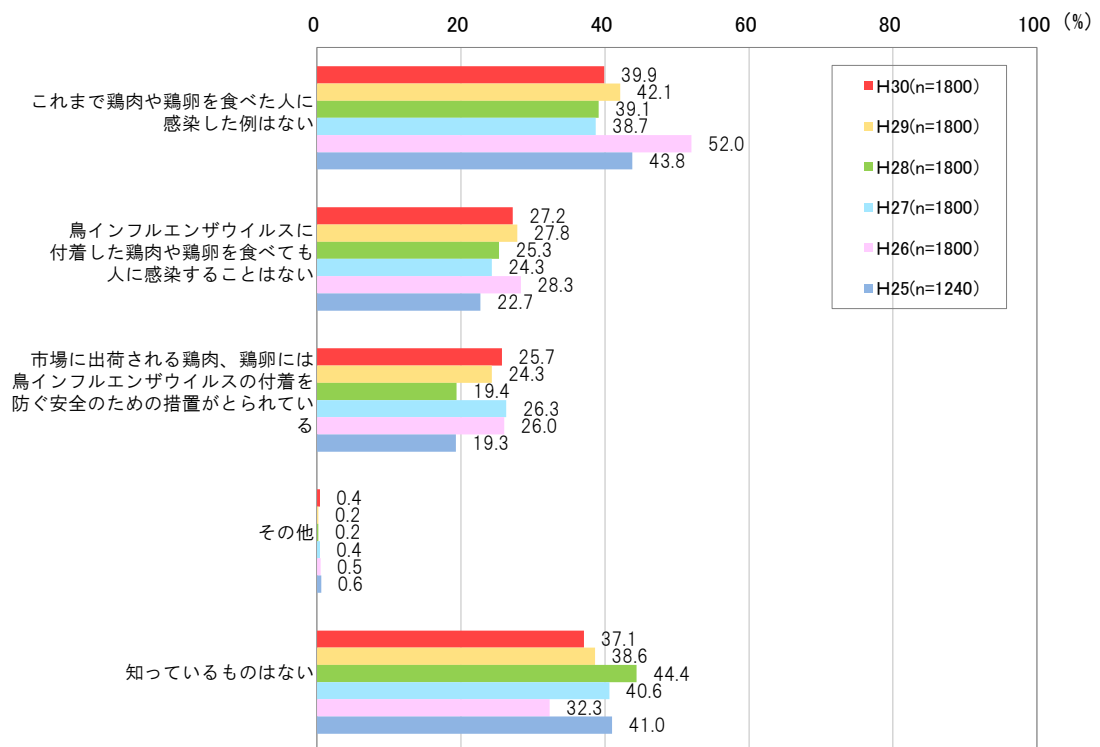
エリア別では、鳥インフルエンザについて知っている知識に大きな違いは見られない。



図表 147 鳥インフルエンザについて知っている知識

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向である。



図表 148 鳥インフルエンザについて知っている知識（経年変化）

2) 豚コレラについて知っている知識 (Q28)

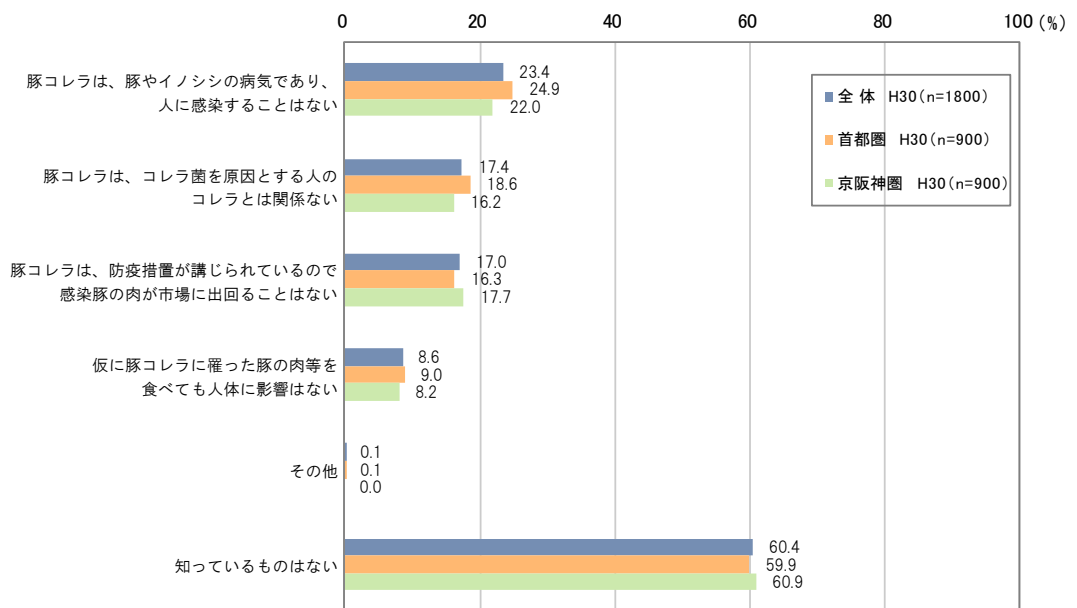
- 「豚コレラは、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」を知っている割合が最も高く、23.4%。
- 「知っているものはない」が6割を占める。

【今年度調査】

豚コレラについて知っている知識（複数回答）のTOP3は、「豚コレラは、豚やイノシシの病気であり、人に感染することはない」「豚コレラは、コレラ菌を原因とする人のコレラとは関係ない」「豚コレラは、防疫措置が講じられているので感染豚の肉が市場に出回ることはない」で、それぞれ23.4%、17.4%、17.0%。

鳥インフルエンザは「知っているものはない」が37.1%であったのに対し、豚コレラは「知っているものはない」が60.4%と多い。

エリア別では、豚コレラについて知っている知識に大きな違いは見られない。



図表 149 豚コレラについて知っている知識

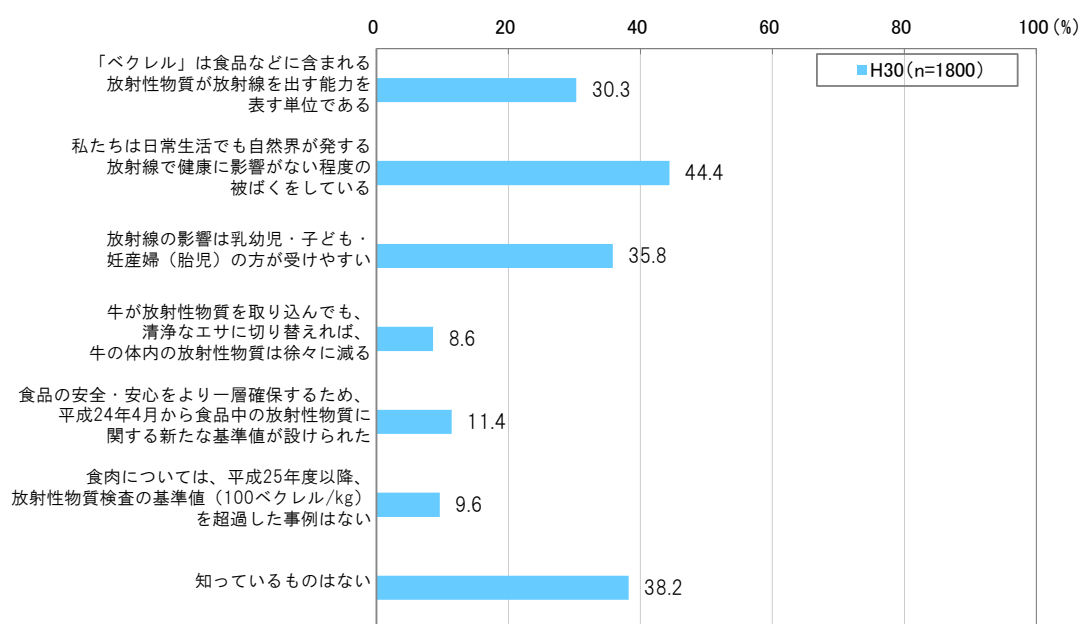
(3) 食肉の放射能汚染についての知識

1) 放射性物質とその影響等についての一般的な知識 (Q29)

- 「私たちは日常生活でも自然界が発する放射線によって健康に影響がない程度の被ばくをしている」の認知度が最も高く、4割以上が認知。
- 過年度調査と比較すると、昨年度からの大きな数値の変化は見られない。

【今年度調査】

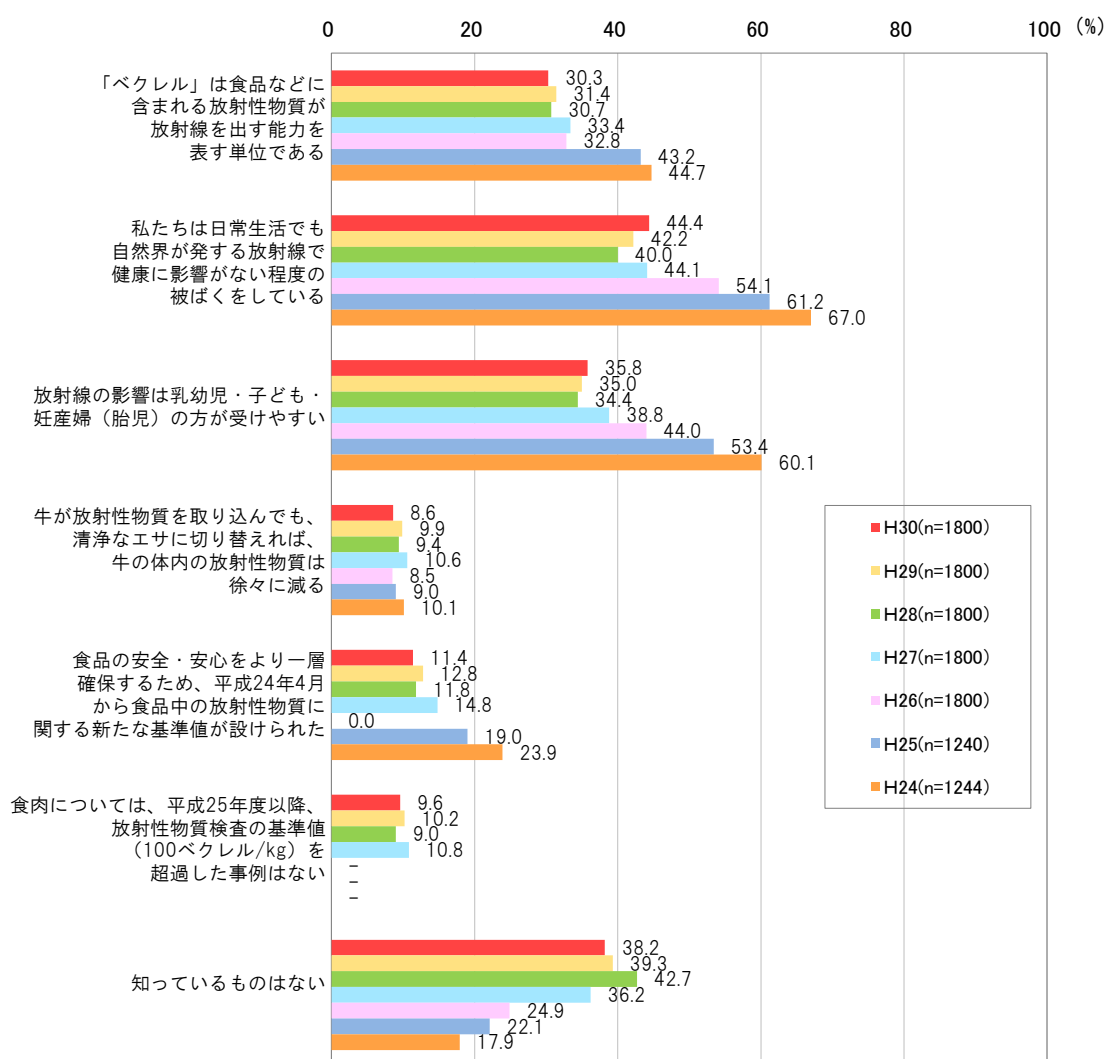
放射性物質とその影響等についての一般的な知識(複数回答)のTOP3は、「私たちは日常生活でも自然界が発する放射線によって健康に影響がない程度の被ばくをしている」「放射線の影響は乳幼児・子ども・妊産婦(胎児)の方が受けやすい」「ベクレル」は食品などに含まれる放射性物質が放射線を出す能力を表す単位である」で、それぞれ44.4%、35.8%、30.3%。



図表 150 放射性物質とその影響等についての一般的な知識

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度からの大きな数値の変化は見られない。



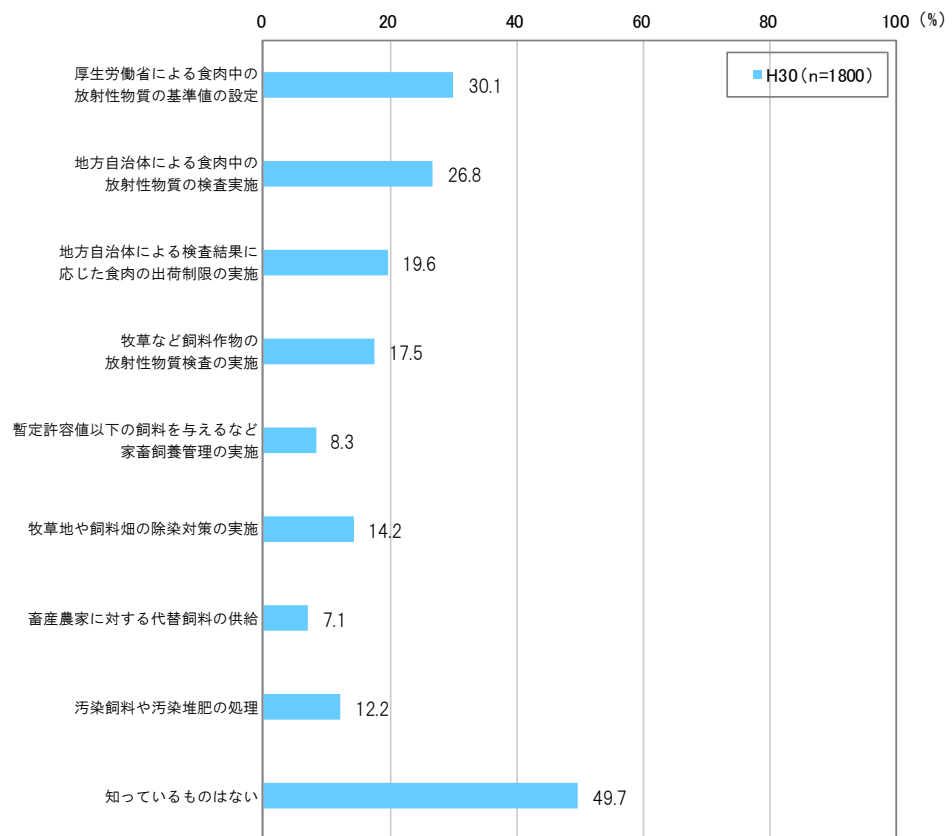
図表 151 放射性物質とその影響等についての一般的な知識（経年変化）

2) 食品中の放射性物質対策や畜産現場での安全確保の取り組みについての知識 (Q30)

- 「厚生労働省による食肉中の放射性物質の基準値の設定」の認知度が最も高く、3割が認知。
- 過年度調査と比較すると、「地方自治体による食肉中の放射性物質の検査実施」「地方自治体による検査結果に応じた食肉の出荷制限の実施」の認知度が増加傾向。

【今年度調査】

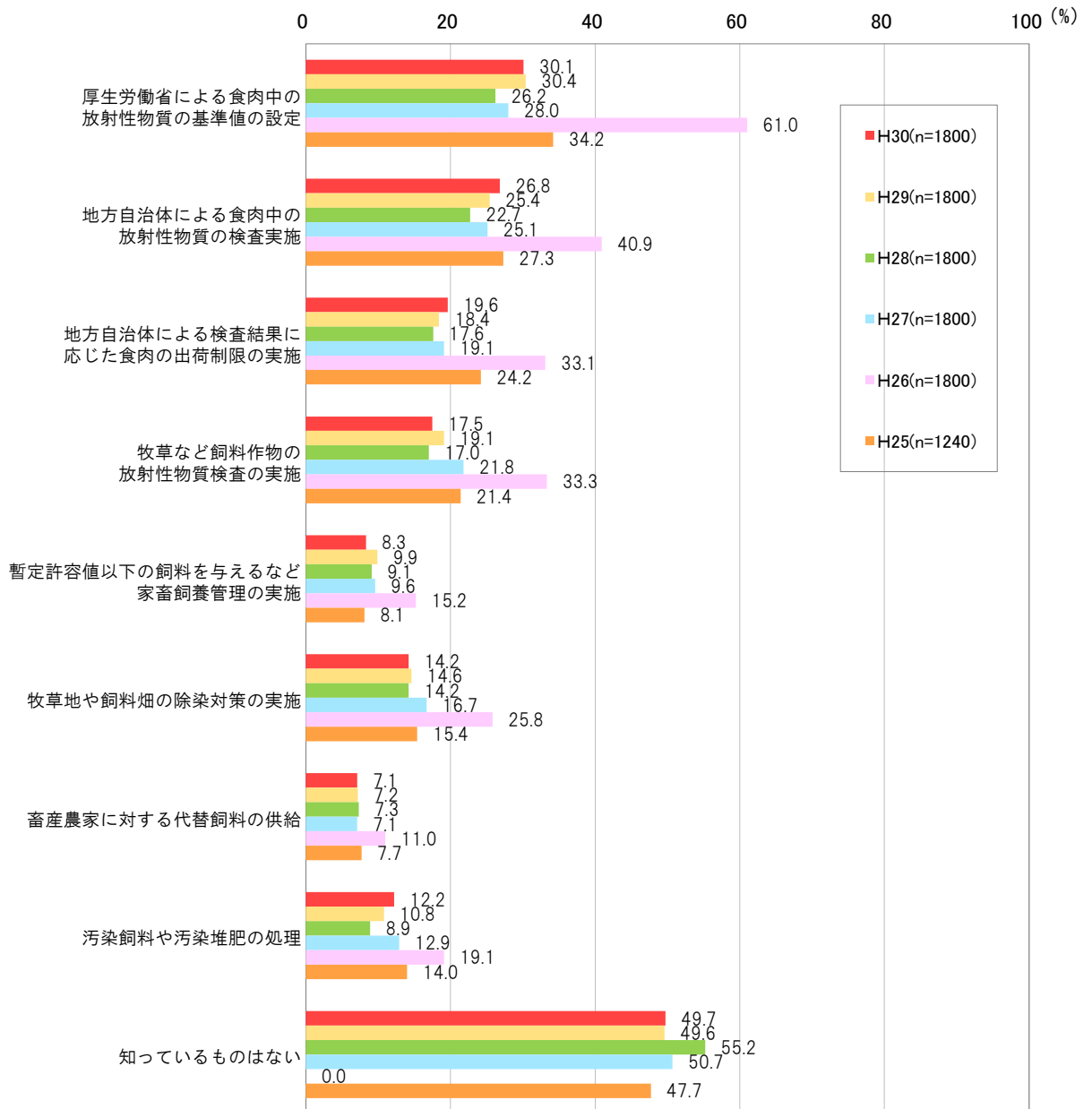
食品中の放射性物質対策や畜産現場での安全確保の取り組みについての知識（複数回答）のTOP3は、「厚生労働省による食肉中の放射性物質の基準値の設定」「地方自治体による食肉中の放射性物質の検査実施」「地方自治体による検査結果に応じた食肉の出荷制限の実施」で、それぞれ30.1%、26.8%、19.6%。



図表 152 食品中の放射性物質対策や畜産現場での安全確保の取り組みについての知識

【過年度調査との比較】

過年度調査との比較では、「地方自治体による食肉中の放射性物質の検査実施」「地方自治体による検査結果に応じた食肉の出荷制限の実施」の認知度が増加傾向にある。



図表 153 食品中の放射性物質対策や畜産現場での安全確保の取り組みについての知識（経年変化）

3) 産地別の食肉の放射能汚染への不安 (Q31)

- ▶ 「どちらかといえば不安を感じている」 + 「不安を感じている」の割合が福島県産で26.2%と高い。
- ▶ 過年度調査と比較すると、各県ともに「不安を感じていない (不安を感じていない + どちらかといえば不安を感じていない)」の割合が増加傾向。

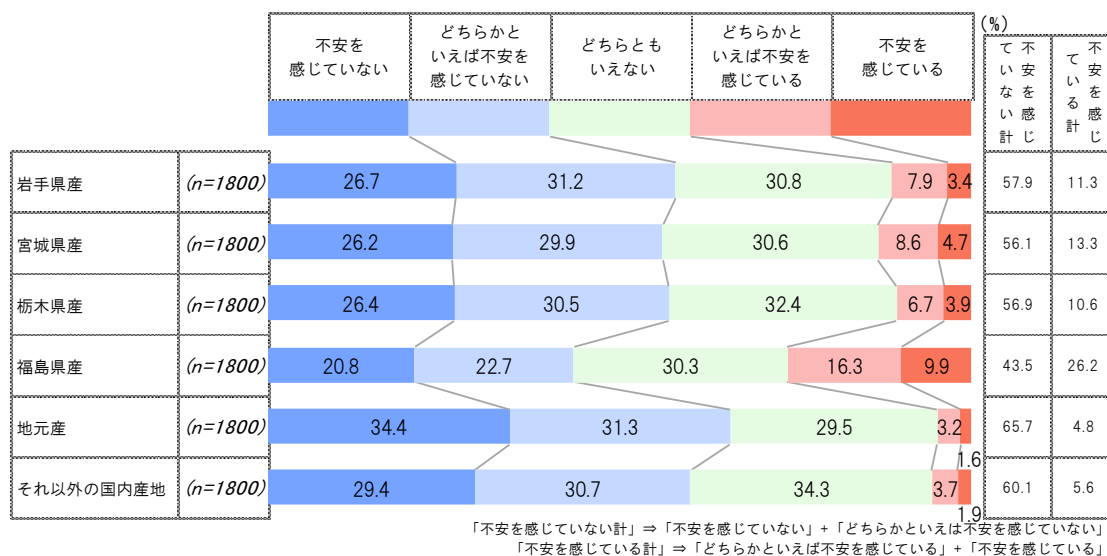
【今年度調査】

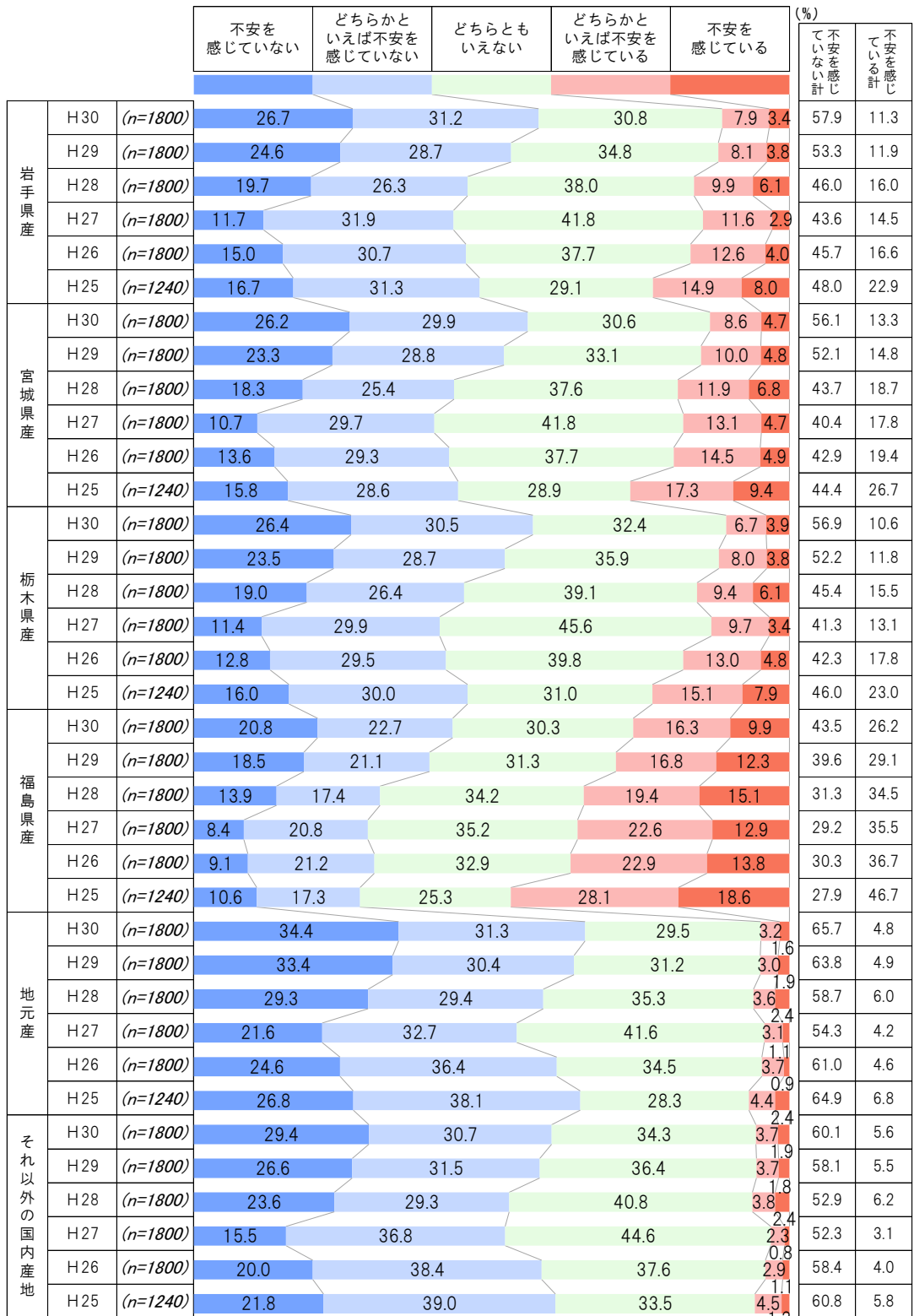
産地別の食肉の放射能汚染への不安について尋ねたところ、「不安を感じている (不安を感じている + どちらかといえば不安を感じている)」の割合は岩手県産、宮城県産、栃木県産、福島県産、地元産、それ以外の国内産地でそれぞれ11.3%、13.3%、10.6%、26.2%、4.8%、5.6%となり、福島県産の割合が高い。

一方、「不安を感じていない (不安を感じていない + どちらかといえば不安を感じていない)」の割合は地元産、それ以外の国内産地の順で高く、それぞれ65.7%、60.1%となった。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、各県ともに「不安を感じていない (不安を感じていない + どちらかといえば不安を感じていない)」の割合が増加傾向にある。





「不安を感じていない計」⇒「不安を感じていない」+「どちらかといえば不安を感じていない」
「不安を感じている計」⇒「どちらかといえば不安を感じている」+「不安を感じている」

図表 155 産地別の食肉の放射能汚染への不安（経年変化）

4) 放射能汚染への不安解消に必要な事柄（Q32）

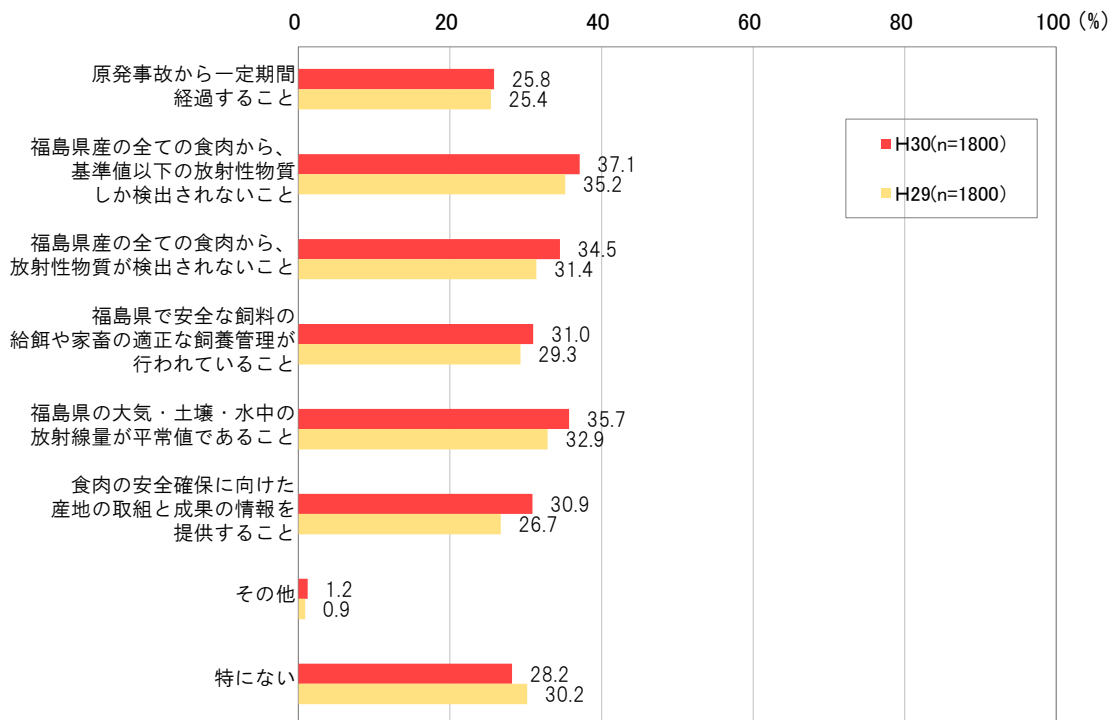
- 福島県産の食肉の放射能汚染の不安解消に必要な事柄は、「福島県産の全ての食肉から、基準値以下の放射性物質しか検出されないこと」「福島県の大気・土壌・水中の放射線量が平常値であること」「福島県産の全ての食肉から、放射性物質が検出されないこと」がTOP3で、3割以上。
- 過年度調査と比較すると、必要な事柄の傾向は大きく変わらない。

【今年度調査】

福島県産の食肉の放射能汚染の不安を解消する事柄について尋ねた結果、「福島県産の全ての食肉から、基準値以下の放射性物質しか検出されないこと」「福島県の大気・土壌・水中の放射線量が平常値であること」「福島県産の全ての食肉から、放射性物質が検出されないこと」がTOP3で、それぞれ37.1%、35.7%、34.5%。

【過年度調査との比較結果】

過年度調査と比較すると、必要な事柄の傾向は大きく変わらない。



図表 156 福島県産の食肉の放射能汚染への不安解消に必要な事柄（経年変化）

(4) 食肉の安全性に対する社会的な意識

1) 社会全体における食肉の安全性の認識 (Q33)

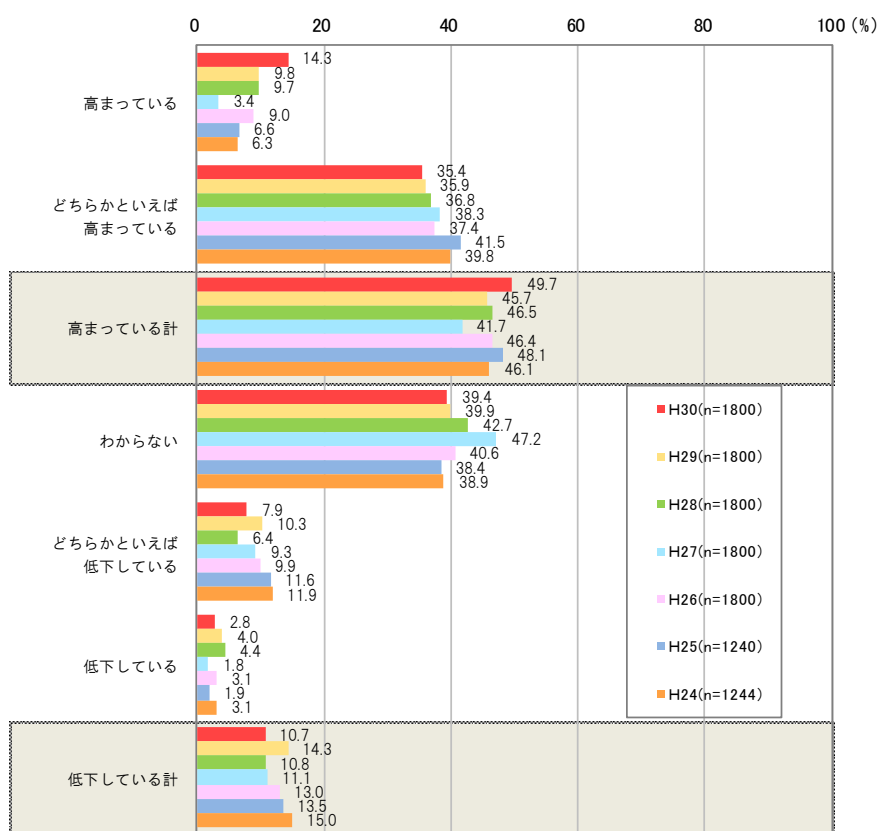
- 社会全体に対する食肉の安全性の認識は「高まっている（高まっている＋どちらかといえば高まっている）」の割合が半数。
- 過年度調査と比較すると、「わからない」の割合は減少傾向にあり、「高まっている」が昨年度より増加。

【今年度調査】

社会全体における食肉の安全性について尋ねたところ、「低下している（低下している＋どちらかといえば低下している）」の割合が10.7%であるのに対して、「高まっている（高まっている＋どちらかといえば高まっている）」の割合は49.7%と半数を占め、社会全体の食肉の安全性が高まっていると消費者が認識していると考えられる。

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、「わからない」の割合は減少傾向にあり、「高まっている」が昨年度より増加している。



図表 157 社会全体における食肉の安全性の認識 (経年変化)

2) 食品の安全性に係る問題発生時に食肉の情報を得るために用いる情報源と普段用いる情報源、信頼できる情報源 (Q34・Q35・Q36)

- 食品の安全性に係る問題発生時に用いる情報源、普段用いる情報源、信頼できる情報源はいずれも「テレビのニュース・報道番組」が最も多く、「インターネット上のニュースサイト」が続く。
- 過年度調査と比較すると、いずれの情報源でも「インターネット上のニュースサイト」が増加傾向で、「新聞」が減少傾向。

【今年度調査】

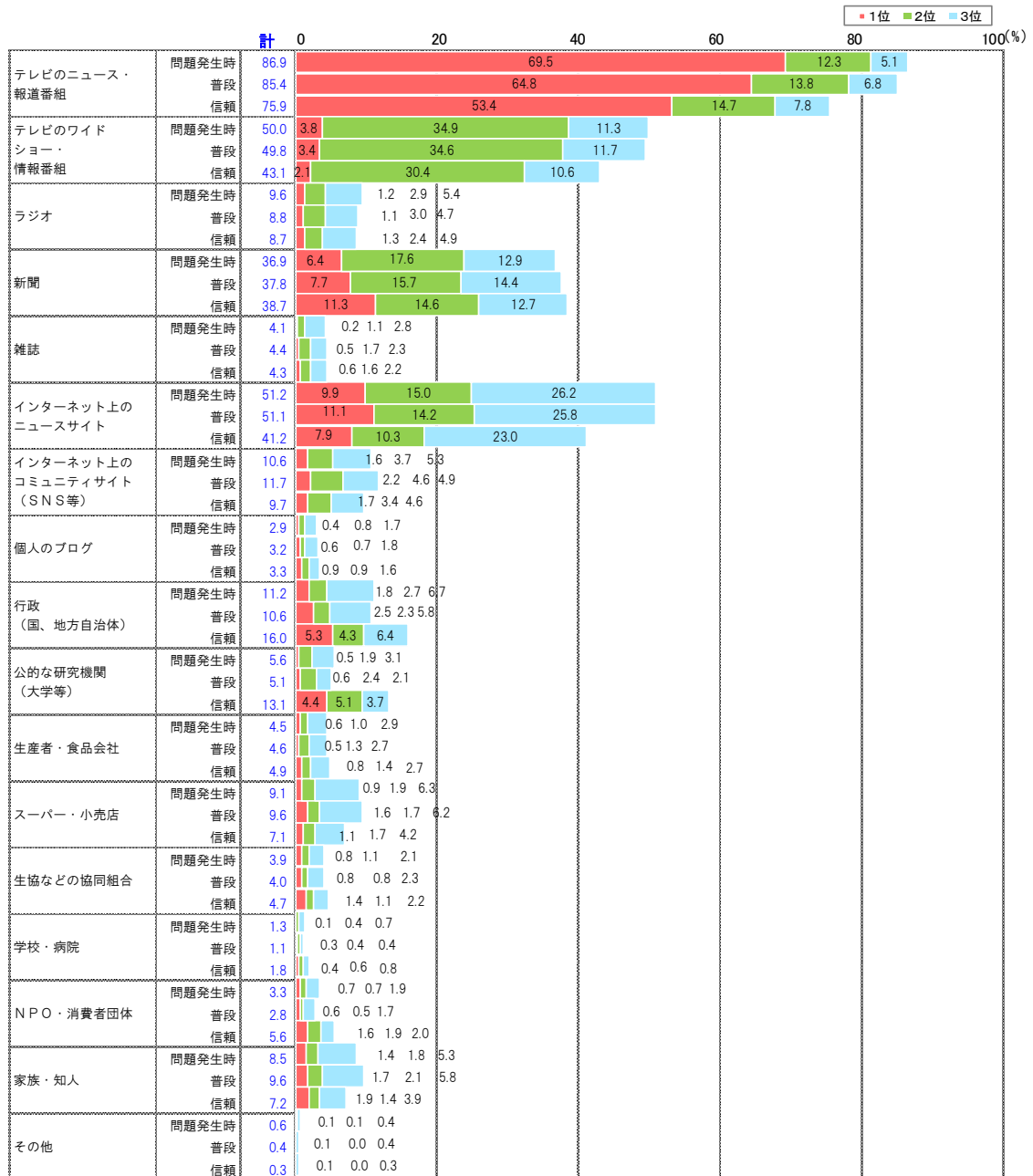
食品の安全性に係る問題発生時に用いる情報源、普段用いる情報源、信頼できる情報源について尋ねたところ、問題発生時に用いる情報源のTOP3は「テレビのニュース・報道番組」「インターネット上のニュースサイト」「テレビのワイドショー・情報番組」で、それぞれ86.9%、51.2%、50.0%。

普段用いる情報源のTOP3は問題発生時に用いる情報源と変わらず、「テレビのニュース・報道番組」「インターネット上のニュースサイト」「テレビのワイドショー・情報番組」で、それぞれ85.4%、51.1%、49.8%。

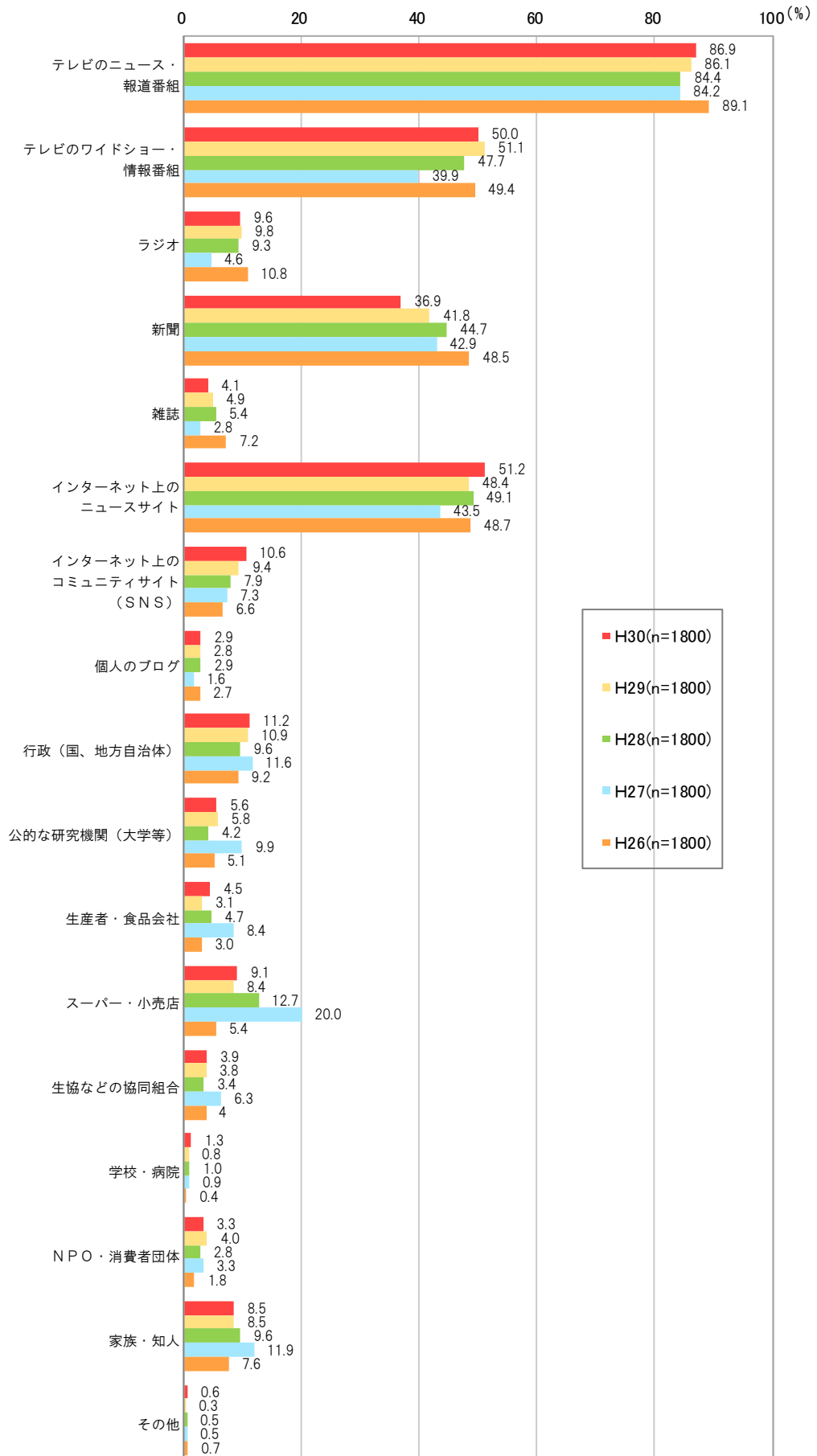
信頼できる情報源のTOP3は「テレビのニュース・報道番組」「テレビのワイドショー・情報番組」「インターネット上のニュースサイト」で、それぞれ75.9%、43.1%、41.2%。

【過年度調査との比較】

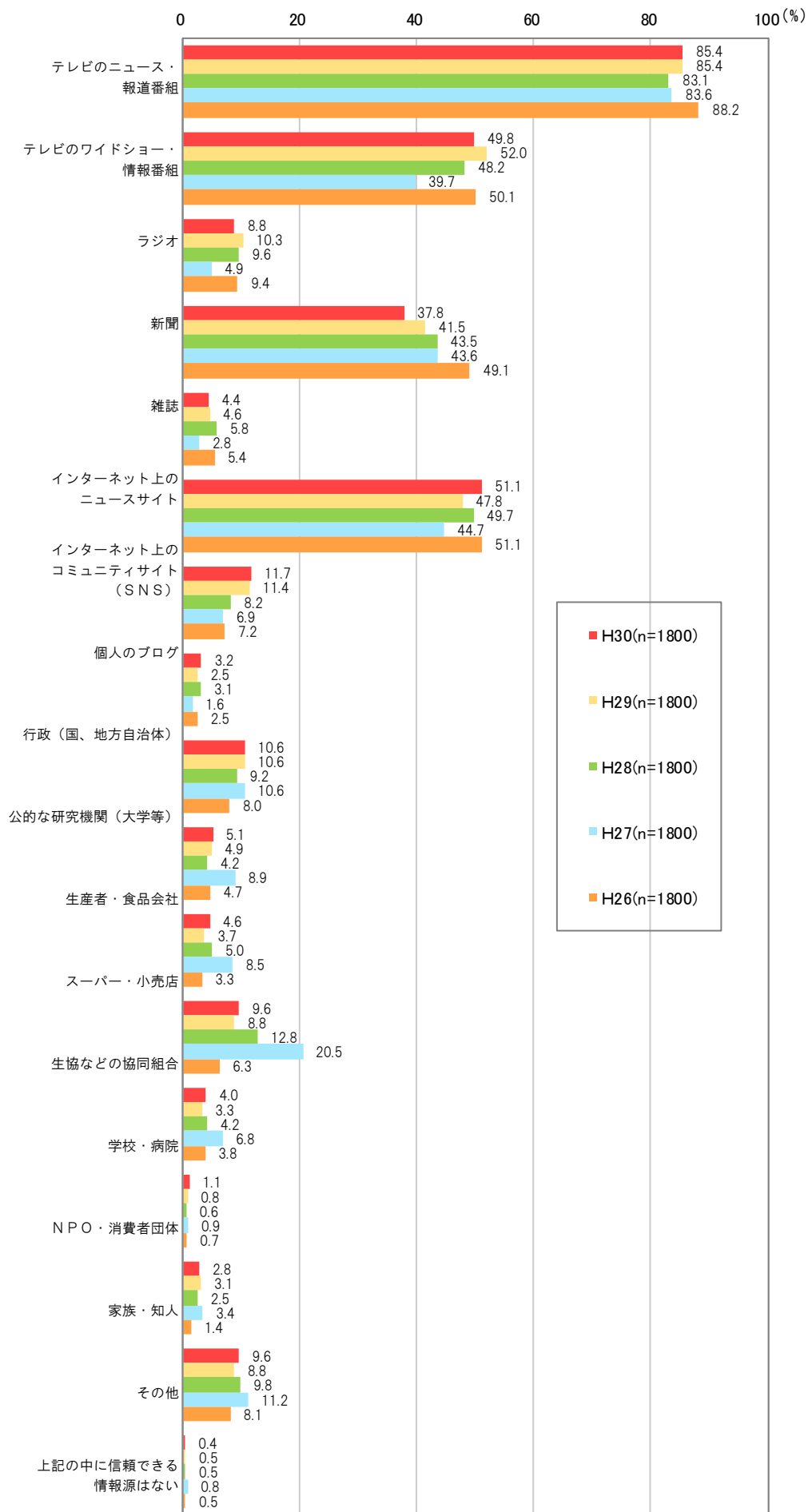
過年度調査と比較すると、いずれの情報源でも「インターネット上のニュースサイト」が増加傾向となっており、「新聞」が減少傾向となっている。



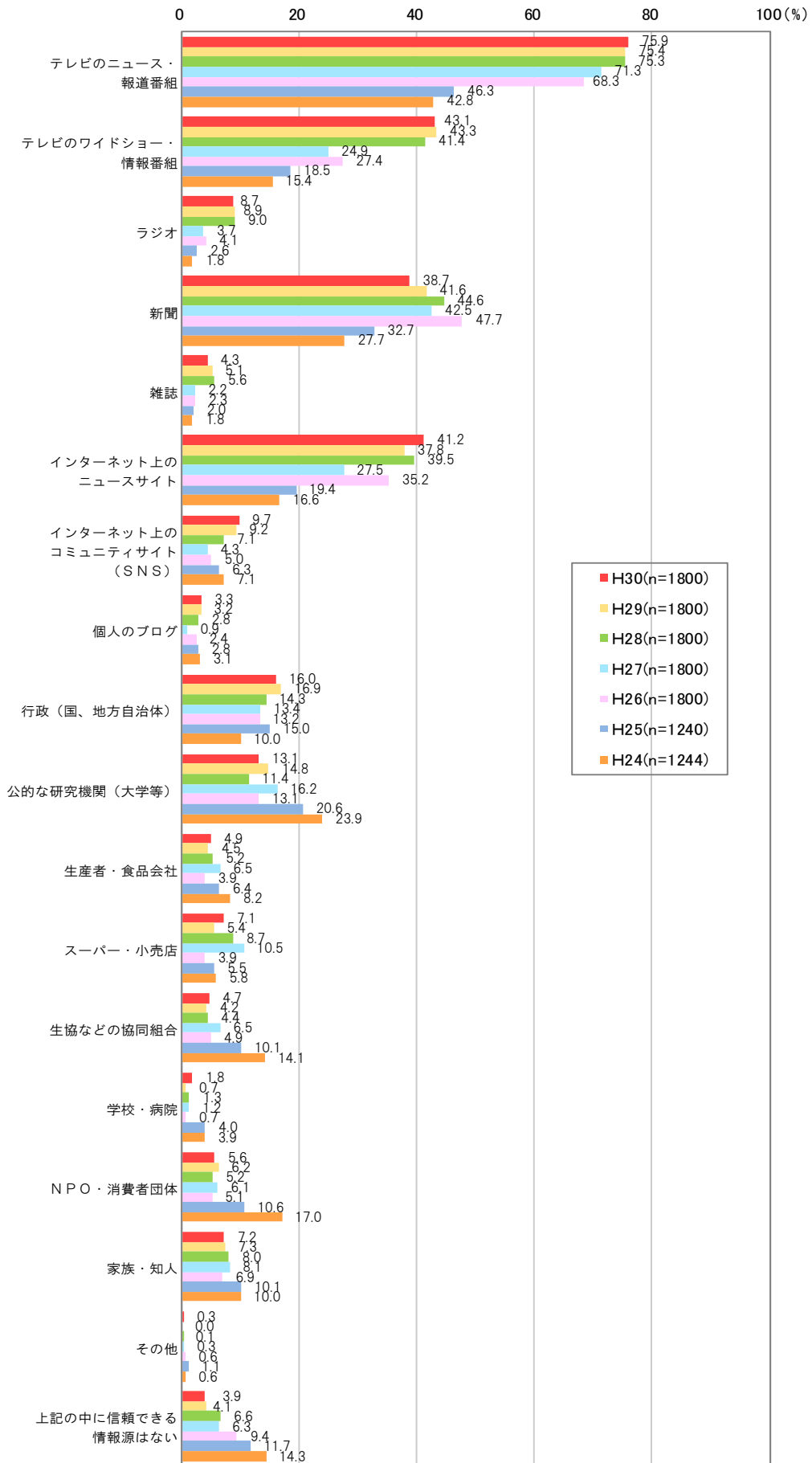
図表 158 問題発生時に用いる情報源・普段用いる情報源・信頼できる情報源



図表 159 問題発生時に用いる情報源 (経年変化)



図表 160 普段用いる情報源（経年変化）



図表 161 信頼できる情報源（経年変化）

3) 各機関の取り組みに対する信頼性 (Q37)

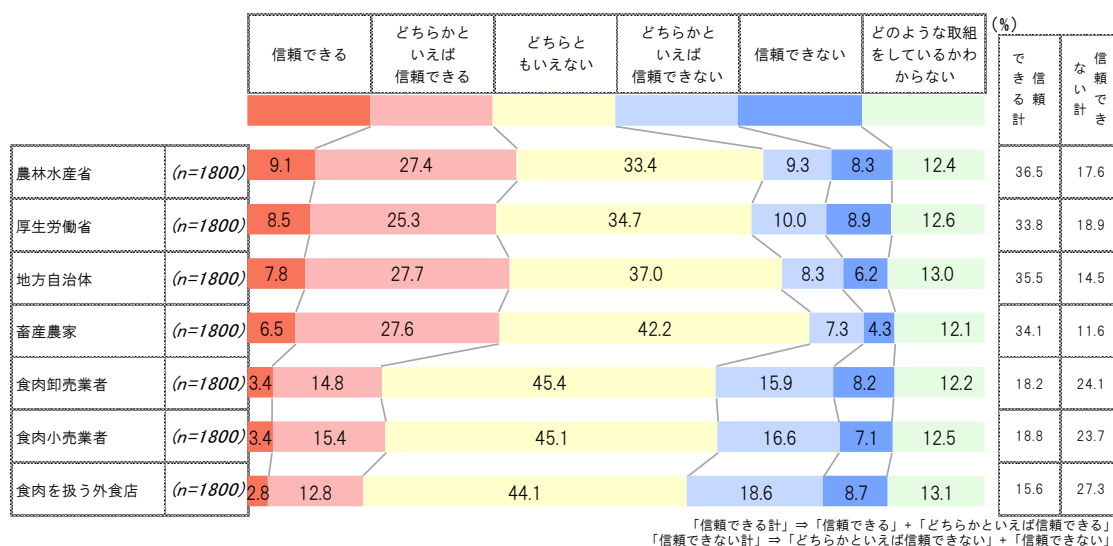
- 「信頼できる (信頼できる+どちらかといえば信頼できる)」の割合が高かったのは「農林水産省」「地方自治体」「畜産農家」「厚生労働省」。
- 過年度調査と比較すると、いずれも機関に対しても「どのような取り組みをしているかわからない」が増加傾向。

【今年度調査】

食肉の安全性に関しては、農林水産省、厚生労働省といった国の機関、地方自治体などの機関が様々な取り組みを行っている。各機関の取り組みについて消費者から見た際、どの機関が信用できるか尋ねた。

その結果「信頼できる (信頼できる+どちらかといえば信頼できる)」の割合は「農林水産省」「地方自治体」「畜産農家」「厚生労働省」の順で高く、それぞれ 36.5%、35.5%、34.1%、33.8%。

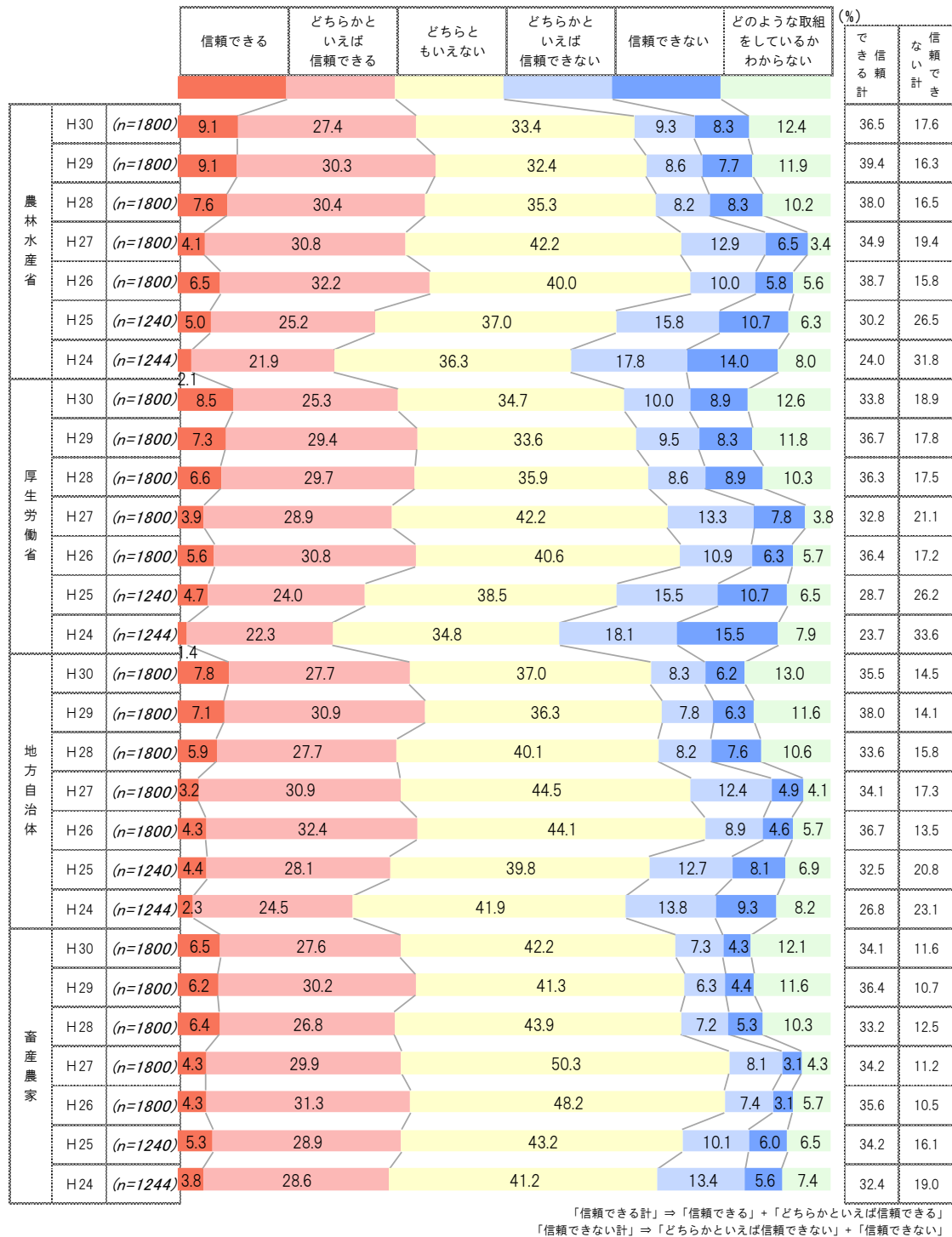
逆に「信頼できない (信頼できない+どちらかといえば信頼できない)」の割合は「食肉を扱う外食店」「食肉卸売業者」「食肉小売業者」の順で高く、それぞれ 27.3%、24.1%、23.7%。



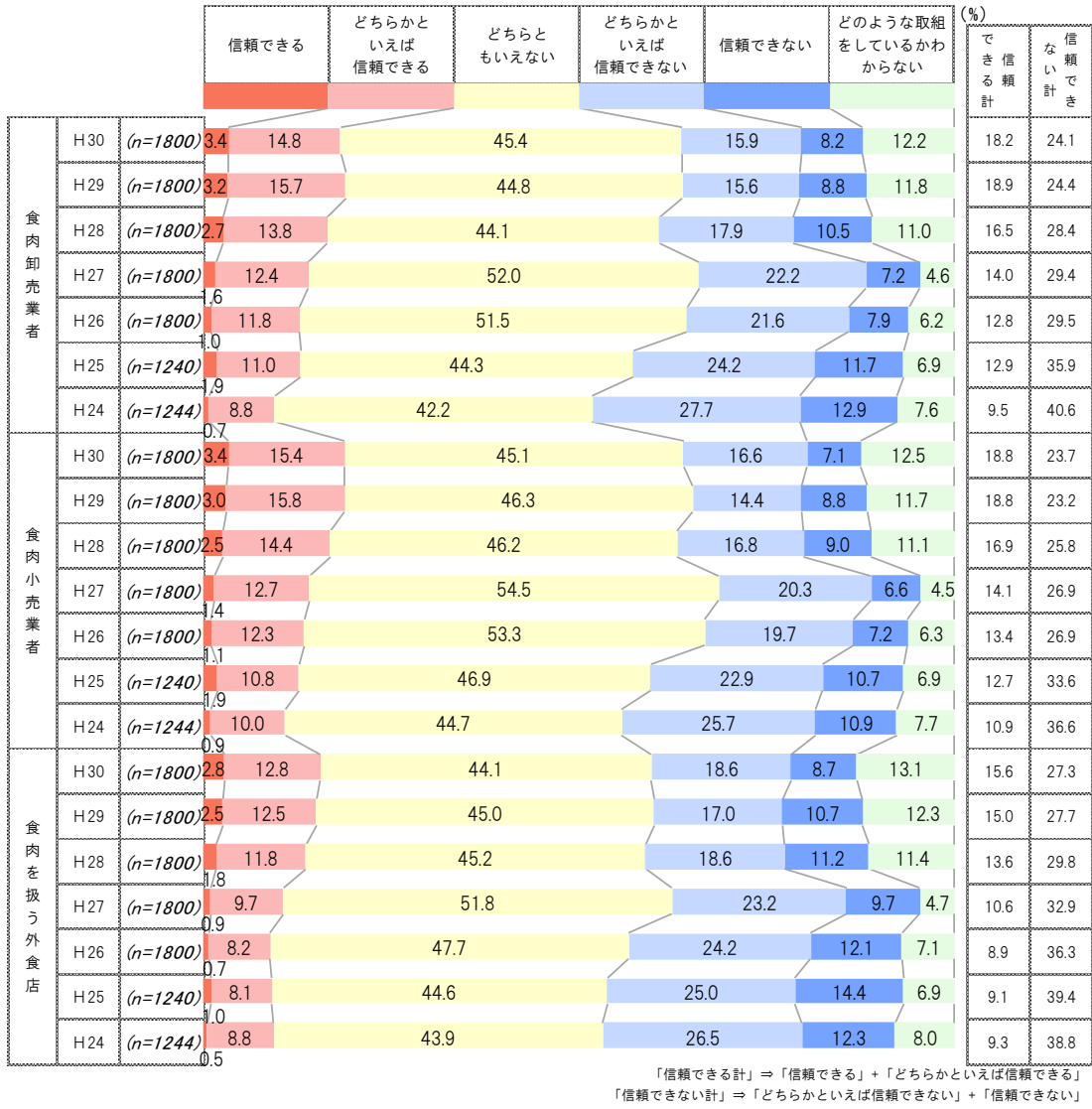
図表 162 各機関の取組に対する信頼性

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、いずれも機関に対しても「どのような取組をしているかわからない」が増加傾向にある。



図表 163 行政・農家の取組に対する信頼性（経年変化）



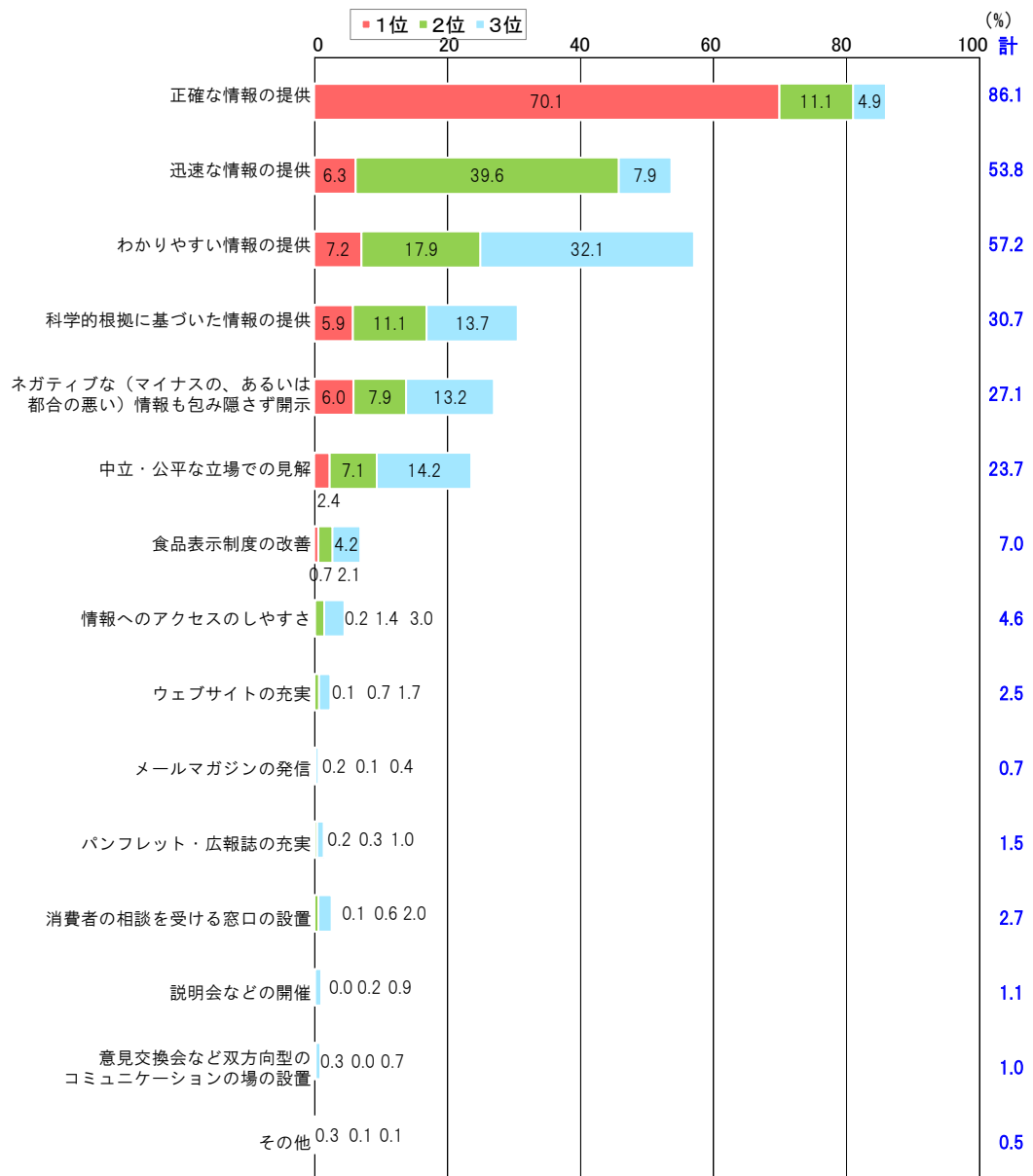
図表 164 民間事業者などの取組に対する信頼性（経年変化）

4) 食肉の安全性の情報提供に対する行政への期待（Q38）

- 「正確な情報の提供」「迅速な情報の提供」「わかりやすい情報の提供」の順で高い。
- 過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向。

【今年度調査】

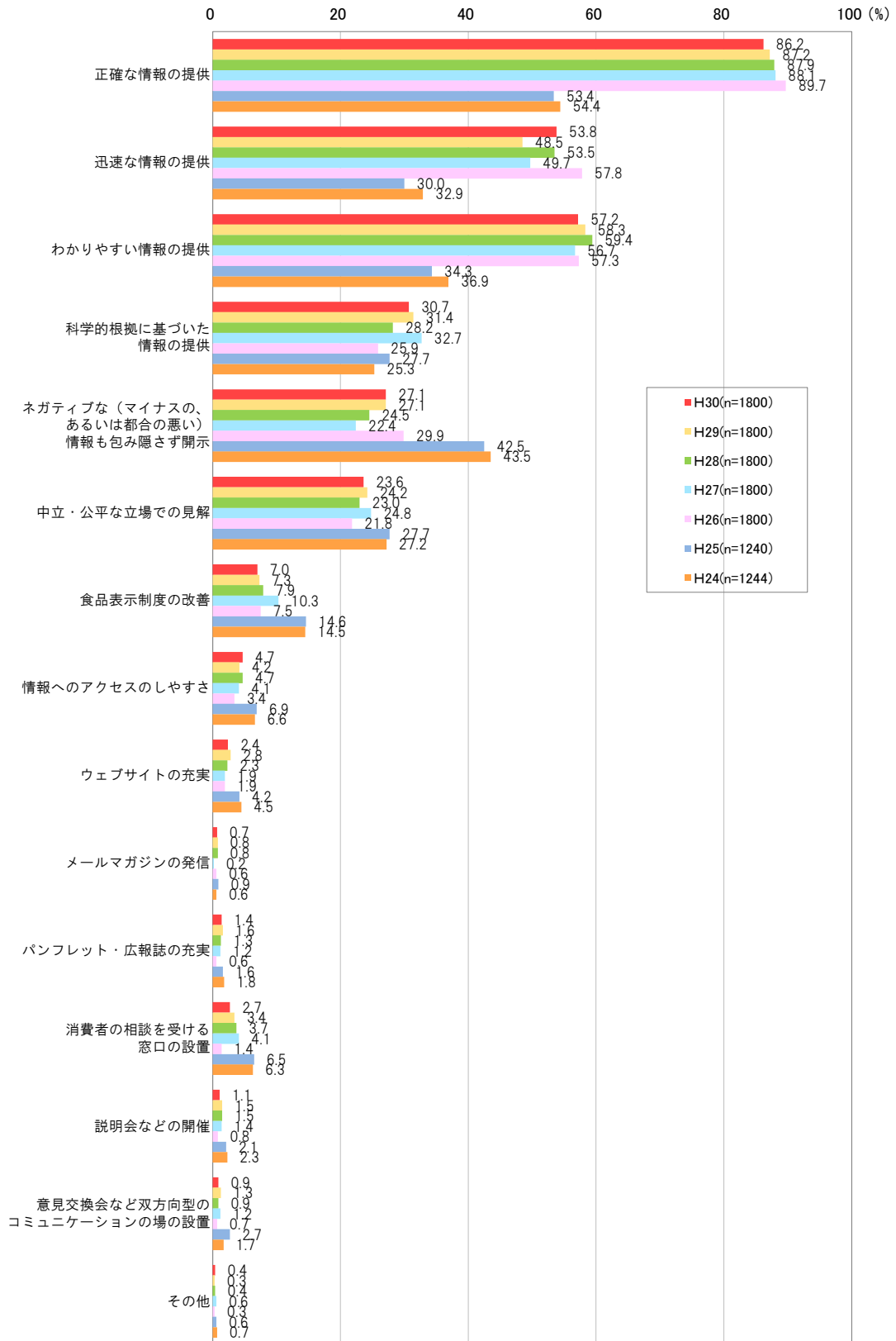
食肉の安全性に関する情報提供において、行政に期待することの上位3つを尋ねたところ、「正確な情報の提供」「わかりやすい情報の提供」「迅速な情報の提供」の順で高く、それぞれ86.1%、57.2%、53.8%。



図表 165 情報提供に対する行政への期待

【過年度調査との比較】

過年度調査と比較すると、昨年度と同傾向となっている。



図表 166 情報提供に対する行政への期待（経年変化）

集計表

Q4 牛肉、豚肉、鶏肉、魚介料理について、各料理を食べる頻度をお答えください。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。※中食とは、惣菜や調理済み食品を購入して食べることをいいます。肉や魚介を主菜とする購入弁当も含まれます。

【1. 牛肉料理】 内食

度数横%		全体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全体		1800 100	21 1.2	41 2.3	295 16.4	528 29.3	346 19.2	204 11.3	260 14.4	105 5.8
地域	首都圏	900 100	6 0.7	18 2.0	112 12.4	245 27.2	188 20.9	117 13.0	151 16.8	63 7.0
	京阪神圏	900 100	15 1.7	23 2.6	183 20.3	283 31.4	158 17.6	87 9.7	109 12.1	42 4.7
年代	20代	300 100	11 3.7	15 5.0	54 18.0	66 22.0	60 20.0	33 11.0	39 13.0	22 7.3
	30代	300 100	1 0.3	5 1.7	42 14.0	84 28.0	62 20.7	37 12.3	56 18.7	13 4.3
	40代	300 100	1 0.3	4 1.3	42 14.0	75 25.0	60 20.0	38 12.7	61 20.3	19 6.3
	50代	300 100	3 1.0	3 1.0	40 13.3	96 32.0	61 20.3	39 13.0	40 13.3	18 6.0
	60代	300 100	0 0.0	4 1.3	49 16.3	109 36.3	52 17.3	32 10.7	37 12.3	17 5.7
	70代以上	300 100	5 1.7	10 3.3	68 22.7	98 32.7	51 17.0	25 8.3	27 9.0	16 5.3

【2. 牛肉料理】 中食

度数横%		全体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全体		1800 100	13 0.7	24 1.3	113 6.3	258 14.3	202 11.2	217 12.1	533 29.6	440 24.4
地域	首都圏	900 100	3 0.3	9 1.0	57 6.3	128 14.2	94 10.4	101 11.2	273 30.3	235 26.1
	京阪神圏	900 100	10 1.1	15 1.7	56 6.2	130 14.4	108 12.0	116 12.9	260 28.9	205 22.8
年代	20代	300 100	10 3.3	14 4.7	33 11.0	50 16.7	52 17.3	32 10.7	56 18.7	53 17.7
	30代	300 100	1 0.3	4 1.3	21 7.0	56 18.7	32 10.7	41 13.7	100 33.3	45 15.0
	40代	300 100	1 0.3	1 0.3	21 7.0	50 16.7	31 10.3	34 11.3	106 35.3	56 18.7
	50代	300 100	0 0.0	3 1.0	12 4.0	34 11.3	30 10.0	43 14.3	99 33.0	79 26.3
	60代	300 100	0 0.0	0 0.0	12 4.0	28 9.3	29 9.7	36 12.0	102 34.0	93 31.0
	70代以上	300 100	1 0.3	2 0.7	14 4.7	40 13.3	28 9.3	31 10.3	70 23.3	114 38.0

【3. 牛肉料理】 外食

度数横%		全体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全体		1800 100	9 0.5	18 1.0	62 3.4	179 9.9	205 11.4	413 22.9	654 36.3	260 14.4
地域	首都圏	900 100	2 0.2	11 1.2	34 3.8	95 10.6	95 10.6	197 21.9	321 35.7	145 16.1
	京阪神圏	900 100	7 0.8	7 0.8	28 3.1	84 9.3	110 12.2	216 24.0	333 37.0	115 12.8
年代	20代	300 100	6 2.0	10 3.3	31 10.3	40 13.3	45 15.0	65 21.7	72 24.0	31 10.3
	30代	300 100	1 0.3	3 1.0	12 4.0	40 13.3	39 13.0	73 24.3	105 35.0	27 9.0
	40代	300 100	0 0.0	2 0.7	9 3.0	24 8.0	43 14.3	72 24.0	122 40.7	28 9.3
	50代	300 100	0 0.0	1 0.3	4 1.3	31 10.3	29 9.7	74 24.7	116 38.7	45 15.0
	60代	300 100	0 0.0	2 0.7	3 1.0	20 6.7	27 9.0	62 20.7	132 44.0	54 18.0
	70代以上	300 100	2 0.7	0 0.0	3 1.0	24 8.0	22 7.3	67 22.3	107 35.7	75 25.0

【4. 豚肉料理】 内食

度数横%		全体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全体		1800 100	26 1.4	111 6.2	658 36.6	496 27.6	232 12.9	95 5.3	118 6.6	64 3.6
地域	首都圏	900 100	12 1.3	62 6.9	333 37.0	245 27.2	118 13.1	41 4.6	55 6.1	34 3.8
	京阪神圏	900 100	14 1.6	49 5.4	325 36.1	251 27.9	114 12.7	54 6.0	63 7.0	30 3.3
年代	20代	300 100	7 2.3	30 10.0	96 32.0	75 25.0	46 15.3	13 4.3	18 6.0	15 5.0
	30代	300 100	5 1.7	21 7.0	116 38.7	80 26.7	34 11.3	17 5.7	22 7.3	5 1.7
	40代	300 100	3 1.0	12 4.0	106 35.3	72 24.0	53 17.7	18 6.0	29 9.7	7 2.3
	50代	300 100	6 2.0	14 4.7	109 36.3	88 29.3	39 13.0	12 4.0	21 7.0	11 3.7
	60代	300 100	2 0.7	15 5.0	119 39.7	86 28.7	39 13.0	19 6.3	13 4.3	7 2.3
	70代以上	300 100	3 1.0	19 6.3	112 37.3	95 31.7	21 7.0	16 5.3	15 5.0	19 6.3

【5. 豚肉料理】 中食

度数横%		全体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全体		1800 100	10 0.6	27 1.5	167 9.3	293 16.3	264 14.7	232 12.9	433 24.1	374 20.8
地域	首都圏	900 100	1 0.1	13 1.4	87 9.7	152 16.9	147 16.3	105 11.7	207 23.0	188 20.9
	京阪神圏	900 100	9 1.0	14 1.6	80 8.9	141 15.7	117 13.0	127 14.1	226 25.1	186 20.7
年代	20代	300 100	7 2.3	18 6.0	45 15.0	52 17.3	61 20.3	34 11.3	47 15.7	36 12.0
	30代	300 100	1 0.3	5 1.7	39 13.0	65 21.7	41 13.7	43 14.3	72 24.0	34 11.3
	40代	300 100	0 0.0	0 0.0	28 9.3	44 14.7	55 18.3	49 16.3	79 26.3	45 15.0
	50代	300 100	1 0.3	2 0.7	19 6.3	51 17.0	46 15.3	33 11.0	83 27.7	65 21.7
	60代	300 100	0 0.0	0 0.0	16 5.3	37 12.3	41 13.7	38 12.7	85 28.3	83 27.7
	70代以上	300 100	1 0.3	2 0.7	20 6.7	44 14.7	20 6.7	35 11.7	67 22.3	111 37.0

【6. 豚肉料理】 外食

度数横%		全体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全体		1800 100	8 0.4	19 1.1	90 5.0	186 10.3	221 12.3	366 20.3	609 33.8	301 16.7
地域	首都圏	900 100	1 0.1	11 1.2	50 5.6	92 10.2	121 13.4	189 21.0	287 31.9	149 16.6
	京阪神圏	900 100	7 0.8	8 0.9	40 4.4	94 10.4	100 11.1	177 19.7	322 35.8	152 16.9
年代	20代	300 100	6 2.0	9 3.0	36 12.0	46 15.3	41 13.7	62 20.7	64 21.3	36 12.0
	30代	300 100	1 0.3	3 1.0	20 6.7	45 15.0	48 16.0	69 23.0	88 29.3	26 8.7
	40代	300 100	0 0.0	4 1.3	18 6.0	22 7.3	46 15.3	60 20.0	118 39.3	32 10.7
	50代	300 100	0 0.0	1 0.3	4 1.3	29 9.7	33 11.0	60 20.0	118 39.3	55 18.3
	60代	300 100	0 0.0	0 0.0	8 2.7	23 7.7	35 11.7	53 17.7	118 39.3	63 21.0
	70代以上	300 100	1 0.3	2 0.7	4 1.3	21 7.0	18 6.0	62 20.7	103 34.3	89 29.7

【7. 鶏肉料理】 内食

度数横%		全体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全体		1800 100	19 1.1	87 4.8	553 30.7	526 29.2	252 14.0	130 7.2	128 7.1	105 5.8
地域	首都圏	900 100	10 1.1	43 4.8	280 31.1	267 29.7	127 14.1	53 5.9	68 7.6	52 5.8
	京阪神圏	900 100	9 1.0	44 4.9	273 30.3	259 28.8	125 13.9	77 8.6	60 6.7	53 5.9
年代	20代	300 100	8 2.7	26 8.7	95 31.7	71 23.7	38 12.7	26 8.7	23 7.7	13 4.3
	30代	300 100	2 0.7	11 3.7	97 32.3	97 32.3	45 15.0	23 7.7	21 7.0	4 1.3
	40代	300 100	2 0.7	15 5.0	100 33.3	76 25.3	50 16.7	23 7.7	25 8.3	9 3.0
	50代	300 100	2 0.7	14 4.7	90 30.0	98 32.7	39 13.0	16 5.3	20 6.7	21 7.0
	60代	300 100	2 0.7	12 4.0	84 28.0	90 30.0	45 15.0	22 7.3	23 7.7	22 7.3
	70代以上	300 100	3 1.0	9 3.0	87 29.0	94 31.3	35 11.7	20 6.7	16 5.3	36 12.0

【8. 鶏肉料理】 中食

度数横%		全体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全体		1800 100	10 0.6	24 1.3	175 9.7	339 18.8	269 14.9	238 13.2	402 22.3	343 19.1
地域	首都圏	900 100	3 0.3	10 1.1	100 11.1	164 18.2	138 15.3	115 12.8	204 22.7	166 18.4
	京阪神圏	900 100	7 0.8	14 1.6	75 8.3	175 19.4	131 14.6	123 13.7	198 22.0	177 19.7
年代	20代	300 100	8 2.7	8 2.7	43 14.3	67 22.3	61 20.3	38 12.7	40 13.3	35 11.7
	30代	300 100	1 0.3	5 1.7	40 13.3	65 21.7	46 15.3	46 15.3	68 22.7	29 9.7
	40代	300 100	0 0.0	4 1.3	34 11.3	60 20.0	48 16.0	46 15.3	69 23.0	39 13.0
	50代	300 100	0 0.0	3 1.0	25 8.3	59 19.7	49 16.3	38 12.7	78 26.0	48 16.0
	60代	300 100	0 0.0	1 0.3	17 5.7	45 15.0	43 14.3	36 12.0	80 26.7	78 26.0
	70代以上	300 100	1 0.3	3 1.0	16 5.3	43 14.3	22 7.3	34 11.3	67 22.3	114 38.0

【9. 鶏肉料理】 外食

度数横%		全体	ほぼ毎日	週に4～5日程度	週に2～3日程度	週に1日程度	月に2～3日程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全体		1800 100	10 0.6	20 1.1	96 5.3	190 10.6	233 12.9	332 18.4	577 32.1	342 19.0
地域	首都圏	900 100	2 0.2	10 1.1	52 5.8	102 11.3	127 14.1	171 19.0	270 30.0	166 18.4
	京阪神圏	900 100	8 0.9	10 1.1	44 4.9	88 9.8	106 11.8	161 17.9	307 34.1	176 19.6
年代	20代	300 100	6 2.0	9 3.0	36 12.0	57 19.0	49 16.3	47 15.7	67 22.3	29 9.7
	30代	300 100	1 0.3	5 1.7	16 5.3	48 16.0	52 17.3	61 20.3	89 29.7	28 9.3
	40代	300 100	1 0.3	3 1.0	20 6.7	25 8.3	45 15.0	61 20.3	112 37.3	33 11.0
	50代	300 100	0 0.0	1 0.3	11 3.7	26 8.7	38 12.7	66 22.0	106 35.3	52 17.3
	60代	300 100	0 0.0	1 0.3	6 2.0	16 5.3	32 10.7	53 17.7	114 38.0	78 26.0
	70代以上	300 100	2 0.7	1 0.3	7 2.3	18 6.0	17 5.7	44 14.7	89 29.7	122 40.7

【10. 魚介料理】 内食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	43 2.4	144 8.0	605 33.6	436 24.2	232 12.9	123 6.8	139 7.7	78 4.3
地域	首都圏		900 100	21 2.3	71 7.9	302 33.6	223 24.8	117 13.0	50 5.6	71 7.9	45 5.0
	京阪神圏		900 100	22 2.4	73 8.1	303 33.7	213 23.7	115 12.8	73 8.1	68 7.6	33 3.7
年代	20代		300 100	6 2.0	20 6.7	73 24.3	78 26.0	50 16.7	17 5.7	31 10.3	25 8.3
	30代		300 100	4 1.3	10 3.3	88 29.3	80 26.7	47 15.7	27 9.0	36 12.0	8 2.7
	40代		300 100	2 0.7	13 4.3	90 30.0	79 26.3	50 16.7	24 8.0	31 10.3	11 3.7
	50代		300 100	7 2.3	21 7.0	98 32.7	78 26.0	41 13.7	25 8.3	17 5.7	13 4.3
	60代		300 100	4 1.3	32 10.7	129 43.0	68 22.7	27 9.0	21 7.0	12 4.0	7 2.3
	70代以上		300 100	20 6.7	48 16.0	127 42.3	53 17.7	17 5.7	9 3.0	12 4.0	14 4.7

【11. 魚介料理】 中食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	14 0.8	33 1.8	160 8.9	286 15.9	258 14.3	246 13.7	418 23.2	385 21.4
地域	首都圏		900 100	5 0.6	13 1.4	85 9.4	154 17.1	137 15.2	114 12.7	195 21.7	197 21.9
	京阪神圏		900 100	9 1.0	20 2.2	75 8.3	132 14.7	121 13.4	132 14.7	223 24.8	188 20.9
年代	20代		300 100	9 3.0	12 4.0	36 12.0	49 16.3	51 17.0	47 15.7	53 17.7	43 14.3
	30代		300 100	1 0.3	3 1.0	27 9.0	60 20.0	44 14.7	42 14.0	81 27.0	42 14.0
	40代		300 100	0 0.0	2 0.7	21 7.0	46 15.3	48 16.0	45 15.0	87 29.0	51 17.0
	50代		300 100	1 0.3	5 1.7	21 7.0	41 13.7	44 14.7	42 14.0	71 23.7	75 25.0
	60代		300 100	0 0.0	4 1.3	24 8.0	44 14.7	36 12.0	38 12.7	78 26.0	76 25.3
	70代以上		300 100	3 1.0	7 2.3	31 10.3	46 15.3	35 11.7	32 10.7	48 16.0	98 32.7

【12. 魚介料理】 外食

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	食べない
全 体			1800 100	11 0.6	24 1.3	88 4.9	206 11.4	231 12.8	355 19.7	575 31.9	310 17.2
地域	首都圏		900 100	1 0.1	13 1.4	52 5.8	105 11.7	133 14.8	177 19.7	262 29.1	157 17.4
	京阪神圏		900 100	10 1.1	11 1.2	36 4.0	101 11.2	98 10.9	178 19.8	313 34.8	153 17.0
年代	20代		300 100	8 2.7	13 4.3	20 6.7	47 15.7	52 17.3	55 18.3	65 21.7	40 13.3
	30代		300 100	0 0.0	2 0.7	19 6.3	44 14.7	42 14.0	54 18.0	107 35.7	32 10.7
	40代		300 100	1 0.3	0 0.0	13 4.3	32 10.7	43 14.3	57 19.0	116 38.7	38 12.7
	50代		300 100	0 0.0	3 1.0	18 6.0	17 5.7	37 12.3	64 21.3	110 36.7	51 17.0
	60代		300 100	0 0.0	1 0.3	12 4.0	37 12.3	33 11.0	60 20.0	97 32.3	60 20.0
	70代以上		300 100	2 0.7	5 1.7	6 2.0	29 9.7	24 8.0	65 21.7	80 26.7	89 29.7

Q5 牛肉、豚肉、鶏肉について、どのようなイメージをお持ちですか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。また、その中で最もあてはまるものをお選びください。

【1.牛肉】 あてはまるもの（いくつでも）

	度数 横%	項目												
		全 体	たんぱく質が 豊富	カロリーが 低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニューの 種類が多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800 100	1022 56.8	180 10.0	197 10.9	392 21.8	413 22.9	469 26.1	606 33.7	111 6.2	547 30.4	993 55.2	104 5.8	193 10.7	
地域	首都圏	900 100	469 52.1	96 10.7	93 10.3	189 21.0	198 22.0	212 23.6	55 6.1	249 27.7	485 53.9	53 5.9	117 13.0	
	京阪神圏	900 100	553 61.4	84 9.3	104 11.6	203 22.6	215 23.9	257 28.6	327 36.3	56 6.2	298 33.1	508 56.4	51 5.7	76 8.4
年代	20代	300 100	159 53.0	50 16.7	48 16.0	73 24.3	68 22.7	88 29.3	36 12.0	103 34.3	152 50.7	17 5.7	25 8.3	
	30代	300 100	156 52.0	34 11.3	30 10.0	66 22.0	48 16.0	69 23.0	94 31.3	23 7.7	70 23.3	153 51.0	18 6.0	25 8.3
	40代	300 100	143 47.7	24 8.0	25 8.3	55 18.3	40 13.3	69 23.0	78 26.0	13 4.3	73 24.3	161 53.7	9 3.0	37 12.3
	50代	300 100	161 53.7	25 8.3	17 5.7	57 19.0	49 16.3	77 25.7	97 32.3	10 3.3	88 29.3	168 56.0	16 5.3	39 13.0
	60代	300 100	184 61.3	24 8.0	25 8.3	62 20.7	82 27.3	84 28.0	104 34.7	14 4.7	100 33.3	171 57.0	18 6.0	39 13.0
	70代以上	300 100	219 73.0	23 7.7	52 17.3	79 26.3	126 42.0	102 34.0	145 48.3	15 5.0	113 37.7	188 62.7	26 8.7	28 9.3

【2.牛肉料理】 最もあてはまるもの（一つだけ）

	度数 横%	項目												
		全 体	たんぱく質が 豊富	カロリーが 低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニューの 種類が多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800 100	487 27.1	42 2.3	39 2.2	65 3.6	72 4.0	116 6.4	148 8.2	5 0.3	157 8.7	467 25.9	28 1.6	174 9.7	
地域	首都圏	900 100	229 25.4	25 2.8	15 1.7	37 4.1	40 4.4	56 6.2	67 7.4	4 0.4	68 7.6	236 26.2	17 1.9	106 11.8
	京阪神圏	900 100	258 28.7	17 1.9	24 2.7	28 3.1	32 3.6	60 6.7	81 9.0	1 0.1	89 9.9	231 25.7	11 1.2	68 7.6
年代	20代	300 100	78 26.0	12 4.0	15 5.0	16 5.3	11 3.7	14 4.7	23 7.7	3 1.0	34 11.3	66 22.0	5 1.7	23 7.7
	30代	300 100	79 26.3	6 2.0	9 3.0	17 5.7	8 2.7	21 7.0	24 8.0	2 0.7	22 7.3	80 26.7	8 2.7	24 8.0
	40代	300 100	76 25.3	8 2.7	3 1.0	12 4.0	11 3.7	22 7.3	24 8.0	0 0.0	18 6.0	92 30.7	3 1.0	31 10.3
	50代	300 100	69 23.0	8 2.7	4 1.3	9 3.0	6 2.0	15 5.0	21 7.0	0 0.0	32 10.7	94 31.3	5 1.7	37 12.3
	60代	300 100	83 27.7	6 2.0	3 1.0	9 3.0	16 5.3	21 7.0	26 8.7	0 0.0	24 8.0	72 24.0	4 1.3	36 12.0
	70代以上	300 100	102 34.0	2 0.7	5 1.7	2 0.7	20 6.7	23 7.7	30 10.0	0 0.0	27 9.0	63 21.0	3 1.0	23 7.7

【3.豚肉料理】 あてはまるもの（いくつでも）

	度数 横%	項目												
		全 体	たんぱく質が 豊富	カロリーが 低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニューの 種類が多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他
全 体	1800 100	843 46.8	246 13.7	199 11.1	171 9.5	663 36.8	803 44.6	396 22.0	237 13.2	772 42.9	696 38.7	920 51.1	93 5.2	
地域	首都圏	900 100	425 47.2	103 11.4	107 11.9	84 9.3	324 36.0	415 46.1	206 22.9	115 12.8	404 44.9	362 40.2	471 52.3	42 4.7
	京阪神圏	900 100	418 46.4	143 15.9	92 10.2	87 9.7	339 37.7	388 43.1	190 21.1	122 13.6	368 40.9	334 37.1	449 49.9	51 5.7
年代	20代	300 100	108 36.0	51 17.0	42 14.0	32 10.7	78 26.0	138 46.0	65 21.7	52 17.3	129 43.0	105 35.0	130 43.3	11 3.7
	30代	300 100	124 41.3	35 11.7	35 11.7	25 8.3	88 29.3	147 49.0	58 19.3	55 18.3	124 41.3	108 36.0	136 45.3	15 5.0
	40代	300 100	126 42.0	30 10.0	31 10.3	24 8.0	85 28.3	115 38.3	45 15.0	45 15.0	108 36.0	109 36.3	148 49.3	14 4.7
	50代	300 100	134 44.7	36 12.0	19 6.3	19 6.3	109 36.3	116 38.7	53 17.7	41 13.7	138 46.0	123 41.0	167 55.7	24 8.0
	60代	300 100	164 54.7	48 16.0	26 8.7	35 11.7	138 46.0	140 46.7	70 23.3	19 6.3	137 45.7	113 37.7	170 56.7	17 5.7
	70代以上	300 100	187 62.3	46 15.3	46 15.3	36 12.0	165 55.0	147 49.0	105 35.0	25 8.3	136 45.3	138 46.0	169 56.3	12 4.0

【4. 豚肉料理】 最もあてはまるもの（一つだけ）

	度数 横%	評価項目											
		全 体	たんぱく質が 豊富	カロリーが 低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニューの 種類が多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃
全 体	1800 100	266 14.8	56 3.1	30 1.7	22 1.2	158 8.8	244 13.6	50 2.8	30 1.7	263 14.6	194 10.8	406 22.6	81 4.5
地域													
首都圏	900 100	139 15.4	21 2.3	16 1.8	6 0.7	80 8.9	132 14.7	31 3.4	15 1.7	137 15.2	87 9.7	199 22.1	37 4.1
京阪神圏	900 100	127 14.1	35 3.9	14 1.6	16 1.8	78 8.7	112 12.4	19 2.1	15 1.7	126 14.0	107 11.9	207 23.0	44 4.9
年代													
20代	300 100	34 11.3	16 5.3	12 4.0	4 1.3	17 5.7	55 18.3	11 3.7	13 4.3	47 15.7	28 9.3	53 17.7	10 3.3
30代	300 100	45 15.0	7 2.3	2 0.7	3 1.0	17 5.7	60 20.0	11 3.7	4 1.3	46 15.3	30 10.0	62 20.7	13 4.3
40代	300 100	49 16.3	6 2.0	7 2.3	7 2.3	20 6.7	33 11.0	6 2.0	8 2.7	44 14.7	38 12.7	72 24.0	10 3.3
50代	300 100	45 15.0	9 3.0	3 1.0	1 0.3	23 7.7	30 10.0	5 1.7	4 1.3	47 15.7	33 11.0	78 26.0	22 7.3
60代	300 100	41 13.7	12 4.0	2 0.7	5 1.7	33 11.0	37 12.3	4 1.3	0 0.0	39 13.0	33 11.0	78 26.0	16 5.3
70代以上	300 100	52 17.3	6 2.0	4 1.3	2 0.7	48 16.0	29 9.7	13 4.3	1 0.3	40 13.3	32 10.7	63 21.0	10 3.3

【5. 鶏肉料理】 あてはまるもの（いくつでも）

	度数 横%	評価項目											
		全 体	たんぱく質が 豊富	カロリーが 低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニューの 種類が多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃
全 体	1800 100	837 46.5	899 49.9	174 9.7	85 4.7	643 35.7	663 36.8	376 20.9	287 15.9	697 38.7	398 22.1	1036 57.6	91 5.1
地域													
首都圏	900 100	431 47.9	448 49.8	95 10.6	36 4.0	326 36.2	336 37.3	201 22.3	152 16.9	344 38.2	205 22.8	520 57.8	43 4.8
京阪神圏	900 100	406 45.1	451 50.1	79 8.8	49 5.4	317 35.2	327 36.3	175 19.4	135 15.0	353 39.2	193 21.4	516 57.3	48 5.3
年代													
20代	300 100	146 48.7	149 49.7	38 12.7	22 7.3	90 30.0	119 39.7	58 19.3	62 20.7	123 41.0	67 22.3	135 45.0	12 4.0
30代	300 100	145 48.3	136 45.3	28 9.3	11 3.7	83 27.7	103 34.3	62 20.7	45 15.0	107 35.7	62 20.7	159 53.0	11 3.7
40代	300 100	141 47.0	122 40.7	23 7.7	14 4.7	75 25.0	101 33.7	56 18.7	51 17.0	103 34.3	67 22.3	176 58.7	10 3.3
50代	300 100	147 49.0	154 51.3	12 4.0	8 2.7	102 34.0	111 37.0	56 18.7	54 18.0	125 41.7	68 22.7	178 59.3	18 6.0
60代	300 100	118 39.3	162 54.0	30 10.0	9 3.0	134 44.7	106 35.3	58 19.3	37 12.3	114 38.0	55 18.3	196 65.3	22 7.3
70代以上	300 100	140 46.7	176 58.7	43 14.3	21 7.0	159 53.0	123 41.0	86 28.7	38 12.7	125 41.7	79 26.3	192 64.0	18 6.0

【6. 鶏肉料理】 最もあてはまるもの（一つだけ）

	度数 横%	評価項目											
		全 体	たんぱく質が 豊富	カロリーが 低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる	美容によい	料理メニューの 種類が多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃
全 体	1800 100	255 14.2	300 16.7	25 1.4	13 0.7	110 6.1	126 7.0	49 2.7	39 2.2	188 10.4	51 2.8	561 31.2	83 4.6
地域													
首都圏	900 100	132 14.7	147 16.3	11 1.2	4 0.4	57 6.3	68 7.6	30 3.3	22 2.4	98 10.9	21 2.3	270 30.0	40 4.4
京阪神圏	900 100	123 13.7	153 17.0	14 1.6	9 1.0	53 5.9	58 6.4	19 2.1	17 1.9	90 10.0	30 3.3	291 32.3	43 4.8
年代													
20代	300 100	53 17.7	48 16.0	6 2.0	6 2.0	18 6.0	26 8.7	10 3.3	11 3.7	31 10.3	6 2.0	74 24.7	11 3.7
30代	300 100	61 20.3	53 17.7	3 1.0	0 0.0	7 2.3	29 9.7	10 3.3	8 2.7	22 7.3	9 3.0	88 29.3	10 3.3
40代	300 100	54 18.0	42 14.0	4 1.3	5 1.7	8 2.7	22 7.3	7 2.3	4 1.3	26 8.7	17 5.7	104 34.7	7 2.3
50代	300 100	43 14.3	59 19.7	3 1.0	1 0.3	10 3.3	10 3.3	6 2.0	6 2.0	43 14.3	11 3.7	91 30.3	17 5.7
60代	300 100	13 4.3	50 16.7	3 1.0	1 0.3	24 8.0	23 7.7	7 2.3	7 2.3	36 12.0	3 1.0	111 37.0	22 7.3
70代以上	300 100	31 10.3	48 16.0	6 2.0	0 0.0	43 14.3	16 5.3	9 3.0	3 1.0	30 10.0	5 1.7	93 31.0	16 5.3

Q6 牛肉、豚肉、鶏肉について、それぞれどのくらいの頻度で購入していますか。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

【1. 牛肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	17 0.9	27 1.5	226 12.6	489 27.2	427 23.7	286 15.9	260 14.4	68 3.8
地域	首都圏		900 100	8 0.9	12 1.3	92 10.2	221 24.6	221 24.6	142 15.8	163 18.1	41 4.6
	京阪神圏		900 100	9 1.0	15 1.7	134 14.9	268 29.8	206 22.9	144 16.0	97 10.8	27 3.0
年代	20代		300 100	12 4.0	11 3.7	57 19.0	76 25.3	50 16.7	38 12.7	41 13.7	15 5.0
	30代		300 100	2 0.7	3 1.0	33 11.0	76 25.3	74 24.7	50 16.7	54 18.0	8 2.7
	40代		300 100	1 0.3	2 0.7	37 12.3	60 20.0	74 24.7	53 17.7	59 19.7	14 4.7
	50代		300 100	1 0.3	3 1.0	23 7.7	77 25.7	77 25.7	60 20.0	51 17.0	8 2.7
	60代		300 100	0 0.0	3 1.0	26 8.7	93 31.0	78 26.0	50 16.7	34 11.3	16 5.3
	70代以上		300 100	1 0.3	5 1.7	50 16.7	107 35.7	74 24.7	35 11.7	21 7.0	7 2.3

【2. 豚肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	20 1.1	55 3.1	482 26.8	653 36.3	339 18.8	133 7.4	97 5.4	21 1.2
地域	首都圏		900 100	8 0.9	33 3.7	234 26.0	335 37.2	171 19.0	61 6.8	48 5.3	10 1.1
	京阪神圏		900 100	12 1.3	22 2.4	248 27.6	318 35.3	168 18.7	72 8.0	49 5.4	11 1.2
年代	20代		300 100	11 3.7	15 5.0	85 28.3	95 31.7	48 16.0	24 8.0	17 5.7	5 1.7
	30代		300 100	3 1.0	8 2.7	80 26.7	117 39.0	57 19.0	18 6.0	15 5.0	2 0.7
	40代		300 100	2 0.7	11 3.7	77 25.7	96 32.0	67 22.3	21 7.0	23 7.7	3 1.0
	50代		300 100	2 0.7	6 2.0	75 25.0	115 38.3	50 16.7	29 9.7	20 6.7	3 1.0
	60代		300 100	0 0.0	2 0.7	77 25.7	118 39.3	67 22.3	21 7.0	13 4.3	2 0.7
	70代以上		300 100	2 0.7	13 4.3	88 29.3	112 37.3	50 16.7	20 6.7	9 3.0	6 2.0

【3. 鶏肉】

		度数 横%	全 体	ほぼ毎日	週に4～5日 程度	週に2～3日 程度	週に1日程度	月に2～3日 程度	月に1日程度	それ以下	購入していない
全 体			1800 100	26 1.4	51 2.8	409 22.7	648 36.0	349 19.4	143 7.9	112 6.2	62 3.4
地域	首都圏		900 100	14 1.6	29 3.2	194 21.6	332 36.9	191 21.2	62 6.9	51 5.7	27 3.0
	京阪神圏		900 100	12 1.3	22 2.4	215 23.9	316 35.1	158 17.6	81 9.0	61 6.8	35 3.9
年代	20代		300 100	15 5.0	16 5.3	76 25.3	85 28.3	57 19.0	24 8.0	21 7.0	6 2.0
	30代		300 100	4 1.3	11 3.7	68 22.7	112 37.3	60 20.0	27 9.0	15 5.0	3 1.0
	40代		300 100	4 1.3	7 2.3	62 20.7	119 39.7	55 18.3	25 8.3	22 7.3	6 2.0
	50代		300 100	1 0.3	5 1.7	71 23.7	108 36.0	64 21.3	22 7.3	20 6.7	9 3.0
	60代		300 100	0 0.0	3 1.0	57 19.0	114 38.0	66 22.0	25 8.3	18 6.0	17 5.7
	70代以上		300 100	2 0.7	9 3.0	75 25.0	110 36.7	47 15.7	20 6.7	16 5.3	21 7.0

Q7 牛肉、豚肉、鶏肉を購入する際、主にどこで購入されますか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。※大型スーパー：食品以外に衣料品などを取り扱っているスーパー ※食品スーパー：食品中心の品揃えのスーパー

【1. 牛肉】

	度数 横%	全 体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	生協	食肉専門店	食肉ディス カウントストア	自然食品店	通信販売（カタ ログ、テレビ、イン ターネット等）	その他
		全 体	1732 100	162 9.4	715 41.3	1279 73.8	185 10.7	199 11.5	57 3.3	15 0.9	44 2.5
地域	首都圏	859 100	79 9.2	358 41.7	639 74.4	73 8.5	80 9.3	26 3.0	5 0.6	21 2.4	11 1.3
	京阪神圏	873 100	83 9.5	357 40.9	640 73.3	112 12.8	119 13.6	31 3.6	10 1.1	23 2.6	15 1.7
年代	20代	285 100	33 11.6	113 39.6	207 72.6	32 11.2	40 14.0	14 4.9	9 3.2	14 4.9	4 1.4
	30代	292 100	20 6.8	113 38.7	236 80.8	26 8.9	24 8.2	13 4.5	3 1.0	4 1.4	5 1.7
	40代	286 100	22 7.7	113 39.5	231 80.8	23 8.0	39 13.6	14 4.9	1 0.3	6 2.1	7 2.4
	50代	292 100	28 9.6	145 49.7	203 69.5	22 7.5	33 11.3	8 2.7	1 0.3	4 1.4	2 0.7
	60代	284 100	30 10.6	110 38.7	204 71.8	36 12.7	31 10.9	6 2.1	0 0.0	6 2.1	4 1.4
	70代以上	293 100	29 9.9	121 41.3	198 67.6	46 15.7	32 10.9	2 0.7	1 0.3	10 3.4	4 1.4

【2. 豚肉】

	度数 横%	全 体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	生協	食肉専門店	食肉ディス カウントストア	自然食品店	通信販売（カタ ログ、テレビ、イン ターネット等）	その他
		全 体	1779 100	101 5.7	747 42.0	1357 76.3	204 11.5	144 8.1	63 3.5	22 1.2	38 2.1
地域	首都圏	890 100	50 5.6	375 42.1	683 76.7	89 10.0	64 7.2	32 3.6	10 1.1	16 1.8	10 1.1
	京阪神圏	889 100	51 5.7	372 41.8	674 75.8	115 12.9	80 9.0	31 3.5	12 1.3	22 2.5	16 1.8
年代	20代	295 100	24 8.1	125 42.4	226 76.6	28 9.5	36 12.2	15 5.1	11 3.7	13 4.4	6 2.0
	30代	298 100	12 4.0	114 38.3	250 83.9	33 11.1	21 7.0	12 4.0	6 2.0	5 1.7	5 1.7
	40代	297 100	12 4.0	116 39.1	242 81.5	26 8.8	25 8.4	18 6.1	3 1.0	5 1.7	6 2.0
	50代	297 100	16 5.4	148 49.8	217 73.1	27 9.1	22 7.4	8 2.7	1 0.3	4 1.3	3 1.0
	60代	298 100	18 6.0	122 40.9	218 73.2	42 14.1	22 7.4	6 2.0	0 0.0	4 1.3	3 1.0
	70代以上	294 100	19 6.5	122 41.5	204 69.4	48 16.3	18 6.1	4 1.4	1 0.3	7 2.4	3 1.0

【3. 鶏肉】

	度数 横%	全 体	百貨店	大型スーパー	食品スーパー	生協	食肉専門店	食肉ディス カウントストア	自然食品店	通信販売（カタ ログ、テレビ、イン ターネット等）	その他
		全 体	1738 100	83 4.8	710 40.9	1321 76.0	201 11.6	124 7.1	59 3.4	19 1.1	33 1.9
地域	首都圏	873 100	46 5.3	351 40.2	667 76.4	87 10.0	57 6.5	31 3.6	7 0.8	16 1.8	13 1.5
	京阪神圏	865 100	37 4.3	359 41.5	654 75.6	114 13.2	67 7.7	28 3.2	12 1.4	17 2.0	14 1.6
年代	20代	294 100	18 6.1	117 39.8	221 75.2	31 10.5	28 9.5	13 4.4	11 3.7	10 3.4	6 2.0
	30代	297 100	12 4.0	117 39.4	246 82.8	29 9.8	18 6.1	11 3.7	4 1.3	7 2.4	6 2.0
	40代	294 100	10 3.4	110 37.4	234 79.6	27 9.2	21 7.1	17 5.8	2 0.7	4 1.4	6 2.0
	50代	291 100	16 5.5	148 50.9	209 71.8	29 10.0	22 7.6	8 2.7	1 0.3	5 1.7	3 1.0
	60代	283 100	13 4.6	108 38.2	213 75.3	40 14.1	16 5.7	6 2.1	0 0.0	3 1.1	4 1.4
	70代以上	279 100	14 5.0	110 39.4	198 71.0	45 16.1	19 6.8	4 1.4	1 0.4	4 1.4	2 0.7

Q8 牛肉、豚肉、鶏肉を購入する際、重視する点は何ですか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。また、最もあてはまるものをお選びください。

【1.牛肉】 あてはまるもの（いくつでも）

度数横%		全体	価格が手頃であること	国産であること	外国産であること	産地・銘柄（ブランド）等がしっかり表示されていること	冷蔵品（チルド）であること	鮮度（色つや）がよいこと	その他
全体		1732 100	1011 58.4	912 52.7	77 4.4	614 35.5	152 8.8	834 48.2	69 4.0
地域	首都圏	859 100	516 60.1	413 48.1	39 4.5	312 36.3	76 8.8	421 49.0	27 3.1
	京阪神圏	873 100	495 56.7	499 57.2	38 4.4	302 34.6	76 8.7	413 47.3	42 4.8
年代	20代	285 100	177 62.1	140 49.1	25 8.8	81 28.4	37 13.0	131 46.0	11 3.9
	30代	292 100	184 63.0	142 48.6	12 4.1	91 31.2	21 7.2	122 41.8	11 3.8
	40代	286 100	185 64.7	135 47.2	13 4.5	81 28.3	16 5.6	120 42.0	11 3.8
	50代	292 100	166 56.8	157 53.8	9 3.1	93 31.8	28 9.6	157 53.8	10 3.4
	60代	284 100	157 55.3	152 53.5	6 2.1	124 43.7	16 5.6	146 51.4	16 5.6
	70代以上	293 100	142 48.5	186 63.5	12 4.1	144 49.1	34 11.6	158 53.9	10 3.4

【2.牛肉】 最もあてはまるもの（一つだけ）

度数横%		全体	価格が手頃であること	国産であること	外国産であること	産地・銘柄（ブランド）等がしっかり表示されていること	冷蔵品（チルド）であること	鮮度（色つや）がよいこと	その他
全体		1732 100	590 34.1	586 33.8	17 1.0	201 11.6	12 0.7	273 15.8	53 3.1
地域	首都圏	859 100	313 36.4	260 30.3	6 0.7	112 13.0	5 0.6	141 16.4	22 2.6
	京阪神圏	873 100	277 31.7	326 37.3	11 1.3	89 10.2	7 0.8	132 15.1	31 3.6
年代	20代	285 100	110 38.6	90 31.6	7 2.5	18 6.3	4 1.4	47 16.5	9 3.2
	30代	292 100	113 38.7	87 29.8	3 1.0	32 11.0	1 0.3	47 16.1	9 3.1
	40代	286 100	121 42.3	85 29.7	4 1.4	27 9.4	2 0.7	41 14.3	6 2.1
	50代	292 100	91 31.2	104 35.6	0 0.0	29 9.9	4 1.4	56 19.2	8 2.7
	60代	284 100	85 29.9	96 33.8	1 0.4	46 16.2	1 0.4	41 14.4	14 4.9
	70代以上	293 100	70 23.9	124 42.3	2 0.7	49 16.7	0 0.0	41 14.0	7 2.4

【3. 豚肉】 あてはまるもの (いくつでも)

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄 (ブランド) 等がしっかり表示されていること	冷蔵品 (チルド) であること	鮮度 (色つや) がよいこと	その他
全 体		1779 100	1288 72.4	949 53.3	60 3.4	565 31.8	191 10.7	821 46.1	42 2.4
地域	首都圏	890 100	664 74.6	451 50.7	31 3.5	288 32.4	93 10.4	424 47.6	17 1.9
	京阪神圏	889 100	624 70.2	498 56.0	29 3.3	277 31.2	98 11.0	397 44.7	25 2.8
年代	20代	295 100	217 73.6	142 48.1	19 6.4	71 24.1	39 13.2	124 42.0	7 2.4
	30代	298 100	221 74.2	162 54.4	8 2.7	80 26.8	25 8.4	126 42.3	6 2.0
	40代	297 100	220 74.1	140 47.1	10 3.4	72 24.2	23 7.7	122 41.1	4 1.3
	50代	297 100	210 70.7	159 53.5	9 3.0	96 32.3	34 11.4	143 48.1	9 3.0
	60代	298 100	206 69.1	160 53.7	5 1.7	121 40.6	33 11.1	154 51.7	7 2.3
	70代以上	294 100	214 72.8	186 63.3	9 3.1	125 42.5	37 12.6	152 51.7	9 3.1

【4. 豚肉】 最もあてはまるもの (一つだけ)

度数 横%		全 体	価格が手頃 であること	国産である こと	外国産である こと	産地・銘柄 (ブランド) 等がしっかり表示されていること	冷蔵品 (チルド) であること	鮮度 (色つや) がよいこと	その他
全 体		1779 100	738 41.5	537 30.2	12 0.7	171 9.6	12 0.7	279 15.7	30 1.7
地域	首都圏	890 100	383 43.0	249 28.0	5 0.6	90 10.1	5 0.6	146 16.4	12 1.3
	京阪神圏	889 100	355 39.9	288 32.4	7 0.8	81 9.1	7 0.8	133 15.0	18 2.0
年代	20代	295 100	142 48.1	76 25.8	5 1.7	19 6.4	6 2.0	42 14.2	5 1.7
	30代	298 100	131 44.0	95 31.9	2 0.7	21 7.0	0 0.0	44 14.8	5 1.7
	40代	297 100	138 46.5	82 27.6	4 1.3	24 8.1	2 0.7	45 15.2	2 0.7
	50代	297 100	115 38.7	93 31.3	0 0.0	26 8.8	0 0.0	55 18.5	8 2.7
	60代	298 100	110 36.9	86 28.9	0 0.0	48 16.1	2 0.7	47 15.8	5 1.7
	70代以上	294 100	102 34.7	105 35.7	1 0.3	33 11.2	2 0.7	46 15.6	5 1.7

【5. 鶏肉】 あてはまるもの (いくつでも)

度数横%		全 体	価格が手頃であること	国産であること	外国産であること	産地・銘柄 (ブランド) 等がしっかり表示されていること	冷蔵品 (チルド) であること	鮮度 (色つや) がよいこと	その他
全 体		1738 100	1298 74.7	975 56.1	53 3.0	551 31.7	166 9.6	762 43.8	43 2.5
地域	首都圏	873 100	664 76.1	469 53.7	29 3.3	282 32.3	87 10.0	394 45.1	18 2.1
	京阪神圏	865 100	634 73.3	506 58.5	24 2.8	269 31.1	79 9.1	368 42.5	25 2.9
年代	20代	294 100	222 75.5	143 48.6	16 5.4	81 27.6	34 11.6	114 38.8	8 2.7
	30代	297 100	225 75.8	162 54.5	11 3.7	80 26.9	26 8.8	117 39.4	8 2.7
	40代	294 100	224 76.2	140 47.6	9 3.1	80 27.2	17 5.8	123 41.8	4 1.4
	50代	291 100	208 71.5	167 57.4	7 2.4	93 32.0	33 11.3	140 48.1	8 2.7
	60代	283 100	214 75.6	167 59.0	3 1.1	108 38.2	23 8.1	133 47.0	8 2.8
	70代以上	279 100	205 73.5	196 70.3	7 2.5	109 39.1	33 11.8	135 48.4	7 2.5

【6. 鶏肉】 最もあてはまるもの (一つだけ)

度数横%		全 体	価格が手頃であること	国産であること	外国産であること	産地・銘柄 (ブランド) 等がしっかり表示されていること	冷蔵品 (チルド) であること	鮮度 (色つや) がよいこと	その他
全 体		1738 100	736 42.3	546 31.4	8 0.5	163 9.4	6 0.3	248 14.3	31 1.8
地域	首都圏	873 100	380 43.5	259 29.7	3 0.3	90 10.3	2 0.2	127 14.5	12 1.4
	京阪神圏	865 100	356 41.2	287 33.2	5 0.6	73 8.4	4 0.5	121 14.0	19 2.2
年代	20代	294 100	149 50.7	75 25.5	2 0.7	24 8.2	3 1.0	35 11.9	6 2.0
	30代	297 100	134 45.1	94 31.6	1 0.3	24 8.1	0 0.0	37 12.5	7 2.4
	40代	294 100	144 49.0	79 26.9	2 0.7	28 9.5	1 0.3	39 13.3	1 0.3
	50代	291 100	110 37.8	99 34.0	1 0.3	21 7.2	2 0.7	51 17.5	7 2.4
	60代	283 100	112 39.6	88 31.1	1 0.4	31 11.0	0 0.0	46 16.3	5 1.8
	70代以上	279 100	87 31.2	111 39.8	1 0.4	35 12.5	0 0.0	40 14.3	5 1.8

Q9 ここ1カ月の食肉の購入について伺います。昨年の今頃と比べ、購入回数に変化がありますか。それぞれの事項について、最も近いものを1つお選びください。

【1. 食肉全体】

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体			1800 100	71 3.9	186 10.3	1212 67.3	148 8.2	87 4.8	68 3.8	28 1.6
地域	首都圏		900 100	33 3.7	89 9.9	607 67.4	83 9.2	42 4.7	32 3.6	14 1.6
	京阪神圏		900 100	38 4.2	97 10.8	605 67.2	65 7.2	45 5.0	36 4.0	14 1.6
年代	20代		300 100	28 9.3	55 18.3	164 54.7	16 5.3	14 4.7	14 4.7	9 3.0
	30代		300 100	15 5.0	39 13.0	195 65.0	22 7.3	12 4.0	13 4.3	4 1.3
	40代		300 100	11 3.7	32 10.7	211 70.3	17 5.7	13 4.3	12 4.0	4 1.3
	50代		300 100	9 3.0	14 4.7	213 71.0	30 10.0	22 7.3	7 2.3	5 1.7
	60代		300 100	6 2.0	18 6.0	208 69.3	36 12.0	15 5.0	12 4.0	5 1.7
	70代以上		300 100	2 0.7	28 9.3	221 73.7	27 9.0	11 3.7	10 3.3	1 0.3

【2. 牛肉】 国産和牛

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体			1732 100	31 1.8	128 7.4	979 56.5	175 10.1	164 9.5	72 4.2	183 10.6
地域	首都圏		859 100	14 1.6	63 7.3	479 55.8	77 9.0	84 9.8	31 3.6	111 12.9
	京阪神圏		873 100	17 1.9	65 7.4	500 57.3	98 11.2	80 9.2	41 4.7	72 8.2
年代	20代		285 100	10 3.5	47 16.5	128 44.9	22 7.7	19 6.7	19 6.7	40 14.0
	30代		292 100	12 4.1	15 5.1	156 53.4	28 9.6	23 7.9	18 6.2	40 13.7
	40代		286 100	5 1.7	11 3.8	160 55.9	32 11.2	32 11.2	10 3.5	36 12.6
	50代		292 100	1 0.3	19 6.5	169 57.9	30 10.3	38 13.0	7 2.4	28 9.6
	60代		284 100	1 0.4	16 5.6	174 61.3	25 8.8	30 10.6	8 2.8	30 10.6
	70代以上		293 100	2 0.7	20 6.8	192 65.5	38 13.0	22 7.5	10 3.4	9 3.1

【3. 牛肉】 和牛以外の国産和牛

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体			1732 100	15 0.9	106 6.1	1000 57.7	185 10.7	152 8.8	94 5.4	180 10.4
地域	首都圏		859 100	10 1.2	51 5.9	497 57.9	89 10.4	71 8.3	36 4.2	105 12.2
	京阪神圏		873 100	5 0.6	55 6.3	503 57.6	96 11.0	81 9.3	58 6.6	75 8.6
年代	20代		285 100	7 2.5	35 12.3	143 50.2	23 8.1	26 9.1	22 7.7	29 10.2
	30代		292 100	6 2.1	24 8.2	171 58.6	22 7.5	17 5.8	25 8.6	27 9.2
	40代		286 100	2 0.7	11 3.8	158 55.2	34 11.9	27 9.4	15 5.2	39 13.6
	50代		292 100	0 0.0	10 3.4	176 60.3	33 11.3	35 12.0	6 2.1	32 11.0
	60代		284 100	0 0.0	15 5.3	173 60.9	32 11.3	25 8.8	11 3.9	28 9.9
	70代以上		293 100	0 0.0	11 3.8	179 61.1	41 14.0	22 7.5	15 5.1	25 8.5

【4. 牛肉】 和牛かどうかわからない国産牛肉

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体			1732 100	17 1.0	59 3.4	881 50.9	180 10.4	144 8.3	138 8.0	313 18.1
地域	首都圏		859 100	10 1.2	27 3.1	441 51.3	92 10.7	70 8.1	62 7.2	157 18.3
	京阪神圏		873 100	7 0.8	32 3.7	440 50.4	88 10.1	74 8.5	76 8.7	156 17.9
年代	20代		285 100	8 2.8	22 7.7	130 45.6	32 11.2	23 8.1	28 9.8	42 14.7
	30代		292 100	7 2.4	8 2.7	155 53.1	27 9.2	17 5.8	28 9.6	50 17.1
	40代		286 100	0 0.0	10 3.5	148 51.7	22 7.7	26 9.1	19 6.6	61 21.3
	50代		292 100	1 0.3	4 1.4	151 51.7	32 11.0	34 11.6	17 5.8	53 18.2
	60代		284 100	1 0.4	7 2.5	155 54.6	29 10.2	19 6.7	20 7.0	53 18.7
	70代以上		293 100	0 0.0	8 2.7	142 48.5	38 13.0	25 8.5	26 8.9	54 18.4

【5. 牛肉】 輸入牛肉

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体			1732 100	15 0.9	120 6.9	827 47.7	168 9.7	165 9.5	97 5.6	340 19.6
地域	首都圏		859 100	10 1.2	55 6.4	440 51.2	91 10.6	76 8.8	46 5.4	141 16.4
	京阪神圏		873 100	5 0.6	65 7.4	387 44.3	77 8.8	89 10.2	51 5.8	199 22.8
年代	20代		285 100	6 2.1	32 11.2	128 44.9	25 8.8	26 9.1	23 8.1	45 15.8
	30代		292 100	7 2.4	21 7.2	143 49.0	26 8.9	18 6.2	19 6.5	58 19.9
	40代		286 100	1 0.3	17 5.9	154 53.8	25 8.7	30 10.5	15 5.2	44 15.4
	50代		292 100	1 0.3	17 5.8	147 50.3	26 8.9	35 12.0	10 3.4	56 19.2
	60代		284 100	0 0.0	15 5.3	139 48.9	28 9.9	26 9.2	13 4.6	63 22.2
	70代以上		293 100	0 0.0	18 6.1	116 39.6	38 13.0	30 10.2	17 5.8	74 25.3

【6. 国産豚肉】

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体			1779 100	36 2.0	204 11.5	1211 68.1	129 7.3	84 4.7	72 4.0	43 2.4
地域	首都圏		890 100	19 2.1	98 11.0	603 67.8	72 8.1	42 4.7	34 3.8	22 2.5
	京阪神圏		889 100	17 1.9	106 11.9	608 68.4	57 6.4	42 4.7	38 4.3	21 2.4
年代	20代		295 100	15 5.1	58 19.7	164 55.6	20 6.8	15 5.1	18 6.1	5 1.7
	30代		298 100	8 2.7	44 14.8	186 62.4	21 7.0	14 4.7	15 5.0	10 3.4
	40代		297 100	6 2.0	32 10.8	211 71.0	19 6.4	19 6.4	7 2.4	3 1.0
	50代		297 100	3 1.0	21 7.1	214 72.1	23 7.7	17 5.7	10 3.4	9 3.0
	60代		298 100	3 1.0	22 7.4	214 71.8	24 8.1	12 4.0	11 3.7	12 4.0
	70代以上		294 100	1 0.3	27 9.2	222 75.5	22 7.5	7 2.4	11 3.7	4 1.4

【7. 輸入豚肉】

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体			1779 100	16 0.9	109 6.1	844 47.4	152 8.5	119 6.7	98 5.5	441 24.8
地域	首都圏		890 100	8 0.9	65 7.3	445 50.0	81 9.1	59 6.6	44 4.9	188 21.1
	京阪神圏		889 100	8 0.9	44 4.9	399 44.9	71 8.0	60 6.7	54 6.1	253 28.5
年代	20代		295 100	9 3.1	39 13.2	136 46.1	26 8.8	16 5.4	24 8.1	45 15.3
	30代		298 100	5 1.7	26 8.7	147 49.3	22 7.4	18 6.0	16 5.4	64 21.5
	40代		297 100	1 0.3	20 6.7	164 55.2	19 6.4	20 6.7	11 3.7	62 20.9
	50代		297 100	0 0.0	10 3.4	147 49.5	18 6.1	26 8.8	10 3.4	86 29.0
	60代		298 100	1 0.3	10 3.4	131 44.0	34 11.4	17 5.7	16 5.4	89 29.9
	70代以上		294 100	0 0.0	4 1.4	119 40.5	33 11.2	22 7.5	21 7.1	95 32.3

【8. 国産鶏肉】

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体			1738	48	211	1172	119	73	73	42
			100	2.8	12.1	67.4	6.8	4.2	4.2	2.4
地域	首都圏		873	22	99	601	60	38	30	23
			100	2.5	11.3	68.8	6.9	4.4	3.4	2.6
	京阪神圏		865	26	112	571	59	35	43	19
			100	3.0	12.9	66.0	6.8	4.0	5.0	2.2
年代	20代		294	15	59	162	17	15	19	7
			100	5.1	20.1	55.1	5.8	5.1	6.5	2.4
	30代		297	16	36	188	22	12	15	8
			100	5.4	12.1	63.3	7.4	4.0	5.1	2.7
	40代		294	9	31	207	23	11	10	3
			100	3.1	10.5	70.4	7.8	3.7	3.4	1.0
	50代		291	4	26	214	19	13	7	8
		100	1.4	8.9	73.5	6.5	4.5	2.4	2.7	
60代		283	3	29	197	18	11	13	12	
		100	1.1	10.2	69.6	6.4	3.9	4.6	4.2	
70代以上		279	1	30	204	20	11	9	4	
		100	0.4	10.8	73.1	7.2	3.9	3.2	1.4	

【9. 輸入鶏肉】

		度数 横%	全 体	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	わからない	購入して いない
全 体			1738	22	93	758	153	132	92	488
			100	1.3	5.4	43.6	8.8	7.6	5.3	28.1
地域	首都圏		873	13	51	400	75	71	40	223
			100	1.5	5.8	45.8	8.6	8.1	4.6	25.5
	京阪神圏		865	9	42	358	78	61	52	265
			100	1.0	4.9	41.4	9.0	7.1	6.0	30.6
年代	20代		294	12	41	128	23	19	24	47
			100	4.1	13.9	43.5	7.8	6.5	8.2	16.0
	30代		297	6	22	138	26	24	16	65
			100	2.0	7.4	46.5	8.8	8.1	5.4	21.9
	40代		294	2	12	159	25	13	13	70
			100	0.7	4.1	54.1	8.5	4.4	4.4	23.8
	50代		291	0	9	129	23	23	6	101
		100	0.0	3.1	44.3	7.9	7.9	2.1	34.7	
60代		283	1	4	118	21	25	17	97	
		100	0.4	1.4	41.7	7.4	8.8	6.0	34.3	
70代以上		279	1	5	86	35	28	16	108	
		100	0.4	1.8	30.8	12.5	10.0	5.7	38.7	

Q10 下記の牛肉について、あなたはどの程度購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 国産和牛】

		度数 横%	全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体			1800 100	335 18.6	605 33.6	450 25.0	310 17.2	46 2.6	19 1.1	35 1.9
地域	首都圏		900 100	156 17.3	283 31.4	235 26.1	166 18.4	22 2.4	13 1.4	25 2.8
	京阪神圏		900 100	179 19.9	322 35.8	215 23.9	144 16.0	24 2.7	6 0.7	10 1.1
年代	20代		300 100	63 21.0	81 27.0	80 26.7	53 17.7	10 3.3	4 1.3	9 3.0
	30代		300 100	59 19.7	94 31.3	77 25.7	55 18.3	10 3.3	1 0.3	4 1.3
	40代		300 100	63 21.0	75 25.0	91 30.3	56 18.7	6 2.0	3 1.0	6 2.0
	50代		300 100	55 18.3	107 35.7	73 24.3	54 18.0	4 1.3	2 0.7	5 1.7
	60代		300 100	44 14.7	114 38.0	67 22.3	51 17.0	12 4.0	4 1.3	8 2.7
	70代以上		300 100	51 17.0	134 44.7	62 20.7	41 13.7	4 1.3	5 1.7	3 1.0

【2. 和牛以外の国産牛肉】

		度数 横%	全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体			1800 100	131 7.3	502 27.9	549 30.5	452 25.1	83 4.6	33 1.8	50 2.8
地域	首都圏		900 100	67 7.4	237 26.3	269 29.9	236 26.2	39 4.3	23 2.6	29 3.2
	京阪神圏		900 100	64 7.1	265 29.4	280 31.1	216 24.0	44 4.9	10 1.1	21 2.3
年代	20代		300 100	40 13.3	93 31.0	78 26.0	60 20.0	12 4.0	8 2.7	9 3.0
	30代		300 100	33 11.0	72 24.0	95 31.7	73 24.3	18 6.0	1 0.3	8 2.7
	40代		300 100	24 8.0	74 24.7	86 28.7	90 30.0	11 3.7	6 2.0	9 3.0
	50代		300 100	16 5.3	80 26.7	97 32.3	84 28.0	11 3.7	4 1.3	8 2.7
	60代		300 100	6 2.0	89 29.7	93 31.0	79 26.3	17 5.7	5 1.7	11 3.7
	70代以上		300 100	12 4.0	94 31.3	100 33.3	66 22.0	14 4.7	9 3.0	5 1.7

【3. アメリカ産牛肉】

度数 横%		全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体		1800 100	52 2.9	196 10.9	379 21.1	612 34.0	267 14.8	123 6.8	171 9.5
地域	首都圏	900 100	26 2.9	112 12.4	206 22.9	298 33.1	123 13.7	54 6.0	81 9.0
	京阪神圏	900 100	26 2.9	84 9.3	173 19.2	314 34.9	144 16.0	69 7.7	90 10.0
年代	20代	300 100	16 5.3	40 13.3	62 20.7	100 33.3	40 13.3	22 7.3	20 6.7
	30代	300 100	15 5.0	33 11.0	61 20.3	100 33.3	58 19.3	9 3.0	24 8.0
	40代	300 100	11 3.7	34 11.3	73 24.3	108 36.0	37 12.3	15 5.0	22 7.3
	50代	300 100	7 2.3	32 10.7	65 21.7	110 36.7	32 10.7	19 6.3	35 11.7
	60代	300 100	2 0.7	34 11.3	61 20.3	93 31.0	54 18.0	26 8.7	30 10.0
	70代以上	300 100	1 0.3	23 7.7	57 19.0	101 33.7	46 15.3	32 10.7	40 13.3

【4. オーストラリア産牛肉】

度数 横%		全 体	非常に 購入したい	購入したい	やや 購入したい	どちらでもない	あまり購入 したくない	購入したくない	まったく購入 したくない
全 体		1800 100	59 3.3	241 13.4	463 25.7	614 34.1	208 11.6	85 4.7	130 7.2
地域	首都圏	900 100	29 3.2	135 15.0	239 26.6	304 33.8	96 10.7	35 3.9	62 6.9
	京阪神圏	900 100	30 3.3	106 11.8	224 24.9	310 34.4	112 12.4	50 5.6	68 7.6
年代	20代	300 100	18 6.0	42 14.0	76 25.3	99 33.0	34 11.3	15 5.0	16 5.3
	30代	300 100	17 5.7	41 13.7	75 25.0	106 35.3	36 12.0	6 2.0	19 6.3
	40代	300 100	11 3.7	44 14.7	84 28.0	103 34.3	28 9.3	12 4.0	18 6.0
	50代	300 100	10 3.3	40 13.3	83 27.7	107 35.7	29 9.7	10 3.3	21 7.0
	60代	300 100	2 0.7	41 13.7	74 24.7	98 32.7	38 12.7	20 6.7	27 9.0
	70代以上	300 100	1 0.3	33 11.0	71 23.7	101 33.7	43 14.3	22 7.3	29 9.7

Q11 下記の牛肉について、それぞれあてはまるイメージを全てお選びください。

	度数 横%	全 体	食感	部位・栄養素	あぶら身が多い	赤身が多い	栄養価が高い	品質	安心	安全
			／柔らかい	／霜降り				／新鮮		
(1) 国産和牛	1800	822	785	278	166	356	523	816	816	
	100	45.7	43.6	15.4	9.2	19.8	29.1	45.3	45.3	
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800	299	170	202	184	208	274	467	463	
	100	16.6	9.4	11.2	10.2	11.6	15.2	25.9	25.7	
(3) アメリカ産牛肉	1800	67	38	217	385	145	40	65	71	
	100	3.7	2.1	12.1	21.4	8.1	2.2	3.6	3.9	
(4) オーストラリア産牛肉	1800	71	31	115	391	134	51	101	109	
	100	3.9	1.7	6.4	21.7	7.4	2.8	5.6	6.1	

	度数 横%	全 体	品質	産地や生産者 がわかる	飼育環境がよ い	価格	価格が手頃	特売	味・風味
			／衛生的			／高品質			／高級品
(1) 国産和牛	1800	462	772	632	505	1000	54	64	473
	100	25.7	42.9	35.1	28.1	55.6	3.0	3.6	26.3
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800	258	228	277	214	206	348	251	192
	100	14.3	12.7	15.4	11.9	11.4	19.3	13.9	10.7
(3) アメリカ産牛肉	1800	54	37	59	45	30	882	513	79
	100	3.0	2.1	3.3	2.5	1.7	49.0	28.5	4.4
(4) オーストラリア産牛肉	1800	64	44	64	73	22	912	487	56
	100	3.6	2.4	3.6	4.1	1.2	50.7	27.1	3.1

	度数 横%	全 体	味・風味	おいしい	肉々しい	旨味がある	健康・美容	筋肉や骨をつ くる	健康によい	美容によい
			／赤身が美味し い				／スタミナ源			
(1) 国産和牛	1800	359	853	218	633	462	413	336	174	
	100	19.9	47.4	12.1	35.2	25.7	22.9	18.7	9.7	
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800	255	511	165	281	393	349	236	128	
	100	14.2	28.4	9.2	15.6	21.8	19.4	13.1	7.1	
(3) アメリカ産牛肉	1800	229	229	369	118	378	305	138	87	
	100	12.7	12.7	20.5	6.6	21.0	16.9	7.7	4.8	
(4) オーストラリア産牛肉	1800	236	231	300	103	345	299	144	84	
	100	13.1	12.8	16.7	5.7	19.2	16.6	8.0	4.7	

	度数 横%	全 体	利便性	和食に合う	中華に合う	洋食に合う	情緒	贅沢感がある	食べやすい・ 食べ疲れしない	男性向き
			／入手しやすい				／信頼がおける			
(1) 国産和牛	1800	206	483	102	300	630	739	377	144	
	100	11.4	26.8	5.7	16.7	35.0	41.1	20.9	8.0	
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800	332	271	152	254	315	154	239	124	
	100	18.4	15.1	8.4	14.1	17.5	8.6	13.3	6.9	
(3) アメリカ産牛肉	1800	538	70	133	338	50	37	95	255	
	100	29.9	3.9	7.4	18.8	2.8	2.1	5.3	14.2	
(4) オーストラリア産牛肉	1800	529	57	138	341	80	27	103	211	
	100	29.4	3.2	7.7	18.9	4.4	1.5	5.7	11.7	

	度数 横%	全 体	情緒	年配向き	大人向き	若者向き	子ども向き	少量で満足	該当なし／あて はまるイメージは ない
			／女性向き						
(1) 国産和牛	1800	192	310	354	95	89	433	173	
	100	10.7	17.2	19.7	5.3	4.9	24.1	9.6	
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800	126	124	149	125	132	88	276	
	100	7.0	6.9	8.3	6.9	7.3	4.9	15.3	
(3) アメリカ産牛肉	1800	44	39	71	329	148	51	350	
	100	2.4	2.2	3.9	18.3	8.2	2.8	19.4	
(4) オーストラリア産牛肉	1800	67	36	59	304	153	42	336	
	100	3.7	2.0	3.3	16.9	8.5	2.3	18.7	

Q12-1 あなたが下記の牛肉を家庭内で食べる場面について、あてはまるものをすべてお選びください。

【1. 国産和牛】

		度数 横%	全 体	日常の 食材	休日	家族の リクエスト	友人との 食事	自分への ご褒美	誕生日・ 記念日	お盆	クリスマス	お正月	バーベ キュー をする時	その他の 場面	この産地の 牛肉は 食べない
全 体			1749 100	597 34.1	435 24.9	459 26.2	302 17.3	564 32.2	602 34.4	197 11.3	277 15.8	400 22.9	204 11.7	189 10.8	141 8.1
地域	首都圏		869 100	255 29.3	209 24.1	219 25.2	153 17.6	281 32.3	304 35.0	95 10.9	145 16.7	191 22.0	81 9.3	100 11.5	85 9.8
	京阪神圏		880 100	342 38.9	226 25.7	240 27.3	149 16.9	283 32.2	298 33.9	102 11.6	132 15.0	209 23.8	123 14.0	89 10.1	56 6.4
年代	20代		291 100	88 30.2	72 24.7	67 23.0	56 19.2	98 33.7	106 36.4	32 11.0	53 18.2	51 17.5	37 12.7	25 8.6	22 7.6
	30代		296 100	77 26.0	80 27.0	76 25.7	41 13.9	100 33.8	102 34.5	36 12.2	38 12.8	59 19.9	39 13.2	22 7.4	28 9.5
	40代		293 100	100 34.1	89 30.4	75 25.6	51 17.4	83 28.3	85 29.0	34 11.6	50 17.1	57 19.5	41 14.0	29 9.9	37 12.6
	50代		290 100	104 35.9	75 25.9	73 25.2	51 17.6	91 31.4	95 32.8	32 11.0	39 13.4	60 20.7	27 9.3	39 13.4	16 5.5
	60代		287 100	105 36.6	52 18.1	78 27.2	44 15.3	82 28.6	96 33.4	27 9.4	39 13.6	73 25.4	35 12.2	35 12.2	23 8.0
	70代以上		292 100	123 42.1	67 22.9	90 30.8	59 20.2	110 37.7	118 40.4	36 12.3	58 19.9	100 34.2	25 8.6	39 13.4	15 5.1

【2. 和牛以外の国産牛肉】

		度数 横%	全 体	日常の 食材	休日	家族の リクエスト	友人との 食事	自分への ご褒美	誕生日・ 記念日	お盆	クリスマス	お正月	バーベ キュー をする時	その他の 場面	この産地の 牛肉は 食べない
全 体			1749 100	905 51.7	369 21.1	287 16.4	209 11.9	203 11.6	203 11.6	135 7.7	156 8.9	144 8.2	316 18.1	212 12.1	196 11.2
地域	首都圏		869 100	417 48.0	176 20.3	144 16.6	101 11.6	104 12.0	97 11.2	70 8.1	76 8.7	73 8.4	136 15.7	107 12.3	103 11.9
	京阪神圏		880 100	488 55.5	193 21.9	143 16.3	108 12.3	99 11.3	106 12.0	65 7.4	80 9.1	71 8.1	180 20.5	105 11.9	93 10.6
年代	20代		291 100	131 45.0	74 25.4	59 20.3	54 18.6	57 19.6	52 17.9	31 10.7	36 12.4	28 9.6	55 18.9	35 12.0	22 7.6
	30代		296 100	121 40.9	70 23.6	49 16.6	31 10.5	47 15.9	51 17.2	25 8.4	29 9.8	28 9.5	51 17.2	28 9.5	32 10.8
	40代		293 100	146 49.8	63 21.5	36 12.3	29 9.9	28 9.6	29 9.9	12 4.1	22 7.5	19 6.5	41 14.0	26 8.9	47 16.0
	50代		290 100	163 56.2	64 22.1	54 18.6	25 8.6	29 10.0	26 9.0	19 6.2	18 6.6	19 7.2	21 17.6	35 12.1	29 10.0
	60代		287 100	166 57.8	39 13.6	35 12.2	25 8.7	21 7.3	18 6.3	18 6.3	16 5.6	16 5.6	50 17.4	40 13.9	33 11.5
	70代以上		292 100	178 61.0	59 20.2	54 18.5	45 15.4	21 7.2	27 9.2	31 10.6	34 11.6	32 11.0	68 23.3	48 16.4	33 11.3

【3. アメリカ産牛肉】

		度数横%												
		全 体	日常の食材	休日	家族のリクエスト	友人との食事	自分へのご褒美	誕生日・記念日	お盆	クリスマス	お正月	バーベキューをする時	その他の場面	この産地の牛肉は食べない
全 体		1749 100	777 44.4	206 11.8	109 6.2	124 7.1	66 3.8	74 4.2	59 3.4	107 6.1	54 3.1	416 23.8	200 11.4	481 27.5
地域	首都圏	869 100	411 47.3	120 13.8	60 6.9	72 8.3	39 4.5	40 4.6	29 3.3	57 6.6	32 3.7	213 24.5	88 10.1	203 23.4
	京阪神圏	880 100	366 41.6	86 9.8	49 5.6	52 5.9	27 3.1	34 3.9	30 3.4	50 5.7	22 2.5	203 23.1	112 12.7	278 31.6
年代	20代	291 100	116 39.9	49 16.8	31 10.7	38 13.1	29 10.0	20 6.9	18 6.2	29 10.0	16 5.5	72 24.7	29 10.0	55 18.9
	30代	296 100	131 44.3	46 15.5	21 7.1	28 9.5	7 2.4	18 6.1	14 4.7	26 8.8	6 2.0	80 27.0	25 8.4	71 24.0
	40代	293 100	148 50.5	42 14.3	13 4.4	18 6.1	12 4.1	13 4.4	10 3.4	17 5.8	8 2.7	71 24.2	24 8.2	76 25.9
	50代	290 100	134 46.2	31 10.7	18 6.2	14 4.8	12 4.1	10 3.4	4 1.4	15 5.2	8 2.8	57 19.7	39 13.4	87 30.0
	60代	287 100	133 46.3	17 5.9	9 3.1	10 3.5	3 1.0	6 2.1	2 0.7	7 2.4	6 2.1	61 21.3	33 11.5	95 33.1
	70代以上	292 100	115 39.4	21 7.2	17 5.8	16 5.5	3 1.0	7 2.4	11 3.8	13 4.5	10 3.4	75 25.7	50 17.1	97 33.2

【4. オーストラリア産牛肉】

		度数横%												
		全 体	日常の食材	休日	家族のリクエスト	友人との食事	自分へのご褒美	誕生日・記念日	お盆	クリスマス	お正月	バーベキューをする時	その他の場面	この産地の牛肉は食べない
全 体		1749 100	866 49.5	189 10.8	99 5.7	114 6.5	70 4.0	77 4.4	74 4.2	102 5.8	47 2.7	425 24.3	208 11.9	421 24.1
地域	首都圏	869 100	449 51.7	99 11.4	60 6.9	63 7.2	41 4.7	42 4.8	37 4.3	54 6.2	26 3.0	208 23.9	102 11.7	178 20.5
	京阪神圏	880 100	417 47.4	90 10.2	39 4.4	51 5.8	29 3.3	35 4.0	37 4.2	48 5.5	21 2.4	217 24.7	106 12.0	243 27.6
年代	20代	291 100	134 46.0	41 14.1	27 9.3	34 11.7	27 9.3	18 6.2	23 7.9	23 7.9	16 5.5	76 26.1	28 9.6	52 17.9
	30代	296 100	144 48.6	41 13.9	19 6.4	26 8.8	10 3.4	16 5.4	12 4.1	25 8.4	7 2.4	79 26.7	24 8.1	61 20.6
	40代	293 100	152 51.9	39 13.3	10 3.4	17 5.8	15 5.1	14 4.8	7 2.4	18 6.1	5 1.7	67 22.9	23 7.8	72 24.6
	50代	290 100	157 54.1	29 10.0	21 7.2	14 4.8	11 3.8	15 5.2	16 5.5	12 4.1	8 2.8	66 22.8	41 14.1	72 24.8
	60代	287 100	142 49.5	21 7.3	11 3.8	7 2.4	4 1.4	6 2.1	5 1.7	9 3.1	4 1.4	62 21.6	38 13.2	83 28.9
	70代以上	292 100	137 46.9	18 6.2	11 3.8	16 5.5	3 1.0	8 2.7	11 3.8	15 5.1	7 2.4	75 25.7	54 18.5	81 27.7

Q12-2 あなたが下記の牛肉を家庭内で食べる料理について、あてはまるものをすべてお選びください。

【1. 国産和牛】

		度数 横%	全 体	焼き肉	すき焼き	ステーキ	肉じゃが	カレー	シチュー	丼物	炒め物	鍋・ しゃぶしゃぶ	その他の 牛肉料理
全 体			1608 100	924 57.5	1061 66.0	839 52.2	320 19.9	254 15.8	179 11.1	209 13.0	214 13.3	613 38.1	192 11.9
地域	首都圏		784 100	449 57.3	495 63.1	408 52.0	121 15.4	90 11.5	74 9.4	83 10.6	88 11.2	272 34.7	78 9.9
	京阪神圏		824 100	475 57.6	566 68.7	431 52.3	199 24.2	164 19.9	105 12.7	126 15.3	126 15.3	341 41.4	114 13.8
年代	20代		269 100	158 58.7	144 53.5	108 40.1	45 16.7	35 13.0	23 8.6	28 10.4	28 10.4	55 20.4	30 11.2
	30代		268 100	171 63.8	155 57.8	142 53.0	41 15.3	41 15.3	27 10.1	27 10.1	36 13.4	83 31.0	34 12.7
	40代		256 100	170 66.4	169 66.0	134 52.3	62 24.2	53 20.7	36 14.1	48 18.8	39 15.2	92 35.9	27 10.5
	50代		274 100	164 59.9	175 63.9	137 50.0	49 17.9	32 11.7	25 9.1	37 13.5	40 14.6	120 43.8	29 10.6
	60代		264 100	136 51.5	196 74.2	149 56.4	56 21.2	46 17.4	34 12.9	31 11.7	36 13.6	113 42.8	36 13.6
	70代以上		277 100	125 45.1	222 80.1	169 61.0	67 24.2	47 17.0	34 12.3	38 13.7	35 12.6	150 54.2	36 13.0

【2. 和牛以外の国産牛肉】

		度数 横%	全 体	焼き肉	すき焼き	ステーキ	肉じゃが	カレー	シチュー	丼物	炒め物	鍋・ しゃぶしゃぶ	その他の 牛肉料理
全 体			1553 100	831 53.5	719 46.3	527 33.9	682 43.9	584 37.6	428 27.6	465 29.9	533 34.3	488 31.4	320 20.6
地域	首都圏		766 100	410 53.5	360 47.0	274 35.8	280 36.6	229 29.9	171 22.3	200 26.1	234 30.5	234 30.5	141 18.4
	京阪神圏		787 100	421 53.5	359 45.6	253 32.1	402 51.1	355 45.1	257 32.7	265 33.7	299 38.0	254 32.3	179 22.7
年代	20代		269 100	137 50.9	116 43.1	94 34.9	96 35.7	82 30.5	54 20.1	76 28.3	70 26.0	71 26.4	42 15.6
	30代		264 100	157 59.5	133 50.4	104 39.4	91 34.5	84 31.8	58 22.0	65 24.6	82 31.1	88 33.3	45 17.0
	40代		246 100	138 56.1	113 45.9	86 35.0	97 39.4	85 34.6	60 24.4	62 25.2	75 30.5	83 33.7	46 18.7
	50代		261 100	154 59.0	113 43.3	86 33.0	116 44.4	99 37.9	77 29.5	78 29.9	96 36.8	91 34.9	46 17.6
	60代		254 100	123 48.4	120 47.2	76 29.9	119 46.9	111 43.7	79 31.1	74 29.1	101 39.8	69 27.2	50 19.7
	70代以上		259 100	122 47.1	124 47.9	81 31.3	163 62.9	123 47.5	100 38.6	110 42.5	109 42.1	86 33.2	91 35.1

【3. アメリカ産牛肉】

		度数 横%	全 体	焼き肉	すき焼き	ステーキ	肉じゃが	カレー	シチュー	丼物	炒め物	鍋・ しゃぶしゃぶ	その他の 牛肉料理
全 体			1268 100	560 44.2	228 18.0	532 42.0	383 30.2	511 40.3	384 30.3	339 26.7	447 35.3	170 13.4	271 21.4
地域	首都圏		666 100	315 47.3	125 18.8	294 44.1	188 28.2	251 37.7	197 29.6	177 26.6	232 34.8	93 14.0	127 19.1
	京阪神圏		602 100	245 40.7	103 17.1	238 39.5	195 32.4	260 43.2	187 31.1	162 26.9	215 35.7	77 12.8	144 23.9
年代	20代		236 100	93 39.4	49 20.8	93 39.4	64 27.1	82 34.7	57 24.2	56 23.7	70 29.7	39 16.5	46 19.5
	30代		225 100	104 46.2	50 22.2	103 45.8	73 32.4	82 36.4	64 28.4	57 25.3	75 33.3	37 16.4	50 22.2
	40代		217 100	98 45.2	46 21.2	94 43.3	62 28.6	81 37.3	62 28.6	61 28.1	78 35.9	27 12.4	40 18.4
	50代		203 100	100 49.3	32 15.8	90 44.3	45 22.2	84 41.4	62 30.5	45 22.2	78 38.4	22 10.8	31 15.3
	60代		192 100	83 43.2	21 10.9	81 42.2	68 35.4	82 42.7	62 32.3	54 28.1	73 38.0	18 9.4	39 20.3
	70代以上		195 100	82 42.1	30 15.4	71 36.4	71 36.4	100 51.3	77 39.5	66 33.8	73 37.4	27 13.8	65 33.3

【4. オーストラリア産牛肉】

		度数 横%	全 体	焼き肉	すき焼き	ステーキ	肉じゃが	カレー	シチュー	丼物	炒め物	鍋・ しゃぶしゃぶ	その他の 牛肉料理
全 体			1328 100	556 41.9	216 16.3	534 40.2	397 29.9	524 39.5	409 30.8	320 24.1	443 33.4	159 12.0	298 22.4
地域	首都圏		691 100	304 44.0	124 17.9	297 43.0	194 28.1	255 36.9	203 29.4	159 23.0	220 31.8	80 11.6	135 19.5
	京阪神圏		637 100	252 39.6	92 14.4	237 37.2	203 31.9	269 42.2	206 32.3	161 25.3	223 35.0	79 12.4	163 25.6
年代	20代		239 100	91 38.1	38 15.9	90 37.7	64 26.8	74 31.0	59 24.7	58 24.3	64 26.8	35 14.6	40 16.7
	30代		235 100	106 45.1	49 20.9	106 45.1	77 32.8	83 35.3	61 26.0	55 23.4	74 31.5	34 14.5	55 23.4
	40代		221 100	89 40.3	39 17.6	89 40.3	49 22.2	80 36.2	64 29.0	58 26.2	73 33.0	22 10.0	43 19.5
	50代		218 100	98 45.0	34 15.6	92 42.2	61 28.0	94 43.1	68 31.2	51 23.4	89 40.8	25 11.5	41 18.8
	60代		204 100	88 43.1	24 11.8	84 41.2	67 32.8	88 43.1	69 33.8	47 23.0	68 33.3	15 7.4	42 20.6
	70代以上		211 100	84 39.8	32 15.2	73 34.6	79 37.4	105 49.8	88 41.7	51 24.2	75 35.5	28 13.3	77 36.5

Q13 あなたが下記の牛肉に関する情報を得るために用いている情報源を全てお選びください。

度数横%	全体	マスメディア ／テレビのニュース・報道番組	／その他のテレビ番組	／ラジオ番組・CM	／新聞記事・広告	／雑誌記事・広告	アナログ媒体 ／交通広告・屋外広告	／書籍	／カタログ・通信販売（ギフトカタログ含む）
(1) 国産和牛	1800 100	264 14.7	134 7.4	78 4.3	143 7.9	84 4.7	49 2.7	48 2.7	92 5.1
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	249 13.8	119 6.6	69 3.8	122 6.8	71 3.9	43 2.4	40 2.2	63 3.5
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	254 14.1	110 6.1	66 3.7	133 7.4	67 3.7	42 2.3	35 1.9	46 2.6
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	244 13.6	118 6.6	60 3.3	128 7.1	74 4.1	43 2.4	40 2.2	50 2.8

度数横%	全体	行政・公的機関・制度等 ／行政 国・地方自治体	／学校や病院	／トレーサビリティ制度	／検査制度	インターネット ／インターネット・アプリのニュース記事やコラム	／インターネット通信販売（食品宅配サービス除く） ※Amazon、楽天等	／グルメ情報サイト ※ぐるなび、食べログ等	／料理・レシピ情報サイト ※クックパッド等
(1) 国産和牛	1800 100	57 3.2	36 2.0	51 2.8	50 2.8	94 5.2	59 3.3	96 5.3	141 7.8
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	51 2.8	36 2.0	45 2.5	58 3.2	91 5.1	63 3.5	88 4.9	132 7.3
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	49 2.7	33 1.8	44 2.4	57 3.2	92 5.1	51 2.8	70 3.9	115 6.4
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	45 2.5	30 1.7	42 2.3	48 2.7	87 4.8	36 2.0	68 3.8	121 6.7

度数横%	全体	インターネット ／食品メーカーのオフィシャルサイト	／銘柄牛、牛肉の産地、畜産農家等のオフィシャルサイト	／インターネット広告	／SNS ※Facebook、Twitter	／ブログ	／その他インターネットのサイト	店舗、人からの話、実体験 ／生協などの協同組合	／食品宅配サービス ※生協を除く
(1) 国産和牛	1800 100	59 3.3	80 4.4	59 3.3	49 2.7	39 2.2	53 2.9	88 4.9	32 1.8
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	49 2.7	55 3.1	55 3.1	48 2.7	37 2.1	46 2.6	87 4.8	45 2.5
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	45 2.5	45 2.5	59 3.3	40 2.2	32 1.8	46 2.6	63 3.5	31 1.7
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	44 2.4	40 2.2	47 2.6	39 2.2	19 1.1	39 2.2	69 3.8	35 1.9

度数横%	全体	店舗、人からの話、実体験 ／実際に家畜が育っている環境をみて	／産地体験・産地交流会等のイベント	／飲食店の店頭・店内やスタッフの話	／飲食店で実際に食して	／スーパーやデパートの店頭・店内やスタッフの話	／精肉店の店頭・店内やスタッフの話	／自宅で購入したものを食して	／ギフト等の贈り物を食して
(1) 国産和牛	1800 100	42 2.3	51 2.8	117 6.5	182 10.1	224 12.4	169 9.4	323 17.9	98 5.4
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	28 1.6	44 2.4	94 5.2	164 9.1	213 11.8	142 7.9	300 16.7	61 3.4
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	25 1.4	31 1.7	83 4.6	155 8.6	186 10.3	109 6.1	246 13.7	45 2.5
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	17 0.9	28 1.6	79 4.4	151 8.4	189 10.5	100 5.6	258 14.3	40 2.2

度数横%	全体	店舗、人からの話、実体験 ／家族や友人・知人の話	特にない
(1) 国産和牛	1800 100	156 8.7	800 44.4
(2) 和牛以外の国産牛肉	1800 100	144 8.0	832 46.2
(3) アメリカ産牛肉	1800 100	113 6.3	882 49.0
(4) オーストラリア産牛肉	1800 100	119 6.6	871 48.4

Q14 あなたは、輸入牛肉と比べ、どのくらいの価格レベルまでなら、国産和牛肉を選びますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

	度数 横%	全 体	4倍を超える	4倍高までな	3倍高までな	2倍高までな	8割高までな	5割高までな	2割高までな	同等の価格な	国産和牛肉
			価格でも国産 和牛肉を選ぶ	ら国産和牛肉 を選ぶ	ら国産和牛肉 を選ぶ	ら国産和牛肉 を選ぶ	ら国産和牛肉 を選ぶ	ら国産和牛肉 を選ぶ	ら国産和牛肉 を選ぶ	ら国産和牛肉 を選ぶ	ら国産和牛肉 を選ぶ
全 体		1800 100	82 4.6	35 1.9	125 6.9	289 16.1	43 2.4	147 8.2	392 21.8	360 20.0	327 18.2
地域	首都圏	900 100	28 3.1	12 1.3	57 6.3	140 15.6	21 2.3	82 9.1	208 23.1	174 19.3	178 19.8
		京阪神圏	900 100	54 6.0	23 2.6	68 7.6	149 16.6	22 2.4	75 7.2	184 20.4	186 20.7
年代	20代	300 100	13 4.3	11 3.7	30 10.0	38 12.7	11 3.7	12 4.0	65 21.7	58 19.3	62 20.7
	30代	300 100	9 3.0	6 2.0	14 4.7	42 14.0	9 3.0	17 5.7	82 27.3	65 21.7	56 18.7
	40代	300 100	7 2.3	4 1.3	15 5.0	52 17.3	7 2.3	27 9.0	59 19.7	69 23.0	60 20.0
	50代	300 100	16 5.3	4 1.3	16 5.3	46 15.3	2 0.7	26 8.7	69 23.0	69 23.0	52 17.3
	60代	300 100	19 6.3	4 1.3	21 7.0	48 16.0	5 1.7	28 9.3	61 20.3	55 18.3	59 19.7
	70代以上	300 100	18 6.0	6 2.0	29 9.7	63 21.0	9 3.0	37 12.3	56 18.7	44 14.7	38 12.7

Q15 あなたは、輸入牛肉と比べ、どのくらいの価格レベルまでなら、和牛以外の国産牛肉を選びますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

	度数 横%	全 体	2倍を超える	2倍高までな	8割高までな	6割高までな	4割高までな	2割高までな	1割高までな	同等の価格	国産への
			価格でも和牛 以外の国産 牛肉を選ぶ	ら和牛以外の 国産牛肉を 選ぶ	ら和牛以外の 国産牛肉を 選ぶ	ら和牛以外の 国産牛肉を 選ぶ	ら和牛以外の 国産牛肉を 選ぶ	ら和牛以外の 国産牛肉を 選ぶ	ら和牛以外の 国産牛肉を 選ぶ	ら和牛以外の 国産牛肉を 選ぶ	なら和牛以外 の国産牛肉 を選ぶ
全 体		1800 100	126 7.0	148 8.2	42 2.3	63 3.5	136 7.6	336 18.7	220 12.2	399 22.2	330 18.3
地域	首都圏	900 100	48 5.3	69 7.7	18 2.0	25 2.8	65 7.2	181 20.1	113 12.6	206 22.9	175 19.4
		京阪神圏	900 100	78 8.7	79 8.8	24 2.7	38 4.2	71 7.9	155 17.2	107 11.9	193 21.4
年代	20代	300 100	19 6.3	29 9.7	13 4.3	15 5.0	21 7.0	36 12.0	48 16.0	55 18.3	64 21.3
	30代	300 100	18 6.0	23 7.7	8 2.7	9 3.0	13 4.3	58 19.3	45 15.0	75 25.0	51 17.0
	40代	300 100	18 6.0	13 4.3	9 3.0	10 3.3	27 9.0	57 19.0	32 10.7	73 24.3	61 20.3
	50代	300 100	20 6.7	23 7.7	1 0.3	6 2.0	14 4.7	64 21.3	46 15.3	77 25.7	49 16.3
	60代	300 100	27 9.0	22 7.3	3 1.0	10 3.3	23 7.7	59 19.7	30 10.0	59 19.7	67 22.3
	70代以上	300 100	24 8.0	38 12.7	8 2.7	13 4.3	38 12.7	62 20.7	19 6.3	60 20.0	38 12.7

Q16 牛肉について伺います。下記の原産地の牛肉を購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 岩手県産】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	123 6.8	591 32.8	525 29.2	75 4.2	486 27.0
地域	首都圏	900 100	78 8.7	306 34.0	266 29.6	32 3.6	218 24.2
	京阪神圏	900 100	45 5.0	285 31.7	259 28.8	43 4.8	268 29.8
年代	20代	300 100	30 10.0	86 28.7	95 31.7	16 5.3	73 24.3
	30代	300 100	23 7.7	98 32.7	92 30.7	18 6.0	69 23.0
	40代	300 100	23 7.7	93 31.0	93 31.0	10 3.3	81 27.0
	50代	300 100	16 5.3	99 33.0	95 31.7	9 3.0	81 27.0
	60代	300 100	15 5.0	104 34.7	73 24.3	14 4.7	94 31.3
	70代以上	300 100	16 5.3	111 37.0	77 25.7	8 2.7	88 29.3

【2. 宮城県産】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	99 5.5	605 33.6	531 29.5	85 4.7	480 26.7
地域	首都圏	900 100	54 6.0	319 35.4	271 30.1	37 4.1	219 24.3
	京阪神圏	900 100	45 5.0	286 31.8	260 28.9	48 5.3	261 29.0
年代	20代	300 100	28 9.3	91 30.3	95 31.7	16 5.3	70 23.3
	30代	300 100	20 6.7	100 33.3	93 31.0	20 6.7	67 22.3
	40代	300 100	18 6.0	102 34.0	89 29.7	13 4.3	78 26.0
	50代	300 100	10 3.3	98 32.7	103 34.3	13 4.3	76 25.3
	60代	300 100	12 4.0	103 34.3	77 25.7	13 4.3	95 31.7
	70代以上	300 100	11 3.7	111 37.0	74 24.7	10 3.3	94 31.3

【3. 栃木県産】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	83 4.6	586 32.6	566 31.4	79 4.4	486 27.0
地域	首都圏	900 100	52 5.8	301 33.4	294 32.7	31 3.4	222 24.7
	京阪神圏	900 100	31 3.4	285 31.7	272 30.2	48 5.3	264 29.3
年代	20代	300 100	22 7.3	90 30.0	104 34.7	14 4.7	70 23.3
	30代	300 100	17 5.7	102 34.0	94 31.3	18 6.0	69 23.0
	40代	300 100	16 5.3	95 31.7	101 33.7	8 2.7	80 26.7
	50代	300 100	8 2.7	95 31.7	104 34.7	14 4.7	79 26.3
	60代	300 100	14 4.7	97 32.3	79 26.3	16 5.3	94 31.3
	70代以上	300 100	6 2.0	107 35.7	84 28.0	9 3.0	94 31.3

【4. 福島県産】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	79 4.4	505 28.1	544 30.2	185 10.3	487 27.1
地域	首都圏	900 100	47 5.2	256 28.4	272 30.2	101 11.2	224 24.9
	京阪神圏	900 100	32 3.6	249 27.7	272 30.2	84 9.3	263 29.2
年代	20代	300 100	21 7.0	74 24.7	99 33.0	28 9.3	78 26.0
	30代	300 100	16 5.3	82 27.3	89 29.7	43 14.3	70 23.3
	40代	300 100	12 4.0	84 28.0	94 31.3	33 11.0	77 25.7
	50代	300 100	10 3.3	82 27.3	103 34.3	29 9.7	76 25.3
	60代	300 100	11 3.7	86 28.7	78 26.0	31 10.3	94 31.3
	70代以上	300 100	9 3.0	97 32.3	81 27.0	21 7.0	92 30.7

【5. 地元産】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	172 9.6	607 33.7	538 29.9	54 3.0	429 23.8
地域	首都圏	900 100	55 6.1	290 32.2	282 31.3	36 4.0	237 26.3
	京阪神圏	900 100	117 13.0	317 35.2	256 28.4	18 2.0	192 21.3
年代	20代	300 100	31 10.3	95 31.7	95 31.7	13 4.3	66 22.0
	30代	300 100	35 11.7	104 34.7	89 29.7	14 4.7	58 19.3
	40代	300 100	25 8.3	100 33.3	97 32.3	5 1.7	73 24.3
	50代	300 100	19 6.3	98 32.7	102 34.0	7 2.3	74 24.7
	60代	300 100	27 9.0	101 33.7	82 27.3	8 2.7	82 27.3
	70代以上	300 100	35 11.7	109 36.3	73 24.3	7 2.3	76 25.3

【6. それ以外の国内産地】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	99 5.5	565 31.4	662 36.8	65 3.6	409 22.7
地域	首都圏	900 100	48 5.3	281 31.2	336 37.3	35 3.9	200 22.2
	京阪神圏	900 100	51 5.7	284 31.6	326 36.2	30 3.3	209 23.2
年代	20代	300 100	22 7.3	81 27.0	113 37.7	14 4.7	70 23.3
	30代	300 100	21 7.0	99 33.0	105 35.0	14 4.7	61 20.3
	40代	300 100	16 5.3	99 33.0	108 36.0	10 3.3	67 22.3
	50代	300 100	14 4.7	84 28.0	122 40.7	5 1.7	75 25.0
	60代	300 100	14 4.7	98 32.7	105 35.0	9 3.0	74 24.7
	70代以上	300 100	12 4.0	104 34.7	109 36.3	13 4.3	62 20.7

【7. アメリカ】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	22 1.2	134 7.4	873 48.5	430 23.9	341 18.9
地域	首都圏	900 100	12 1.3	73 8.1	463 51.4	192 21.3	160 17.8
	京阪神圏	900 100	10 1.1	61 6.8	410 45.6	238 26.4	181 20.1
年代	20代	300 100	16 5.3	36 12.0	133 44.3	55 18.3	60 20.0
	30代	300 100	2 0.7	30 10.0	150 50.0	61 20.3	57 19.0
	40代	300 100	1 0.3	22 7.3	165 55.0	52 17.3	60 20.0
	50代	300 100	1 0.3	19 6.3	143 47.7	78 26.0	59 19.7
	60代	300 100	1 0.3	18 6.0	132 44.0	93 31.0	56 18.7
	70代以上	300 100	1 0.3	9 3.0	150 50.0	91 30.3	49 16.3

【8. オーストラリア】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	25 1.4	153 8.5	962 53.4	323 17.9	337 18.7
地域	首都圏	900 100	12 1.3	81 9.0	509 56.6	144 16.0	154 17.1
	京阪神圏	900 100	13 1.4	72 8.0	453 50.3	179 19.9	183 20.3
年代	20代	300 100	10 3.3	34 11.3	154 51.3	43 14.3	59 19.7
	30代	300 100	4 1.3	35 11.7	159 53.0	44 14.7	58 19.3
	40代	300 100	5 1.7	19 6.3	173 57.7	45 15.0	58 19.3
	50代	300 100	4 1.3	20 6.7	163 54.3	55 18.3	58 19.3
	60代	300 100	0 0.0	30 10.0	146 48.7	65 21.7	59 19.7
	70代以上	300 100	2 0.7	15 5.0	167 55.7	71 23.7	45 15.0

【9. ニュージーランド】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	19 1.1	133 7.4	847 47.1	392 21.8	409 22.7
地域	首都圏	900 100	11 1.2	74 8.2	445 49.4	179 19.9	191 21.2
	京阪神圏	900 100	8 0.9	59 6.6	402 44.7	213 23.7	218 24.2
年代	20代	300 100	12 4.0	31 10.3	131 43.7	58 19.3	68 22.7
	30代	300 100	3 1.0	26 8.7	143 47.7	61 20.3	67 22.3
	40代	300 100	1 0.3	22 7.3	156 52.0	56 18.7	65 21.7
	50代	300 100	2 0.7	17 5.7	146 48.7	63 21.0	72 24.0
	60代	300 100	0 0.0	24 8.0	128 42.7	75 25.0	73 24.3
	70代以上	300 100	1 0.3	13 4.3	143 47.7	79 26.3	64 21.3

【10. メキシコ】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	18 1.0	79 4.4	523 29.1	666 37.0	514 28.6
地域	首都圏	900 100	10 1.1	44 4.9	277 30.8	329 36.6	240 26.7
	京阪神圏	900 100	8 0.9	35 3.9	246 27.3	337 37.4	274 30.4
年代	20代	300 100	9 3.0	27 9.0	100 33.3	88 29.3	76 25.3
	30代	300 100	2 0.7	19 6.3	102 34.0	99 33.0	78 26.0
	40代	300 100	3 1.0	12 4.0	108 36.0	98 32.7	79 26.3
	50代	300 100	0 0.0	7 2.3	81 27.0	121 40.3	91 30.3
	60代	300 100	1 0.3	7 2.3	69 23.0	125 41.7	98 32.7
	70代以上	300 100	3 1.0	7 2.3	63 21.0	135 45.0	92 30.7

Q17 豚肉について伺います。下記の原産地の豚肉を購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 岩手県産】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	109 6.1	662 36.8	541 30.1	70 3.9	418 23.2
地域	首都圏	900 100	63 7.0	357 39.7	263 29.2	33 3.7	184 20.4
	京阪神圏	900 100	46 5.1	305 33.9	278 30.9	37 4.1	234 26.0
年代	20代	300 100	30 10.0	96 32.0	94 31.3	14 4.7	66 22.0
	30代	300 100	18 6.0	117 39.0	97 32.3	13 4.3	55 18.3
	40代	300 100	20 6.7	105 35.0	96 32.0	10 3.3	69 23.0
	50代	300 100	17 5.7	110 36.7	93 31.0	13 4.3	67 22.3
	60代	300 100	11 3.7	112 37.3	84 28.0	14 4.7	79 26.3
	70代以上	300 100	13 4.3	122 40.7	77 25.7	6 2.0	82 27.3

【2. 宮城県産】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	99 5.5	670 37.2	540 30.0	78 4.3	413 22.9
地域	首都圏	900 100	55 6.1	359 39.9	270 30.0	34 3.8	182 20.2
	京阪神圏	900 100	44 4.9	311 34.6	270 30.0	44 4.9	231 25.7
年代	20代	300 100	27 9.0	106 35.3	86 28.7	14 4.7	67 22.3
	30代	300 100	19 6.3	115 38.3	97 32.3	17 5.7	52 17.3
	40代	300 100	16 5.3	110 36.7	94 31.3	13 4.3	67 22.3
	50代	300 100	14 4.7	109 36.3	97 32.3	13 4.3	67 22.3
	60代	300 100	11 3.7	110 36.7	87 29.0	14 4.7	78 26.0
	70代以上	300 100	12 4.0	120 40.0	79 26.3	7 2.3	82 27.3

【3. 栃木県産】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	91 5.1	653 36.3	568 31.6	73 4.1	415 23.1
地域	首都圏		900 100	53 5.9	352 39.1	279 31.0	30 3.3	186 20.7
	京阪神圏		900 100	38 4.2	301 33.4	289 32.1	43 4.8	229 25.4
年代	20代		300 100	29 9.7	97 32.3	99 33.0	12 4.0	63 21.0
	30代		300 100	16 5.3	114 38.0	102 34.0	13 4.3	55 18.3
	40代		300 100	16 5.3	102 34.0	105 35.0	10 3.3	67 22.3
	50代		300 100	11 3.7	107 35.7	99 33.0	15 5.0	68 22.7
	60代		300 100	9 3.0	110 36.7	88 29.3	15 5.0	78 26.0
	70代以上		300 100	10 3.3	123 41.0	75 25.0	8 2.7	84 28.0

【4. 福島県産】

		度数 横%	全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体			1800 100	72 4.0	580 32.2	556 30.9	176 9.8	416 23.1
地域	首都圏		900 100	42 4.7	303 33.7	278 30.9	90 10.0	187 20.8
	京阪神圏		900 100	30 3.3	277 30.8	278 30.9	86 9.6	229 25.4
年代	20代		300 100	20 6.7	87 29.0	99 33.0	27 9.0	67 22.3
	30代		300 100	12 4.0	101 33.7	93 31.0	39 13.0	55 18.3
	40代		300 100	13 4.3	91 30.3	96 32.0	33 11.0	67 22.3
	50代		300 100	11 3.7	88 29.3	104 34.7	31 10.3	66 22.0
	60代		300 100	10 3.3	94 31.3	89 29.7	31 10.3	76 25.3
	70代以上		300 100	6 2.0	119 39.7	75 25.0	15 5.0	85 28.3

【5. 地元産】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	133 7.4	703 39.1	551 30.6	51 2.8	362 20.1
地域	首都圏	900 100	48 5.3	351 39.0	277 30.8	31 3.4	193 21.4
	京阪神圏	900 100	85 9.4	352 39.1	274 30.4	20 2.2	169 18.8
年代	20代	300 100	29 9.7	101 33.7	96 32.0	13 4.3	61 20.3
	30代	300 100	21 7.0	127 42.3	97 32.3	8 2.7	47 15.7
	40代	300 100	23 7.7	109 36.3	103 34.3	7 2.3	58 19.3
	50代	300 100	16 5.3	107 35.7	103 34.3	12 4.0	62 20.7
	60代	300 100	24 8.0	121 40.3	83 27.7	8 2.7	64 21.3
	70代以上	300 100	20 6.7	138 46.0	69 23.0	3 1.0	70 23.3

【6. それ以外の国内産地】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	88 4.9	668 37.1	644 35.8	46 2.6	354 19.7
地域	首都圏	900 100	46 5.1	334 37.1	323 35.9	26 2.9	171 19.0
	京阪神圏	900 100	42 4.7	334 37.1	321 35.7	20 2.2	183 20.3
年代	20代	300 100	28 9.3	82 27.3	114 38.0	13 4.3	63 21.0
	30代	300 100	13 4.3	124 41.3	106 35.3	8 2.7	49 16.3
	40代	300 100	13 4.3	118 39.3	108 36.0	6 2.0	55 18.3
	50代	300 100	14 4.7	105 35.0	113 37.7	7 2.3	61 20.3
	60代	300 100	11 3.7	115 38.3	101 33.7	6 2.0	67 22.3
	70代以上	300 100	9 3.0	124 41.3	102 34.0	6 2.0	59 19.7

【7. アメリカ】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	16 0.9	136 7.6	810 45.0	460 25.6	378 21.0
地域	首都圏	900 100	8 0.9	78 8.7	434 48.2	205 22.8	175 19.4
	京阪神圏	900 100	8 0.9	58 6.4	376 41.8	255 28.3	203 22.6
年代	20代	300 100	12 4.0	36 12.0	136 45.3	53 17.7	63 21.0
	30代	300 100	2 0.7	32 10.7	138 46.0	68 22.7	60 20.0
	40代	300 100	1 0.3	19 6.3	153 51.0	63 21.0	64 21.3
	50代	300 100	0 0.0	17 5.7	132 44.0	87 29.0	64 21.3
	60代	300 100	0 0.0	15 5.0	123 41.0	95 31.7	67 22.3
	70代以上	300 100	1 0.3	17 5.7	128 42.7	94 31.3	60 20.0

【8. カナダ】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	13 0.7	144 8.0	799 44.4	432 24.0	412 22.9
地域	首都圏	900 100	8 0.9	81 9.0	432 48.0	194 21.6	185 20.6
	京阪神圏	900 100	5 0.6	63 7.0	367 40.8	238 26.4	227 25.2
年代	20代	300 100	7 2.3	44 14.7	124 41.3	57 19.0	68 22.7
	30代	300 100	4 1.3	27 9.0	145 48.3	62 20.7	62 20.7
	40代	300 100	0 0.0	20 6.7	151 50.3	60 20.0	69 23.0
	50代	300 100	1 0.3	19 6.3	125 41.7	86 28.7	69 23.0
	60代	300 100	0 0.0	17 5.7	127 42.3	87 29.0	69 23.0
	70代以上	300 100	1 0.3	17 5.7	127 42.3	80 26.7	75 25.0

【9. メキシコ】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	16 0.9	103 5.7	541 30.1	629 34.9	511 28.4
地域	首都圏	900 100	10 1.1	58 6.4	286 31.8	305 33.9	241 26.8
	京阪神圏	900 100	6 0.7	45 5.0	255 28.3	324 36.0	270 30.0
年代	20代	300 100	10 3.3	34 11.3	102 34.0	78 26.0	76 25.3
	30代	300 100	2 0.7	25 8.3	102 34.0	94 31.3	77 25.7
	40代	300 100	2 0.7	15 5.0	112 37.3	91 30.3	80 26.7
	50代	300 100	1 0.3	7 2.3	83 27.7	120 40.0	89 29.7
	60代	300 100	1 0.3	10 3.3	75 25.0	123 41.0	91 30.3
	70代以上	300 100	0 0.0	12 4.0	67 22.3	123 41.0	98 32.7

【10. チリ】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	15 0.8	97 5.4	533 29.6	626 34.8	529 29.4
地域	首都圏	900 100	7 0.8	54 6.0	285 31.7	305 33.9	249 27.7
	京阪神圏	900 100	8 0.9	43 4.8	248 27.6	321 35.7	280 31.1
年代	20代	300 100	8 2.7	34 11.3	102 34.0	74 24.7	82 27.3
	30代	300 100	2 0.7	19 6.3	104 34.7	96 32.0	79 26.3
	40代	300 100	2 0.7	19 6.3	107 35.7	91 30.3	81 27.0
	50代	300 100	1 0.3	10 3.3	77 25.7	119 39.7	93 31.0
	60代	300 100	1 0.3	8 2.7	77 25.7	122 40.7	92 30.7
	70代以上	300 100	1 0.3	7 2.3	66 22.0	124 41.3	102 34.0

【11. スペイン】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	24 1.3	134 7.4	621 34.5	533 29.6	488 27.1
地域	首都圏	900 100	11 1.2	82 9.1	333 37.0	249 27.7	225 25.0
	京阪神圏	900 100	13 1.4	52 5.8	288 32.0	284 31.6	263 29.2
年代	20代	300 100	6 2.0	38 12.7	119 39.7	62 20.7	75 25.0
	30代	300 100	5 1.7	25 8.3	115 38.3	86 28.7	69 23.0
	40代	300 100	5 1.7	18 6.0	122 40.7	73 24.3	82 27.3
	50代	300 100	5 1.7	16 5.3	98 32.7	97 32.3	84 28.0
	60代	300 100	3 1.0	18 6.0	85 28.3	107 35.7	87 29.0
	70代以上	300 100	0 0.0	19 6.3	82 27.3	108 36.0	91 30.3

【12. デンマーク】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	17 0.9	134 7.4	635 35.3	505 28.1	509 28.3
地域	首都圏	900 100	11 1.2	70 7.8	348 38.7	237 26.3	234 26.0
	京阪神圏	900 100	6 0.7	64 7.1	287 31.9	268 29.8	275 30.6
年代	20代	300 100	12 4.0	39 13.0	104 34.7	65 21.7	80 26.7
	30代	300 100	3 1.0	25 8.3	117 39.0	80 26.7	75 25.0
	40代	300 100	1 0.3	21 7.0	121 40.3	75 25.0	82 27.3
	50代	300 100	0 0.0	19 6.3	100 33.3	96 32.0	85 28.3
	60代	300 100	0 0.0	17 5.7	96 32.0	95 31.7	92 30.7
	70代以上	300 100	1 0.3	13 4.3	97 32.3	94 31.3	95 31.7

Q18 鶏肉について伺います。下記の原産地の鶏肉を購入したいと思いますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

【1. 岩手県産】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	122 6.8	671 37.3	529 29.4	96 5.3	382 21.2
地域	首都圏	900 100	73 8.1	364 40.4	263 29.2	37 4.1	163 18.1
	京阪神圏	900 100	49 5.4	307 34.1	266 29.6	59 6.6	219 24.3
年代	20代	300 100	34 11.3	94 31.3	99 33.0	11 3.7	62 20.7
	30代	300 100	22 7.3	119 39.7	100 33.3	14 4.7	45 15.0
	40代	300 100	22 7.3	115 38.3	91 30.3	10 3.3	62 20.7
	50代	300 100	21 7.0	112 37.3	91 30.3	14 4.7	62 20.7
	60代	300 100	12 4.0	114 38.0	77 25.7	23 7.7	74 24.7
	70代以上	300 100	11 3.7	117 39.0	71 23.7	24 8.0	77 25.7

【2. 宮城県産】

度数横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	108 6.0	673 37.4	540 30.0	107 5.9	372 20.7
地域	首都圏	900 100	55 6.1	375 41.7	266 29.6	44 4.9	160 17.8
	京阪神圏	900 100	53 5.9	298 33.1	274 30.4	63 7.0	212 23.6
年代	20代	300 100	27 9.0	96 32.0	102 34.0	14 4.7	61 20.3
	30代	300 100	20 6.7	118 39.3	102 34.0	14 4.7	46 15.3
	40代	300 100	19 6.3	115 38.3	94 31.3	14 4.7	58 19.3
	50代	300 100	17 5.7	115 38.3	90 30.0	15 5.0	63 21.0
	60代	300 100	12 4.0	116 38.7	78 26.0	24 8.0	70 23.3
	70代以上	300 100	13 4.3	113 37.7	74 24.7	26 8.7	74 24.7

【3. 栃木県産】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	87 4.8	674 37.4	550 30.6	102 5.7	387 21.5
地域	首都圏	900 100	49 5.4	359 39.9	282 31.3	36 4.0	174 19.3
	京阪神圏	900 100	38 4.2	315 35.0	268 29.8	66 7.3	213 23.7
年代	20代	300 100	24 8.0	100 33.3	102 34.0	11 3.7	63 21.0
	30代	300 100	15 5.0	124 41.3	101 33.7	12 4.0	48 16.0
	40代	300 100	14 4.7	116 38.7	96 32.0	12 4.0	62 20.7
	50代	300 100	13 4.3	109 36.3	97 32.3	16 5.3	65 21.7
	60代	300 100	10 3.3	113 37.7	78 26.0	26 8.7	73 24.3
	70代以上	300 100	11 3.7	112 37.3	76 25.3	25 8.3	76 25.3

【4. 福島県産】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	79 4.4	607 33.7	523 29.1	202 11.2	389 21.6
地域	首都圏	900 100	45 5.0	320 35.6	259 28.8	98 10.9	178 19.8
	京阪神圏	900 100	34 3.8	287 31.9	264 29.3	104 11.6	211 23.4
年代	20代	300 100	18 6.0	96 32.0	95 31.7	24 8.0	67 22.3
	30代	300 100	15 5.0	105 35.0	95 31.7	37 12.3	48 16.0
	40代	300 100	15 5.0	101 33.7	90 30.0	33 11.0	61 20.3
	50代	300 100	12 4.0	96 32.0	95 31.7	35 11.7	62 20.7
	60代	300 100	11 3.7	102 34.0	72 24.0	43 14.3	72 24.0
	70代以上	300 100	8 2.7	107 35.7	76 25.3	30 10.0	79 26.3

【5. 地元産】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	143 7.9	729 40.5	539 29.9	65 3.6	324 18.0
地域	首都圏	900 100	57 6.3	369 41.0	271 30.1	32 3.6	171 19.0
	京阪神圏	900 100	86 9.6	360 40.0	268 29.8	33 3.7	153 17.0
年代	20代	300 100	28 9.3	109 36.3	96 32.0	13 4.3	54 18.0
	30代	300 100	27 9.0	126 42.0	102 34.0	6 2.0	39 13.0
	40代	300 100	30 10.0	111 37.0	99 33.0	5 1.7	55 18.3
	50代	300 100	15 5.0	119 39.7	97 32.3	9 3.0	60 20.0
	60代	300 100	18 6.0	130 43.3	78 26.0	16 5.3	58 19.3
	70代以上	300 100	25 8.3	134 44.7	67 22.3	16 5.3	58 19.3

【6. それ以外の国内産地】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	75 4.2	673 37.4	634 35.2	87 4.8	331 18.4
地域	首都圏	900 100	36 4.0	326 36.2	327 36.3	49 5.4	162 18.0
	京阪神圏	900 100	39 4.3	347 38.6	307 34.1	38 4.2	169 18.8
年代	20代	300 100	21 7.0	93 31.0	112 37.3	13 4.3	61 20.3
	30代	300 100	11 3.7	122 40.7	111 37.0	13 4.3	43 14.3
	40代	300 100	13 4.3	117 39.0	111 37.0	12 4.0	47 15.7
	50代	300 100	11 3.7	106 35.3	107 35.7	12 4.0	64 21.3
	60代	300 100	10 3.3	117 39.0	92 30.7	20 6.7	61 20.3
	70代以上	300 100	9 3.0	118 39.3	101 33.7	17 5.7	55 18.3

【7. アメリカ】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	15 0.8	127 7.1	704 39.1	545 30.3	409 22.7
地域	首都圏	900 100	10 1.1	64 7.1	387 43.0	243 27.0	196 21.8
	京阪神圏	900 100	5 0.6	63 7.0	317 35.2	302 33.6	213 23.7
年代	20代	300 100	11 3.7	43 14.3	116 38.7	64 21.3	66 22.0
	30代	300 100	2 0.7	30 10.0	130 43.3	78 26.0	60 20.0
	40代	300 100	1 0.3	15 5.0	141 47.0	80 26.7	63 21.0
	50代	300 100	0 0.0	15 5.0	118 39.3	96 32.0	71 23.7
	60代	300 100	1 0.3	11 3.7	100 33.3	116 38.7	72 24.0
	70代以上	300 100	0 0.0	13 4.3	99 33.0	111 37.0	77 25.7

【8. ブラジル】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	11 0.6	100 5.6	587 32.6	690 38.3	412 22.9
地域	首都圏	900 100	5 0.6	57 6.3	317 35.2	323 35.9	198 22.0
	京阪神圏	900 100	6 0.7	43 4.8	270 30.0	367 40.8	214 23.8
年代	20代	300 100	6 2.0	36 12.0	107 35.7	83 27.7	68 22.7
	30代	300 100	1 0.3	24 8.0	115 38.3	99 33.0	61 20.3
	40代	300 100	3 1.0	13 4.3	115 38.3	109 36.3	60 20.0
	50代	300 100	1 0.3	8 2.7	95 31.7	127 42.3	69 23.0
	60代	300 100	0 0.0	9 3.0	79 26.3	134 44.7	78 26.0
	70代以上	300 100	0 0.0	10 3.3	76 25.3	138 46.0	76 25.3

【9. 中国】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	15 0.8	69 3.8	339 18.8	989 54.9	388 21.6
地域	首都圏	900 100	9 1.0	39 4.3	188 20.9	480 53.3	184 20.4
	京阪神圏	900 100	6 0.7	30 3.3	151 16.8	509 56.6	204 22.7
年代	20代	300 100	9 3.0	26 8.7	77 25.7	123 41.0	65 21.7
	30代	300 100	2 0.7	17 5.7	72 24.0	148 49.3	61 20.3
	40代	300 100	2 0.7	12 4.0	74 24.7	159 53.0	53 17.7
	50代	300 100	1 0.3	3 1.0	50 16.7	180 60.0	66 22.0
	60代	300 100	1 0.3	6 2.0	25 8.3	193 64.3	75 25.0
	70代以上	300 100	0 0.0	5 1.7	41 13.7	186 62.0	68 22.7

【10. タイ】

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同程度 の価格ならば 購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	13 0.7	89 4.9	517 28.7	742 41.2	439 24.4
地域	首都圏	900 100	6 0.7	50 5.6	281 31.2	359 39.9	204 22.7
	京阪神圏	900 100	7 0.8	39 4.3	236 26.2	383 42.6	235 26.1
年代	20代	300 100	7 2.3	35 11.7	98 32.7	90 30.0	70 23.3
	30代	300 100	3 1.0	17 5.7	100 33.3	115 38.3	65 21.7
	40代	300 100	0 0.0	16 5.3	101 33.7	114 38.0	69 23.0
	50代	300 100	1 0.3	6 2.0	83 27.7	136 45.3	74 24.7
	60代	300 100	1 0.3	9 3.0	64 21.3	142 47.3	84 28.0
	70代以上	300 100	1 0.3	6 2.0	71 23.7	145 48.3	77 25.7

Q19 あなたは下記の各食品の安全性について不安を感じますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 米】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	62 3.4	182 10.1	525 29.2	525 29.2	506 28.1
地域	首都圏		900 100	30 3.3	76 8.4	258 28.7	264 29.3	272 30.2
	京阪神圏		900 100	32 3.6	106 11.8	267 29.7	261 29.0	234 26.0
年代	20代		300 100	17 5.7	33 11.0	76 25.3	78 26.0	96 32.0
	30代		300 100	7 2.3	36 12.0	110 36.7	84 28.0	63 21.0
	40代		300 100	12 4.0	28 9.3	100 33.3	77 25.7	83 27.7
	50代		300 100	11 3.7	43 14.3	81 27.0	96 32.0	69 23.0
	60代		300 100	9 3.0	22 7.3	80 26.7	95 31.7	94 31.3
	70代以上		300 100	6 2.0	20 6.7	78 26.0	95 31.7	101 33.7

【2. 野菜】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	60 3.3	295 16.4	553 30.7	515 28.6	377 20.9
地域	首都圏		900 100	28 3.1	138 15.3	267 29.7	261 29.0	206 22.9
	京阪神圏		900 100	32 3.6	157 17.4	286 31.8	254 28.2	171 19.0
年代	20代		300 100	11 3.7	66 22.0	80 26.7	75 25.0	68 22.7
	30代		300 100	14 4.7	63 21.0	96 32.0	82 27.3	45 15.0
	40代		300 100	11 3.7	45 15.0	110 36.7	79 26.3	55 18.3
	50代		300 100	10 3.3	59 19.7	93 31.0	91 30.3	47 15.7
	60代		300 100	8 2.7	31 10.3	90 30.0	91 30.3	80 26.7
	70代以上		300 100	6 2.0	31 10.3	84 28.0	97 32.3	82 27.3

【3. 果物】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	53 2.9	230 12.8	597 33.2	529 29.4	391 21.7
地域	首都圏		900 100	28 3.1	101 11.2	297 33.0	262 29.1	212 23.6
	京阪神圏		900 100	25 2.8	129 14.3	300 33.3	267 29.7	179 19.9
年代	20代		300 100	12 4.0	43 14.3	90 30.0	81 27.0	74 24.7
	30代		300 100	10 3.3	54 18.0	108 36.0	84 28.0	44 14.7
	40代		300 100	10 3.3	33 11.0	122 40.7	80 26.7	55 18.3
	50代		300 100	10 3.3	47 15.7	104 34.7	88 29.3	51 17.0
	60代		300 100	6 2.0	31 10.3	89 29.7	95 31.7	79 26.3
	70代以上		300 100	5 1.7	22 7.3	84 28.0	101 33.7	88 29.3

【4. 魚介】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	95 5.3	343 19.1	577 32.1	483 26.8	302 16.8
地域	首都圏		900 100	53 5.9	147 16.3	291 32.3	243 27.0	166 18.4
	京阪神圏		900 100	42 4.7	196 21.8	286 31.8	240 26.7	136 15.1
年代	20代		300 100	21 7.0	81 27.0	84 28.0	64 21.3	50 16.7
	30代		300 100	26 8.7	70 23.3	98 32.7	79 26.3	27 9.0
	40代		300 100	18 6.0	46 15.3	109 36.3	78 26.0	49 16.3
	50代		300 100	15 5.0	68 22.7	99 33.0	75 25.0	43 14.3
	60代		300 100	8 2.7	45 15.0	93 31.0	88 29.3	66 22.0
	70代以上		300 100	7 2.3	33 11.0	94 31.3	99 33.0	67 22.3

【5. 牛肉】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	69 3.8	310 17.2	626 34.8	483 26.8	312 17.3
地域	首都圏		900 100	42 4.7	138 15.3	318 35.3	240 26.7	162 18.0
	京阪神圏		900 100	27 3.0	172 19.1	308 34.2	243 27.0	150 16.7
年代	20代		300 100	14 4.7	61 20.3	99 33.0	73 24.3	53 17.7
	30代		300 100	14 4.7	67 22.3	114 38.0	72 24.0	33 11.0
	40代		300 100	12 4.0	44 14.7	111 37.0	80 26.7	53 17.7
	50代		300 100	14 4.7	66 22.0	104 34.7	74 24.7	42 14.0
	60代		300 100	9 3.0	40 13.3	100 33.3	87 29.0	64 21.3
	70代以上		300 100	6 2.0	32 10.7	98 32.7	97 32.3	67 22.3

【6. 豚肉】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	58 3.2	301 16.7	642 35.7	493 27.4	306 17.0
地域	首都圏		900 100	34 3.8	126 14.0	323 35.9	253 28.1	164 18.2
	京阪神圏		900 100	24 2.7	175 19.4	319 35.4	240 26.7	142 15.8
年代	20代		300 100	10 3.3	67 22.3	102 34.0	69 23.0	52 17.3
	30代		300 100	12 4.0	65 21.7	119 39.7	71 23.7	33 11.0
	40代		300 100	10 3.3	44 14.7	114 38.0	78 26.0	54 18.0
	50代		300 100	14 4.7	58 19.3	103 34.3	85 28.3	40 13.3
	60代		300 100	6 2.0	32 10.7	107 35.7	91 30.3	64 21.3
	70代以上		300 100	6 2.0	35 11.7	97 32.3	99 33.0	63 21.0

【7. 鶏肉】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	78 4.3	306 17.0	649 36.1	466 25.9	301 16.7
地域	首都圏		900 100	38 4.2	137 15.2	326 36.2	240 26.7	159 17.7
	京阪神圏		900 100	40 4.4	169 18.8	323 35.9	226 25.1	142 15.8
年代	20代		300 100	17 5.7	65 21.7	95 31.7	69 23.0	54 18.0
	30代		300 100	12 4.0	64 21.3	127 42.3	66 22.0	31 10.3
	40代		300 100	11 3.7	43 14.3	118 39.3	74 24.7	54 18.0
	50代		300 100	18 6.0	60 20.0	103 34.3	80 26.7	39 13.0
	60代		300 100	11 3.7	36 12.0	110 36.7	80 26.7	63 21.0
	70代以上		300 100	9 3.0	38 12.7	96 32.0	97 32.3	60 20.0

【8. 卵】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	53 2.9	235 13.1	580 32.2	538 29.9	394 21.9
地域	首都圏		900 100	28 3.1	106 11.8	286 31.8	268 29.8	212 23.6
	京阪神圏		900 100	25 2.8	129 14.3	294 32.7	270 30.0	182 20.2
年代	20代		300 100	11 3.7	52 17.3	92 30.7	79 26.3	66 22.0
	30代		300 100	10 3.3	46 15.3	114 38.0	86 28.7	44 14.7
	40代		300 100	8 2.7	35 11.7	110 36.7	80 26.7	67 22.3
	50代		300 100	10 3.3	55 18.3	93 31.0	85 28.3	57 19.0
	60代		300 100	7 2.3	21 7.0	86 28.7	112 37.3	74 24.7
	70代以上		300 100	7 2.3	26 8.7	85 28.3	96 32.0	86 28.7

【9. 牛乳】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	52 2.9	208 11.6	586 32.6	546 30.3	408 22.7
地域	首都圏		900 100	27 3.0	99 11.0	288 32.0	268 29.8	218 24.2
	京阪神圏		900 100	25 2.8	109 12.1	298 33.1	278 30.9	190 21.1
年代	20代		300 100	10 3.3	41 13.7	86 28.7	89 29.7	74 24.7
	30代		300 100	11 3.7	44 14.7	119 39.7	80 26.7	46 15.3
	40代		300 100	6 2.0	33 11.0	111 37.0	85 28.3	65 21.7
	50代		300 100	9 3.0	47 15.7	100 33.3	86 28.7	58 19.3
	60代		300 100	10 3.3	20 6.7	84 28.0	107 35.7	79 26.3
	70代以上		300 100	6 2.0	23 7.7	86 28.7	99 33.0	86 28.7

【10. 食肉加工品】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	151 8.4	404 22.4	630 35.0	361 20.1	254 14.1
地域	首都圏		900 100	77 8.6	184 20.4	325 36.1	171 19.0	143 15.9
	京阪神圏		900 100	74 8.2	220 24.4	305 33.9	190 21.1	111 12.3
年代	20代		300 100	29 9.7	74 24.7	91 30.3	57 19.0	49 16.3
	30代		300 100	29 9.7	75 25.0	111 37.0	59 19.7	26 8.7
	40代		300 100	22 7.3	68 22.7	117 39.0	48 16.0	45 15.0
	50代		300 100	29 9.7	81 27.0	107 35.7	52 17.3	31 10.3
	60代		300 100	20 6.7	56 18.7	102 34.0	65 21.7	57 19.0
	70代以上		300 100	22 7.3	50 16.7	102 34.0	80 26.7	46 15.3

【11. 乳製品】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	53 2.9	211 11.7	660 36.7	536 29.8	340 18.9
地域	首都圏		900 100	27 3.0	97 10.8	323 35.9	266 29.6	187 20.8
	京阪神圏		900 100	26 2.9	114 12.7	337 37.4	270 30.0	153 17.0
年代	20代		300 100	9 3.0	44 14.7	93 31.0	89 29.7	65 21.7
	30代		300 100	7 2.3	40 13.3	127 42.3	87 29.0	39 13.0
	40代		300 100	9 3.0	32 10.7	124 41.3	78 26.0	57 19.0
	50代		300 100	10 3.3	45 15.0	128 42.7	76 25.3	41 13.7
	60代		300 100	8 2.7	22 7.3	93 31.0	109 36.3	68 22.7
	70代以上		300 100	10 3.3	28 9.3	95 31.7	97 32.3	70 23.3

【12. 冷凍食品】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	108 6.0	328 18.2	642 35.7	427 23.7	295 16.4
地域	首都圏		900 100	55 6.1	159 17.7	323 35.9	204 22.7	159 17.7
	京阪神圏		900 100	53 5.9	169 18.8	319 35.4	223 24.8	136 15.1
年代	20代		300 100	16 5.3	61 20.3	90 30.0	71 23.7	62 20.7
	30代		300 100	19 6.3	57 19.0	124 41.3	70 23.3	30 10.0
	40代		300 100	21 7.0	52 17.3	115 38.3	67 22.3	45 15.0
	50代		300 100	28 9.3	64 21.3	109 36.3	64 21.3	35 11.7
	60代		300 100	14 4.7	50 16.7	97 32.3	75 25.0	64 21.3
	70代以上		300 100	10 3.3	44 14.7	107 35.7	80 26.7	59 19.7

【13. ファストフード】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	226 12.6	439 24.4	600 33.3	326 18.1	209 11.6
地域	首都圏		900 100	120 13.3	207 23.0	288 32.0	165 18.3	120 13.3
	京阪神圏		900 100	106 11.8	232 25.8	312 34.7	161 17.9	89 9.9
年代	20代		300 100	37 12.3	78 26.0	89 29.7	50 16.7	46 15.3
	30代		300 100	46 15.3	77 25.7	111 37.0	46 15.3	20 6.7
	40代		300 100	42 14.0	69 23.0	106 35.3	46 15.3	37 12.3
	50代		300 100	45 15.0	82 27.3	93 31.0	54 18.0	26 8.7
	60代		300 100	31 10.3	66 22.0	100 33.3	62 20.7	41 13.7
	70代以上		300 100	25 8.3	67 22.3	101 33.7	68 22.7	39 13.0

【14. 菓子類】

		度数 横%	全 体	不安を感じる	どちらかといえば 不安を感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じない	不安を感じない
全 体			1800 100	87 4.8	295 16.4	681 37.8	414 23.0	323 17.9
地域	首都圏		900 100	42 4.7	155 17.2	331 36.8	201 22.3	171 19.0
	京阪神圏		900 100	45 5.0	140 15.6	350 38.9	213 23.7	152 16.9
年代	20代		300 100	18 6.0	62 20.7	96 32.0	63 21.0	61 20.3
	30代		300 100	18 6.0	58 19.3	118 39.3	69 23.0	37 12.3
	40代		300 100	16 5.3	51 17.0	112 37.3	71 23.7	50 16.7
	50代		300 100	16 5.3	58 19.3	123 41.0	64 21.3	39 13.0
	60代		300 100	10 3.3	36 12.0	118 39.3	72 24.0	64 21.3
	70代以上		300 100	9 3.0	30 10.0	114 38.0	75 25.0	72 24.0

Q23 次にあげる食肉の安全性の問題について、あなたはどの程度関心がありますか。それぞれの事項について、最もあてはまるものを1つお選びください。

【1. 食肉中の残留抗生物質】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	308 17.1	615 34.2	511 28.4	258 14.3	108 6.0
地域	首都圏		900 100	147 16.3	311 34.6	254 28.2	130 14.4	58 6.4
	京阪神圏		900 100	161 17.9	304 33.8	257 28.6	128 14.2	50 5.6
年代	20代		300 100	42 14.0	90 30.0	89 29.7	45 15.0	34 11.3
	30代		300 100	35 11.7	92 30.7	96 32.0	58 19.3	19 6.3
	40代		300 100	45 15.0	93 31.0	99 33.0	46 15.3	17 5.7
	50代		300 100	48 16.0	119 39.7	83 27.7	34 11.3	16 5.3
	60代		300 100	55 18.3	110 36.7	78 26.0	44 14.7	13 4.3
	70代以上		300 100	83 27.7	111 37.0	66 22.0	31 10.3	9 3.0

【2. 食肉中の残留動物薬】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	309 17.2	610 33.9	528 29.3	242 13.4	111 6.2
地域	首都圏		900 100	160 17.8	302 33.6	261 29.0	115 12.8	62 6.9
	京阪神圏		900 100	149 16.6	308 34.2	267 29.7	127 14.1	49 5.4
年代	20代		300 100	41 13.7	88 29.3	98 32.7	37 12.3	36 12.0
	30代		300 100	34 11.3	92 30.7	95 31.7	59 19.7	20 6.7
	40代		300 100	42 14.0	93 31.0	101 33.7	46 15.3	18 6.0
	50代		300 100	51 17.0	123 41.0	79 26.3	30 10.0	17 5.7
	60代		300 100	58 19.3	107 35.7	84 28.0	38 12.7	13 4.3
	70代以上		300 100	83 27.7	107 35.7	71 23.7	32 10.7	7 2.3

【3. 遺伝子組換え飼料を用いた食肉】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	342 19.0	621 34.5	519 28.8	215 11.9	103 5.7
地域	首都圏		900 100	171 19.0	312 34.7	255 28.3	108 12.0	54 6.0
	京阪神圏		900 100	171 19.0	309 34.3	264 29.3	107 11.9	49 5.4
年代	20代		300 100	40 13.3	86 28.7	97 32.3	43 14.3	34 11.3
	30代		300 100	43 14.3	101 33.7	91 30.3	45 15.0	20 6.7
	40代		300 100	47 15.7	90 30.0	109 36.3	38 12.7	16 5.3
	50代		300 100	57 19.0	112 37.3	83 27.7	33 11.0	15 5.0
	60代		300 100	71 23.7	112 37.3	75 25.0	34 11.3	8 2.7
	70代以上		300 100	84 28.0	120 40.0	64 21.3	22 7.3	10 3.3

【4. 牛のBSE（牛海綿状脳症）】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	530 29.4	589 32.7	441 24.5	148 8.2	92 5.1
地域	首都圏		900 100	261 29.0	304 33.8	213 23.7	72 8.0	50 5.6
	京阪神圏		900 100	269 29.9	285 31.7	228 25.3	76 8.4	42 4.7
年代	20代		300 100	56 18.7	85 28.3	91 30.3	37 12.3	31 10.3
	30代		300 100	61 20.3	106 35.3	85 28.3	29 9.7	19 6.3
	40代		300 100	61 20.3	104 34.7	93 31.0	29 9.7	13 4.3
	50代		300 100	93 31.0	109 36.3	62 20.7	19 6.3	17 5.7
	60代		300 100	119 39.7	98 32.7	53 17.7	21 7.0	9 3.0
	70代以上		300 100	140 46.7	87 29.0	57 19.0	13 4.3	3 1.0

【5. 成形肉】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	356 19.8	586 32.6	549 30.5	201 11.2	108 6.0
地域	首都圏		900 100	179 19.9	299 33.2	265 29.4	101 11.2	56 6.2
	京阪神圏		900 100	177 19.7	287 31.9	284 31.6	100 11.1	52 5.8
年代	20代		300 100	40 13.3	88 29.3	95 31.7	39 13.0	38 12.7
	30代		300 100	51 17.0	95 31.7	96 32.0	40 13.3	18 6.0
	40代		300 100	49 16.3	82 27.3	109 36.3	46 15.3	14 4.7
	50代		300 100	63 21.0	111 37.0	81 27.0	25 8.3	20 6.7
	60代		300 100	74 24.7	104 34.7	87 29.0	26 8.7	9 3.0
	70代以上		300 100	79 26.3	106 35.3	81 27.0	25 8.3	9 3.0

【6. 食肉の放射能汚染】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	443 24.6	565 31.4	524 29.1	175 9.7	93 5.2
地域	首都圏		900 100	219 24.3	283 31.4	261 29.0	83 9.2	54 6.0
	京阪神圏		900 100	224 24.9	282 31.3	263 29.2	92 10.2	39 4.3
年代	20代		300 100	44 14.7	99 33.0	93 31.0	31 10.3	33 11.0
	30代		300 100	58 19.3	96 32.0	97 32.3	33 11.0	16 5.3
	40代		300 100	49 16.3	84 28.0	116 38.7	35 11.7	16 5.3
	50代		300 100	81 27.0	103 34.3	81 27.0	20 6.7	15 5.0
	60代		300 100	95 31.7	89 29.7	77 25.7	31 10.3	8 2.7
	70代以上		300 100	116 38.7	94 31.3	60 20.0	25 8.3	5 1.7

【7. クローン家畜由来の食肉】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	422 23.4	592 32.9	498 27.7	193 10.7	95 5.3
地域	首都圏		900 100	211 23.4	299 33.2	247 27.4	90 10.0	53 5.9
	京阪神圏		900 100	211 23.4	293 32.6	251 27.9	103 11.4	42 4.7
年代	20代		300 100	44 14.7	90 30.0	91 30.3	42 14.0	33 11.0
	30代		300 100	54 18.0	99 33.0	85 28.3	45 15.0	17 5.7
	40代		300 100	44 14.7	93 31.0	112 37.3	36 12.0	15 5.0
	50代		300 100	85 28.3	104 34.7	74 24.7	22 7.3	15 5.0
	60代		300 100	90 30.0	100 33.3	76 25.3	25 8.3	9 3.0
	70代以上		300 100	105 35.0	106 35.3	60 20.0	23 7.7	6 2.0

【8. 牛・豚の口蹄疫】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	484 26.9	600 33.3	473 26.3	153 8.5	90 5.0
地域	首都圏		900 100	240 26.7	306 34.0	232 25.8	74 8.2	48 5.3
	京阪神圏		900 100	244 27.1	294 32.7	241 26.8	79 8.8	42 4.7
年代	20代		300 100	48 16.0	93 31.0	95 31.7	31 10.3	33 11.0
	30代		300 100	50 16.7	107 35.7	89 29.7	38 12.7	16 5.3
	40代		300 100	55 18.3	92 30.7	110 36.7	28 9.3	15 5.0
	50代		300 100	81 27.0	122 40.7	64 21.3	17 5.7	16 5.3
	60代		300 100	112 37.3	99 33.0	61 20.3	21 7.0	7 2.3
	70代以上		300 100	138 46.0	87 29.0	54 18.0	18 6.0	3 1.0

【9. 豚インフルエンザ】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	555 30.8	609 33.8	422 23.4	141 7.8	73 4.1
地域	首都圏		900 100	274 30.4	302 33.6	213 23.7	70 7.8	41 4.6
	京阪神圏		900 100	281 31.2	307 34.1	209 23.2	71 7.9	32 3.6
年代	20代		300 100	72 24.0	112 37.3	66 22.0	28 9.3	22 7.3
	30代		300 100	62 20.7	107 35.7	87 29.0	29 9.7	15 5.0
	40代		300 100	65 21.7	94 31.3	95 31.7	33 11.0	13 4.3
	50代		300 100	91 30.3	114 38.0	66 22.0	16 5.3	13 4.3
	60代		300 100	119 39.7	97 32.3	57 19.0	20 6.7	7 2.3
	70代以上		300 100	146 48.7	85 28.3	51 17.0	15 5.0	3 1.0

【10. 鳥インフルエンザ】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	599 33.3	639 35.5	385 21.4	107 5.9	70 3.9
地域	首都圏		900 100	294 32.7	319 35.4	192 21.3	58 6.4	37 4.1
	京阪神圏		900 100	305 33.9	320 35.6	193 21.4	49 5.4	33 3.7
年代	20代		300 100	73 24.3	122 40.7	64 21.3	19 6.3	22 7.3
	30代		300 100	72 24.0	120 40.0	72 24.0	25 8.3	11 3.7
	40代		300 100	66 22.0	106 35.3	88 29.3	26 8.7	14 4.7
	50代		300 100	100 33.3	116 38.7	58 19.3	13 4.3	13 4.3
	60代		300 100	131 43.7	93 31.0	55 18.3	13 4.3	8 2.7
	70代以上		300 100	157 52.3	82 27.3	48 16.0	11 3.7	2 0.7

【11. 食肉中の食中毒菌
(サルモネラ、カンピロバクター、腸管出血性大腸菌など) の汚染】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	636 35.3	575 31.9	410 22.8	102 5.7	77 4.3
地域	首都圏		900 100	325 36.1	282 31.3	200 22.2	48 5.3	45 5.0
	京阪神圏		900 100	311 34.6	293 32.6	210 23.3	54 6.0	32 3.6
年代	20代		300 100	86 28.7	96 32.0	74 24.7	19 6.3	25 8.3
	30代		300 100	79 26.3	114 38.0	74 24.7	20 6.7	13 4.3
	40代		300 100	76 25.3	94 31.3	94 31.3	20 6.7	16 5.3
	50代		300 100	107 35.7	107 35.7	57 19.0	16 5.3	13 4.3
	60代		300 100	127 42.3	91 30.3	59 19.7	16 5.3	7 2.3
	70代以上		300 100	161 53.7	73 24.3	52 17.3	11 3.7	3 1.0

【12. 食肉の生食】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	527 29.3	517 28.7	468 26.0	150 8.3	138 7.7
地域	首都圏		900 100	265 29.4	257 28.6	232 25.8	72 8.0	74 8.2
	京阪神圏		900 100	262 29.1	260 28.9	236 26.2	78 8.7	64 7.1
年代	20代		300 100	66 22.0	98 32.7	79 26.3	28 9.3	29 9.7
	30代		300 100	71 23.7	96 32.0	88 29.3	26 8.7	19 6.3
	40代		300 100	66 22.0	93 31.0	95 31.7	26 8.7	20 6.7
	50代		300 100	85 28.3	97 32.3	73 24.3	19 6.3	26 8.7
	60代		300 100	107 35.7	69 23.0	74 24.7	31 10.3	19 6.3
	70代以上		300 100	132 44.0	64 21.3	59 19.7	20 6.7	25 8.3

【13. 食肉の産地偽装】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	574 31.9	599 33.3	431 23.9	121 6.7	75 4.2
地域	首都圏		900 100	299 33.2	287 31.9	208 23.1	67 7.4	39 4.3
	京阪神圏		900 100	275 30.6	312 34.7	223 24.8	54 6.0	36 4.0
年代	20代		300 100	64 21.3	104 34.7	80 26.7	27 9.0	25 8.3
	30代		300 100	73 24.3	106 35.3	84 28.0	25 8.3	12 4.0
	40代		300 100	67 22.3	102 34.0	97 32.3	22 7.3	12 4.0
	50代		300 100	97 32.3	115 38.3	59 19.7	14 4.7	15 5.0
	60代		300 100	117 39.0	92 30.7	65 21.7	19 6.3	7 2.3
	70代以上		300 100	156 52.0	80 26.7	46 15.3	14 4.7	4 1.3

【14. 食肉の消費期限改ざん】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	592 32.9	618 34.3	400 22.2	116 6.4	74 4.1
地域	首都圏		900 100	306 34.0	303 33.7	189 21.0	59 6.6	43 4.8
	京阪神圏		900 100	286 31.8	315 35.0	211 23.4	57 6.3	31 3.4
年代	20代		300 100	74 24.7	108 36.0	63 21.0	29 9.7	26 8.7
	30代		300 100	75 25.0	108 36.0	84 28.0	22 7.3	11 3.7
	40代		300 100	70 23.3	105 35.0	92 30.7	21 7.0	12 4.0
	50代		300 100	102 34.0	113 37.7	56 18.7	14 4.7	15 5.0
	60代		300 100	116 38.7	99 33.0	59 19.7	19 6.3	7 2.3
	70代以上		300 100	155 51.7	85 28.3	46 15.3	11 3.7	3 1.0

【15. 牛肉・豚肉の発がん性】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	556 30.9	542 30.1	478 26.6	140 7.8	84 4.7
地域	首都圏		900 100	269 29.9	282 31.3	233 25.9	70 7.8	46 5.1
	京阪神圏		900 100	287 31.9	260 28.9	245 27.2	70 7.8	38 4.2
年代	20代		300 100	66 22.0	91 30.3	84 28.0	29 9.7	30 10.0
	30代		300 100	60 20.0	106 35.3	93 31.0	28 9.3	13 4.3
	40代		300 100	68 22.7	90 30.0	102 34.0	24 8.0	16 5.3
	50代		300 100	98 32.7	93 31.0	76 25.3	19 6.3	14 4.7
	60代		300 100	116 38.7	83 27.7	68 22.7	26 8.7	7 2.3
	70代以上		300 100	148 49.3	79 26.3	55 18.3	14 4.7	4 1.3

【16. 豚肉加工品（ハム・ソーセージ）の発がん性】

		度数 横%	全 体	非常に 関心がある	やや 関心がある	どちらでもない	あまり 関心がない	まったく 関心がない
全 体			1800 100	552 30.7	543 30.2	493 27.4	127 7.1	85 4.7
地域	首都圏		900 100	278 30.9	276 30.7	235 26.1	70 7.8	41 4.6
	京阪神圏		900 100	274 30.4	267 29.7	258 28.7	57 6.3	44 4.9
年代	20代		300 100	63 21.0	91 30.3	85 28.3	27 9.0	34 11.3
	30代		300 100	70 23.3	99 33.0	93 31.0	24 8.0	14 4.7
	40代		300 100	70 23.3	86 28.7	109 36.3	21 7.0	14 4.7
	50代		300 100	91 30.3	104 34.7	77 25.7	15 5.0	13 4.3
	60代		300 100	110 36.7	88 29.3	74 24.7	21 7.0	7 2.3
	70代以上		300 100	148 49.3	75 25.0	55 18.3	19 6.3	3 1.0

Q24 牛海綿状脳症（牛のBSE）で、知っている事柄が下記の中にありますか。
 あてはまるものを全てお選びください。

	度数 横%	全体	日本では平成13年9月に初めてBSE感染牛が国内で確認されたことを受けて、翌10月から平成25年6月まで、食肉処理される全ての牛を対象としてBSE検査を実施していたこと	日本で肉骨粉を牛用飼料として利用することを禁止し、海外からの輸入を規制していること	日本で食肉処理の際に牛の特定危険部位の除去を実施していること	日本で牛肉のトレーサビリティ制度を実施していること	日本で平成14年2月以降に生まれた牛からは、BSEは見つかっていないこと	日本が平成25年5月にBSEの「リスクが無視できる国」に国際的に認められたこと	アメリカが平成25年5月にBSEの「リスクが無視できる国」に国際的に認められたこと	日本では国内外のBSEリスクが低下したことを踏まえ、平成29年4月から食肉処理される健康牛についてBSE検査を廃止したこと	その他	知っているものはない
			全体	1800 100	733 40.7	643 35.7	480 26.7	379 21.1	340 18.9	194 10.8	151 8.4	176 9.8
地域	首都圏	900 100	392 43.6	328 36.4	249 27.7	182 20.2	175 19.4	97 10.8	69 7.7	81 9.0	1 0.1	348 38.7
		京阪神圏	900 100	341 37.9	315 35.0	231 25.7	197 21.9	165 18.3	97 10.8	82 9.1	95 10.6	0 0.0
年代	20代	300 100	93 31.0	75 25.0	54 18.0	51 17.0	41 13.7	32 10.7	27 9.0	33 11.0	0 0.0	147 49.0
	30代	300 100	114 38.0	94 31.3	62 20.7	47 15.7	39 13.0	17 5.7	21 7.0	20 6.7	0 0.0	119 39.7
	40代	300 100	104 34.7	102 34.0	71 23.7	54 18.0	50 16.7	23 7.7	15 5.0	19 6.3	0 0.0	129 43.0
	50代	300 100	124 41.3	114 38.0	89 29.7	79 26.3	54 18.0	31 10.3	24 8.0	20 6.7	0 0.0	113 37.7
	60代	300 100	144 48.0	121 40.3	97 32.3	82 27.3	67 22.3	35 11.7	25 8.3	34 11.3	1 0.3	95 31.7
	70代以上	300 100	154 51.3	137 45.7	107 35.7	66 22.0	89 29.7	56 18.7	39 13.0	50 16.7	0 0.0	98 32.7

Q25 鳥インフルエンザについて知っている事柄が下記の中にありますか。
 あてはまるものを全てお選びください。

	度数 横%	全体	これまで鶏肉や鶏卵を食べた人に感染した例はない	鳥インフルエンザウイルスに付着した鶏肉や鶏卵を食べても人に感染することはない	市場に出荷される鶏肉、鶏卵には鳥インフルエンザウイルスの付着を防ぐ安全のための措置がとられている	その他	知っているものはない
			全体	1800 100	758 42.1	501 27.8	437 24.3
地域	首都圏	900 100	390 43.3	250 27.8	217 24.1	2 0.2	335 37.2
		京阪神圏	900 100	368 40.9	251 27.9	220 24.4	1 0.1
年代	20代	300 100	106 35.3	81 27.0	74 24.7	1 0.3	122 40.7
	30代	300 100	122 40.7	69 23.0	55 18.3	1 0.3	121 40.3
	40代	300 100	121 40.3	85 28.3	63 21.0	0 0.0	131 43.7
	50代	300 100	138 46.0	95 31.7	51 17.0	0 0.0	110 36.7
	60代	300 100	145 48.3	87 29.0	93 31.0	1 0.3	91 30.3
	70代以上	300 100	126 42.0	84 28.0	101 33.7	0 0.0	119 39.7

Q26 放射能や食品中の放射性物質に関する規制について、知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるもの全てお選びください。

度数横%	全 体	「ベクレル」は食品などに含まれる放射性物質が放射線を出す能力を表す単位である	私たちは日常生活でも自然界が発する放射線で健康に影響がない程度の被ばくをしている	放射線の影響は乳幼児・子ども・妊産婦（胎児）の方が受けやすい	牛が放射性物質を取り込んで、清浄なエサに切り替えれば、牛の体内の放射性物質は徐々に減る	食品の安全・安心をより一層確保するため、平成24年4月から食品中の放射性物質に関する新たな基準値が設けられた	食肉については、平成25年度以降、放射性物質検査の基準値（100ベクレル/kg）を超過した事例はない	知っているものはない	
全 体	1800 100	565 31.4	759 42.2	630 35.0	178 9.9	231 12.8	183 10.2	708 39.3	
地域	首都圏	900 100	314 34.9	402 44.7	347 38.6	85 9.4	121 13.4	101 11.2	335 37.2
	京阪神圏	900 100	251 27.9	357 39.7	283 31.4	93 10.3	110 12.2	82 9.1	373 41.4
年代	20代	300 100	84 28.0	108 36.0	91 30.3	34 11.3	37 12.3	28 9.3	125 41.7
	30代	300 100	102 34.0	114 38.0	107 35.7	20 6.7	33 11.0	18 6.0	113 37.7
	40代	300 100	86 28.7	105 35.0	82 27.3	27 9.0	33 11.0	31 10.3	135 45.0
	50代	300 100	85 28.3	130 43.3	101 33.7	24 8.0	31 10.3	22 7.3	122 40.7
	60代	300 100	98 32.7	147 49.0	130 43.3	34 11.3	43 14.3	45 15.0	102 34.0
	70代以上	300 100	110 36.7	155 51.7	119 39.7	39 13.0	54 18.0	39 13.0	111 37.0

Q27 原発事故に対応した食肉の安全確保の取組に関して、あなたがご存知のものを全てお選びください。

度数横%	全 体	厚生労働省による食肉中の放射性物質の基準値の設定	地方自治体による食肉中の放射性物質の検査実施	地方自治体による検査結果に応じた食肉の出荷制限の実施	牧草など飼料作物の放射性物質検査の実施	暫定許容値以下の飼料を与えるなど家畜飼養管理の実施	牧草地や飼料畑の除染対策の実施	畜産農家に對する代替飼料の供給	汚染飼料や汚染堆肥の処理	知っているものはない	
全 体	1800 100	548 30.4	457 25.4	332 18.4	343 19.1	178 9.9	263 14.6	129 7.2	194 10.8	893 49.6	
地域	首都圏	900 100	292 32.4	251 27.9	174 19.3	191 21.2	96 10.7	143 15.9	68 7.6	107 11.9	429 47.7
	京阪神圏	900 100	256 28.4	206 22.9	158 17.6	152 16.9	82 9.1	120 13.3	61 6.8	87 9.7	464 51.6
年代	20代	300 100	76 25.3	61 20.3	56 18.7	51 17.0	26 8.7	33 11.0	21 7.0	37 12.3	153 51.0
	30代	300 100	94 31.3	76 25.3	46 15.3	43 14.3	22 7.3	29 9.7	13 4.3	23 7.7	153 51.0
	40代	300 100	80 26.7	70 23.3	43 14.3	42 14.0	25 8.3	37 12.3	17 5.7	26 8.7	162 54.0
	50代	300 100	81 27.0	66 22.0	44 14.7	50 16.7	22 7.3	35 11.7	15 5.0	27 9.0	161 53.7
	60代	300 100	105 35.0	93 31.0	66 22.0	67 22.3	37 12.3	55 18.3	24 8.0	35 11.7	124 41.3
	70代以上	300 100	112 37.3	91 30.3	77 25.7	90 30.0	46 15.3	74 24.7	39 13.0	46 15.3	140 46.7

Q28 あなたは、以下の産地の食肉の放射能汚染について、どのように感じますか。

【1. 岩手県産】

度数 横%		全 体	不安を 感じていない	どちらかといえば 不安を感じていない	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じている	不安を 感じている
全 体		1800 100	442 24.6	516 28.7	627 34.8	146 8.1	69 3.8
地域	首都圏	900 100	260 28.9	254 28.2	296 32.9	61 6.8	29 3.2
	京阪神圏	900 100	182 20.2	262 29.1	331 36.8	85 9.4	40 4.4
年代	20代	300 100	73 24.3	81 27.0	102 34.0	23 7.7	21 7.0
	30代	300 100	60 20.0	78 26.0	116 38.7	35 11.7	11 3.7
	40代	300 100	78 26.0	77 25.7	109 36.3	25 8.3	11 3.7
	50代	300 100	73 24.3	90 30.0	104 34.7	23 7.7	10 3.3
	60代	300 100	80 26.7	102 34.0	88 29.3	19 6.3	11 3.7
	70代以上	300 100	78 26.0	88 29.3	108 36.0	21 7.0	5 1.7

【2. 宮城県産】

度数 横%		全 体	不安を 感じていない	どちらかといえば 不安を感じていない	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じている	不安を 感じている
全 体		1800 100	420 23.3	518 28.8	596 33.1	180 10.0	86 4.8
地域	首都圏	900 100	247 27.4	254 28.2	288 32.0	75 8.3	36 4.0
	京阪神圏	900 100	173 19.2	264 29.3	308 34.2	105 11.7	50 5.6
年代	20代	300 100	63 21.0	91 30.3	91 30.3	32 10.7	23 7.7
	30代	300 100	58 19.3	78 26.0	108 36.0	42 14.0	14 4.7
	40代	300 100	74 24.7	74 24.7	102 34.0	37 12.3	13 4.3
	50代	300 100	74 24.7	88 29.3	99 33.0	26 8.7	13 4.3
	60代	300 100	78 26.0	96 32.0	95 31.7	18 6.0	13 4.3
	70代以上	300 100	73 24.3	91 30.3	101 33.7	25 8.3	10 3.3

【3. 栃木県産】

		度数 横%	全 体	不安を 感じていない	どちらかといえば 不安を感じていない	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じている	不安を 感じている
全 体			1800 100	423 23.5	517 28.7	647 35.9	144 8.0	69 3.8
地域	首都圏		900 100	249 27.7	252 28.0	312 34.7	57 6.3	30 3.3
	京阪神圏		900 100	174 19.3	265 29.4	335 37.2	87 9.7	39 4.3
年代	20代		300 100	71 23.7	86 28.7	105 35.0	21 7.0	17 5.7
	30代		300 100	62 20.7	74 24.7	123 41.0	31 10.3	10 3.3
	40代		300 100	76 25.3	78 26.0	113 37.7	24 8.0	9 3.0
	50代		300 100	67 22.3	88 29.3	106 35.3	27 9.0	12 4.0
	60代		300 100	77 25.7	101 33.7	91 30.3	19 6.3	12 4.0
	70代以上		300 100	70 23.3	90 30.0	109 36.3	22 7.3	9 3.0

【4. 福島県産】

		度数 横%	全 体	不安を 感じていない	どちらかといえば 不安を感じていない	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じている	不安を 感じている
全 体			1800 100	333 18.5	379 21.1	563 31.3	303 16.8	222 12.3
地域	首都圏		900 100	191 21.2	182 20.2	265 29.4	153 17.0	109 12.1
	京阪神圏		900 100	142 15.8	197 21.9	298 33.1	150 16.7	113 12.6
年代	20代		300 100	56 18.7	64 21.3	87 29.0	50 16.7	43 14.3
	30代		300 100	38 12.7	54 18.0	97 32.3	65 21.7	46 15.3
	40代		300 100	59 19.7	57 19.0	95 31.7	47 15.7	42 14.0
	50代		300 100	58 19.3	56 18.7	93 31.0	57 19.0	36 12.0
	60代		300 100	63 21.0	80 26.7	86 28.7	40 13.3	31 10.3
	70代以上		300 100	59 19.7	68 22.7	105 35.0	44 14.7	24 8.0

【5. 地元産】

		度数 横%	全 体	不安を 感じていない	どちらかといえば 不安を感じていない	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じている	不安を 感じている
全 体			1800 100	602 33.4	547 30.4	562 31.2	54 3.0	35 1.9
地域	首都圏		900 100	290 32.2	253 28.1	306 34.0	31 3.4	20 2.2
	京阪神圏		900 100	312 34.7	294 32.7	256 28.4	23 2.6	15 1.7
年代	20代		300 100	92 30.7	95 31.7	86 28.7	13 4.3	14 4.7
	30代		300 100	85 28.3	81 27.0	117 39.0	12 4.0	5 1.7
	40代		300 100	101 33.7	89 29.7	96 32.0	6 2.0	8 2.7
	50代		300 100	98 32.7	93 31.0	95 31.7	10 3.3	4 1.3
	60代		300 100	108 36.0	101 33.7	82 27.3	8 2.7	1 0.3
	70代以上		300 100	118 39.3	88 29.3	86 28.7	5 1.7	3 1.0

【6. それ以外の国内産地】

		度数 横%	全 体	不安を 感じていない	どちらかといえば 不安を感じていない	どちらとも いえない	どちらかといえば 不安を感じている	不安を 感じている
全 体			1800 100	479 26.6	567 31.5	655 36.4	67 3.7	32 1.8
地域	首都圏		900 100	256 28.4	258 28.7	338 37.6	33 3.7	15 1.7
	京阪神圏		900 100	223 24.8	309 34.3	317 35.2	34 3.8	17 1.9
年代	20代		300 100	77 25.7	91 30.3	101 33.7	19 6.3	12 4.0
	30代		300 100	65 21.7	86 28.7	127 42.3	16 5.3	6 2.0
	40代		300 100	83 27.7	91 30.3	110 36.7	11 3.7	5 1.7
	50代		300 100	83 27.7	103 34.3	104 34.7	7 2.3	3 1.0
	60代		300 100	89 29.7	104 34.7	97 32.3	7 2.3	3 1.0
	70代以上		300 100	82 27.3	92 30.7	116 38.7	7 2.3	3 1.0

Q29 福島県産食肉の放射能汚染の不安を解消するために必要な事項は、下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

度数 横%		全 体	原発事故から 一定期間経 過すること	その産地の全 ての食肉か ら、基準値以 下の放射性 物質しか検出 されないこと	その産地の全 ての食肉か ら、放射性物 質が検出され ないこと	その産地で安 全な飼料の給 餌や家畜の適 正な飼養管 理が行われて いること	その産地の大 気・土壌・水 中の放射線 量が平常値で あること	食肉の安全 確保に向けた 産地の取組と 成果の情報を 提供すること	その他	特にない
全 体		1800 100	458 25.4	633 35.2	566 31.4	527 29.3	593 32.9	480 26.7	16 0.9	544 30.2
地域	首都圏	900 100	245 27.2	327 36.3	301 33.4	287 31.9	309 34.3	254 28.2	7 0.8	274 30.4
	京阪神圏	900 100	213 23.7	306 34.0	265 29.4	240 26.7	284 31.6	226 25.1	9 1.0	270 30.0
年代	20代	300 100	87 29.0	87 29.0	81 27.0	76 25.3	93 31.0	62 20.7	0 0.0	92 30.7
	30代	300 100	89 29.7	106 35.3	91 30.3	78 26.0	101 33.7	61 20.3	2 0.7	89 29.7
	40代	300 100	72 24.0	99 33.0	94 31.3	77 25.7	93 31.0	80 26.7	3 1.0	104 34.7
	50代	300 100	78 26.0	105 35.0	105 35.0	86 28.7	100 33.3	81 27.0	5 1.7	85 28.3
	60代	300 100	50 16.7	105 35.0	95 31.7	95 31.7	92 30.7	88 29.3	6 2.0	90 30.0
	70代以上	300 100	82 27.3	131 43.7	100 33.3	115 38.3	114 38.0	108 36.0	0 0.0	84 28.0

Q30 福島県産の「牛肉」の購入について、改めてあなたの考えに最も近いものを1つだけお答えください。

度数横%		全 体	割高でも購入 したい	他の産地と同 程度の価格な ら購入したい	安ければ購入し たい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	47 2.6	587 32.6	615 34.2	263 14.6	288 16.0
地域	首都圏	900 100	30 3.3	305 33.9	302 33.6	131 14.6	132 14.7
	京阪神圏	900 100	17 1.9	282 31.3	313 34.8	132 14.7	156 17.3
年代	20代	300 100	14 4.7	87 29.0	105 35.0	41 13.7	53 17.7
	30代	300 100	11 3.7	79 26.3	121 40.3	43 14.3	46 15.3
	40代	300 100	7 2.3	91 30.3	115 38.3	39 13.0	48 16.0
	50代	300 100	6 2.0	80 26.7	105 35.0	50 16.7	59 19.7
	60代	300 100	6 2.0	122 40.7	82 27.3	48 16.0	42 14.0
	70代以上	300 100	3 1.0	128 42.7	87 29.0	42 14.0	40 13.3

Q31 福島県産の「豚肉」の購入について、改めてあなたの考えに最も近いものを1つだけお答えください。

度数横%		全 体	割高でも購入 したい	他の産地と同 程度の価格な ら購入したい	安ければ購入し たい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	39 2.2	581 32.3	608 33.8	288 16.0	284 15.8
地域	首都圏	900 100	24 2.7	309 34.3	298 33.1	141 15.7	128 14.2
	京阪神圏	900 100	15 1.7	272 30.2	310 34.4	147 16.3	156 17.3
年代	20代	300 100	13 4.3	83 27.7	105 35.0	48 16.0	51 17.0
	30代	300 100	10 3.3	80 26.7	116 38.7	48 16.0	46 15.3
	40代	300 100	4 1.3	89 29.7	120 40.0	40 13.3	47 15.7
	50代	300 100	6 2.0	82 27.3	99 33.0	56 18.7	57 19.0
	60代	300 100	3 1.0	122 40.7	80 26.7	54 18.0	41 13.7
	70代以上	300 100	3 1.0	125 41.7	88 29.3	42 14.0	42 14.0

Q32 福島県産の「鶏肉」の購入について、改めてあなたの考えに最も近いものを1つだけお答えください。

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい	他の産地と同 程度の価格な ら購入したい	安ければ 購入したい	購入したくない	わからない
全 体		1800 100	43 2.4	561 31.2	605 33.6	309 17.2	282 15.7
地域	首都圏	900 100	28 3.1	299 33.2	307 34.1	143 15.9	123 13.7
	京阪神圏	900 100	15 1.7	262 29.1	298 33.1	166 18.4	159 17.7
年代	20代	300 100	15 5.0	79 26.3	111 37.0	44 14.7	51 17.0
	30代	300 100	10 3.3	77 25.7	121 40.3	45 15.0	47 15.7
	40代	300 100	6 2.0	87 29.0	119 39.7	43 14.3	45 15.0
	50代	300 100	6 2.0	86 28.7	97 32.3	54 18.0	57 19.0
	60代	300 100	4 1.3	117 39.0	76 25.3	65 21.7	38 12.7
	70代以上	300 100	2 0.7	115 38.3	81 27.0	58 19.3	44 14.7

Q33 「食べて応援しよう！」（福島県産農畜産物の購入等を通じた復興支援）について、あなたはどのように考えていますか。
 ※この取組をご存知無かった方も、今のお気持ちとして最も近いものをお選びください。

度数 横%		全 体	積極的に参加 ・協力したい	機会があれば 参加・協力 したい	どちらとも いえない	どちらかといえば 参加・協力 したくない	参加・協力 したくない
全 体		1800 100	153 8.5	761 42.3	541 30.1	153 8.5	192 10.7
地域	首都圏	900 100	86 9.6	399 44.3	237 26.3	81 9.0	97 10.8
	京阪神圏	900 100	67 7.4	362 40.2	304 33.8	72 8.0	95 10.6
年代	20代	300 100	30 10.0	120 40.0	78 26.0	34 11.3	38 12.7
	30代	300 100	25 8.3	118 39.3	89 29.7	36 12.0	32 10.7
	40代	300 100	23 7.7	126 42.0	94 31.3	19 6.3	38 12.7
	50代	300 100	23 7.7	113 37.7	101 33.7	25 8.3	38 12.7
	60代	300 100	26 8.7	141 47.0	89 29.7	17 5.7	27 9.0
	70代以上	300 100	26 8.7	143 47.7	90 30.0	22 7.3	19 6.3

Q34 あなたは、社会全体として、食肉の安全性は高まっていると思いますか、低下していると思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

度数 横%		全 体	高まっている	どちらかといえば 高まっている	わからない	どちらかといえば 低下している	低下している
全 体		1800 100	176 9.8	647 35.9	719 39.9	186 10.3	72 4.0
地域	首都圏	900 100	99 11.0	328 36.4	357 39.7	84 9.3	32 3.6
	京阪神圏	900 100	77 8.6	319 35.4	362 40.2	102 11.3	40 4.4
年代	20代	300 100	33 11.0	119 39.7	104 34.7	36 12.0	8 2.7
	30代	300 100	31 10.3	108 36.0	127 42.3	24 8.0	10 3.3
	40代	300 100	30 10.0	92 30.7	138 46.0	23 7.7	17 5.7
	50代	300 100	24 8.0	98 32.7	122 40.7	41 13.7	15 5.0
	60代	300 100	30 10.0	102 34.0	119 39.7	33 11.0	16 5.3
	70代以上	300 100	28 9.3	128 42.7	109 36.3	29 9.7	6 2.0

Q35 食品の安全性に係る問題が発生した場合に、あなたが食肉の情報を得るために用いている主な情報源（上位3つ）をお選びください。

【1位】

	度数 横%	全 体	テレビの ニュース・ 報道番組	テレビの ワイドショー ・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット 上のニュース サイト	インターネット 上のコミュニテイ サイト (SNS等)	個人のブログ	行政 (国、地方 自治体)
		全 体	1800 100	1223 67.9	72 4.0	17 0.9	134 7.4	13 0.7	193 10.7	25 1.4	1 0.1
地域	首都圏	900 100	598 66.4	42 4.7	9 1.0	60 6.7	7 0.8	104 11.6	14 1.6	1 0.1	19 2.1
	京阪神圏	900 100	625 69.4	30 3.3	8 0.9	74 8.2	6 0.7	89 9.9	11 1.2	0 0.0	7 0.8
年代	20代	300 100	197 65.7	26 8.7	3 1.0	12 4.0	1 0.3	28 9.3	6 2.0	0 0.0	7 2.3
	30代	300 100	204 68.0	10 3.3	1 0.3	9 3.0	5 1.7	42 14.0	9 3.0	0 0.0	4 1.3
	40代	300 100	188 62.7	9 3.0	6 2.0	19 6.3	3 1.0	55 18.3	5 1.7	0 0.0	2 0.7
	50代	300 100	212 70.7	8 2.7	2 0.7	14 4.7	1 0.3	40 13.3	4 1.3	1 0.3	3 1.0
	60代	300 100	220 73.3	11 3.7	4 1.3	27 9.0	1 0.3	18 6.0	0 0.0	0 0.0	5 1.7
	70代以上	300 100	202 67.3	8 2.7	1 0.3	53 17.7	2 0.7	10 3.3	1 0.3	0 0.0	5 1.7

	度数 横%	全 体	公的な 研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・ 小売店	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他
		全 体	1800 100	16 0.9	5 0.3	22 1.2	10 0.6	1 0.1	19 1.1	23 1.3
地域	首都圏	900 100	9 1.0	4 0.4	9 1.0	5 0.6	0 0.0	8 0.9	11 1.2	0 0.0
	京阪神圏	900 100	7 0.8	1 0.1	13 1.4	5 0.6	1 0.1	11 1.2	12 1.3	0 0.0
年代	20代	300 100	2 0.7	3 1.0	5 1.7	1 0.3	0 0.0	3 1.0	6 2.0	0 0.0
	30代	300 100	4 1.3	0 0.0	5 1.7	0 0.0	1 0.3	2 0.7	4 1.3	0 0.0
	40代	300 100	3 1.0	1 0.3	2 0.7	1 0.3	0 0.0	0 0.0	6 2.0	0 0.0
	50代	300 100	2 0.7	1 0.3	3 1.0	3 1.0	0 0.0	4 1.3	2 0.7	0 0.0
	60代	300 100	2 0.7	0 0.0	4 1.3	2 0.7	0 0.0	5 1.7	1 0.3	0 0.0
	70代以上	300 100	3 1.0	0 0.0	3 1.0	3 1.0	0 0.0	5 1.7	4 1.3	0 0.0

【2位】

		度数 横%	全 体	テレビの ニュース・ 報道番組	テレビの ワイドショー ・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット 上のニュース サイト	インターネット 上のコミュニティ サイト (SNS等)	個人のブログ	行政 (国、地方 自治体)
全 体			1800 100	229 12.7	645 35.8	57 3.2	328 18.2	23 1.3	248 13.8	60 3.3	14 0.8	47 2.6
地域	首都圏		900 100	121 13.4	316 35.1	27 3.0	142 15.8	16 1.8	138 15.3	31 3.4	8 0.9	25 2.8
	京阪神圏		900 100	108 12.0	329 36.6	30 3.3	186 20.7	7 0.8	110 12.2	29 3.2	6 0.7	22 2.4
年代	20代		300 100	26 8.7	110 36.7	10 3.3	36 12.0	9 3.0	55 18.3	18 6.0	0 0.0	4 1.3
	30代		300 100	35 11.7	120 40.0	6 2.0	29 9.7	0 0.0	51 17.0	18 6.0	6 2.0	10 3.3
	40代		300 100	42 14.0	114 38.0	7 2.3	36 12.0	4 1.3	43 14.3	14 4.7	6 2.0	10 3.3
	50代		300 100	40 13.3	113 37.7	9 3.0	59 19.7	5 1.7	41 13.7	4 1.3	1 0.3	7 2.3
	60代		300 100	36 12.0	104 34.7	11 3.7	73 24.3	4 1.3	39 13.0	2 0.7	0 0.0	11 3.7
	70代以上		300 100	50 16.7	84 28.0	14 4.7	95 31.7	1 0.3	19 6.3	4 1.3	1 0.3	5 1.7

		度数 横%	全 体	公的な 研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・ 小売店	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他
全 体			1800 100	29 1.6	16 0.9	35 1.9	22 1.2	6 0.3	17 0.9	24 1.3	0 0.0
地域	首都圏		900 100	17 1.9	10 1.1	22 2.4	12 1.3	1 0.1	6 0.7	8 0.9	0 0.0
	京阪神圏		900 100	12 1.3	6 0.7	13 1.4	10 1.1	5 0.6	11 1.2	16 1.8	0 0.0
年代	20代		300 100	5 1.7	6 2.0	6 2.0	1 0.3	3 1.0	2 0.7	9 3.0	0 0.0
	30代		300 100	5 1.7	3 1.0	8 2.7	2 0.7	0 0.0	2 0.7	5 1.7	0 0.0
	40代		300 100	3 1.0	2 0.7	8 2.7	4 1.3	1 0.3	3 1.0	3 1.0	0 0.0
	50代		300 100	5 1.7	2 0.7	7 2.3	1 0.3	1 0.3	3 1.0	2 0.7	0 0.0
	60代		300 100	5 1.7	1 0.3	5 1.7	4 1.3	0 0.0	3 1.0	2 0.7	0 0.0
	70代以上		300 100	6 2.0	2 0.7	1 0.3	10 3.3	1 0.3	4 1.3	3 1.0	0 0.0

【3位】

度数 横%		全 体	テレビの ニュース・ 報道番組	テレビの ワイドショー ・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット 上のニュース サイト	インターネット 上のコミュニティ サイト (SNS等)	個人のブログ	行政 (国、地方 自治体)
全 体		1800 100	98 5.4	203 11.3	102 5.7	291 16.2	52 2.9	431 23.9	84 4.7	35 1.9	123 6.8
地域	首都圏	900 100	49 5.4	92 10.2	55 6.1	144 16.0	26 2.9	226 25.1	46 5.1	15 1.7	65 7.2
	京阪神圏	900 100	49 5.4	111 12.3	47 5.2	147 16.3	26 2.9	205 22.8	38 4.2	20 2.2	58 6.4
年代	20代	300 100	15 5.0	26 8.7	26 8.7	28 9.3	10 3.3	83 27.7	27 9.0	9 3.0	13 4.3
	30代	300 100	16 5.3	31 10.3	15 5.0	37 12.3	9 3.0	91 30.3	17 5.7	8 2.7	17 5.7
	40代	300 100	21 7.0	28 9.3	15 5.0	46 15.3	6 2.0	76 25.3	13 4.3	11 3.7	16 5.3
	50代	300 100	17 5.7	37 12.3	17 5.7	48 16.0	9 3.0	73 24.3	14 4.7	4 1.3	16 5.3
	60代	300 100	11 3.7	42 14.0	12 4.0	71 23.7	9 3.0	58 19.3	8 2.7	1 0.3	26 8.7
	70代以上	300 100	18 6.0	39 13.0	17 5.7	61 20.3	9 3.0	50 16.7	5 1.7	2 0.7	35 11.7

度数 横%		全 体	公的な 研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・ 小売店	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他
全 体		1800 100	60 3.3	35 1.9	95 5.3	36 2.0	7 0.4	36 2.0	106 5.9	6 0.3
地域	首都圏	900 100	27 3.0	15 1.7	49 5.4	17 1.9	4 0.4	20 2.2	48 5.3	2 0.2
	京阪神圏	900 100	33 3.7	20 2.2	46 5.1	19 2.1	3 0.3	16 1.8	58 6.4	4 0.4
年代	20代	300 100	11 3.7	3 1.0	17 5.7	8 2.7	3 1.0	4 1.3	17 5.7	0 0.0
	30代	300 100	9 3.0	5 1.7	16 5.3	3 1.0	1 0.3	1 0.3	23 7.7	1 0.3
	40代	300 100	7 2.3	8 2.7	21 7.0	3 1.0	0 0.0	3 1.0	23 7.7	3 1.0
	50代	300 100	15 5.0	5 1.7	19 6.3	4 1.3	0 0.0	6 2.0	16 5.3	0 0.0
	60代	300 100	7 2.3	5 1.7	12 4.0	12 4.0	2 0.7	3 1.0	20 6.7	1 0.3
	70代以上	300 100	11 3.7	9 3.0	10 3.3	6 2.0	1 0.3	19 6.3	7 2.3	1 0.3

Q36 現在、あなたが安全性を含めた食肉の情報を得るために用いている主な情報源（上位3つ）をお選びください。

【1位】

	度数 横%	全 体	テレビの ニュース・ 報道番組	テレビの ワイドショー ・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット 上のニュース サイト	インターネット 上のコミュニテイ サイト (SNS等)	個人のブログ	行政 (国、地方 自治体)
全 体		1800 100	1153 64.1	63 3.5	20 1.1	161 8.9	17 0.9	213 11.8	41 2.3	4 0.2	30 1.7
地域	首都圏	900 100	576 64.0	38 4.2	12 1.3	61 6.8	8 0.9	114 12.7	22 2.4	2 0.2	21 2.3
	京阪神圏	900 100	577 64.1	25 2.8	8 0.9	100 11.1	9 1.0	99 11.0	19 2.1	2 0.2	9 1.0
年代	20代	300 100	184 61.3	17 5.7	5 1.7	18 6.0	4 1.3	39 13.0	12 4.0	1 0.3	5 1.7
	30代	300 100	195 65.0	8 2.7	2 0.7	11 3.7	5 1.7	46 15.3	12 4.0	1 0.3	3 1.0
	40代	300 100	180 60.0	8 2.7	4 1.3	25 8.3	1 0.3	52 17.3	9 3.0	1 0.3	3 1.0
	50代	300 100	210 70.0	8 2.7	4 1.3	17 5.7	1 0.3	40 13.3	3 1.0	1 0.3	2 0.7
	60代	300 100	198 66.0	15 5.0	4 1.3	34 11.3	2 0.7	21 7.0	2 0.7	0 0.0	8 2.7
	70代以上	300 100	186 62.0	7 2.3	1 0.3	56 18.7	4 1.3	15 5.0	3 1.0	0 0.0	9 3.0

	度数 横%	全 体	公的な 研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・ 小売店	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他
全 体		1800 100	17 0.9	7 0.4	28 1.6	12 0.7	2 0.1	12 0.7	20 1.1	0 0.0
地域	首都圏	900 100	6 0.7	4 0.4	12 1.3	8 0.9	1 0.1	4 0.4	11 1.2	0 0.0
	京阪神圏	900 100	11 1.2	3 0.3	16 1.8	4 0.4	1 0.1	8 0.9	9 1.0	0 0.0
年代	20代	300 100	3 1.0	2 0.7	4 1.3	0 0.0	1 0.3	1 0.3	4 1.3	0 0.0
	30代	300 100	3 1.0	1 0.3	5 1.7	0 0.0	1 0.3	1 0.3	6 2.0	0 0.0
	40代	300 100	4 1.3	1 0.3	5 1.7	2 0.7	0 0.0	0 0.0	5 1.7	0 0.0
	50代	300 100	3 1.0	1 0.3	5 1.7	2 0.7	0 0.0	1 0.3	2 0.7	0 0.0
	60代	300 100	2 0.7	1 0.3	4 1.3	4 1.3	0 0.0	4 1.3	1 0.3	0 0.0
	70代以上	300 100	2 0.7	1 0.3	5 1.7	4 1.3	0 0.0	5 1.7	2 0.7	0 0.0

【2位】

度数 横%		全 体	テレビの ニュース・ 報道番組	テレビの ワイドショー ・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット 上のニュース サイト	インターネット 上のコミュニティ サイト (SNS等)	個人のブログ	行政 (国、地方 自治体)
全 体		1800 100	268 14.9	641 35.6	54 3.0	309 17.2	21 1.2	234 13.0	69 3.8	13 0.7	55 3.1
地域	首都圏	900 100	127 14.1	313 34.8	28 3.1	143 15.9	12 1.3	133 14.8	34 3.8	7 0.8	32 3.6
	京阪神圏	900 100	141 15.7	328 36.4	26 2.9	166 18.4	9 1.0	101 11.2	35 3.9	6 0.7	23 2.6
年代	20代	300 100	31 10.3	109 36.3	10 3.3	31 10.3	4 1.3	55 18.3	24 8.0	1 0.3	9 3.0
	30代	300 100	38 12.7	132 44.0	6 2.0	27 9.0	2 0.7	39 13.0	15 5.0	5 1.7	10 3.3
	40代	300 100	49 16.3	106 35.3	7 2.3	37 12.3	6 2.0	41 13.7	15 5.0	5 1.7	11 3.7
	50代	300 100	38 12.7	118 39.3	7 2.3	61 20.3	2 0.7	41 13.7	6 2.0	1 0.3	8 2.7
	60代	300 100	54 18.0	93 31.0	8 2.7	72 24.0	7 2.3	35 11.7	2 0.7	1 0.3	8 2.7
	70代以上	300 100	58 19.3	83 27.7	16 5.3	81 27.0	0 0.0	23 7.7	7 2.3	0 0.0	9 3.0

度数 横%		全 体	公的な 研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・ 小売店	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他
全 体		1800 100	21 1.2	20 1.1	34 1.9	24 1.3	3 0.2	12 0.7	22 1.2	0 0.0
地域	首都圏	900 100	15 1.7	9 1.0	22 2.4	11 1.2	0 0.0	5 0.6	9 1.0	0 0.0
	京阪神圏	900 100	6 0.7	11 1.2	12 1.3	13 1.4	3 0.3	7 0.8	13 1.4	0 0.0
年代	20代	300 100	4 1.3	5 1.7	8 2.7	1 0.3	1 0.3	0 0.0	7 2.3	0 0.0
	30代	300 100	4 1.3	2 0.7	8 2.7	5 1.7	2 0.7	2 0.7	3 1.0	0 0.0
	40代	300 100	2 0.7	5 1.7	7 2.3	3 1.0	0 0.0	3 1.0	3 1.0	0 0.0
	50代	300 100	4 1.3	2 0.7	5 1.7	1 0.3	0 0.0	2 0.7	4 1.3	0 0.0
	60代	300 100	1 0.3	4 1.3	5 1.7	5 1.7	0 0.0	2 0.7	3 1.0	0 0.0
	70代以上	300 100	6 2.0	2 0.7	1 0.3	9 3.0	0 0.0	3 1.0	2 0.7	0 0.0

【3位】

		度数 横%	全 体	テレビの ニュース・ 報道番組	テレビの ワイドショー ・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット 上のニュース サイト	インターネット 上のコミュニティ サイト (SNS等)	個人のブログ	行政 (国、地方 自治体)
全 体			1800 100	116 6.4	232 12.9	112 6.2	277 15.4	44 2.4	413 22.9	95 5.3	28 1.6	105 5.8
地域	首都圏		900 100	56 6.2	104 11.6	56 6.2	137 15.2	26 2.9	207 23.0	53 5.9	18 2.0	50 5.6
	京阪神圏		900 100	60 6.7	128 14.2	56 6.2	140 15.6	18 2.0	206 22.9	42 4.7	10 1.1	55 6.1
年代	20代		300 100	20 6.7	32 10.7	22 7.3	29 9.7	5 1.7	71 23.7	40 13.3	7 2.3	14 4.7
	30代		300 100	20 6.7	39 13.0	16 5.3	28 9.3	8 2.7	90 30.0	16 5.3	8 2.7	14 4.7
	40代		300 100	22 7.3	31 10.3	22 7.3	41 13.7	7 2.3	78 26.0	13 4.3	9 3.0	10 3.3
	50代		300 100	18 6.0	42 14.0	20 6.7	41 13.7	10 3.3	69 23.0	15 5.0	1 0.3	16 5.3
	60代		300 100	11 3.7	46 15.3	12 4.0	72 24.0	7 2.3	58 19.3	8 2.7	1 0.3	21 7.0
	70代以上		300 100	25 8.3	42 14.0	20 6.7	66 22.0	7 2.3	47 15.7	3 1.0	2 0.7	30 10.0

		度数 横%	全 体	公的な 研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・ 小売店	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他
全 体			1800 100	51 2.8	39 2.2	97 5.4	24 1.3	10 0.6	31 1.7	117 6.5	9 0.5
地域	首都圏		900 100	22 2.4	26 2.9	51 5.7	13 1.4	4 0.4	19 2.1	55 6.1	3 0.3
	京阪神圏		900 100	29 3.2	13 1.4	46 5.1	11 1.2	6 0.7	12 1.3	62 6.9	6 0.7
年代	20代		300 100	6 2.0	8 2.7	10 3.3	4 1.3	5 1.7	4 1.3	23 7.7	0 0.0
	30代		300 100	9 3.0	7 2.3	15 5.0	0 0.0	2 0.7	1 0.3	25 8.3	2 0.7
	40代		300 100	6 2.0	7 2.3	19 6.3	2 0.7	1 0.3	4 1.3	24 8.0	4 1.3
	50代		300 100	12 4.0	6 2.0	22 7.3	2 0.7	1 0.3	5 1.7	20 6.7	0 0.0
	60代		300 100	9 3.0	3 1.0	16 5.3	9 3.0	0 0.0	5 1.7	20 6.7	2 0.7
	70代以上		300 100	9 3.0	8 2.7	15 5.0	7 2.3	1 0.3	12 4.0	5 1.7	1 0.3

Q37 食肉の安全性に関する情報を得る場合、あなたが信頼できる情報源（上位3つ）をお選びください。

【1位】

	度数 横%	全 体	テレビの ニュース・ 報道番組	テレビの ワイドショー ・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット 上のニュース サイト	インターネット 上のコミュニティ サイト (SNS等)	個人のブログ	行政 (国、地方 自治体)
全 体		1800 100	972 54.0	51 2.8	17 0.9	208 11.6	12 0.7	142 7.9	32 1.8	8 0.4	94 5.2
地域	首都圏	900 100	461 51.2	34 3.8	12 1.3	91 10.1	7 0.8	82 9.1	14 1.6	5 0.6	56 6.2
	京阪神圏	900 100	511 56.8	17 1.9	5 0.6	117 13.0	5 0.6	60 6.7	18 2.0	3 0.3	38 4.2
年代	20代	300 100	169 56.3	14 4.7	7 2.3	16 5.3	6 2.0	27 9.0	9 3.0	1 0.3	17 5.7
	30代	300 100	171 57.0	9 3.0	1 0.3	18 6.0	4 1.3	29 9.7	10 3.3	3 1.0	16 5.3
	40代	300 100	147 49.0	10 3.3	5 1.7	26 8.7	1 0.3	39 13.0	6 2.0	3 1.0	12 4.0
	50代	300 100	172 57.3	4 1.3	2 0.7	30 10.0	1 0.3	27 9.0	5 1.7	1 0.3	10 3.3
	60代	300 100	156 52.0	10 3.3	2 0.7	53 17.7	0 0.0	15 5.0	1 0.3	0 0.0	18 6.0
	70代以上	300 100	157 52.3	4 1.3	0 0.0	65 21.7	0 0.0	5 1.7	1 0.3	0 0.0	21 7.0

	度数 横%	全 体	公的な 研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・ 小売店	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他	上記の中に信 頼できる情報 源はない
全 体		1800 100	88 4.9	10 0.6	21 1.2	21 1.2	0 0.0	27 1.5	23 1.3	0 0.0	74 4.1
地域	首都圏	900 100	40 4.4	6 0.7	10 1.1	15 1.7	0 0.0	15 1.7	13 1.4	0 0.0	39 4.3
	京阪神圏	900 100	48 5.3	4 0.4	11 1.2	6 0.7	0 0.0	12 1.3	10 1.1	0 0.0	35 3.9
年代	20代	300 100	11 3.7	4 1.3	2 0.7	1 0.3	0 0.0	2 0.7	6 2.0	0 0.0	8 2.7
	30代	300 100	14 4.7	2 0.7	3 1.0	0 0.0	0 0.0	2 0.7	3 1.0	0 0.0	15 5.0
	40代	300 100	20 6.7	2 0.7	8 2.7	2 0.7	0 0.0	1 0.3	7 2.3	0 0.0	11 3.7
	50代	300 100	19 6.3	1 0.3	3 1.0	4 1.3	0 0.0	4 1.3	2 0.7	0 0.0	15 5.0
	60代	300 100	10 3.3	0 0.0	2 0.7	6 2.0	0 0.0	11 3.7	2 0.7	0 0.0	14 4.7
	70代以上	300 100	14 4.7	1 0.3	3 1.0	8 2.7	0 0.0	7 2.3	3 1.0	0 0.0	11 3.7

【2位】

度数 横%		全 体	テレビの ニュース・ 報道番組	テレビの ワイドショー ・情報番組	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット 上のニュース サイト	インターネット 上のコミュニティ サイト (SNS等)	個人のブログ	行政 (国、地方 自治体)
全 体		1800 100	251 13.9	546 30.3	56 3.1	270 15.0	33 1.8	175 9.7	61 3.4	18 1.0	89 4.9
地域	首都圏	900 100	123 13.7	252 28.0	31 3.4	133 14.8	19 2.1	87 9.7	27 3.0	12 1.3	52 5.8
	京阪神圏	900 100	128 14.2	294 32.7	25 2.8	137 15.2	14 1.6	88 9.8	34 3.8	6 0.7	37 4.1
年代	20代	300 100	29 9.7	108 36.0	9 3.0	24 8.0	5 1.7	43 14.3	18 6.0	6 2.0	9 3.0
	30代	300 100	32 10.7	112 37.3	5 1.7	24 8.0	10 3.3	34 11.3	14 4.7	5 1.7	21 7.0
	40代	300 100	50 16.7	85 28.3	10 3.3	35 11.7	7 2.3	34 11.3	14 4.7	2 0.7	19 6.3
	50代	300 100	33 11.0	98 32.7	5 1.7	51 17.0	3 1.0	29 9.7	8 2.7	1 0.3	17 5.7
	60代	300 100	52 17.3	75 25.0	13 4.3	61 20.3	4 1.3	22 7.3	4 1.3	2 0.7	13 4.3
	70代以上	300 100	55 18.3	68 22.7	14 4.7	75 25.0	4 1.3	13 4.3	3 1.0	2 0.7	10 3.3

度数 横%		全 体	公的な 研究機関 (大学等)	生産者・ 食品会社	スーパー・ 小売店	生協などの 協同組合	学校・病院	NPO・ 消費者団体	家族・知人	その他	上記の中に信 頼できる情報 源はない
全 体		1800 100	88 4.9	21 1.2	21 1.2	17 0.9	5 0.3	43 2.4	22 1.2	0 0.0	84 4.7
地域	首都圏	900 100	47 5.2	15 1.7	16 1.8	7 0.8	1 0.1	20 2.2	11 1.2	0 0.0	47 5.2
	京阪神圏	900 100	41 4.6	6 0.7	5 0.6	10 1.1	4 0.4	23 2.6	11 1.2	0 0.0	37 4.1
年代	20代	300 100	17 5.7	1 0.3	4 1.3	2 0.7	2 0.7	8 2.7	6 2.0	0 0.0	9 3.0
	30代	300 100	15 5.0	2 0.7	4 1.3	1 0.3	0 0.0	3 1.0	2 0.7	0 0.0	16 5.3
	40代	300 100	12 4.0	2 0.7	4 1.3	3 1.0	1 0.3	4 1.3	5 1.7	0 0.0	13 4.3
	50代	300 100	8 2.7	6 2.0	3 1.0	1 0.3	0 0.0	12 4.0	6 2.0	0 0.0	19 6.3
	60代	300 100	15 5.0	5 1.7	5 1.7	3 1.0	0 0.0	8 2.7	2 0.7	0 0.0	16 5.3
	70代以上	300 100	21 7.0	5 1.7	1 0.3	7 2.3	2 0.7	8 2.7	1 0.3	0 0.0	11 3.7

【3位】

	度数 横%	全 体	テレビの	テレビの	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット	インターネット	個人のブログ	行政 (国、地方 自治体)	
			ニュース・ 報道番組	ワイドショー ・情報番組				上のニュース サイト	上のコミュニティ サイト (SNS等)			
全 体		1800 100	135 7.5	182 10.1	87 4.8	271 15.1	46 2.6	363 20.2	72 4.0	31 1.7	122 6.8	
地域		首都圏	900 100	76 8.4	90 10.0	42 4.7	126 14.0	24 2.7	181 20.1	40 4.4	14 1.6	57 6.3
		京阪神圏	900 100	59 6.6	92 10.2	45 5.0	145 16.1	22 2.4	182 20.2	32 3.6	17 1.9	65 7.2
年代		20代	300 100	15 5.0	22 7.3	18 6.0	35 11.7	8 2.7	68 22.7	35 11.7	10 3.3	13 4.3
		30代	300 100	21 7.0	27 9.0	16 5.3	31 10.3	8 2.7	74 24.7	14 4.7	6 2.0	18 6.0
		40代	300 100	24 8.0	24 8.0	14 4.7	43 14.3	10 3.3	69 23.0	7 2.3	8 2.7	23 7.7
		50代	300 100	28 9.3	34 11.3	12 4.0	38 12.7	6 2.0	62 20.7	9 3.0	4 1.3	18 6.0
		60代	300 100	21 7.0	40 13.3	5 1.7	67 22.3	7 2.3	48 16.0	5 1.7	1 0.3	24 8.0
		70代以上	300 100	26 8.7	35 11.7	22 7.3	57 19.0	7 2.3	42 14.0	2 0.7	2 0.7	26 8.7

	度数 横%	全 体	公的な	生産者・	スーパー・	生協などの	学校・病院	NPO・	家族・知人	その他	上記の中に信	
			研究機関 (大学等)	食品会社	小売店	協同組合	消費者団体			頼できる情報 源はない		
全 体		1800 100	90 5.0	50 2.8	56 3.1	37 2.1	8 0.4	41 2.3	87 4.8	0 0.0	122 6.8	
地域		首都圏	900 100	44 4.9	30 3.3	36 4.0	14 1.6	4 0.4	22 2.4	35 3.9	0 0.0	65 7.2
		京阪神圏	900 100	46 5.1	20 2.2	20 2.2	23 2.6	4 0.4	19 2.1	52 5.8	0 0.0	57 6.3
年代		20代	300 100	9 3.0	11 3.7	9 3.0	1 0.3	4 1.3	7 2.3	20 6.7	0 0.0	15 5.0
		30代	300 100	10 3.3	11 3.7	12 4.0	4 1.3	1 0.3	5 1.7	20 6.7	0 0.0	22 7.3
		40代	300 100	11 3.7	8 2.7	12 4.0	5 1.7	0 0.0	3 1.0	15 5.0	0 0.0	24 8.0
		50代	300 100	17 5.7	6 2.0	9 3.0	4 1.3	2 0.7	9 3.0	14 4.7	0 0.0	28 9.3
		60代	300 100	23 7.7	4 1.3	7 2.3	13 4.3	0 0.0	4 1.3	12 4.0	0 0.0	19 6.3
		70代以上	300 100	20 6.7	10 3.3	7 2.3	10 3.3	1 0.3	13 4.3	6 2.0	0 0.0	14 4.7

Q38 あなたは、次の各機関や事業者などが行っている食肉の安全性を確保するために行っている取組についてどの程度信頼できますか。それぞれの事項について、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。

【1. 農林水産省】

		度数 横%	全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体			1800 100	163 9.1	545 30.3	584 32.4	154 8.6	139 7.7	215 11.9
地域	首都圏		900 100	84 9.3	279 31.0	287 31.9	73 8.1	72 8.0	105 11.7
	京阪神圏		900 100	79 8.8	266 29.6	297 33.0	81 9.0	67 7.4	110 12.2
年代	20代		300 100	55 18.3	74 24.7	78 26.0	23 7.7	14 4.7	56 18.7
	30代		300 100	29 9.7	97 32.3	97 32.3	18 6.0	18 6.0	41 13.7
	40代		300 100	22 7.3	80 26.7	104 34.7	23 7.7	33 11.0	38 12.7
	50代		300 100	15 5.0	94 31.3	107 35.7	25 8.3	33 11.0	26 8.7
	60代		300 100	17 5.7	102 34.0	98 32.7	32 10.7	27 9.0	24 8.0
	70代以上		300 100	25 8.3	98 32.7	100 33.3	33 11.0	14 4.7	30 10.0

【2. 厚生労働省】

		度数 横%	全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体			1800 100	132 7.3	530 29.4	605 33.6	171 9.5	150 8.3	212 11.8
地域	首都圏		900 100	67 7.4	268 29.8	298 33.1	82 9.1	79 8.8	106 11.8
	京阪神圏		900 100	65 7.2	262 29.1	307 34.1	89 9.9	71 7.9	106 11.8
年代	20代		300 100	41 13.7	75 25.0	84 28.0	29 9.7	19 6.3	52 17.3
	30代		300 100	23 7.7	91 30.3	103 34.3	24 8.0	18 6.0	41 13.7
	40代		300 100	17 5.7	77 25.7	108 36.0	26 8.7	33 11.0	39 13.0
	50代		300 100	13 4.3	87 29.0	110 36.7	29 9.7	35 11.7	26 8.7
	60代		300 100	16 5.3	95 31.7	102 34.0	33 11.0	30 10.0	24 8.0
	70代以上		300 100	22 7.3	105 35.0	98 32.7	30 10.0	15 5.0	30 10.0

【3. 地方自治体】

		度数 横%	全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体			1800 100	127 7.1	557 30.9	653 36.3	141 7.8	113 6.3	209 11.6
地域	首都圏		900 100	64 7.1	283 31.4	322 35.8	68 7.6	61 6.8	102 11.3
	京阪神圏		900 100	63 7.0	274 30.4	331 36.8	73 8.1	52 5.8	107 11.9
年代	20代		300 100	46 15.3	68 22.7	97 32.3	19 6.3	14 4.7	56 18.7
	30代		300 100	20 6.7	94 31.3	114 38.0	18 6.0	13 4.3	41 13.7
	40代		300 100	11 3.7	76 25.3	123 41.0	25 8.3	29 9.7	36 12.0
	50代		300 100	16 5.3	87 29.0	123 41.0	24 8.0	24 8.0	26 8.7
	60代		300 100	12 4.0	112 37.3	97 32.3	31 10.3	23 7.7	25 8.3
	70代以上		300 100	22 7.3	120 40.0	99 33.0	24 8.0	10 3.3	25 8.3

【4. 畜産農家】

		度数 横%	全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体			1800 100	111 6.2	543 30.2	743 41.3	114 6.3	80 4.4	209 11.6
地域	首都圏		900 100	68 7.6	271 30.1	365 40.6	54 6.0	38 4.2	104 11.6
	京阪神圏		900 100	43 4.8	272 30.2	378 42.0	60 6.7	42 4.7	105 11.7
年代	20代		300 100	29 9.7	97 32.3	95 31.7	17 5.7	12 4.0	50 16.7
	30代		300 100	23 7.7	83 27.7	121 40.3	21 7.0	10 3.3	42 14.0
	40代		300 100	15 5.0	87 29.0	126 42.0	14 4.7	21 7.0	37 12.3
	50代		300 100	16 5.3	86 28.7	132 44.0	21 7.0	17 5.7	28 9.3
	60代		300 100	16 5.3	95 31.7	130 43.3	22 7.3	14 4.7	23 7.7
	70代以上		300 100	12 4.0	95 31.7	139 46.3	19 6.3	6 2.0	29 9.7

【5. 食肉卸売業者】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	58 3.2	283 15.7	807 44.8	281 15.6	158 8.8	213 11.8
地域	首都圏	900 100	33 3.7	146 16.2	399 44.3	132 14.7	83 9.2	107 11.9
	京阪神圏	900 100	25 2.8	137 15.2	408 45.3	149 16.6	75 8.3	106 11.8
年代	20代	300 100	25 8.3	73 24.3	102 34.0	34 11.3	17 5.7	49 16.3
	30代	300 100	9 3.0	48 16.0	133 44.3	44 14.7	24 8.0	42 14.0
	40代	300 100	7 2.3	39 13.0	141 47.0	41 13.7	34 11.3	38 12.7
	50代	300 100	7 2.3	36 12.0	138 46.0	59 19.7	34 11.3	26 8.7
	60代	300 100	5 1.7	38 12.7	144 48.0	56 18.7	28 9.3	29 9.7
	70代以上	300 100	5 1.7	49 16.3	149 49.7	47 15.7	21 7.0	29 9.7

【6. 食肉小売業者】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	54 3.0	284 15.8	833 46.3	260 14.4	159 8.8	210 11.7
地域	首都圏	900 100	30 3.3	151 16.8	414 46.0	114 12.7	84 9.3	107 11.9
	京阪神圏	900 100	24 2.7	133 14.8	419 46.6	146 16.2	75 8.3	103 11.4
年代	20代	300 100	23 7.7	75 25.0	106 35.3	32 10.7	19 6.3	45 15.0
	30代	300 100	7 2.3	48 16.0	137 45.7	41 13.7	20 6.7	47 15.7
	40代	300 100	8 2.7	38 12.7	142 47.3	41 13.7	34 11.3	37 12.3
	50代	300 100	6 2.0	35 11.7	147 49.0	54 18.0	32 10.7	26 8.7
	60代	300 100	6 2.0	41 13.7	147 49.0	48 16.0	30 10.0	28 9.3
	70代以上	300 100	4 1.3	47 15.7	154 51.3	44 14.7	24 8.0	27 9.0

【7. 食肉を扱う外食店】

度数 横%		全 体	信頼できる	どちらかといえば 信頼できる	どちらとも いえない	どちらかといえば 信頼できない	信頼できない	どのような取組 をしているか わからない
全 体		1800 100	45 2.5	225 12.5	810 45.0	306 17.0	193 10.7	221 12.3
地域	首都圏	900 100	25 2.8	114 12.7	406 45.1	151 16.8	101 11.2	103 11.4
	京阪神圏	900 100	20 2.2	111 12.3	404 44.9	155 17.2	92 10.2	118 13.1
年代	20代	300 100	18 6.0	58 19.3	108 36.0	45 15.0	26 8.7	45 15.0
	30代	300 100	5 1.7	40 13.3	128 42.7	54 18.0	28 9.3	45 15.0
	40代	300 100	7 2.3	31 10.3	137 45.7	50 16.7	39 13.0	36 12.0
	50代	300 100	6 2.0	32 10.7	133 44.3	55 18.3	45 15.0	29 9.7
	60代	300 100	6 2.0	33 11.0	147 49.0	56 18.7	26 8.7	32 10.7
	70代以上	300 100	3 1.0	31 10.3	157 52.3	46 15.3	29 9.7	34 11.3

Q39 食肉の安全性に関する情報提供において、行政に期待すること（上位3つ）をお選びください。

【1位】

度数横%		全 体	正確な情報の提供	迅速な情報の提供	わかりやすい情報の提供	科学的根拠に基づいた情報の提供	ネガティブな（マイナスの、あるいは都合の悪い）情報も包み隠さず開示	中立・公平な立場での見解	食品表示制度の改善	情報へのアクセスのしやすさ
全 体		1800 100	1304 72.4	87 4.8	117 6.5	98 5.4	100 5.6	49 2.7	14 0.8	10 0.6
地域	首都圏	900 100	644 71.6	45 5.0	63 7.0	50 5.6	61 6.8	17 1.9	7 0.8	5 0.6
	京阪神圏	900 100	660 73.3	42 4.7	54 6.0	48 5.3	39 4.3	32 3.6	7 0.8	5 0.6
年代	20代	300 100	196 65.3	12 4.0	35 11.7	16 5.3	15 5.0	9 3.0	5 1.7	7 2.3
	30代	300 100	220 73.3	13 4.3	19 6.3	18 6.0	14 4.7	7 2.3	4 1.3	2 0.7
	40代	300 100	235 78.3	7 2.3	16 5.3	13 4.3	17 5.7	7 2.3	1 0.3	0 0.0
	50代	300 100	219 73.0	15 5.0	19 6.3	14 4.7	22 7.3	7 2.3	2 0.7	0 0.0
	60代	300 100	219 73.0	21 7.0	13 4.3	14 4.7	18 6.0	12 4.0	0 0.0	1 0.3
	70代以上	300 100	215 71.7	19 6.3	15 5.0	23 7.7	14 4.7	7 2.3	2 0.7	0 0.0

度数横%		全 体	ウェブサイトの充実	メールマガジンの発信	パンフレット・広報誌の充実	消費者の相談を受ける窓口の設置	説明会などの開催	意見交換会など双方向型のコミュニケーションの場の設置	その他
全 体		1800 100	5 0.3	2 0.1	2 0.1	3 0.2	4 0.2	5 0.3	0 0.0
地域	首都圏	900 100	1 0.1	1 0.1	1 0.1	1 0.1	3 0.3	1 0.1	0 0.0
	京阪神圏	900 100	4 0.4	1 0.1	1 0.1	2 0.2	1 0.1	4 0.4	0 0.0
年代	20代	300 100	2 0.7	0 0.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0	2 0.7	0 0.0
	30代	300 100	0 0.0	0 0.0	1 0.3	1 0.3	0 0.0	1 0.3	0 0.0
	40代	300 100	1 0.3	0 0.0	0 0.0	1 0.3	2 0.7	0 0.0	0 0.0
	50代	300 100	1 0.3	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	60代	300 100	1 0.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0
	70代以上	300 100	0 0.0	1 0.3	0 0.0	1 0.3	1 0.3	2 0.7	0 0.0

【2位】

度数横%		全 体	正確な情報の提供	迅速な情報の提供	わかりやすい情報の提供	科学的根拠に基づいた情報の提供	ネガティブな（マイナスの、あるいは都合の悪い）情報も包み隠さず開示	中立・公平な立場での見解	食品表示制度の改善	情報へのアクセスのしやすさ
全 体		1800 100	178 9.9	639 35.5	387 21.5	209 11.6	162 9.0	112 6.2	42 2.3	21 1.2
地域	首都圏	900 100	91 10.1	323 35.9	192 21.3	110 12.2	87 9.7	55 6.1	12 1.3	7 0.8
	京阪神圏	900 100	87 9.7	316 35.1	195 21.7	99 11.0	75 8.3	57 6.3	30 3.3	14 1.6
年代	20代	300 100	28 9.3	82 27.3	80 26.7	32 10.7	40 13.3	15 5.0	5 1.7	7 2.3
	30代	300 100	27 9.0	106 35.3	69 23.0	32 10.7	29 9.7	18 6.0	6 2.0	2 0.7
	40代	300 100	24 8.0	110 36.7	70 23.3	36 12.0	34 11.3	13 4.3	5 1.7	3 1.0
	50代	300 100	33 11.0	117 39.0	63 21.0	30 10.0	20 6.7	17 5.7	12 4.0	2 0.7
	60代	300 100	33 11.0	115 38.3	53 17.7	39 13.0	20 6.7	23 7.7	7 2.3	4 1.3
	70代以上	300 100	33 11.0	109 36.3	52 17.3	40 13.3	19 6.3	26 8.7	7 2.3	3 1.0

度数横%		全 体	ウェブサイトの充実	メールマガジンの発信	パンフレット・広報誌の充実	消費者の相談を受ける窓口の設置	説明会などの開催	意見交換会など双方向型のコミュニケーションの場の設置	その他
全 体		1800 100	14 0.8	4 0.2	6 0.3	12 0.7	7 0.4	7 0.4	0 0.0
地域	首都圏	900 100	6 0.7	1 0.1	3 0.3	7 0.8	3 0.3	3 0.3	0 0.0
	京阪神圏	900 100	8 0.9	3 0.3	3 0.3	5 0.6	4 0.4	4 0.4	0 0.0
年代	20代	300 100	4 1.3	2 0.7	0 0.0	2 0.7	2 0.7	1 0.3	0 0.0
	30代	300 100	3 1.0	1 0.3	1 0.3	4 1.3	1 0.3	1 0.3	0 0.0
	40代	300 100	2 0.7	0 0.0	0 0.0	1 0.3	1 0.3	1 0.3	0 0.0
	50代	300 100	2 0.7	0 0.0	1 0.3	2 0.7	0 0.0	1 0.3	0 0.0
	60代	300 100	2 0.7	0 0.0	1 0.3	2 0.7	0 0.0	1 0.3	0 0.0
	70代以上	300 100	1 0.3	1 0.3	3 1.0	1 0.3	3 1.0	2 0.7	0 0.0

【3位】

度数横%		全 体	正確な情報の提供	迅速な情報の提供	わかりやすい情報の提供	科学的根拠に基づいた情報の提供	ネガティブな（マイナスの、あるいは都合の悪い）情報も包み隠さず開示	中立・公平な立場での見解	食品表示制度の改善	情報へのアクセスのしやすさ
全 体		1800 100	87 4.8	147 8.2	546 30.3	258 14.3	226 12.6	275 15.3	76 4.2	44 2.4
地域	首都圏	900 100	48 5.3	81 9.0	273 30.3	133 14.8	125 13.9	130 14.4	32 3.6	14 1.6
	京阪神圏	900 100	39 4.3	66 7.3	273 30.3	125 13.9	101 11.2	145 16.1	44 4.9	30 3.3
年代	20代	300 100	17 5.7	23 7.7	65 21.7	45 15.0	58 19.3	40 13.3	8 2.7	12 4.0
	30代	300 100	13 4.3	23 7.7	91 30.3	48 16.0	51 17.0	30 10.0	14 4.7	8 2.7
	40代	300 100	12 4.0	25 8.3	85 28.3	45 15.0	34 11.3	56 18.7	16 5.3	8 2.7
	50代	300 100	13 4.3	24 8.0	103 34.3	34 11.3	31 10.3	57 19.0	14 4.7	8 2.7
	60代	300 100	20 6.7	26 8.7	110 36.7	37 12.3	23 7.7	45 15.0	9 3.0	6 2.0
	70代以上	300 100	12 4.0	26 8.7	92 30.7	49 16.3	29 9.7	47 15.7	15 5.0	2 0.7

度数横%		全 体	ウェブサイトの充実	メールマガジンの発信	パンフレット・広報誌の充実	消費者の相談を受ける窓口の設置	説明会などの開催	意見交換会など双方向型のコミュニケーションの場の設置	その他
全 体		1800 100	31 1.7	9 0.5	21 1.2	46 2.6	16 0.9	12 0.7	6 0.3
地域	首都圏	900 100	16 1.8	7 0.8	6 0.7	19 2.1	8 0.9	7 0.8	1 0.1
	京阪神圏	900 100	15 1.7	2 0.2	15 1.7	27 3.0	8 0.9	5 0.6	5 0.6
年代	20代	300 100	10 3.3	2 0.7	5 1.7	9 3.0	3 1.0	3 1.0	0 0.0
	30代	300 100	4 1.3	1 0.3	3 1.0	7 2.3	6 2.0	1 0.3	0 0.0
	40代	300 100	6 2.0	0 0.0	3 1.0	8 2.7	0 0.0	1 0.3	1 0.3
	50代	300 100	4 1.3	3 1.0	1 0.3	5 1.7	0 0.0	2 0.7	1 0.3
	60代	300 100	3 1.0	2 0.7	2 0.7	9 3.0	3 1.0	1 0.3	4 1.3
	70代以上	300 100	4 1.3	1 0.3	7 2.3	8 2.7	4 1.3	4 1.3	0 0.0

Q41 以下の説明をお読みいただき、ご回答ください。

このロゴマークは、「JGAP 認証農場マーク」といい、第三者機関である日本GAP協会の審査により、食品安全、環境保全、労働安全、人権と福祉等に配慮した農業生産工程管理を行っていることが確認された農場にあたえられるものです。

あなたは、この「JGAP」のロゴマークを見たことがありますか。

度数 横%		全 体	確かに見たこと がある	見たことがある ような気がする	見たことがない・ 知らない
全 体		1800 100	119 6.6	423 23.5	1258 69.9
地域	首都圏	900 100	74 8.2	214 23.8	612 68.0
	京阪神圏	900 100	45 5.0	209 23.2	646 71.8
年代	20代	300 100	39 13.0	94 31.3	167 55.7
	30代	300 100	28 9.3	78 26.0	194 64.7
	40代	300 100	16 5.3	56 18.7	228 76.0
	50代	300 100	10 3.3	70 23.3	220 73.3
	60代	300 100	12 4.0	60 20.0	228 76.0
	70代以上	300 100	14 4.7	65 21.7	221 73.7

Q43 以下の説明をお読みいただき、ご回答ください。

このロゴマークは、「JGAP 認証農場の畜産物使用マーク」といい、第三者機関である日本GAP協会の審査により、食品安全、環境保全、労働安全、人権と福祉、アニマルウェルフェアに配慮した農業生産工程管理を行っていることが確認された畜産農場の認証家畜・畜産物（JGAP家畜・畜産物）を原料として使用した商品であることを表すマークです。

JGAP家畜・畜産物の認証取得は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの会場等で、選手団、スタッフ、プレス、観客に提供する飲食で使用される畜産食材に適用される調達基準の要件を満たすことを示す方法のひとつとされています。

※アニマルウェルフェアとは、家畜を快適性に配慮した環境下で飼養することをいいます。

あなたは、一般のお店やレストランで、「JGAP 認証農場の畜産物使用」のロゴマークがついている商品を積極的に購入したい・食べたいと思いますか。

度数 横%		全 体	割高でも 購入したい・ 食べたい	ロゴマークがついて いない商品と、同 程度の価格なら購 入したい・食べたい	安ければ 購入したい・ 食べたい	購入したくない・ 食べたくない	わからない
全 体		1800 100	152 8.4	615 34.2	486 27.0	44 2.4	503 27.9
地域	首都圏	900 100	80 8.9	325 36.1	236 26.2	20 2.2	239 26.6
	京阪神圏	900 100	72 8.0	290 32.2	250 27.8	24 2.7	264 29.3
年代	20代	300 100	30 10.0	103 34.3	93 31.0	7 2.3	67 22.3
	30代	300 100	21 7.0	118 39.3	81 27.0	8 2.7	72 24.0
	40代	300 100	20 6.7	85 28.3	99 33.0	9 3.0	87 29.0
	50代	300 100	20 6.7	92 30.7	77 25.7	10 3.3	101 33.7
	60代	300 100	27 9.0	107 35.7	68 22.7	6 2.0	92 30.7
	70代以上	300 100	34 11.3	110 36.7	68 22.7	4 1.3	84 28.0

Q44 あなたは、「ジビエ」というコトバをご存知ですか。

		度数 横%	全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	知らない
全 体			1800 100	177 9.8	551 30.6	399 22.2	673 37.4
地域	首都圏		900 100	96 10.7	288 32.0	195 21.7	321 35.7
	京阪神圏		900 100	81 9.0	263 29.2	204 22.7	352 39.1
年代	20代		300 100	31 10.3	81 27.0	70 23.3	118 39.3
	30代		300 100	23 7.7	76 25.3	86 28.7	115 38.3
	40代		300 100	36 12.0	94 31.3	70 23.3	100 33.3
	50代		300 100	39 13.0	101 33.7	63 21.0	97 32.3
	60代		300 100	29 9.7	107 35.7	48 16.0	116 38.7
	70代以上		300 100	19 6.3	92 30.7	62 20.7	127 42.3

Q45 以下の説明をお読みいただき、ご回答ください。

ジビエとは狩猟で得た天然の野生鳥獣の食肉を意味する言葉（フランス語）で、ヨーロッパでは貴族の伝統料理として古くから発展してきた食文化です。日本で有名なジビエは、シカやイノシシがあげられます。他にも、狩猟の対象となっている野生鳥獣の肉（野ウサギ、山鳩、鴨、キジ等）は全てジビエとして定義されます。

あなたは、このこと（ジビエについての上記の説明）をご存知ですか。

		度数 横%	全 体	詳しく 知っている	ある程度 知っている	何となく 知っている	知らない
全 体			1800 100	173 9.6	541 30.1	440 24.4	646 35.9
地域	首都圏		900 100	95 10.6	279 31.0	223 24.8	303 33.7
	京阪神圏		900 100	78 8.7	262 29.1	217 24.1	343 38.1
年代	20代		300 100	43 14.3	74 24.7	67 22.3	116 38.7
	30代		300 100	24 8.0	67 22.3	90 30.0	119 39.7
	40代		300 100	30 10.0	98 32.7	70 23.3	102 34.0
	50代		300 100	30 10.0	103 34.3	80 26.7	87 29.0
	60代		300 100	25 8.3	106 35.3	59 19.7	110 36.7
	70代以上		300 100	21 7.0	93 31.0	74 24.7	112 37.3

Q46 あなたはジビエ（主にシカとイノシシ）を食べますか。あなたが、ジビエ（主にシカとイノシシ）を食べる頻度をお答えください。

	度数 横%	全 体	週に 1日程度	月に 2～3日程度	月に1日程度	2～3ヶ月に 1日程度	半年に 1日程度	年に 1日程度	2～3年に 1日程度	それ以下	食べたこと がない
全 体		1800 100	8 0.4	20 1.1	31 1.7	39 2.2	81 4.5	98 5.4	78 4.3	465 25.8	980 54.4
地域	首都圏	900	1	16	16	23	41	43	38	197	525
		100	0.1	1.8	1.8	2.6	4.6	4.8	4.2	21.9	58.3
	京阪神圏	900	7	4	15	16	40	55	40	268	455
		100	0.8	0.4	1.7	1.8	4.4	6.1	4.4	29.8	50.6
年代	20代	300	5	12	12	9	19	18	8	56	161
	100	1.7	4.0	4.0	3.0	6.3	6.0	2.7	18.7	53.7	
	30代	300	0	5	6	8	18	16	15	62	170
	100	0.0	1.7	2.0	2.7	6.0	5.3	5.0	20.7	56.7	
	40代	300	2	1	3	8	11	12	11	75	177
	100	0.7	0.3	1.0	2.7	3.7	4.0	3.7	25.0	59.0	
	50代	300	0	1	2	4	12	15	15	91	160
100	0.0	0.3	0.7	1.3	4.0	5.0	5.0	30.3	53.3		
60代	300	0	0	4	4	12	14	16	83	167	
100	0.0	0.0	1.3	1.3	4.0	4.7	5.3	27.7	55.7		
70代以上	300	1	1	4	6	9	23	13	98	145	
100	0.3	0.3	1.3	2.0	3.0	7.7	4.3	32.7	48.3		

Q47 あなたがジビエ（主にシカとイノシシ）を食べたことがあるお店やレストラン・機会などについて、あてはまるものをすべてお選びください。

	度数 横%	全 体	フランス料理 店・フレンチ レストラン	ジビエ専門 店	焼き肉店	その他の店 ・レストラン	地域 フェスティバル ・地域物産 展	道の駅	旅行先の宿 ・ホテル	自宅	友人・知人 宅	その他	覚えていない ・忘れた
全 体		820 100	202 24.6	146 17.8	113 13.8	30 3.7	103 12.6	97 11.8	64 7.8	116 14.1	122 14.9	5 0.6	148 18.0
地域	首都圏	375	107	74	54	16	50	39	36	51	48	3	62
		100	28.5	19.7	14.4	4.3	13.3	10.4	9.6	13.6	12.8	0.8	16.5
	京阪神圏	445	95	72	59	14	53	58	28	65	74	2	86
		100	21.3	16.2	13.3	3.1	11.9	13.0	6.3	14.6	16.6	0.4	19.3
年代	20代	139	44	34	34	1	15	20	2	21	21	1	20
	100	31.7	24.5	24.5	0.7	10.8	14.4	1.4	15.1	15.1	0.7	14.4	
	30代	130	29	26	22	5	16	18	7	20	17	1	25
	100	22.3	20.0	16.9	3.8	12.3	13.8	5.4	15.4	13.1	0.8	19.2	
	40代	123	32	29	17	5	11	15	5	22	22	1	13
	100	26.0	23.6	13.8	4.1	8.9	12.2	4.1	17.9	17.9	0.8	10.6	
	50代	140	38	21	21	5	20	20	11	16	14	1	22
100	27.1	15.0	15.0	3.6	14.3	14.3	7.9	11.4	10.0	0.7	15.7		
60代	133	35	17	7	7	14	11	13	14	30	1	32	
100	26.3	12.8	5.3	5.3	10.5	8.3	9.8	10.5	22.6	0.8	24.1		
70代以上	155	24	19	12	7	27	13	26	23	18	0	36	
100	15.5	12.3	7.7	4.5	17.4	8.4	16.8	14.8	11.6	0.0	23.2		

Q48 あなたは、シカ肉について、どのようなイメージをお持ちですか。それぞれの事項について、あてはまるものを全てお選びください。また、その中で最もあてはまるものをお選びください。

【1.シカ肉】 あてはまるもの（いくつでも）

度数 横%		全 体	たんぱく質が 豊富	カロリーが 低い	安全性に信 頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理 しやすい	筋肉や骨 をつくる
全 体		1800 100	484 26.9	520 28.9	66 3.7	193 10.7	185 10.3	41 2.3	128 7.1
地域	首都圏	900 100	232 25.8	253 28.1	29 3.2	92 10.2	94 10.4	25 2.8	62 6.9
	京阪神圏	900 100	252 28.0	267 29.7	37 4.1	101 11.2	91 10.1	16 1.8	66 7.3
年代	20代	300 100	78 26.0	68 22.7	26 8.7	36 12.0	40 13.3	15 5.0	29 9.7
	30代	300 100	95 31.7	81 27.0	11 3.7	35 11.7	34 11.3	9 3.0	19 6.3
	40代	300 100	81 27.0	84 28.0	9 3.0	30 10.0	19 6.3	7 2.3	13 4.3
	50代	300 100	89 29.7	101 33.7	7 2.3	32 10.7	29 9.7	1 0.3	21 7.0
	60代	300 100	69 23.0	90 30.0	5 1.7	29 9.7	22 7.3	3 1.0	23 7.7
	70代以上	300 100	72 24.0	96 32.0	8 2.7	31 10.3	41 13.7	6 2.0	23 7.7

度数 横%		全 体	美容によい	料理メニューの 種類が多い	スタミナ源、 栄養がある	価格が手頃	その他	特にイメージ はない
全 体		1800 100	96 5.3	30 1.7	193 10.7	40 2.2	61 3.4	914 50.8
地域	首都圏	900 100	44 4.9	16 1.8	104 11.6	23 2.6	32 3.6	463 51.4
	京阪神圏	900 100	52 5.8	14 1.6	89 9.9	17 1.9	29 3.2	451 50.1
年代	20代	300 100	31 10.3	11 3.7	45 15.0	8 2.7	13 4.3	133 44.3
	30代	300 100	15 5.0	3 1.0	38 12.7	5 1.7	11 3.7	134 44.7
	40代	300 100	15 5.0	4 1.3	34 11.3	3 1.0	7 2.3	145 48.3
	50代	300 100	15 5.0	3 1.0	25 8.3	5 1.7	11 3.7	158 52.7
	60代	300 100	11 3.7	6 2.0	21 7.0	11 3.7	10 3.3	171 57.0
	70代以上	300 100	9 3.0	3 1.0	30 10.0	8 2.7	9 3.0	173 57.7

【2. シカ肉】 最もあてはまるもの（一つだけ）

度数横%		全 体	たんぱく質が豊富	カロリーが低い	安全性に信頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理しやすい	筋肉や骨をつくる
全 体		1800 100	241 13.4	330 18.3	14 0.8	64 3.6	38 2.1	8 0.4	26 1.4
地域	首都圏	900 100	116 12.9	158 17.6	4 0.4	29 3.2	22 2.4	5 0.6	10 1.1
	京阪神圏	900 100	125 13.9	172 19.1	10 1.1	35 3.9	16 1.8	3 0.3	16 1.8
年代	20代	300 100	42 14.0	37 12.3	7 2.3	14 4.7	9 3.0	2 0.7	12 4.0
	30代	300 100	55 18.3	51 17.0	0 0.0	14 4.7	9 3.0	2 0.7	4 1.3
	40代	300 100	50 16.7	51 17.0	4 1.3	12 4.0	4 1.3	4 1.3	2 0.7
	50代	300 100	44 14.7	65 21.7	0 0.0	9 3.0	5 1.7	0 0.0	2 0.7
	60代	300 100	23 7.7	66 22.0	2 0.7	5 1.7	7 2.3	0 0.0	4 1.3
	70代以上	300 100	27 9.0	60 20.0	1 0.3	10 3.3	4 1.3	0 0.0	2 0.7

度数横%		全 体	美容によい	料理メニューの種類が多い	スタミナ源、栄養がある	価格が手頃	その他	特にイメージはない
全 体		1800 100	16 0.9	11 0.6	69 3.8	10 0.6	59 3.3	914 50.8
地域	首都圏	900 100	9 1.0	6 0.7	40 4.4	7 0.8	31 3.4	463 51.4
	京阪神圏	900 100	7 0.8	5 0.6	29 3.2	3 0.3	28 3.1	451 50.1
年代	20代	300 100	5 1.7	4 1.3	20 6.7	2 0.7	13 4.3	133 44.3
	30代	300 100	0 0.0	0 0.0	17 5.7	3 1.0	11 3.7	134 44.7
	40代	300 100	4 1.3	3 1.0	14 4.7	0 0.0	7 2.3	145 48.3
	50代	300 100	3 1.0	1 0.3	2 0.7	1 0.3	10 3.3	158 52.7
	60代	300 100	3 1.0	2 0.7	7 2.3	1 0.3	9 3.0	171 57.0
	70代以上	300 100	1 0.3	1 0.3	9 3.0	3 1.0	9 3.0	173 57.7

【3. イノシシ肉】 あてはまるもの（いくつでも）

度数横%		全 体	たんぱく質が豊富	カロリーが低い	安全性に信頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理しやすい	筋肉や骨をつくる
全 体		1800 100	475 26.4	278 15.4	66 3.7	174 9.7	159 8.8	53 2.9	191 10.6
地域	首都圏	900 100	219 24.3	120 13.3	27 3.0	87 9.7	70 7.8	23 2.6	94 10.4
	京阪神圏	900 100	256 28.4	158 17.6	39 4.3	87 9.7	89 9.9	30 3.3	97 10.8
年代	20代	300 100	69 23.0	47 15.7	19 6.3	41 13.7	27 9.0	18 6.0	45 15.0
	30代	300 100	89 29.7	52 17.3	9 3.0	30 10.0	28 9.3	7 2.3	30 10.0
	40代	300 100	72 24.0	56 18.7	10 3.3	30 10.0	14 4.7	5 1.7	17 5.7
	50代	300 100	81 27.0	41 13.7	10 3.3	27 9.0	25 8.3	7 2.3	31 10.3
	60代	300 100	78 26.0	39 13.0	6 2.0	20 6.7	25 8.3	6 2.0	31 10.3
	70代以上	300 100	86 28.7	43 14.3	12 4.0	26 8.7	40 13.3	10 3.3	37 12.3

度数横%		全 体	美容によい	料理メニューの種類が多い	スタミナ源、栄養がある	価格が手頃	その他	特にイメージはない
全 体		1800 100	77 4.3	47 2.6	358 19.9	33 1.8	89 4.9	882 49.0
地域	首都圏	900 100	23 2.6	24 2.7	182 20.2	16 1.8	44 4.9	464 51.6
	京阪神圏	900 100	54 6.0	23 2.6	176 19.6	17 1.9	45 5.0	418 46.4
年代	20代	300 100	20 6.7	16 5.3	60 20.0	7 2.3	24 8.0	126 42.0
	30代	300 100	18 6.0	5 1.7	65 21.7	5 1.7	17 5.7	124 41.3
	40代	300 100	13 4.3	6 2.0	45 15.0	1 0.3	8 2.7	153 51.0
	50代	300 100	10 3.3	4 1.3	53 17.7	2 0.7	14 4.7	155 51.7
	60代	300 100	7 2.3	7 2.3	65 21.7	5 1.7	15 5.0	155 51.7
	70代以上	300 100	9 3.0	9 3.0	70 23.3	13 4.3	11 3.7	169 56.3

【4. イノシシ肉】 最もあてはまるもの（一つだけ）

度数横%		全 体	たんぱく質が豊富	カロリーが低い	安全性に信頼がおける	鉄分が豊富	健康によい	調理しやすい	筋肉や骨をつくる
全 体		1800 100	267 14.8	130 7.2	17 0.9	55 3.1	47 2.6	11 0.6	44 2.4
地域	首都圏	900 100	125 13.9	47 5.2	9 1.0	31 3.4	20 2.2	6 0.7	19 2.1
	京阪神圏	900 100	142 15.8	83 9.2	8 0.9	24 2.7	27 3.0	5 0.6	25 2.8
年代	20代	300 100	34 11.3	21 7.0	5 1.7	17 5.7	9 3.0	5 1.7	13 4.3
	30代	300 100	51 17.0	26 8.7	4 1.3	11 3.7	8 2.7	1 0.3	5 1.7
	40代	300 100	49 16.3	28 9.3	3 1.0	8 2.7	7 2.3	3 1.0	8 2.7
	50代	300 100	54 18.0	21 7.0	2 0.7	8 2.7	6 2.0	0 0.0	5 1.7
	60代	300 100	41 13.7	19 6.3	0 0.0	7 2.3	6 2.0	1 0.3	9 3.0
	70代以上	300 100	38 12.7	15 5.0	3 1.0	4 1.3	11 3.7	1 0.3	4 1.3

度数横%		全 体	美容によい	料理メニューの種類が多い	スタミナ源、栄養がある	価格が手頃	その他	特にイメージはない
全 体		1800 100	14 0.8	14 0.8	220 12.2	11 0.6	88 4.9	882 49.0
地域	首都圏	900 100	5 0.6	8 0.9	117 13.0	6 0.7	43 4.8	464 51.6
	京阪神圏	900 100	9 1.0	6 0.7	103 11.4	5 0.6	45 5.0	418 46.4
年代	20代	300 100	3 1.0	3 1.0	38 12.7	2 0.7	24 8.0	126 42.0
	30代	300 100	4 1.3	4 1.3	42 14.0	3 1.0	17 5.7	124 41.3
	40代	300 100	4 1.3	1 0.3	28 9.3	0 0.0	8 2.7	153 51.0
	50代	300 100	0 0.0	3 1.0	31 10.3	1 0.3	14 4.7	155 51.7
	60代	300 100	1 0.3	1 0.3	43 14.3	3 1.0	14 4.7	155 51.7
	70代以上	300 100	2 0.7	2 0.7	38 12.7	2 0.7	11 3.7	169 56.3

Q49(1) ジビエ（主にシカとイノシシ）について、知っている事柄が下記の中にありますか。あてはまるものを全てお選びください。

度数 横%		全 体	ジビエは、豊かな風味があり、自然そのままの味が楽しめる	ジビエは、狩猟解禁後（秋冬）に流通するので、季節感が感じられる	鹿肉バーガー、ジビエカレー、ジビエ丼など、手軽に食べられる	自治体ごとに、独自にジビエの衛生・品質管理基準を定めている	野生鳥獣（主にシカやイノシシ）による農作物被害や自然環境被害が深刻化し、野生鳥獣の有効利用としてジビエが役立っている	増えすぎて捕獲されたジビエを給食に出すことで、子どもたちに命の尊さを伝え、食育としても注目されている	ジビエの活用は、地域の活性化や地域振興に役立っている	その他	いずれもあてはまらない
全 体	1800 100	465 25.8	389 21.6	272 15.1	138 7.7	441 24.5	260 14.4	281 15.6	0 0.0	899 49.9	
地域	首都圏	900 100	247 27.4	179 19.9	135 15.0	66 7.3	220 24.4	133 14.8	153 17.0	0 0.0	452 50.2
	京阪神圏	900 100	218 24.2	210 23.3	137 15.2	72 8.0	221 24.6	127 14.1	128 14.2	0 0.0	447 49.7
年代	20代	300 100	83 27.7	69 23.0	44 14.7	34 11.3	62 20.7	41 13.7	32 10.7	0 0.0	151 50.3
	30代	300 100	73 24.3	53 17.7	49 16.3	16 5.3	55 18.3	31 10.3	30 10.0	0 0.0	155 51.7
	40代	300 100	79 26.3	53 17.7	47 15.7	17 5.7	61 20.3	33 11.0	38 12.7	0 0.0	150 50.0
	50代	300 100	90 30.0	75 25.0	56 18.7	21 7.0	82 27.3	47 15.7	46 15.3	0 0.0	136 45.3
	60代	300 100	74 24.7	65 21.7	42 14.0	22 7.3	84 28.0	54 18.0	60 20.0	0 0.0	145 48.3
	70代以上	300 100	66 22.0	74 24.7	34 11.3	28 9.3	97 32.3	54 18.0	75 25.0	0 0.0	162 54.0

Q49(2) ジビエ（主にシカとイノシシ）について、あなたが魅力を感じる事柄がありますか。あてはまるものを全てお選びください。

度数 横%		全 体	ジビエは、豊かな風味があり、自然そのままの味が楽しめる	ジビエは、狩猟解禁後（秋冬）に流通するので、季節感が感じられる	鹿肉バーガー、ジビエカレー、ジビエ丼など、手軽に食べられる	自治体ごとに、独自にジビエの衛生・品質管理基準を定めている	野生鳥獣（主にシカやイノシシ）による農作物被害や自然環境被害が深刻化し、野生鳥獣の有効利用としてジビエが役立っている	増えすぎて捕獲されたジビエを給食に出すことで、子どもたちに命の尊さを伝え、食育としても注目されている	ジビエの活用は、地域の活性化や地域振興に役立っている	その他	いずれもあてはまらない
全 体	1800 100	296 16.4	200 11.1	164 9.1	94 5.2	287 15.9	183 10.2	188 10.4	0 0.0	902 50.1	
地域	首都圏	900 100	159 17.7	90 10.0	77 8.6	49 5.4	144 16.0	101 11.2	103 11.4	0 0.0	449 49.9
	京阪神圏	900 100	137 15.2	110 12.2	87 9.7	45 5.0	143 15.9	82 9.1	85 9.4	0 0.0	453 50.3
年代	20代	300 100	60 20.0	41 13.7	39 13.0	31 10.3	41 13.7	42 14.0	29 9.7	0 0.0	138 46.0
	30代	300 100	53 17.7	30 10.0	30 10.0	11 3.7	45 15.0	24 8.0	20 6.7	0 0.0	149 49.7
	40代	300 100	55 18.3	35 11.7	32 10.7	18 6.0	48 16.0	32 10.7	36 12.0	0 0.0	143 47.7
	50代	300 100	47 15.7	36 12.0	33 11.0	5 1.7	44 14.7	29 9.7	29 9.7	0 0.0	152 50.7
	60代	300 100	43 14.3	31 10.3	8 2.7	9 3.0	51 17.0	27 9.0	33 11.0	0 0.0	153 51.0
	70代以上	300 100	38 12.7	27 9.0	22 7.3	20 6.7	58 19.3	29 9.7	41 13.7	0 0.0	167 55.7

Q50 以下の説明をお読みいただき、ご回答ください。

日本では、近年、野生鳥獣による農作物被害が深刻化しているため、増え過ぎた野生動物の捕獲を積極的に実施しており、効果的に進めていくために、野生動物の有効利用（食肉化・ジビエ）が考えられるようになりました。

自治体ごとに、独自にジビエ（主にシカとイノシシ）の衛生・品質管理基準を定めており、食用に適すると認証した肉には下記のロゴマークを与えています。

あなたは、食用に適すると認証したジビエ（主にシカ肉・イノシシ肉）に与えられる「ロゴマーク」を見たことがありますか。

		度数 横%	全 体	確かに見たこと がある	見たことがある ような気がする	ロゴマークがあること は知っているが、 見たことはない	ロゴマークがあること は知らない
全 体			1800 100	44 2.4	140 7.8	126 7.0	1490 82.8
地域	首都圏		900 100	23 2.6	71 7.9	69 7.7	737 81.9
	京阪神圏		900 100	21 2.3	69 7.7	57 6.3	753 83.7
年代	20代		300 100	18 6.0	45 15.0	19 6.3	218 72.7
	30代		300 100	10 3.3	28 9.3	18 6.0	244 81.3
	40代		300 100	7 2.3	21 7.0	13 4.3	259 86.3
	50代		300 100	2 0.7	20 6.7	17 5.7	261 87.0
	60代		300 100	2 0.7	12 4.0	23 7.7	263 87.7
	70代以上		300 100	5 1.7	14 4.7	36 12.0	245 81.7

Q51 以下の説明をお読みいただき、ご回答ください。

日本では、近年、野生鳥獣による農作物被害が深刻化しているため、増え過ぎた野生動物の捕獲を積極的に実施しており、効果的に進めていくために、野生動物の有効利用（食肉化・ジビエ）が考えられるようになりました。

自治体ごとに、独自にジビエ（主にシカとイノシシ）の衛生・品質管理基準を定めており、食用に適すると認証した肉には下記のロゴマークを与えています。

あなたは、一般のお店やレストランで、食用に適すると認証したジビエ（主にシカ肉・イノシシ肉）に与えられる「ロゴマーク」がついている商品を積極的に購入したい・食べたいと思いますか。

度数 横%		全 体	割高でも購入したい ・食べたい	ロゴマークがついて ない商品と、同程度 の価格なら購入した い・食べたい	安ければ購入 したい・食べたい	購入したくない・ 食べたくない	わからない
全 体		1800 100	85 4.7	338 18.8	413 22.9	353 19.6	611 33.9
地域	首都圏	900 100	51 5.7	174 19.3	212 23.6	175 19.4	288 32.0
	京阪神圏	900 100	34 3.8	164 18.2	201 22.3	178 19.8	323 35.9
年代	20代	300 100	22 7.3	66 22.0	75 25.0	47 15.7	90 30.0
	30代	300 100	14 4.7	70 23.3	66 22.0	51 17.0	99 33.0
	40代	300 100	15 5.0	57 19.0	84 28.0	44 14.7	100 33.3
	50代	300 100	11 3.7	45 15.0	77 25.7	59 19.7	108 36.0
	60代	300 100	12 4.0	53 17.7	55 18.3	79 26.3	101 33.7
	70代以上	300 100	11 3.7	47 15.7	56 18.7	73 24.3	113 37.7

Q52 あなたは、「ロゴマークがついていない商品」と比べ、どのくらいの価格レベルまでなら、「食用に適すると認証したジビエのロゴマークがついている商品」を選びますか。あなたのお考えに最も近いものを1つだけお選びください。

度数横%		全 体	4倍を超える価格でも「食用に適すると認証したジビエのロゴマークの商品」を選ぶ	4倍高までなら「食用に適すると認証したジビエのロゴマークの商品」を選ぶ	3倍高までなら「食用に適すると認証したジビエのロゴマークの商品」を選ぶ	2倍高までなら「食用に適すると認証したジビエのロゴマークの商品」を選ぶ	8割高までなら「食用に適すると認証したジビエのロゴマークの商品」を選ぶ
全 体		1800 100	19 1.1	16 0.9	16 0.9	70 3.9	11 0.6
地域	首都圏	900 100	9 1.0	11 1.2	12 1.3	35 3.9	4 0.4
	京阪神圏	900 100	10 1.1	5 0.6	4 0.4	35 3.9	7 0.8
年代	20代	300 100	6 2.0	8 2.7	5 1.7	19 6.3	5 1.7
	30代	300 100	1 0.3	6 2.0	3 1.0	11 3.7	4 1.3
	40代	300 100	4 1.3	1 0.3	5 1.7	10 3.3	1 0.3
	50代	300 100	2 0.7	0 0.0	0 0.0	10 3.3	1 0.3
	60代	300 100	4 1.3	1 0.3	0 0.0	9 3.0	0 0.0
	70代以上	300 100	2 0.7	0 0.0	3 1.0	11 3.7	0 0.0

度数横%		全 体	5割高までなら「食用に適すると認証したジビエのロゴマークの商品」を選ぶ	2割高までなら「食用に適すると認証したジビエのロゴマークの商品」を選ぶ	同等の価格なら「食用に適すると認証したジビエのロゴマークの商品」を選ぶ	「食用に適すると認証したジビエのロゴマークの商品」へのこだわりはない	食用に適すると認証したジビエのロゴマークの有無にかかわらず、ジビエは食べない・買わない
全 体		1800 100	48 2.7	187 10.4	426 23.7	333 18.5	674 37.4
地域	首都圏	900 100	22 2.4	98 10.9	227 25.2	158 17.6	324 36.0
	京阪神圏	900 100	26 2.9	89 9.9	199 22.1	175 19.4	350 38.9
年代	20代	300 100	11 3.7	37 12.3	59 19.7	51 17.0	99 33.0
	30代	300 100	8 2.7	35 11.7	71 23.7	59 19.7	102 34.0
	40代	300 100	12 4.0	20 6.7	74 24.7	63 21.0	110 36.7
	50代	300 100	3 1.0	38 12.7	84 28.0	51 17.0	111 37.0
	60代	300 100	6 2.0	30 10.0	67 22.3	55 18.3	128 42.7
	70代以上	300 100	8 2.7	27 9.0	71 23.7	54 18.0	124 41.3